2020年度
Aセメスター(A1・A2)
科目紹介[シラバス抜粋]

東京大学教養学部前期課程

はじめに

この冊子には、2020 年度の A セメスターに教養学部前期課程の 1・2 年生に対して開講される講義内容の概要（『科目紹介』）と、学年・科類・専門学部ごとの時間割（『時間割表』）が記載されています。

『科目紹介』では、時間割ごとに講義に関する情報を記載していますが、より詳しい情報は、UTAS（https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/）のシラバスで公開していますので、履修を検討している講義については必ず参照してください。それぞれの講義内容をよく比較して、各自履修計画を立ててください。なお、こちらは『履修の手引き』のⅠ－４に掲載されている、（表２）「前期課程で各科類の学生が取得すべき必要最低単位数」の順に記されています。

『時間割表』は、「科類別時間割表」「総合科目等時間割表」「専門科目一覧表」に分かれています。受講するクラスが指定されている科目は、科類ごとに「科類別時間割表」に、受講するクラスが指定されていない総合科目、主題科目及び展開科目は、「総合科目等時間割表」に、各種情報が記載されています。

入学時に配付された『履修の手引き』を参照して、前期課程の修了要件を満たすためにはどの科目群からどの程度の単位の履修が必要か、進学志望の学部・学科等の要望科目・要求科目はどうなっているか、将来進むべき専門分野の基礎知識を十分につけ、あわせて幅広く深い教養を身につけるためにはどのような組み合わせで講義を履修するのがよいかなどを十分に考えて、バランスよく履修計画を立ててください。

A セメスター（A1・A2 ターム）科目紹介

この電子ブックには A セメスター（A1・A2 ターム）に開講される科目の科目紹介（シラバス抜粋）が掲載されていますので、履修計画を立てる際の参考にしてください。各授業のシラバスは、UTAS にログインの上、画面上「シラバス」メニューから「(シラバス参照)」を選択することで参照ができます。UTAS 上のシラバスは本冊子の科目紹介よりも多くの情報が掲載されていますので、履修を考えている授業については、必ず UTAS 上のシラバスを参照するようにしてください。

科目紹介（シラバス）例（科目ごとに掲載されている項目・情報は異なります）

時間割ｺｰﾄﾞ	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	単位	対象
①	②	東大概論	駒場 太郎	③	④	⑤	⑥
講義題目 ⑦ 目標概要							

①時間割コード

それぞれの授業に割り振られている固有の番号です。UTAS でシラバスを参照する際などに使用します。

②開講区分

授業が開講される期間を示します。それぞれの表示は以下の期間での開講を表します。

開講区分	正式名称	授業の開講期間
S	S セメスター	概ね 4～7 月
S1	S1 ターム	概ね 4～5 月
S2	S2 ターム	概ね 6～7 月

授業日の詳細については、授業日程を参照してください。

③所属

教養学部（総合文化研究科）が開講する授業は、開講元の部会名又は学科（専攻）が掲載されています。
他学部・研究科等が開講する授業は、当該学部・研究科等の名前が掲載されています。

開講所属凡例

教養学部前期課程部会
英語
ドイツ語
フランス語・イタリア語
中国語
韓国朝鮮語
ロシア語
スペイン語
古典語・地中海諸言語
法・政治
経済・統計
社会・社会思想史
国際関係
歴史学
国文・漢文学
文化人類学
哲学・科学史
心理・教育学
人文地理学
物理
化学
生物
情報・図形
宇宙地球
相関自然
スポーツ・身体運動
数学
PEAK 前期
日本語
先進科学

教養学部
統合自然科学科

総合文化研究科
言語情報科学専攻
超域文化科学専攻 表象文化論コース
超域文科化学専攻 比較文学比較文化コース
地域文化研究専攻
地域文化研究専攻 アジア・日本文化研究コース

その他（後期課程諸学部、全学センターなど）
情報メディア科学委員会
法学部
医学部
新領域創成科学研究科
先端科学技術研究センター
生産技術研究所
人間の安全保障プログラム
etc.

④曜限

授業が行われる曜限が掲載されています。「集中講義」と記載されている授業は、特定の日程や授業期間外に行われることがありますので、授業内容を確認してください。

⑤単位

当該授業に合格した場合に得られる単位数が掲載されています。当項目の掲載がない科目については、『履修の手引き』p.6 に掲載されている内容に従います。

⑥対象

授業の対象となる科類やクラスが掲載されています。欄内の数字は組番号を表し、複数クラスが対象の場合は「6,16-18,20」のように範囲を示しています（この場合は 17 組も対象クラスに含みます）。「奇数」「偶数」と記載のある場合には、学生証番号末尾の数字の奇数・偶数で対象学生を示しています。本項目で指定されていない科類・クラス等に所属している学生は当該授業の履修登録を行うことができないので、注意してください。

⑦科目紹介の内容

具体的な科目紹介の内容が掲載されています。授業によっては、履修にあたっての注意点等が挿入されていることがあります。不明な点は教務課に必ず確認の上、履修登録を行うようにしてください。

英語の履修について

既修外国語の英語は各科目１単位または２単位で、計５単位の科目群であり、英語一列（教養英語）・英語二列Ｓ（アカデミック・ディスカッション）・英語二列W（アカデミック・ライティング）に分けられる（その他に総合科目Ｌ系列３単位）。

英語一列（教養英語）は共通教科書とこれに関連する音声教材を使用する習熟度別の授業である。英語二列Ｓも同じく習熟度別の授業であり、文科生、理科生とも FLOW(Fluency-Oriented Workshop)のプログラムにより実施する。英語二列Wは、文科生は ALESA(Active Learning of English for Students of the Arts)、理科生は ALESS(Active Learning of English for Science Students)のプログラムにより実施する。

●本冊子においては、次頁以降「英語一列」「英語二列Ｓ」「英語二列W」のシラバスが掲載されている。

●「英語一列」「英語二列Ｓ」「英語二列W」は所属クラスに応じてあらかじめ指定された授業を履修する。「英語一列」「英語二列Ｓ」は習熟度別にクラスが分けられている。

●「英語一列」「英語二列Ｓ」「英語二列W」の３科目をそれぞれどのターム・セメスターに履修するかについては、所属クラスにより異なり、下表の４つのグループにあらかじめ分けられる。「（クラス指定総合科目Ｌ）」と記載されている部分については、総合科目Ｌ系列「英語中級」が所属クラスに対するクラス指定の授業として開講される。

<table>
<tr><td rowspan="2">所属クラス</td><td colspan="4">ターム・セメスター</td></tr>
<tr><td>1S1</td><td>1S2</td><td>1A1</td><td>1A2</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">1S</td><td colspan="2">1A</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（8,11,22,25-26）
文三（5,7,11,14,19）
理一（1-4,12,17,18,20,23,31,35-36,39）
理二三（11,13,20,23）</td><td>英語一列①</td><td>英語二列Ｓ</td><td>（クラス指定総合科目Ｌ）</td><td>英語一列②</td></tr>
<tr><td colspan="2">（クラス指定総合科目Ｌ）</td><td colspan="2">英語二列Ｗ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（5-6,13,15,16,18-19,24）
文三（6,10,12,17）
理一（7,9,13,19,25,28,30,34,37）
理二三（6-7,18,19,22）</td><td>英語一列①</td><td>（クラス指定総合科目Ｌ）</td><td>英語二列Ｓ</td><td>英語一列②</td></tr>
<tr><td colspan="2">英語二列Ｗ</td><td colspan="2">（クラス指定総合科目Ｌ）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（1-3,7,10,17,20-21,23,27-28）
文三（1-3,9,15-16）
理一（8,11,16,21,24,27,29,33）
理二三（4,8,9,14,17,21）</td><td>英語二列Ｓ</td><td>英語一列①</td><td>英語一列②</td><td>（クラス指定総合科目Ｌ）</td></tr>
<tr><td colspan="2">（クラス指定総合科目Ｌ）</td><td colspan="2">英語二列Ｗ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（4,9,12,14）
文三（4,8,13,18,20）
理一（5-6,10,14-15,22,26,32,38）
理二三（1-3,5,10,12,15-16,24）</td><td>（クラス指定総合科目Ｌ）</td><td>英語一列①</td><td>英語一列②</td><td>英語二列Ｓ</td></tr>
<tr><td colspan="2">英語二列Ｗ</td><td colspan="2">（クラス指定総合科目Ｌ）</td></tr>
</table>

外国語（英語一列・特別クラス）

英語一列（教養英語）・特別クラス

≪英語一列①（教養英語）≫

目標・概要　「教養英語」は、本学教養学部の英語部会教員が教養課程における英語学習のために作成した、理科生、文科生を問わず学生の知的関心に応える高度で分野横断的な内容をもつ教科書『教養英語読本』と、これに関連したリスニング教材を使用して行う授業である。リスニング教材（音声）およびスクリプトは下記「関連ホームページ」で配信する。クラスは、学生の習熟度に合わせて三段階に分かれており、それぞれのグループの学生にもっとも適した進度や授業方法を採用する。その際、全クラスで共通して学習する部分を一定量設けて試験範囲とし、これに実力問題を加えた統一定期試験を実施する。

授業の方法　各担当教員のシラバスを参照すること。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　教養英語読本Ⅱ

著者（訳者）　東京大学教養学部英語部会（編）

出版社　東京大学出版会

関連ホームページ　http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/efas/

≪英語特別クラス≫

非英語圏からの留学生、及び入試の外国語を英語以外で受験した者で、かつ英語の履修を希望する者は、英語部会の許可を得て「英語特別クラス」の履修で「英語一列②」「英語二列」「総合科目 L 系列 英語中級」の単位に充当することができる。履修希望者は第一週のガイダンス（日時、場所は掲示を参照）に出席すること。

《英語特修クラス（第 3 学期終了時点で平均合格していない進学内定者《平均点が 40 点以上 50 点未満》対象)》

※2014 年度以前入学者対象

すでに学んだ英語科目の授業内容を復習し、不足部分を補いつつ、英語の運用能力を高めることを目指す。詳しくは UTAS 上のシラバスを参照のこと。履修希望者は第一週のガイダンス（日時、場所は掲示を参照）に出席すること。旧カリキュラム科目であり、現カリキュラム生は履修不可。

授業科目名	担当教員	教室	開講	曜限	対象クラス
英語一列②	教養英語担当教員	各教室	A1	火 3	1 年文一二（1-3,7,9,27）文三（1-3,8-9）理一（5-6,16,27）理二三（1-3,5,12,17 ）
				火 4	1 年文一二（4,21,23）文三（16,18）理一（21-22,32,38）理二三（8,14-15）
				水 2	1 年文一二（10,14,20）文三（4,13）理一（11,14-15,24）理二三（4,9-10）
				水 3	1 年文一二（12,17,28）文三（15,20）理一（8,10,26,29,33）理二三（16,21,24）
			A2	火 3	1 年文一二（13･24-25 ）文三（11･17 ）理一（1-4･9･18-19 ）理二三（7･13 ）
				火 4	1 年文一二（6･8･18 ）文三（5･7･12 ）理一（20･30-31･34-35 ）理二三（11･18･22 ）
				水 2	1 年文一二（5･15･19･26 ）文三（6･19 ）理一（7･12･23･28･36 ）理二三（6･23 ）
				水 3	1 年文一二（11･16･22 ）文三（10･14 ）理一（13･17･25･37･39 ）理二三（19-20 ）
英語特修	担当教員	シラバス参照	A	集中	2014 年度以前入学の 2 年生

外国語（英語二列 S）

Fluency-Oriented Workshop （FLOW）				
授業の目標・概要	The course aims to build students' confidence and ability to engage fluently and critically in a classroom discussion, to be aware of their weaknesses, and to have the tools to improve autonomously.			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割コード	開講	曜限	担当教員	対象クラス
50313	A 1	火 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50314	A 1	火 3	ナオミ バーマン	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50315	A 1	火 3	AKINDELE Tito	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50316	A 1	火 3	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50317	A 1	火 3	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50318	A 1	火 3	沈 尚玉	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50319	A 1	火 3	Kartika Diana	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50320	A 1	火 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50321	A 1	火 3	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50322	A 1	火 3	ジェームズ エリンガー	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50323	A 1	火 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50324	A 1	火 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50325	A 1	火 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50326	A 1	火 3	BROOKS Britton	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50327	A 1	火 3	WEITEMIER Adam	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50328	A 1	火 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50382	A 1	火 4	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50383	A 1	火 4	ROBB Nigel	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50384	A 1	火 4	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50385	A 1	火 4	BROOKS Britton	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50386	A 1	火 4	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50387	A 1	火 4	Kartika Diana	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50388	A 1	火 4	マニナン ジョン	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50389	A 1	火 4	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50390	A 1	火 4	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50391	A 1	火 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50392	A 1	火 4	AKINDELE Tito	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50393	A 1	火 4	DIETZ Richard	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50394	A 1	火 4	ナオミ バーマン	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50395	A 1	火 4	ジェームズ エリンガー	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50396	A 1	火 4	沈 尚玉	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50490	A 1	水 2	BROOKS Britton	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50491	A 1	水 2	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50492	A 1	水 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50493	A 1	水 2	ROBB Nigel	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50494	A 1	水 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)

外国語（英語二列 S）

50495	A 1	水 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50496	A 1	水 2	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50497	A 1	水 2	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50498	A 1	水 2	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50499	A 1	水 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50500	A 1	水 2	沈 尚玉	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50501	A 1	水 2	SEDDON Ryan John	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50502	A 1	水 2	Kartika Diana	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50503	A 1	水 2	AKINDELE Tito	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50504	A 1	水 2	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50505	A 1	水 2	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50588	A 1	水 3	沈 尚玉	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50589	A 1	水 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50590	A 1	水 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50591	A 1	水 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50592	A 1	水 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50593	A 1	水 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50594	A 1	水 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50595	A 1	水 3	BROOKS Britton	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50596	A 1	水 3	ナオミ バーマン	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50597	A 1	水 3	WEITEMIER Adam	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50598	A 1	水 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50599	A 1	水 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50600	A 1	水 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50601	A 1	水 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50602	A 1	水 3	Kartika Diana	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
60113	A 2	火 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60114	A 2	火 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60115	A 2	火 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60116	A 2	火 3	BROOKS Britton	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60117	A 2	火 3	WEITEMIER Adam	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60118	A 2	火 3	ジェームズ エリンガー	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60119	A 2	火 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60121	A 2	火 3	沈 尚玉	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60122	A 2	火 3	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60123	A 2	火 3	Kartika Diana	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60124	A 2	火 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60125	A 2	火 3	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60126	A 2	火 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60127	A 2	火 3	ナオミ バーマン	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60128	A 2	火 3	AKINDELE Tito	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60129	A 2	火 3	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60134	A 2	火 4	沈 尚玉	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)

外国語（英語二列 S）

60135	A 2	火 4	ナオミ バーマン	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60136	A 2	火 4	DIETZ Richard	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60137	A 2	火 4	ジェームズ エリンガー	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60138	A 2	火 4	BROOKS Britton	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60139	A 2	火 4	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60140	A 2	火 4	ROBB Nigel	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60141	A 2	火 4	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60142	A 2	火 4	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60143	A 2	火 4	Kartika Diana	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60144	A 2	火 4	マニナン ジョン	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60145	A 2	火 4	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60146	A 2	火 4	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60148	A 2	火 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60149	A 2	火 4	AKINDELE Tito	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60165	A 2	水 2	沈 尚玉	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60166	A 2	水 2	SEDDON Ryan John	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60167	A 2	水 2	Kartika Diana	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60168	A 2	水 2	AKINDELE Tito	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60169	A 2	水 2	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60170	A 2	水 2	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60171	A 2	水 2	BROOKS Britton	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60173	A 2	水 2	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60174	A 2	水 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60175	A 2	水 2	ROBB Nigel	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60176	A 2	水 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60177	A 2	水 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60178	A 2	水 2	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60179	A 2	水 2	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60180	A 2	水 2	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60181	A 2	水 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60183	A 2	水 3	WEITEMIER Adam	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60184	A 2	水 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60185	A 2	水 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60186	A 2	水 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60187	A 2	水 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60188	A 2	水 3	沈 尚玉	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60189	A 2	水 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60190	A 2	水 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60191	A 2	水 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60192	A 2	水 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60193	A 2	水 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60194	A 2	水 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60195	A 2	水 3	BROOKS Britton	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)

外国語（英語二列 S）

60196	A 2	水 3	ナオミ バーマン	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60197	A 2	水 3	Kartika Diana	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)

外国語（英語二列 W）ALESA

Active Learning of English for Students of the Arts (ALESA)	開講区分	A

授業の目標・概要　This course introduces students to the skill of building an effective written argument in English supported by sources and evidence and to the conventions of formal writing. By the end of the course, students will:
- be able to present a clear position which is supported by evidence and addresses alternative points of view;
- understand the organisation and rhetorical features of an argumentative essay;
- be familiar with basic stylistic conventions of academic writing.

授業の方法　Class activities will include reading and analyzing argumentative writing in English; developing a position on a issue on the basis of individual research; engaging in a variety of pre-writing exercises; writing and revising; and using peer feedback to improve students' own and others' work in discussion and written comments.
The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and discussion.

関連ホームページ　http://ale.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50029	月 2	Kartika Diana	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50030	月 2	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50031	月 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50032	月 2	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50033	月 2	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50034	月 2	沈 尚玉	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50035	月 2	ナオミ バーマン	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50036	月 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50037	月 2	片山 晶子	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50038	月 2	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50732	木 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50733	木 2	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50734	木 2	BROOKS Britton	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50735	木 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50736	木 2	船田 なつの	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50737	木 2	沈 尚玉	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50738	木 2	DIETZ Richard	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50739	木 2	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50740	木 2	片山 晶子	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50791	木 3	船田 なつの	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50792	木 3	BROOKS Britton	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50793	木 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50794	木 3	片山 晶子	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50795	木 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50796	木 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50797	木 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50798	木 3	沈 尚玉	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50903	金 1	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50904	金 1	船田 なつの	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)

外国語（英語二列 W）ALESA

50905	金 1	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50906	金 1	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50907	金 1	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50908	金 1	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50909	金 1	Kartika Diana	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50910	金 1	DIETZ Richard	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50911	金 1	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50912	金 1	ナオミ バーマン	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50998	金 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50999	金 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
51000	金 3	Kartika Diana	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
51001	金 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
51002	金 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
51003	金 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
51004	金 3	船田 なつの	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
51005	金 3	ナオミ バーマン	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
51006	金 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)

外国語（英語二列 W）ALESS

Active Learning of English for Science Students (ALESS)	開講区分	A

授業の目標・概要　In this course, students learn about formal scientific writing and style in English; the organization, language, and rhetoric of scientific papers; and the process of writing and preparing formal papers through peer review and revision.

授業の方法　Class activities include reading and analyzing scientific writing in English, designing a research project, group work, peer review of student writing, and speaking activities. Each student writes a research paper based on an application of the scientific method.
The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the ALESS Lab and the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and presentation.

関連ホームページ　http://ale.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50045	月 2	AKINDELE Tito	1 年 理一(4,35-36)
50046	月 2	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 理一(4,35-36)
50047	月 2	ジェームズ エリンガー	1 年 理一(4,35-36)
50048	月 2	神島 智子	1 年 理一(4,35-36)
50049	月 2	WEITEMIER Adam	1 年 理一(4,35-36)
50050	月 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(4,35-36)
50051	月 2	BROOKS Britton	1 年 理一(4,35-36)
50077	月 3	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50078	月 3	神島 智子	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50079	月 3	タヴァレス ヴァスケス ジエーゴ	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50080	月 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50081	月 3	ナオミ バーマン	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50082	月 3	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50083	月 3	ジェームズ エリンガー	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50084	月 3	マニナン ジョン	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50085	月 3	ROBB Nigel	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50086	月 3	SEDDON Ryan John	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50087	月 3	WEITEMIER Adam	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50088	月 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50089	月 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50090	月 3	RUIZ TADA Elisa	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50091	月 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50092	月 3	AKINDELE Tito	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50141	月 4	SEDDON Ryan John	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50142	月 4	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50143	月 4	ROBB Nigel	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50144	月 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50145	月 4	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50146	月 4	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50147	月 4	マニナン ジョン	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50218	火 1	ジェームズ エリンガー	1 年 理二三(21,23)

外国語（英語二列 W）ALESS

50219	火 1	神島 智子	1 年 理二三(21,23)
50220	火 1	SEDDON Ryan John	1 年 理二三(21,23)
50221	火 1	WEITEMIER Adam	1 年 理二三(21,23)
50222	火 1	ROBB Nigel	1 年 理二三(21,23)
50461	水 1	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 理一(1-3,18,27)
50462	水 1	AKINDELE Tito	1 年 理一(1-3,18,27)
50463	水 1	タヴァレス ヴァスケス ジエーゴ	1 年 理一(1-3,18,27)
50464	水 1	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(1-3,18,27)
50465	水 1	ジェームズ エリンガー	1 年 理一(1-3,18,27)
50466	水 1	WEITEMIER Adam	1 年 理一(1-3,18,27)
50467	水 1	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理一(1-3,18,27)
50756	木 2	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50757	木 2	WEITEMIER Adam	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50758	木 2	神島 智子	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50759	木 2	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50760	木 2	AKINDELE Tito	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50761	木 2	マニナン ジョン	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50762	木 2	タヴァレス ヴァスケス ジエーゴ	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50923	金 1	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理二三(8,14)
50924	金 1	SEDDON Ryan John	1 年 理二三(8,14)
50925	金 1	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	1 年 理二三(8,14)
50926	金 1	RUIZ TADA Elisa	1 年 理二三(8,14)
50927	金 1	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理二三(8,14)
51022	金 3	マニナン ジョン	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51023	金 3	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51024	金 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51025	金 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51026	金 3	ROBB Nigel	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51027	金 3	SEDDON Ryan John	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51028	金 3	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51065	金 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 理二三(4,11,17)
51066	金 4	ジェームズ エリンガー	1 年 理二三(4,11,17)
51067	金 4	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	1 年 理二三(4,11,17)
51068	金 4	マニナン ジョン	1 年 理二三(4,11,17)
51069	金 4	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理二三(4,11,17)
51070	金 4	ROBB Nigel	1 年 理二三(4,11,17)

基礎科目　ドイツ語

ドイツ語	開講区分	A

授業の目標・概要　一列・二列では共通教材『Einblicke』（東京大学教養学部ドイツ語部会編）を用いて、週二回の授業により、文法と読解を中心に、会話練習を交えながら総合的にドイツ語を学習する。
履修者は必ず、同一クラスの一列と二列を履修すること。一列もしくは二列のみの履修は認められない。
なお、L 系列の科目、特にドイツ語初級（演習）も積極的に履修することを勧める。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　ドイツ語共通教科書『Einblicke』
著者（訳者）　東京大学教養学部ドイツ語部会編

関連ホームページ　http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50058	月 2	ドイツ語一列②	大石 紀一郎	1 年 理一(32)
50138	月 4	ドイツ語一列②	川喜田 敦子	1 年 文三(15)
50609	月 4	ドイツ語一列②	斉藤 渉	1 年 文三(16)
51513	月 6	ドイツ語一列②	有信 真美菜	1 年 文科 理科(オンライン専用)
50543	火 1	ドイツ語一列②	高橋 亮介	1 年 理一(29)
50041	火 3	ドイツ語一列②	久保 哲司	1 年 文一二(21)
50057	火 3	ドイツ語一列②	竹峰 義和	1 年 理一(30)
50346	火 3	ドイツ語一列②	一條 麻美子	1 年 理一(31)
50414	火 4	ドイツ語一列②	竹峰 義和	1 年 理一(28)
50419	火 4	ドイツ語一列②	石田 勇治	1 年 理二三(20)
51034	水 2	ドイツ語一列②	識名 章喜	1 年 理二三(17)
50646	水 4	ドイツ語一列②	森 芳樹	1 年 理一(33)
50807	水 4	ドイツ語一列②	有信 真美菜	1 年 文一二(22)
50653	木 2	ドイツ語一列②	高橋 宗五	1 年 理二三(19)
50743	木 2	ドイツ語一列②	稲葉 治朗	1 年 文一二(20)
50828	木 4	ドイツ語一列②	金 志成	1 年 理二三(18)
50840	木 4	ドイツ語一列②	クリスティアン クリンク	1 年 文一二(1)文三(1)理一(1)理二三(1)
51467	水 3	ドイツ語特修	有信 真美菜	2 年 文科 理科
51469	水 4	ドイツ語特修	石田 勇治	2 年 文科 理科

基礎科目　フランス語

フランス語	開講区分	A

授業の目標・概要　文科生クラス、理科生クラスとも、一列・二列を通じて文法および講読の基礎を固める。
文科生は、これに加えて演習を履修し、発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。
理科生には、文科生の演習に相当するものとして、国際コミュニケーション「フランス語初級（演習）」が自由選択できるので、積極的に参加してほしい。

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
関連ホームページ　http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50042	月 2	フランス語一列②	飛嶋 隆信	1 年 文一二(24)
50059	月 2	フランス語一列②	大森 晋輔	1 年 理一(37)
50101	月 3	フランス語一列②	藤岡 俊博	1 年 理一(38)
50102	月 3	フランス語一列②	治山 純子	1 年 理一(39)
50133	月 4	フランス語一列②	郷原 佳以	1 年 文一二(23)
50407	火 4	フランス語一列②	山田 広昭	1 年 文一二(26)
50637	水 4	フランス語一列②	伊達 聖伸	1 年 文三(17)
50746	木 2	フランス語一列②	渡邊 淳也	1 年 文三(19)
50767	木 2	フランス語一列②	坂本 さやか	1 年 理一(35)
50768	木 2	フランス語一列②	桑田 光平	1 年 理一(36)
50772	木 2	フランス語一列②	三浦 篤	1 年 理二三(22)
50808	木 3	フランス語一列②	篠原 学	1 年 文一二(25)
50809	木 3	フランス語一列②	松村 剛	1 年 文一二(28)
50810	木 3	フランス語一列②	森元 庸介	1 年 文三(18)
50811	木 3	フランス語一列②	片岡 大右	1 年 文三(20)
50841	木 4	フランス語一列②	ビゼ	1 年 文一二(2)文三(2)理一(2)理二三(2)
50862	木 4	フランス語一列②	篠原 学	1 年 理二三(23)
51007	金 3	フランス語一列②	渡邊 淳也	1 年 文一二(27)
51029	金 3	フランス語一列②	鈴木 順子	1 年 理一(34)
51035	金 3	フランス語一列②	佐々木 悠介	1 年 理二三(21)
51036	金 3	フランス語一列②	斎藤 かぐみ	1 年 理二三(24)
50620	水 3	フランス語特修	星埜 守之	2 年 文科 理科

基礎科目　中国語

中国語	開講区分	A

授業の目標・概要　中国語の要である発音をしっかりと身につけた上で、文法の基礎を一年かけて一通り学習する。
●文科生は選択必修科目の初級演習をあわせて履修し、コミュニケーション能力を養成する。クラス別に開講するので、自分のクラスの初級演習を履修すること。
●理科生向けには、選択科目の「初級演習」を開講しているので、一、二列で習ったことをもとに、コミュニケーション能力を高めることが望ましい。(火１　に開講)
●既習クラスは、概要やテキストが異なるため該当クラスのシラバスを確認すること。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　漢語課本
著者（訳者）　小野秀樹・賈黎黎・吉川雅之 著
出版社　白帝社

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50137	月 4	中国語一列②	大橋 義武	1 年 文三(14)
50210	火 1	中国語一列②	阿古 智子	1 年 理一(3)理二三(3)
50413	火 4	中国語一列②	山影 統	1 年 理一(27)
50418	火 4	中国語一列②	千葉 謙悟	1 年 理二三(13)
50439	火 5	中国語一列②	石村 広	1 年 理一(22)
50473	水 1	中国語一列②	小方 伴子	1 年 理一(24)
50474	水 1	中国語一列②	波多野 真矢	1 年 理一(26)
50522	水 2	中国語一列②	伊藤 徳也	1 年 文一二(17)
50523	水 2	中国語一列②	波多野 真矢	1 年 文一二(18)
50534	水 2	中国語一列②	吉川 雅之	1 年 文三(12)
50542	水 2	中国語一列②	小野 秀樹	1 年 理一(19)
50547	水 2	中国語一列②	中村 元哉	1 年 理二三(16)
50608	水 3	中国語一列②	中村 元哉	1 年 文三(13)
50741	木 2	中国語一列②	松本 秀士	1 年 文一二(14)
50765	木 2	中国語一列②	下出 宣子	1 年 理一(25)
50806	木 3	中国語一列②	下出 宣子	1 年 文一二(19)
50827	木 3	中国語一列②	河野 直恵	1 年 理二三(15)
50842	木 4	中国語一列②	賈 黎黎	1 年 文一二(3)文三(3)理一(3)理二三(3)
50844	木 4	中国語一列②	河野 直恵	1 年 文一二(15)
50845	木 4	中国語一列②	渡辺 剛	1 年 文一二(16)
50921	金 1	中国語一列②	王 英輝	1 年 理一(20)
51020	金 3	中国語一列②	石井 剛	1 年 理一(23)
51033	金 3	中国語一列②	谷垣 真理子	1 年 理二三(14)
51045	金 4	中国語一列②	岩月 純一	1 年 文一二(13)
51055	金 4	中国語一列②	田原 史起	1 年 文三(11)
51064	金 4	中国語一列②	朝倉 友海	1 年 理一(21)
50654	水 4	中国語特修	石井 剛	2 年 文科 理科

基礎科目　ロシア語

ロシア語	開講区分	A

授業の目標・概要　初修ロシア語の 1 年目はロシア語の文字からはじめて、ロシア語の基礎文法を修得する。1 年を終えるころには簡単なロシア語テクストが自在に読める能力の獲得をめざす。
文系・理系を問わず、共通教科書を使用する。
S セメスターに学んだ文法の基本を発展させ、さらに新しい文法項目を学ぶとともに、テクストによって読解の基礎をつける。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Изучаем русский язык с нуля (ロシア語をはじめよう)
著者（訳者）　西中村浩・朝妻恵理子
出版社　朝日出版社

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50209	火 1	ロシア語一列②	鳥山 祐介	1 年 文一二(4)文三(4)理一(4-5)理二三(4)【TLP】
50415	火 4	ロシア語一列②	渡邊 日日	1 年 理二三(4)
50748	木 2	ロシア語一列②	鳥山 祐介	1 年 理一(4)
50749	木 2	ロシア語一列②	乗松 亨平	1 年 理一(5)
50985	金 3	ロシア語一列②	乗松 亨平	1 年 文一二(4)
51008	金 3	ロシア語一列②	安岡 治子	1 年 文三(4)
50655	水 4	ロシア語特修	丸山 由紀子	2 年 文科 理科

※TLP 履修者は、対象クラスで TLP と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

基礎科目　スペイン語

スペイン語	開講区分	A

授業の目標・概要　スペイン語初修は、共通教科書『Brújula』を用い、1年間かけて、日常使われるスペイン語を理解し、簡単な文章を読んだり書いたり、またスペイン語でコミュニケーションをとるために必要な文法体系全体を学習する。Sセメスターでは、内容を1列（文法）と2列（講読）に分け（今年度はCOVID-19禍により、1列／2列をリレー方式で展開した。）、Aセメスターでは1列で文法・講読の両方を扱う。文系では、外国人教員が担当するクラス指定の演習を設け、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、会話練習、文法の応用練習などを行う。また、スペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを週2回開講する。そのほかに、初級作文や初級会話の科目を開講しており、これらを履修することによりスペイン語の運用能力をさらに高めることができる。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Brújula−スペイン語学習の羅針盤
著者（訳者）　東京大学教養学部スペイン語部会
出版社　朝日出版社

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50039	月 2	スペイン語一列②	松尾 俊輔	1年 文一二(9)
50061	月 2	スペイン語一列②	栗林 ゆき絵	1年 理二三(10)
50099	月 3	スペイン語一列②	松尾 俊輔	1年 理一(16)
50105	月 3	スペイン語一列②	三浦 麻衣子	1年 理二三(8)
50131	月 4	スペイン語一列②	松尾 俊輔	1年 文一二(10)
50159	月 4	スペイン語一列②	三浦 麻衣子	1年 理二三(12)
50341	火 3	スペイン語一列②	半澤 忠彦	1年 文三(10)
50350	火 3	スペイン語一列②	松尾 俊輔	1年 理二三(11)
50417	火 4	スペイン語一列②	半澤 忠彦	1年 理二三(9)
50533	水 2	スペイン語一列②	松尾 俊輔	1年 文三(8)
50540	水 2	スペイン語一列②	高際 裕哉	1年 理一(13)
50541	水 2	スペイン語一列②	木﨑 孝嘉	1年 理一(18)
50606	水 3	スペイン語一列②	渡辺 暁	1年 文三(7)
50607	水 3	スペイン語一列②	久住 真由	1年 文三(9)
50642	水 4	スペイン語一列②	久住 真由	1年 理一(11)
50643	水 4	スペイン語一列②	木﨑 孝嘉	1年 理一(17)
50753	木 2	スペイン語一列②	愛場 百合子	1年 理一(10)
50755	木 2	スペイン語一列②	倉田 量介	1年 理一(15)
50770	木 2	スペイン語一列②	上 英明	1年 理二三(7)
50799	木 3	スペイン語一列②	倉田 量介	1年 文一二(11)
50816	木 3	スペイン語一列②	若林 大我	1年 理一(12)
50850	木 4	スペイン語一列②	渡辺 暁	1年 理一(9)
50851	木 4	スペイン語一列②	若林 大我	1年 理一(14)
50994	金 3	スペイン語一列②	有田 美保	1年 文一二(7)
50995	金 3	スペイン語一列②	松尾 俊輔	1年 文一二(8)
51044	金 4	スペイン語一列②	和田 佳浦	1年 文一二(12)
50621	水 3	スペイン語特修	受田 宏之	2年 文科 理科

基礎科目　韓国朝鮮語

韓国朝鮮語一列②	開講区分	A

授業の目標・概要

●1 年生初修クラス
S セメスターに引き続き、共通教材『ことばの架け橋』を通じて文法と語彙を学んでいき、教科書を終えた後には、さまざまな教材を用いて一年間に学んだ文法知識の応用練習を行います。これらによって A セメスターの授業では、基礎文法を完全に習得した上で、辞書を引きながら新聞・雑誌記事を読める程度、また基本的な内容ならば自分の考えや意見を正確に表現できる程度の力を身につけることを目指します。
文科生はこのほか総合科目 L 系列において、韓国人教員が担当する「初級（演習）②」を履修し、基礎知識の応用をはかっていきます。
●特修クラス
これまでに学んだ内容の復習によって、韓国朝鮮語の基本的な能力を身に付けることを目指します。詳しくは UTAS 上のシラバスを参照してください。

教科書

次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　　『ことばの架け橋』（再改訂試用版）
著者（訳者）　生越直樹・曺喜澈・三ツ井崇

関連ホームページ　http://phiz.c.u-tokyo.ac.jp/~korea/korea_junior.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50052	月 2	韓国朝鮮語一列②	河崎 啓剛	1 年 理一(6)
50308	火 3	韓国朝鮮語一列②	三ツ井 崇	1 年 文一二(5)文三(5)
50416	火 4	韓国朝鮮語一列②	新井 保裕	1 年 理二三(5)
50656	水 4	韓国朝鮮語特修	三ツ井 崇	2 年 文科 理科

基礎科目　イタリア語

イタリア語	開講区分	A

授業の目標・概要

●1 年生初修クラス
Ⅰ列Ⅱ列では、A セメスター前半までに、初級文法を一通り習得します。A セメスター後半ではそれを応用しながら、比較的平易な現代文を中心としたテクストの読解と、接続法・条件法等の文法知識の整理を行います。テクストとして、東京大学イタリア語教材編集委員会編の文法教科書「イタリア語のスタート Italiano... in partenza!」（白水社）を適宜参照しながら、中級読解教科書『ピアッツァ』（東京大学出版局）を主に使用します。あわせて、ネイティヴスピーカの教員による、文法知識の定着と自然なイタリア語の習得のための演習が必修科目（文系）・国際コミュニケーション科目（理系）として開講されています。「国際コミュニケーション」として、ほかにも初級の会話・作文、テクスト分析 I も開講されているので、積極的に受講してください。
●既修クラス
総合科目 L 系列「国際コミュニケーション」科目の中・上級科目を既修者の単位として認定しています。
●授業計画
1 年生初修 ―A セメスター前半 初級文法まとめ
A セメスター後半 講読中心
●学習上のアドバイス
時間割上可能で意欲的な学習者には、総合科目 L 系列「国際コミュニケーション」で開講される選択科目「初級・中級会話」「初級・中級作文」「読解」「表現練習」等の受講をあわせてすすめます。授業には積極的に参加し、有効な学習としてください。

教科書

次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 文法と練習』
著者（訳者）　東京大学イタリア語教材編集委員会編
出版社　白水社

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50309	火 3	イタリア語一列②	池上 俊一	1 年 文一二(6)
50538	水 2	イタリア語一列②	宮坂 真紀	1 年 理一(8)
50605	水 3	イタリア語一列②	宮坂 真紀	1 年 文三(6)
50813	木 3	イタリア語一列②	山﨑 彩	1 年 理一(7)
50825	木 3	イタリア語一列②	村松 真理子	1 年 理二三(6) 奇
50826	木 3	イタリア語一列②	宮坂 真紀	1 年 理二三(6) 偶
50657	水 4	イタリア語特修	村松 真理子	2 年 文科 理科

基礎科目　日本語

日本語	開講区分	A

授業の目標・概要

[注意事項]
● 日本語を、前期課程外国語科目の既修外国語、或は、[既修・既修選択]の初修外国語相当として選択した学生は、基礎科目一列② [必修科目] の授業に初回授業から必ず出席すること。
● 新カリキュラムにおける日本語科目（基礎科目一列、二列 C、二列 P、総合科目 L 系列）の履修方法等について、基礎科目一列② の初回授業で説明があるので、必ず出席し説明を受けること。
● 総合科目 L 系列科目(A1, A2)の登録について、UTAS や授業での指示に留意し従うこと。

● 基礎科目 日本語一列② 1 年生 既修外国語 （初修扱い外国語）
『テーマで考え議論する日本語 後半 -Active Learning in Academic Japanese -』
文理横断的なテーマに関して、文献リサーチ、読解・聴解、資料収集、調査、協働タスク、ディスカッション、プレゼンテーション、要旨・レジメ執筆等、様々な能動的な協働活動を通して、日本語の諸技能の習得・上達を目指しつつ、現象・問題や他者の意見を適格に理解する力、資料を分析しデータや論拠に基づき考え述べる力、自分の意見を構築し伝える力、議論し合う力、能動的学習力を養う。
総合科目 L 系列においては、相互に相補的な授業活動を行う。日本語科目カリキュラム全体・総合科目カリキュラム全体として、様々な分野・目的での四技能の習得・上達にバランス良く資するための授業を設定し、各々の総合科目 L 系列授業において、それぞれ特徴をもつ授業活動を行う。各授業の特徴・焦点目標については、UTAS の各シラバス参照。
総合科目 L 系列(一部)において、一列授業で扱うテーマ・内容・活動と連動しつつ、相互に相補的な活動を行う。『基礎科目 日本語一列』で扱うテーマやそのテーマでの読解・聴解・協働タスク・ディスカッション等の活動と連動して、一方で、正確な精読、構文・語彙習得（要約・文作・文章構成等、ライティングを含む）のための活動を行い、一方で、アクティブラーニングの発表・プレゼンテーション・発音演習やレポート執筆・論文執筆等、それぞれに特徴をもつ授業活動を行う。
● 総合科目 L 系列『日本語上級』 A1 ターム
「テーマで考え議論する日本語 2: 精読、構文・語彙習得・ライティング中心」(基礎科目 日本語一列②と連動)
「アカデミックプレゼンテーションのための発音」
「アカデミックライティング（1）ー日本語の短編小説を読み、エッセイを書く」
「Academic Writing for Science 1 理系のアカデミック・ライティング 1 (準備編)」
「アカデミックライティング（5）–表現学習のためのツール–」
● 総合科目 L 系列『日本語上級』 A2 ターム
「テーマで考え議論する日本語 2: レポート執筆・発表プレゼンテーション中心」(基礎科目 日本語一列②と連動)
「アカデミックプレゼンテーションのための発音」
「アカデミックライティング（2）ー日本語の短編小説を批判的に読んで書評をまとめる」
「Academic Writing for Science 2 理系のアカデミック・ライティング 2 (実践編)
「アカデミックライティング（6）–ツールを用いた構成と形式の実践–」
「近代日本の童話を読む 」

教科書　その他。／Other

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	開講	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50242	A	火 2	日本語一列②	藤井 聖子	1 年 文科 理科
50935	A	金 2	日本語一列②	藤井 聖子	1 年 文科 理科

身体運動・健康科学実習 II

身体運動・健康科学実習Ⅱ	開講区分	A

授業の目標・概要　週 1 回の授業を通じて
1.身体および身体運動に関する知識を習得する。
2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。
3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。
4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　教養としての身体運動・健康科学
著者（訳者）　東京大学身体運動科学研究室
出版社　東大出版会

履修上の注意　種目選択後の種目変更は、特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。

学習上のアドバイス　盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。

関連ホームページ　https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50043	月 2	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文三(4,11,16)理一(10-11,15,19,25-26)理二三(4,8)
50307	火 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(4,8)文三(18)理一(14,17,20,28,34-35,37-38)
50366	火 4	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(1-3,5,11-12,25)文三(1-3,14-15,17) 理二三(1-3,7,12,17,19)
50564	水 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(6-7,14-15)文三(8)理一(7,9,22,27,30)
50636	水 4	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(16,26-28)文三(9)理一(13,16)理二三(16,20-22)
50747	木 2	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 理一(1-3,12,31-33)理二三(5-6,9-11,15,24)
50790	木 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(9,18,23)文三(6,12)理一(4-5,18)理二三(13-14,23)
50996	金 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(10,13,17,19-20,24)文三(5,7,10) 理一(21,36)理二三(18)
51046	金 4	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(21-22)文三(13,19-20)理一(6,8,23-24,29,39)

身体運動・健康科学実習Ⅱ（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ）

身体運動・健康科学実習Ⅱ（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ）	開講区分	A

授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　教養としての身体運動・健康科学 著者（訳者）　東京大学身体運動科学研究室 出版社　東大出版会
学習上のアドバイス	盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。
関連ホームページ	https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50001	月 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	1 年 文科 理科
50170	月 5	身体運動・健康科学実習Ⅱ（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 1）	実技担当	1 年 文科 理科
50223	火 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	1 年 文科 理科
50481	水 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 2）	実技担当	1 年 文科 理科

基礎科目 社会科学

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50113	A	法Ⅱ	小粥 太郎	法・政治	月 3	1 年 文二 文三 2 年 文二 文三
講義題目		民法について、適宜素材を取捨選択しつつ、簡素な全体像を示したい。 この作業のなかで、法、法の解釈、裁判、立法、法学の意義等に論及する。				
授業の目標概要		立法、裁判、法学研究など、法にかかわる人間の営みの一端を知る。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50458	A	法Ⅱ	小粥 太郎	法・政治	水 1	1 年 文一(1-13) 2 年 文一
講義題目		民法について、適宜素材を取捨選択しつつ、簡素な全体像を示したい。 この作業のなかで、法、法の解釈、裁判、立法、法学の意義等に論及する。				
授業の目標概要		立法、裁判、法学研究など、法にかかわる人間の営みの一端を知る。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50459	A	法Ⅱ	福岡 安都子	法・政治	水 1	1 年 文一(14-21) 2 年 文一
講義題目		公法学のテクストを読む				
授業の目標概要		【文一のみ履修可】 「法 I」で法学につき基礎的知識を習得したことを前提に、引き続き、公法学分野の具体的素材とその読解を通じて、より多角的に法学に対してアプローチすることを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50460	A	法Ⅱ	両角 吉晃	法・政治	水 1	1 年 文一(22-28) 2 年 文一
講義題目		法律文献を読む				
授業の目標概要		【文一のみ履修可】 法 I の授業で法律・法学についての基本的な知識を習得したことを前提に、判例や法学論文、さらに関連する分野の諸文献を読むことを通して、法学を学ぶための基礎的能力を向上させることを目標とします。比較法および法制史に関するテーマにも適宜言及します。 13 回の授業のうち 2 回はフット先生による英語の授業を予定しています。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50114	A	政治Ⅱ	伊藤 武	法・政治	月 3	1 年 文一 2 年 文一
講義題目		比較政治入門～先進国デモクラシーの政治				
授業の目標概要		この授業では、先進国を中心としたデモクラシーを素材に、比較政治学の基礎から発展の入り口までを学びます。 比較政治学は、特定の国や事例を見るだけでは分からない論理や特徴を、比較の手法や理論を用いて明らかにする学問です。授業では、選挙や政党政治のように従来重要とされてきた分野だけでなく、ポピュリズムや専門家の役割など最近特に注目される新分野も扱います。欧米を含む先進国のデモクラシーがこれまで経験し、今抱えている問題は何か、それを解くにはどうしたらよいか、比較と理論の力を借りて考えていきましょう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50482	A	政治Ⅱ	木宮 正史	法・政治	水 1	1 年 文二 文三 2 年 文二 文三
講義題目		政治学の基礎概念と危機の政治学				
授業の目標概要		1 「政治とは何か」「何のために政治学を勉強するのか」という根本的な問いから始まって、政治権力(political power)、政治体制（political regime)、国家(state)、民主主義（democracy)、政党(political party)、選挙(election)及び投票行動(voting behavior)など、政治を理解するために必要な基本的な諸概念に関する理解を深め、今後、政治に関する種々の現象を分析するのに必要な基礎を身につける。 2 以上の問題の根底にあるのは、民主主義（democracy）とは何であり、それがどのように機能しているのかいないのかということであるこうした民主主義（democracy）に関する既存の見方をふまえたうえで、その現代的意味についても考察を深めることにする。 3 ますます緊密度を深める政治と経済との関係について、歴史的な展開過程やいくつかの争点を選んで考察を深める。 4 2020 年は、世界全体を新型コロナ危機は席巻し、グローバル化の趨勢に歯止めがかけられ、各国のナショナルな対応が顕著になった。にもかかわらず、危機への対応に関する各国のパフォーマンスには顕著な差も見られた。なぜ、このような違いが生まれたのかを、比較政治学の見地から分析を試みる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50115	A	経済Ⅱ	竹野 太三	経済・統計	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目		経済学 II				
授業の目標概要		経済学で最も基礎的な理論である価格理論の概要を学びます.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50445	A	経済Ⅱ	中西 徹	経済・統計	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目		国際経済の諸問題				
授業の目標概要		グローバル化が深化してきた現代社会が直面する国際貿易，国際金融，国際開発における具体的な諸問題の考察を通じて，経済学の考え方や分析の枠組みについて理解する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50116	A	社会Ⅱ	井上 彰	社会・社会思想史	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目		分析的政治哲学入門				
授業の目標概要		本授業では、現代英米圏を中心に、政治理論においてメインストリームを形成している「分析的政治哲学」について学習する。分析的政治哲学とは、１９世紀に生まれ、２０世紀初頭から飛躍的な発展を遂げた分析哲学の道具立てを用いて、政治哲学上の鍵概念である「正義」「自由」「平等」等の構成要件を解明し、それらの主題や適用範囲を明らかにする学問領域である。本授業では、２０世紀を代表する分析的政治哲学者であるJ・ロールズの議論をおさえたうえで、そこから発展した様々な論争の検討を通じて、分析的政治哲学の主題や鍵概念の適用範囲をめぐる議論についてわかりやすく解説する。その射程は、グローバル正義論や地球環境（排出権）問題、そして移民問題といった具体的な論点も含まれる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50483	A	数学 I	坂井 秀隆	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目		数学 I				
授業の目標概要		文科生向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である．社会科学に関連する題材を織り交ぜ，数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，担当教員によって順序は異なることがある.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50484	A	数学Ⅱ	志甫 淳	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		数学Ⅱ 文科生向けの，ベクトルと行列に関する基礎的な内容や，計算手法を理解するための科目である．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，担当教員によって順序は異なることがある．この科目を履修した後に，より進んだ内容を総合科目 「数理科学概論 II」で学ぶことができる．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50485	A	数学Ⅱ	関口 英子	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		数学Ⅱ 文科生向けの，ベクトルと行列に関する基礎的な内容や，計算手法を理解するための科目である．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，担当教員によって順序は異なることがある．この科目を履修した後に，より進んだ内容を総合科目 「数理科学概論 II」で学ぶことができる．				

基礎科目 人文科学

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50117	A	哲学Ⅱ	國分 功一郎	哲学・科学史	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		意志と責任について―中動態から考える 古代の言語が有した「中動態 Middle Voice」という態の分析を通じて、「意志」、「責任」、「行為」、「権力」、「選択」などの概念について考えます。哲学をベースとしつつ、言語学、医学、政治理論など多分野の研究成果を参考にしながら進めていく講義になります。 私たちはいつも行為を能動と受動に分類します。「する」なら能動、「される」なら受動です。しかし実際の行為はそう簡単にどちらかに分類できるものではありません。たとえば哲学者ハンナ・アレントは、銃で脅された人が自分のお金を相手に手渡すという行為について分析していますが、この行為は能動でしょうか受動でしょうか。同様の例はいくらでもあげることができるでしょう。 能動と受動の区別は、私たちが英文法などで学ぶ能動態と受動態の区別に由来するものと考えることができます。私たちが学んだのは、態には能動態の受動態の二つがあり、そしてその二つしかないということです。一度この区別に親しんでしまうと、これは必須のものに思えてきます。しかし言語学者エミール・バンヴェニストが明らかにしたように、この区別は少しも普遍的ではなく、多くの言語がこの区別を知りません。 また歴史的に見ても、比較的新しい時代につくられた区別であることが分かっています。というのも、かつて印欧語の動詞は、能動態と受動態の対立ではなく、能動態と中動態の対立の中にあったからです。動詞の意味は今とは全く異なる仕方で配分されていました。言い換えれば、動詞は途方もない変革を経て今に至っているということです。 この変革はなぜ起こったのでしょうか？ この問いを突き詰めていくと、それが「意志」と「責任」という概念に関わっていることが分かります。またこの問いを通じて、様々な哲学者の概念に接近することができます。ミシェル・フーコーの「権力」、マルティン・ハイデガーの「放下」、スピノザの「自由」など、様々な哲学者の概念が中動態と深い関係にあるからです。 これらの哲学者の助けを借りながら、上にキーワードとして掲げた「意志」「責任」「行為」「権力」「選択」を分析していきます。これらはいずれも現代社会を考える上で避けて通ることのできない概念です。この講義は、現代社会の諸問題に古代の言語から迫っていく試みであると言えます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50446	A	哲学Ⅱ	山本 芳久	哲学・科学史	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		哲学の原典を読む 西洋哲学の基礎を、その原点に即しながら学ぶ。具体的には、古代ギリシアの哲学者アリストテレスの『ニコマコス倫理学』と、西洋中世の哲学者トマス・アクィナスの『神学大全』を中心に、基本的なテクストを抜粋し、日本語で丁寧に読解していく。関連する範囲で、他の哲学者のテクストも読解する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50118	A	倫理Ⅱ	田中 智彦	哲学・科学史	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		〈いのち〉と〈ひと〉のいまを問う In order to have a sense of who we are, we have to have a notion of how we have become, and of where we are going. Charles Taylor 私たちは今日、いのちとひとをめぐって倫理的にどのような状況にあるのだろうか。またその状況は、どのようにして今日あるようになったのだろうか。どのような明日をもたらしうるのだろうか。 この授業ではこうした問いについて考えてゆきたい。その過程において、私たちの生・病・老・死を取り囲んでいるいわば「4 つの bio」――生権力（biopower）・生政治（biopolitics）・生命倫理（bioethics）・生命科学技術（biotechnology）――を歴史的・批判的に検討することになるだろう。 したがって、倫理の諸理論を概説するという形はとらない。むしろ過去の、また現在の具体的な事例をとりあげ、そこにどのような問題を見いだすか、それらをどのように考えるかに関して一つの視座を示すことをつうじて、受講者一人ひとりが「ひととして限りあるいのちをいかに生きるべきか」という問いを自ら探究する手がかりを提供したいと思っている。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50447	A	歴史Ⅰ	黛 秋津	歴史学	火 5	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要		歴史学の思考法（1） 「歴史を学んで何になるんだろう」――年号や人名の暗記に苦しんだ受験勉強の最中に、そんな風に思ったことはないだろうか。しかし歴史学とはもちろん暗記ではない。「史料に基づき過去の人間生活の事象を研究する学問」である。それは専門的な学問領域であると同時に、“歴史学的にみる・考える”という普遍的な思考力を身に付けるためのトレーニングでもある。物事を常に長期的な視野で見る姿勢、経験不可能な物事に対するリアルな推測力、「現在」を相対的に視る力――歴史学によって必然的に養われるこれらの力（＝歴史学的思考）は、過去を振り返るときだけでなく、今を生き、未来を踏み誤らないためにも必要不可欠のものだろう。 こうした認識に基づき、前期課程の学生が、歴史学的思考法とは何かを知り、“歴史学的にみる・考える”力を養うことができるよう、教養学部の歴史学教員は、「歴史Ⅰ：歴史学の思考法（1）」と「歴史Ⅱ：歴史学の思考法（2）」のふたつの授業をリレー講義形式で行うことにした。いずれも5名ずつの教員からなり、両方受講しても、いずれか一方を受講しても差し支えないよう、内容やバランスを加味して構成してある。 歴史学の研究とは、どのような発想と手法によって進められ、その結果どのような歴史像が描き出されるのか。歴史学を専門的に学びたい学生ばかりでなく、歴史学的思考法を身につけたいと考えるすべての文科生に受講してほしい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50448	A	歴史Ⅱ	山口 輝臣	歴史学	火 5	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要		歴史学の思考法（2） 「歴史を学んで何になるんだろう」――年号や人名の暗記に苦しんだ受験勉強の最中に、そんな風に思ったことはないだろうか。しかし歴史学とはもちろん暗記ではない。「史料に基づき過去の人間生活の事象を研究する学問」である。それは専門的な学問領域であると同時に、“歴史学的にみる・考える”という普遍的な思考力を身に付けるためのトレーニングでもある。物事を常に長期的な視野で見る姿勢、経験不可能な物事に対するリアルな推測力、「現在」を相対的に視る力――歴史学によって必然的に養われるこれらの力（＝歴史学的思考）は、過去を振り返るときだけでなく、今を生き、未来を踏み誤らないためにも必要不可欠のものだろう。 こうした認識に基づき、前期課程の学生が、歴史学的思考法とは何かを知り、“歴史学的にみる・考える”力を養うことができるよう、教養学部の歴史学教員は、「歴史Ⅰ：歴史学の思考法（1）」と「歴史Ⅱ：歴史学の思考法（2）」のふたつの授業をリレー講義形式で行うことにした。いずれも5名ずつの教員からなり、両方受講しても、いずれか一方を受講しても差し支えないよう、内容やバランスを加味して構成してある。 歴史学の研究とは、どのような発想と手法によって進められ、その結果どのような歴史像が描き出されるのか。歴史学を専門的に学びたい学生ばかりでなく、歴史学的思考法を身につけたいと考えるすべての文科生に受講してほしい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50449	A	ことばと文学Ⅱ	田口 一郎	国文・漢文学部会	火 5	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要		中国古典文学略史 中国古典文学の歴史を概観する。 唐・宋から明・清にかけての文学の特徴と変遷を理解し，基本的知識（作品・作者等）を身につける。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50450	A	ことばと文学Ⅲ	出口 智之	国文・漢文学部会	火 5	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要		明治文学と口絵・挿絵 日本近代文化の研究はこれまで、小説と口絵・挿絵とが分断される形で行われてきたし、近代文学を収めた現行の書籍のほとんども、絵画は省いた形で流通している。しかし実際には、江戸以来の伝統を引継ぎ、小説はつねに絵画とセットで読者のもとに届けられていた。加えて、これまでほとんど明らかにされてこなかったが、明治時代の多くの文学者たちは自作に附される口絵・挿絵に指示を出しており、そのことを前提に小説を書いてすらいた。すなわち、明治文学の理解のためには、小説と口絵・挿絵とをセットで考えることが欠かせない。 本講義ではこうした視点に立って、おもに明治期の作品を新しい角度から検討するとともに、文学研究・美術史研究・出版史研究・メディア研究などに分断・細分化されてきた研究領域を越境する視点と発想を示してゆきたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50119	A	ことばと文学Ⅳ	石原 あえか	ドイツ語	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目		「科学する詩人＝自然研究者としてのゲーテ 自然科学と文学のはざまで」				
授業の目標概要		ドイツを代表する詩人とされるゲーテ（1749-1832）の名前や作品名はすぐ思い浮かんでも、「彼の作品そのものはまだ読んだことがない」という人も多いのではないでしょうか？ また〈文豪〉というイメージから、いつも書斎の机に向かって原稿を書いている姿を連想しがちなのでは？ でも実際の詩人ゲーテはむしろアクティブで、しかも彼の詩作品には、当時の自然科学知識が豊富に使われています。この授業では、高校までの授業、あるいはおそらく一般に言う「趣味の読書」とは異なる、大学ならではの作品解釈のひとつとして、〈自然科学〉あるいは〈科学史〉をキーワードとした方法を提示します。言い換えれば、作品の成立背景・時代考証などを行うことによって、200 年以上前に書かれたテクストをどれだけ理解し、楽しめるか、またゲーテ作品の現代に通じる意味や重要性を考える訓練をしてみたいと思います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50120	A	心理Ⅱ	本吉 勇	心理・教育学	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目		心理学概論				
授業の目標概要		人間は，環境から受け取った光や音の情報をもとに，外界のモノや出来事を認識し，過去の記憶や与えられた状況に応じて適切に反応し，また他の人間と相互作用することができる．このすぐれて知的な能力はすべて脳の情報処理によるものである．認知科学(cognitive science)とは，心理学・神経生理学・情報工学が密接に結びつきながら，その仕組みを解明し制御することをめざす巨大な学問領域である． 本講義では，多くの錯覚デモや模擬実験を体験しながら，知覚，認識，記憶，感情，思考，社会性といった「人の心の基本的な仕組み及び働き」を支えている脳情報処理の原理原則と，その背後にある生理学的・計算論的メカニズムの基礎を学ぶ．それによって，進化と学習が生み出した優れた情報処理マシンとしての脳と人間を理解するための視点を身につけることをめざす．人工知能を含めた現代と未来の脳工学技術や「心理学の成り立ち」にも触れる．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50486	A	心理Ⅱ	伊村 知子	心理・教育学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目		心理学概論				
授業の目標概要		ヒトの心は発達とともに変化するものであると同時に環境への適応をとおして形づくられた進化の産物である。この講義では、発達と進化の視点から心の成り立ちをとらえる比較認知科学の立場から、人間の心の基本的な仕組み及び働き、人間に固有の心の特徴とその進化的起源、心の普遍性と多様性について理解を深めるとともに、人間とは何かという問いについて考える。				

基礎実験

基礎実験	開講区分	A 1 / A 2

授業の目標・概要
自然科学の学習に不可欠な基本的な知識・技能を習得する.
1）将来の自然科学の発展に対応できるように、自然科学諸分野の基礎的な実験方法と概念を理解できるようにする.
2）基礎講義の内容を、基礎実験によってよりよく理解できるようにする。
3）未知の自然現象の解明を目的とする研究実験に必要な観察力・姿勢を養い、みずから実験を計画する場合に不可欠な基本的技法を習得できるようにする.

授業の方法
月曜から金曜の指定された曜日に週１回受講する．実施日程、実験種目ローテーション、事前準備などに関しては、UTAS もしくは ITC-LMS に掲示するので、前もって確認しておくこと.

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『基礎物理学実験』、 『基礎化学実験』
著者（訳者）　基礎物理学実験テキスト編集委員会、教養学部化学部会
出版社　学術図書出版社、 東京化学同人

履修上の注意
過去ノートの持ち込みはカンニング行為とみなす。
実験室内は飲食禁止.

関連ホームページ
https://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/kisobutsurigakujikken/
http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/chemistry/exp/index.html

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	開講	曜限	科目名	対象クラス
50074	A 1	月 3, 月 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
50344	A 1	火 3, 火 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
50612	A 1	水 3, 水 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	1 年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
50814	A 1	木 3, 木 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	1 年 理一(8,10-11,15-17,19)
51018	A 1	金 3, 金 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	1 年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
60004	A 2	月 3, 月 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
60030	A 2	火 3, 火 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
60078	A 2	水 3, 水 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1 年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
60084	A 2	木 3, 木 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1 年 理一(8,10-11,15-17,19)
60089	A 2	金 3, 金 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1 年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
50075	A 1	月 3, 月 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
50345	A 1	火 3, 火 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
50613	A 1	水 3, 水 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1 年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
50815	A 1	木 3, 木 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1 年 理一(8,10-11,15-17,19)
51019	A 1	金 3, 金 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1 年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
60005	A 2	月 3, 月 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
60031	A 2	火 3, 火 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
60079	A 2	水 3, 水 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
60085	A 2	木 3, 木 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(8,10-11,15-17,19)
60090	A 2	金 3, 金 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
50103	A 1	月 3, 月 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(5-6,9,11) 奇数
50348	A 1	火 3, 火 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(10,16,21,24) 奇数
50618	A 1	水 3, 水 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(14-15,17-18) 奇数
50823	A 1	木 3, 木 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(4,8,19-20,22) 奇数
51030	A 1	金 3, 金 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(1-3,7,12-13,23) 奇数
60006	A 2	月 3, 月 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(5-6,9,11) 偶数

基礎実験

60032	A 2	火 3, 火 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(10,16,21,24) 偶数
60080	A 2	水 3, 水 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(14-15,17-18) 偶数
60086	A 2	木 3, 木 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(4,8,19-20,22) 偶数
60091	A 2	金 3, 金 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(1-3,7,12-13,23) 偶数
50104	A 1	月 3, 月 4	基礎化学実験	1 年 理二三(5-6,9,11) 偶数
50349	A 1	火 3, 火 4	基礎化学実験	1 年 理二三(10,16,21,24) 偶数
50619	A 1	水 3, 水 4	基礎化学実験	1 年 理二三(14-15,17-18) 偶数
50824	A 1	木 3, 木 4	基礎化学実験	1 年 理二三(4,8,19-20,22) 偶数
51031	A 1	金 3, 金 4	基礎化学実験	1 年 理二三(1-3,7,12-13,23) 偶数
60007	A 2	月 3, 月 4	基礎化学実験	1 年 理二三(5-6,9,11) 奇数
60033	A 2	火 3, 火 4	基礎化学実験	1 年 理二三(10,16,21,24) 奇数
60081	A 2	水 3, 水 4	基礎化学実験	1 年 理二三(14-15,17-18) 奇数
60087	A 2	木 3, 木 4	基礎化学実験	1 年 理二三(4,8,19-20,22) 奇数
60092	A 2	金 3, 金 4	基礎化学実験	1 年 理二三(1-3,7,12-13,23) 奇数

微分積分学②

微分積分学②	開講区分	A

授業の目標・概要

代数学，幾何学とともに，数学の根幹をなす解析学について，その基本的な考え方や方法を学ぶ．力学における運動方程式などに代表されるように，自然界の多くの現象が，微分積分学を用いて記述される．微分積分学は，あらゆる科学技術の基礎となっている．微分積分学は 17 世紀末に，ニュートンやライプニッツらによって創成された．ニュートンは量の変化の記述に注目し，速度，加速度などの物理量を表現するために微分の概念を導入した．「微分積分学の基本定理」により，区分求積法によって定義される積分は，微分の逆操作であることが，明確に認識されるようになった．

微分積分学では，極限をとること，無限和をとることなどの操作が重要な役割を果たす．このような微分積分学の基礎となる極限の厳密な定義は，19 世紀後半から整えられていった．この授業では，「数理科学基礎」で学んだ極限の扱いに基づき，微分積分学の基礎と応用を学ぶ．具体的な項目は以下の通りである． S2 タームで項目 1,2 を扱い，A セメスターで項目 3〜6 を扱うことを目安とするが，担当教員によって，順序や内容に一部変更が加えられる場合がある．

1. 一変数関数の微分 (微分の基本性質，テーラーの定理，テーラー展開)
2. 多変数関数の微分 (偏微分と全微分，合成関数の微分の連鎖律)
3. 多変数関数の微分（続き）(高階偏微分，多変数のテーラーの定理とその応用)
4. 一変数関数の積分 (区分求積法，微分積分学の基本定理)
5. 多変数関数の積分 (多重積分と累次積分，多重積分の変数変換公式)
6. 無限級数と広義積分 (関数列の収束，広義積分)

実数の連続性に基づく微分積分学の基礎の厳密な展開は，2 年次 S セメスターの総合科目「解析学基礎」で学ぶことができる．将来，本格的に数学を使う分野に進学しようという場合は「解析学基礎」によって微分積分学の理論的基礎を修得することをすすめる．なお，「解析学基礎」は 1 年次 S セメスターでも履修することができる．また，2 年次 S セメスターの総合科目として，「微分積分学」の直接的な続きにあたる「微分積分学続論」，および「微分積分学」で学んだ事項の応用にあたる「常微分方程式」，「ベクトル解析」が開講される．

関連ホームページ　https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/calculus.html

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50062	月 2	金井 雅彦	1 年 理二三(14-17)
50063	月 2	山浦 義彦	1 年 理二三(18-20)
50064	月 2	岩木 耕平	1 年 理二三(21-24)
50153	月 4	高山 茂晴	1 年 理一(20-23)
50154	月 4	松田 茂樹	1 年 理一(24-27)
50155	月 4	WILLOX RALPH	1 年 理一(28-31)
50156	月 4	吉野 太郎	1 年 理一(32-35)
50157	月 4	小木曽 啓示	1 年 理一(36-39)
50408	火 4	大坪 紀之	1 年 理一(1,17-19)
50409	火 4	大場 清	1 年 理一(2,4-5,8)
50410	火 4	三竹 大寿	1 年 理一(3,11-13)
50411	火 4	津田 照久	1 年 理一(6-7,9-10)
50412	火 4	斉藤 義久	1 年 理一(14-16)
50615	水 3	岡崎 龍太郎	1 年 理二三(1-7)
50616	水 3	三竹 大寿	1 年 理二三(8-10)
50617	水 3	辻 雄	1 年 理二三(11-13)

線型代数学②

線型代数学②	開講区分	A

授業の目標・概要

線型代数学の萌芽である行列は多変数の連立一次方程式を効率的，統一的に扱う手法として発明された．また，行列式は方程式の解がただ一つ存在するための条件として発見された．ベクトルの概念の起こりは古典力学にあり，その意味で線型代数学の歴史は古い．しかし行列の本質である線型性概念の真の威力が認識され，数学の一分野として線型代数学が確立したのは新しく，20 世紀にはいってのことであった．
自然界や社会科学における現象は一般には複雑で一次方程式で表せることはまれだが，一次近似によりその本質的な部分をとらえることは常套手段であり，線型代数学の考え方は非常に有効である．また，量子力学や，フーリエ解析などに現れる無限次元のベクトル空間を扱うための基礎ともなっており，線型代数学の応用については枚挙にいとまがない． このように，線型代数学の考え方は現代数学や理論物理学においてはもちろんのこと，工学，農学，医学，経済学などにおいても基本的な考え方として浸透しており，応用範囲も広い．
線型代数学は理論的には単純で明快であるが，その反面，抽象的な概念操作にある程度慣れないと理解しにくい面もある．線型代数学を身につけるには，演習などのさまざまな問題にあたり，理解を深めることが必要である．「数理科学基礎」において学んだベクトルと線型写像に関する知識を前提とする．
S2 タームで UTAS シラバス「授業計画」の項目 1,2 を扱い，A セメスターで項目 3〜6 を扱うことを目安とするが，担当教員によって，順序や内容に一部変更が加えられる場合がある．

関連ホームページ　https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/linear_algebra.html

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50475	水 1	河澄 響矢	1 年 理二三(1-7)
50476	水 1	小林 正典	1 年 理二三(8-10)
50477	水 1	植野 義明	1 年 理二三(11-13)
50478	水 1	村上 順	1 年 理二三(14-17)
50479	水 1	高木 俊輔	1 年 理二三(18-20)
50480	水 1	白石 潤一	1 年 理二三(21-24)
50817	木 3	飯田 正敏	1 年 理一(20-23)
50818	木 3	寺田 至	1 年 理一(24-27)
50819	木 3	山﨑 満	1 年 理一(28-31)
50820	木 3	梶原 健	1 年 理一(32-35)
50821	木 3	下川 航也	1 年 理一(36-39)
51012	金 3	入江 慶	1 年 理一(1,17-19)
51013	金 3	関口 英子	1 年 理一(2,4-5,8)
51014	金 3	戸瀬 信之	1 年 理一(3,11-13)
51015	金 3	松井 千尋	1 年 理一(6-7,9-10)
51016	金 3	竹内 知哉	1 年 理一(14-16)

微分積分学演習・線型代数学演習

微分積分学演習・線型代数学演習	
授業の目標・概要	数学は講義を聴いただけでは意味を理解することが難しく，自分の手を動かして計算や証明をやってみる必要がある．この２つの科目は微分積分学や線型代数学の講義と一体であり，練習問題を解くことによって講義に対する理解を助け，応用力を養う．講義内容に即した応用問題の他に，講義の理解を深めるための証明問題や，講義で触れられなかった内容に関する補足問題を適宜付け加えることもある．
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/

※講義の詳細については、UTAS も参照すること

時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	対象クラス
50107	A	月 3	微分積分学演習	今野 北斗	1 年 理二三(14-17)
50108	A	月 3	線型代数学演習	鮑 園園	1 年 理二三(14-17)
50109	A	月 3	微分積分学演習	鮑 園園	1 年 理二三(18-20)
50110	A	月 3	線型代数学演習	高木 俊輔	1 年 理二三(18-20)
50111	A	月 3	微分積分学演習	間瀬 崇史	1 年 理二三(21-24)
50112	A	月 3	線型代数学演習	間瀬 崇史	1 年 理二三(21-24)
50429	A	火 5	微分積分学演習	牛腸 徹	1 年 理一(1,17-19)
50430	A	火 5	線型代数学演習	牛腸 徹	1 年 理一(1,17-19)
50431	A	火 5	微分積分学演習	清野 和彦	1 年 理一(2,4-5,8)
50432	A	火 5	線型代数学演習	清野 和彦	1 年 理一(2,4-5,8)
50433	A	火 5	微分積分学演習	三竹 大寿	1 年 理一(3,11-13)
50434	A	火 5	線型代数学演習	中村 勇哉	1 年 理一(3,11-13)
50435	A	火 5	微分積分学演習	津田 照久	1 年 理一(6-7,9-10)
50436	A	火 5	線型代数学演習	松井 千尋	1 年 理一(6-7,9-10)
50437	A	火 5	微分積分学演習	斉藤 義久	1 年 理一(14-16)
50438	A	火 5	線型代数学演習	竹内 知哉	1 年 理一(14-16)
50647	A	水 4	微分積分学演習	牛腸 徹	1 年 理二三(1-7)
50648	A	水 4	線型代数学演習	河澄 響矢	1 年 理二三(1-7)
50649	A	水 4	微分積分学演習	三竹 大寿	1 年 理二三(8-10)
50650	A	水 4	線型代数学演習	牛腸 徹	1 年 理二三(8-10)
50651	A	水 4	微分積分学演習	辻 雄	1 年 理二三(11-13)
50652	A	水 4	線型代数学演習	田中 雄一郎	1 年 理二三(11-13)
50852	A	木 4	微分積分学演習	中村 勇哉	1 年 理一(20-23)
50853	A	木 4	線型代数学演習	中村 勇哉	1 年 理一(20-23)
50854	A	木 4	微分積分学演習	山本 宏子	1 年 理一(24-27)
50855	A	木 4	線型代数学演習	寺田 至	1 年 理一(24-27)
50856	A	木 4	微分積分学演習	WILLOX RALPH	1 年 理一(28-31)
50857	A	木 4	線型代数学演習	山﨑 満	1 年 理一(28-31)
50858	A	木 4	微分積分学演習	吉野 太郎	1 年 理一(32-35)
50859	A	木 4	線型代数学演習	梶原 健	1 年 理一(32-35)
50860	A	木 4	微分積分学演習	清野 和彦	1 年 理一(36-39)
50861	A	木 4	線型代数学演習	清野 和彦	1 年 理一(36-39)

数理科学基礎（補修）

数理科学基礎（補修）	
授業の目標・概要	科学・技術の礎となる数理科学の基礎的内容を学び，高等学校で学んだ数学から大学で学ぶ数学への橋渡しとする． 講義は微分積分と線型代数の二つのテーマからなる．本科目の講義内容は S2 タームから始まる「微分積分学」「線型代数学」に接続する．
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/ms_s1.html

※講義の詳細については、UTAS も参照すること

時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	対象クラス
50171	A	月 5	数理科学基礎（補修）	寺田 至	1 年 理科 2 年 理科
50671	A	水 5	数理科学基礎（補修）	高山 茂晴	1 年 理科 2 年 理科

電磁気学A

電磁気学A	開講区分	A

授業の目標・概要

電気・磁気の法則を電荷やその運動による電流が作り出す電磁場の法則として捉える事によって、電磁気現象を統一的に理解し、基礎方程式としてのマクスウェル方程式に至る。また、代表的な例題の解法を通じて、その内容と応用の理解を深める。 主な項目は以下の通りであるが，実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に＊印のついた項目は省略される場合がある。

1.序論：自然界の基本的力と電磁場、ローレンツ力、電荷の保存
2.静電場
・クーロンの法則とガウスの法則
・電位とその性質
・静電場の微分方程式（ガウスの定理、ストークスの定理）
・導体系
・静電場のエネルギーとストレス
3.定常電流
・オームの法則、連続の方程式
・回路への応用（キルヒホフの法則）
・ジュール熱
4.定常電流による磁場
・アンペールの法則
・静磁場の微分方程式
・ベクトルポテンシャル
・ビオー・サヴァールの法則
・円電流と等価磁石
・単位系
5.電磁誘導とマクスウェル方程式
・ファラデイ・レンツの法則
・変位電流と連続の方程式
・マクスウェル方程式
・電磁場のエネルギーと仕事
・平面電磁波
・準定常電磁場と交流回路
＊6.物質中の電磁場
＊考え方：分極電荷、磁化電流
＊誘電体、磁性体（常磁性、反磁性、強磁性）
＊異なった物質の間の境界条件
＊物質中の電磁場エネルギー

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50535	水 2	下村 裕	1 年 理一(1-2,30-32)
50537	水 2	深津 晋	1 年 理一(3-6)
50544	水 2	大川 祐司	1 年 理一(33-35)
50545	水 2	多田 司	1 年 理一(37-39)
50546	水 2	大井 万紀人	1 年 理二三(1-3,7-8,11)
50548	水 2	森松 治	1 年 理二三(19-20,22,24)
50751	木 2	金澤 直也	1 年 理一(7-9)
50763	木 2	前田 京剛	1 年 理一(19,21-22)
50764	木 2	下村 裕	1 年 理一(23-24,26)
50766	木 2	守田 佳史	1 年 理一(27-29)
50769	木 2	竹内 誠	1 年 理二三(4,12-13,16)
50771	木 2	小林 研介	1 年 理二三(14,17-18,23)
51058	金 4	秋山 英文	1 年 理一(10-12)
51060	金 4	石原 秀至	1 年 理一(13-15)
51061	金 4	大谷 宗久	1 年 理一(16-18)
51063	金 4	年吉 洋	1 年 理一(20,25,36)
51071	金 4	藤山 茂樹	1 年 理二三(5-6,9)
51072	金 4	町田 友樹	1 年 理二三(10,15,21)

電磁気学Ｂ

電磁気学Ｂ	開講区分	A

授業の目標・概要

入学試験で物理学を選択しなかった学生で希望する者を対象とする。
高等学校で未履修であること前提とした講義を行う。
講義では演習、宿題等を十分に課する。
目的は大学レベルの電磁気学を習得してもらう事である。入試において
物理学を選択したものは受講資格がない。主な内容は以下の通り。
1.序論：自然界の基本的力と電磁場、ローレンツ力、電荷の保存
2.静電場
・クーロンの法則とガウスの法則
・電位とその性質
・静電場の微分方程式（ガウスの定理、ストークスの定理）
・導体系、導体に働く力、静電場のエネルギーとストレス
演習
3.定常電流
・オームの法則、連続の方程式
・回路への応用（キルヒホフの法則）
・ジュール熱
4.定常電流による磁場
・アンペールの法則
・ビオー・サヴァールの法則
・電流に働く力
・円電流と等価磁石
・磁場のエネルギー
・単位系
5.時間的に変動する電磁場
・ファラデイ・レンツの電磁誘導の法則
・交流回路
6.変位電流とマクスウェル方程式
・変位電流と電荷の保存
・マクスウェル方程式 （積分形）
・平面電磁波
演習

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50536	水 2	米谷 民明	1 年 理一(1-6,30-35,37-39)理二三(1-3,7-8,11,19-20,22,24)
50752	木 2	菊川 芳夫	1 年 理一(7-9,19,21-24,26-29)理二三(4,12-14,16-18,23)
51059	金 4	國場 敦夫	1 年 理一(10-18,20,25,36)理二三(5-6,9-10,15,21)

構造化学

構造化学	開講区分	A

授業の目標・概要

物質の多様な構造や性質，反応を体系的に理解するには，原子や分子に基づいた化学的な考察が不可欠である．本講義では，初歩的な量子論に基づいて，原子の構造や周期律，分子の化学結合の基礎を学ぶ．理論的な基礎だけでなく，契機となった実験結果や身近な物質・現象を通して理解を深めることを目指す．各教員が共通して取り上げる具体的な項目は，下記の通りである．

1. 量子論の必要性
   ・原子の発光スペクトル(離散的なエネルギー準位，Bohr 原子)
   ・電子の粒子性と波動性(電子回折，物質波)
2. 量子論の基礎
   ・Schrödinger 方程式(原子・分子の量子論の出発点)
   ・1 次元箱中の電子(ポリエンの吸収スペクトルと色)
   ・2 原子分子の振動(振動スペクトルと分子構造)
3. 原子の構造と性質
   ・水素原子(量子数，エネルギー準位，原子軌道)
   ・Pauli の排他原理(電子スピン)
   ・多電子原子(元素の周期律と構成原理)
4. 化学結合と分子
   ・水素分子イオン(分子軌道，化学結合)
   ・2 原子分子(分子の性質と電子構造)

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50055	月 2	立川 仁典	1 年 理一(5,20,33-34)
50056	月 2	十代 健	1 年 理一(21-22,31)
50060	月 2	村田 昌之	1 年 理二三(5-6,9,11)
50100	月 3	山口 和也	1 年 理一(17,29-30,35)
50106	月 3	横川 大輔	1 年 理二三(10,12-13)
50211	火 1	河野 淳也	1 年 理一(7,12,27)
50217	火 1	青木 優	1 年 理二三(7,15,20)
50342	火 3	齊藤 圭亮	1 年 理一(8,11,13)
50347	火 3	小安 喜一郎	1 年 理二三(4,8,14,18)
50351	火 3	横川 大輔	1 年 理二三(19,22-23)
50610	水 3	中田 真秀	1 年 理一(4,16,18-19)
50614	水 3	澁田 靖	1 年 理一(24,28,36,38)
50641	水 4	石井 邦彦	1 年 理一(10,14-15)
50644	水 4	奥野 将成	1 年 理一(23,25-26)
50645	水 4	小島 達央	1 年 理一(32,37,39)
50812	木 3	安池 智一	1 年 理一(1-3,6,9)
50822	木 3	長谷川 宗良	1 年 理二三(1-3,16-17,21,24)

構造化学 α	開講区分	A

授業の目標・概要

物質の多様な構造や性質、反応を体系的に理解するには、原子や分子に基づいた化学的な考察が不可欠である.「構造化学 α」では「構造化学」の内容（原子の構造や周期律，分子の化学結合の基礎など）を学びながら，原子・分子の構造に関する理論や実験技術が，現代の化学やその他の分野にどのように活かされているかを解説し,「構造化学」で学ぶ知見が幅広い科学分野の基盤となっていることを示す．具体的には，地球科学（地球大気化学）や天文学（星間化学）の最先端の研究を例として，以下の内容を解説する．

・量子トンネル効果ですすむ化学反応
・分子の振動と地球大気・星間空間のスペクトル観測
・分子間力と星間物質の化学組成とその構造（結晶／アモルファス）
・そのほか関連事項（より身近な物質や現象についての構造化学）

また可能であれば，分光測定などに関する実験をおこない，得られた結果について受講生と議論する．

「構造化学 α」では,「基礎化学」の前半や「構造化学」で学ぶ内容については速習し，その後は各回の講義や課題を通して適宜補完する形式をとるので，受講者は「基礎化学」の講義を受講済みであることが望ましい．

また本講義は，受講者数を 20 名程度に制限するので，ガイダンス時に原子の構造や分子の化学結合などに関する基礎学力の確認と学習意欲に関する調査を行う．結果については，ガイダンス後一週間以内に第二回以降の受講対象者の学生証番号を正門横掲示板，およびアドバンスト理科ホームページ(http://kis.c.u-tokyo.ac.jp/ADRK.html)に発表する予定である．

関連ホームページ　http://kis.c.u-tokyo.ac.jp/ADRK.html

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50902	木 6	羽馬 哲也	1 年 理科
51105	金 6	羽馬 哲也	1 年 理科

生命科学 II

生命科学Ⅱ	開講区分	A

授業の目標・概要

細胞生物学を中心に細胞の構造と機能の初歩を講義する。内容はほぼ以下の通りであるが、講義の具体的な進め方は教員によって多少異なることもある。開講時の説明をよく聞くこと。

1．細胞内輸送
2．細胞骨格と細胞運動
3．細胞間・細胞内情報伝達
4．神経伝達と機能
5．細胞周期
6．動物・植物の発生
7．遺伝子の発現制御
8．ゲノムと進化
9．生物多様性

教科書

次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　理系総合のための生命科学－分子・細胞・個体から知る“生命”のしくみ－第 4 版
著者(訳者)　東京大学生命科学教科書編集委員会 編
出版社　（株）羊土社
ISBN　978-4-7581-2086-9

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50158	月 4	豊島 陽子	1 年 理二三(1-3,10,14,16-17)
50160	月 4	加納 純子	1 年 理二三(18,20-22)
50922	金 1	増田 建、道上 達男	1 年 理二三(7,9,11-12)
50928	金 1	佐藤 健	1 年 理二三(13,15,23-24)
51032	金 3	山田 貴富	1 年 理二三(4-6,8,19)

展開科目 社会科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51296	A	社会科学ゼミナール（法・政治）	伊藤 洋一	法学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		オルテガ「大衆の反逆」を読む 現代に氾濫する大量の情報を主体的に選択した上で、それに基づく厳密な思考を積重ねつつ、歴史的・理論的な視点に立ち、自身の見解を形成すること、それを公共の空間での批判に耐えるような形で、言葉で表現する能力を持つことは、法と政治を学ぶ際には欠かせません。 しかし、そのような能力を培う場は、高校にも大学教養課程にも乏しいのが現状です。そこで、その欠を少しでも埋めようと、法学部の複数のスタッフが、この枠で演習形式の授業を行ってきました。 古典的な著作の精密な読解、主張を着実に伝える論述の方法、お互いの見解を深める議論の応酬、こうした訓練を積まないかぎり、十分に法を理解し、政治を考えることは困難です。このような能力は、司法・行政・政治を職業に選ぶ者にはもちろん、それ以外の場合でも、社会の一員として好むと好まざるとにかかわらず法と政治に関与する場面(わかりやすい例は選挙と裁判)で必要となる、貴重な素養です。 第 1 回授業日のガイダンス(オンライン実施を予定)で、演習の趣旨・内容・進め方を説明するので、必ず出席した上で参加を決めてください。 参加資格は、法学部進学希望者・文科 1 類学生には限りません。文系・理系の別も不問です。知的興味を持つ学生諸君を歓迎します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51298	A	社会科学ゼミナール（法・政治）	新田 一郎	法学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		戸籍の社会史 明治～昭和初期の或る一群の戸籍を題材に、資料からいかに問題を析出するか、いかにして調べを進めてゆくかを、さまざまな留意点とともに例示的に学ぶ。戸籍の表面には或る具体的な人間関係が、背景をなす社会制度・法制度に条件づけられて投射されている。表面と背景、それぞれの細部に徹底的にこだわり、戸籍において交錯する「個人」と「制度」を多面的かつ立体的に把握することをめざす。 履修希望者が 10 名を大きく超えた場合は、小テストを課して選考することがあるので、初回授業に必ず参加すること。受講許可は第 2 回目までに告知する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51297	A	社会科学ゼミナール（法・政治）	谷口 将紀	法学部	金 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		現代日本政治論入門 駒場キャンパス「新書で読む現代日本政治」ゼミが，約 20 年ぶりに復活します。 現代日本政治に関する，最近出版された新書を毎回 1 冊講読します。新書だからと侮ってはいけません。A 5 サイズの本の約半分の分量がありますし，質的にも（この授業で取り上げる本の多くは）研究書に準じる水準にあります。 これらを毎回全員が熟読することを通じて，政治学・現代日本政治論を学修する上での素養を養います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50121	A	社会科学ゼミナール（経済・統計）	清水 剛	経済・統計	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		戦前の企業経営から「コロナ後」を考える 本ゼミナールでは、戦前の企業経営に関する文献について、大体 1 － 2 章程度を読みながら（一部戦後の文献も含まれる）、戦前の企業に関わる人々が何を考え、どのように経営に関わっていたのか、それは戦後とはいかにことなるのか、そのような相違は「コロナ後」の経営や社会にどのような示唆をもたらすのかを考えていく。				

展開科目 社会科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50352	A	社会科学ゼミナール（社会・社会思想史）	橋本 摂子	社会・社会思想史	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		質的調査の方法				
授業の目標概要		社会調査は、量的調査と質的調査の二つに大別されるが、本授業では、質的調査（聞き取り調査、参与観察法、ドキュメント分析、ライフストーリー分析、等）の方法、および質的データの分析手法について習得する。社会調査士【F】科目。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50172	A	社会科学ゼミナール（国際関係）	酒井 哲哉	国際関係	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		戦間期日本の外交				
授業の目標概要		戦間期の日本外交の展開を扱った代表的論文を毎回 1 本ずつとりあげながら、東アジアの国際環境と日本国内政治の双方を踏まえつつ、この時期の日本外交について内在的理解を深めることを目標とする。				

展開科目 人文科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50002	A	人文科学ゼミナール (哲学・科学史)	藤川 直也	哲学・科学史	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	言語哲学の古典的文献を読む。					
授業の目標概要	現代の言語哲学の基礎をなす古典的な文献を精読する。特に言語哲学における基本概念の一つである指示をめぐる問題に関する代表的な文献を扱う。現代言語哲学の重要トピックとそれに関する代表的な考え方を学び、言語哲学の専門的な論文を読み研究するための基礎的な知識・手法の獲得を目指す。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51300	A	人文科学ゼミナール (哲学・科学史)	古田 徹也	文学部	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	倫理学の重要文献を日本語で読む					
授業の目標概要	いま読まれるべき倫理学上の重要文献のうち、初学者でも比較的読み通しやすいものを選んで日本語で精読する、基礎的な演習です。 今回は、アイリス・マードック著『善の至高性』(菅豊彦・小林信行訳、九州大学出版会)を通読します。この著作は、現代の倫理学のあり方およびそれに対する批判の可能性を知るうえで重要な位置を占めるものと言ってよいでしょう。 本講義では、この『善の至高性』の読解を通じて、倫理学の基本概念や議論の仕方を学びつつ、同時に、哲学的文献を精読して要約する基本的な技術を身につけることを目指します。 なお、本授業は少人数のゼミナール(演習)として位置づけられるものであるため、受講希望者多数の場合はやむをえず抽選により人数を調整します。受講者の上限は一応 20 名に設定しますが、多少の人数超過は柔軟に認めます。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51299	A	人文科学ゼミナール (哲学・科学史)	横手 裕	文学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	『黄帝内経』を読む					
授業の目標概要	中国医学の根本経典『黄帝内経素問』を一緒に読み、中国医学の考え方の根本を学ぶ。あわせて漢文読解の基礎も身につける。 『素問』冒頭の上古天真論篇から順次読み進めるが、原文とともに『素問』の代表的な注釈である唐の王冰の解説文も読んでみる。テキストは日本の伝統的な訓点送り仮名付きの和刻本をコピーして配布する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50243	A	人文科学ゼミナール (歴史学)	大塚 修	歴史学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	史料から考える中東イスラーム地域					
授業の目標概要	中東イスラーム地域の歴史や文化に関心のある学生を対象とした、英語文献を講読するゼミナールです。この地域の歴史を研究するためには、アラビア文字を使用するアラビア語、ペルシア語、チャガタイ・トルコ語、オスマン・トルコ語といった言語で書かれた史料を分析する必要があります(有名なものでは、タバリー著『預言者たちと諸王の歴史』やラシード・アッディーン著『集史』)。このゼミナールでは、そういったアラビア文字文献の名著の「英語訳」を輪読する作業を通じて、研究の技法を身につけるとともに、中東地域の歴史や文化を学びます。講読文献は、履修希望者の興味や関心に応じて決定します。講読文献は英語ですので、興味がある学生であれば、どなたでも歓迎します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50936	A	人文科学ゼミナール（歴史学）	田中 創	歴史学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　エドワード・ギボン『ローマ帝国衰亡史』を読む

授業の目標概要　古代ローマ史の古典的文献であるエドワード・ギボン『ローマ帝国衰亡史』の第 2 巻（第 17 章から第 26 章）を講読する。18 世紀に書かれた本書は近代歴史学が成立する以前のものであり、学術内容的にはその後の研究によって取って代わられた部分も少なくない。しかし、授業ではそのような小難しいことを論じるのではなく、肩の力を抜いて学生と教員での読み合わせを行い、壮大なスケールを持つこの古典的名著を楽しみたい。ローマ帝政史は一般学生にはなじみの薄いテーマであろうが、分からないことがあれば適宜教員が解説をするので、専門家との読書を通じて、西洋の基礎教養であるローマ史に関する視野・知識を広げる機会にしてもらいたい。

著作の内容としては 4 世紀のコンスタンティノープル建設からいわゆるゲルマン人の大移動開始までのローマ帝国史を扱う。時代のスパンは短いものの、キリスト教のヨーロッパへの浸透をはじめ、コンスタンティヌス帝、背教者ユリアヌス、アタナシウスの活躍など見どころと教養的知識の多い箇所であり、歴史だけでなく、文学（ヨーロッパのみならず、近代日本も含め）、神学に興味のある者にも得られるところは多いであろう。授業の目的としては、一般的な歴史的知識を獲得するとともに、何より 18 世紀啓蒙時代の知識人の考え方・世界観に触れることを目指す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50672	A	人文科学ゼミナール（文化人類学）	福島 真人	文化人類学	水 5	1 年 文科 理科

講義題目　現代アートを観察するー制度、市場、社会とのかかわりの中で

授業の目標概要　いわゆる美術史の中で、現代アートと呼ばれる一群の作品群は、その内容の多様性、複雑さ、わかりにくさといった点で、それ以前の古典的美術とは明らかに異なる特性を持っている。本演習は、こうした現代アートの世界を、単に狭い意味での美術史の一部として扱うのではなく、むしろ様々な力が働く現代社会の力学（例えば、知識、市場、メディアといった）を象徴する一つの典型的な現象として理解することを目標とする。美術作品そのものというよりも、それを取り巻く様々な諸制度、例えば美術館、画廊、評論家、市場、メディア、流行思想、政治、さらには現代アートを支えるいろいろなテクノロジがお互いにどのような相互作用でこうした世界を作り出すかを、美術評論のみならず、社会学、文化人類学、文化経済学等の文献を中心に読み解いていく。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50173	A	人文科学ゼミナール（テクスト分析）	品田 悦一	国文・漢文学部会	月 5	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　『万葉集』と天平の疫瘡大流行

授業の目標概要　古代日本の文献には疫病流行の記事があちこちに見られる。なかでも甚大な被害をもたらしたことで知られるのは、天平七～九年（735～737）の天然痘大流行だ。一説に、当時の日本の全人口のうち、四分の一ないし三分の一が落命したとされる大惨事だった。この死亡率は、十四世紀半ばにヨーロッパを襲った黒死病の場合にほぼ匹敵するという。

疫瘡がいったん終息したかに見えた天平八年夏、当時外交関係が険悪化していた新羅へ使節団が派遣された。『万葉集』巻十五の前半に、彼らの残した歌 145 首が掲載されている。これによれば、ままならない航路をたどってようやく壱岐島に到着したとき、乗組員に「鬼病」を発して急死する者が現れた。当該歌群にはそのときの挽歌が 3 組載っていて、その先には対馬停泊時の作 21 首があるが、往路の歌はここまで 140 首あるのに対し、復路の歌は 5 首しかない。航行中、船内でクラスター感染が発生して大使は死亡、副使以下 30 名も罹患し、北九州で二ヶ月もの臥床養生を余儀なくされたのだ。死者が何人出たかは記録されていないが、相当数にのぼったことは想像に難くない。

翌天平九年、疫瘡は平城京に襲いかかり、台閣の重要人物のうち三分の一の命を奪う。長屋王を謀殺した藤原四子も次々に落命したため、疫の流行は王の祟かとも囁かれたらしい。一件は巻六の行間にも書き込まれていて、迷走する聖武治世に対する沈黙の批評となっている。

以上の二箇所を精読しつつ、疫瘡と当時の日本の国際関係や世界像との関係がどう語られているか掘り下げていく。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50244	A	人文科学ゼミナール（テクスト分析）	中尾 まさみ	総合文化研究科 地域文化研究専攻	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		英語圏現代詩入門 20 世紀後半以降に英語で書かれた詩をとりあげ、テクストを精密に読んで分析する方法を学びます。現代詩は、形式においても主題においても伝統的な詩のあり方を逸脱し、自由で多様な言語世界を展開しています。脱植民地化を経て「英語圏」と認識される地域も著しく拡大し、また新しいメディアに乗って急速に伝播した大衆文化の影響も見逃せません。その豊かさを知力・想像力を最大限に使ってじっくり味わい、十分な論拠に基づいて考察できるようになることが目標です。 ＊この授業は、オンラインで行います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50420	A	人文科学ゼミナール（テクスト分析）	田村 隆	国文・漢文学部会	火 4	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		一高生が読んだ『枕草子』と『源氏物語』 この授業では、一高生（旧制第一高等学校（一高）は東京大学教養学部の前身）が教科書として用いた明治 29（1896）年刊行『高等国文』巻 7 所収の『枕草子』と『源氏物語』をオンラインによる演習発表もしくは輪読形式で読み進める（受講者数による）。古典のテクスト読解を試みながら、今一般に読まれている本文（たとえば岩波文庫）との比較を通して、本文批判についても理解を深める。 この教科書は国立国会図書館のデジタルコレクションにおいて公開されているので、各自ダウンロードしておくこと（下記教科書欄参照）。ちなみに、一高生時代の矢内原忠雄（初代教養学部長）が用いたと思われる『改正高等国文』巻 4 所収の『万葉集』が、国際基督教大学図書館に収められている。署名と注釈などの書き入れが見られる。 授業の中で、JapanKnowledge や、東京大学本『源氏物語』が公開されている「デジタル源氏物語」など、古典を読む上で活用するとよいさまざまなデジタルアーカイブも併せて紹介する。 もし可能であれば、成果を駒場祭の学術企画で展示したいと考えている。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51037	A	人文科学ゼミナール（テクスト分析）	竹内 恵子	ロシア語	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語テクスト講読 ロシア語の初級文法を一通り学習した人を対象に、「亡命第 3 の波」世代の文学に関するロシア語文献（回想録など）を少しずつ読んでいく。 また、それと並行して、ノーベル賞詩人ヨシフ・ブロツキイの亡命前後の詩作品の翻訳にも挑戦する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50174	A	人文科学ゼミナール（データ分析）	加藤 恒昭	総合文化研究科 言語情報科学専攻	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		データ分析環境 R を利用した言語データの分析 言語データ（コーパス）の分析を主な例として，データ分析環境 R の利用方法とデータ分析の基本を学ぶ．与えられた言語データの中にどのような単語がどのくらいの頻度で出現したか，注目している単語がどのような文脈の中で出現しているか，注目している単語の前後にくる単語列はどのような特徴を持っているか，等を求めるプログラムをデータ分析環境 R を使って実際に記述してみる．その後，得られたデータをどのように提示（可視化）するのか，それが自分の主張を裏付けているかをどう検定するか（仮説検定）について，具体例を使ってその基礎と手法を学び，コーパス言語学の基礎を身につける．				

展開科目 人文科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50937	A	人文科学ゼミナール（データ分析）	大森 拓哉	心理・教育学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		心理学統計法				
授業の目標概要		物事を客観的に判断するための一つは、証拠となるデータを集め、分析することである。この授業では、人間行動や社会現象一般のデータを用い、的確な分析ができるようになるための基礎を学ぶ。その中でも特に「心理学で用いられる統計手法」および「統計に関する基礎的な知識」を学ぶ。講義は、EXCEL を用いて、実際のデータの収集・分析・考察を講義と演習によって行う。 授業では、講義と演習を行うが、PC を用いた演習を主とする。そのため、PC を各自準備する必要がある。演習においては、各自の調査内容をプレゼンテーションする機会も設ける。			

展開科目 自然科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50161	A	自然科学ゼミナール（身体運動科学）	久保 啓太郎	スポーツ・身体運動	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	アドバンスト・フィットネス					
授業の目標概要	定期的にトレーニングやスポーツを行っている学生やトレーニングに興味を持つ学生を対象に、最新のトレーニング科学の知識を講義と実習を通じて提供する（定員 25 名）。 ＊履修者の決定方法等については、UTAS シラバスの「履修上の注意」を参照すること。 （ただし、オンライン授業の場合は上記の定員は設定しない予定）					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51126	A	自然科学ゼミナール（生命科学）	奥崎 穣	生物	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	自然科学ゼミナール（生命科学）					
授業の目標概要	生物の生態を理解するためには，野外での分布と活動のパターンを明らかにする必要がある．本実習では駒場キャンパス内の緑地でモグラ塚の（地中のモグラが作る表層土壌の隆起）のモニタリングを行い，その時空間的変動パターンの検出を試みる．さらに得られた結果からモグラの生態について考察する．					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50245	A	自然科学ゼミナール（化学）	平岡 秀一	化学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	有機反応機構を考える					
授業の目標概要	本ゼミナールは実際に報告されている様々な有機化学反応を題材に、その反応機構を考える授業である。講義では、有機化合物の立体構造や安定性、基本的な有機反応とその反応機構を電子論的に考え、さらに、なぜそのような反応が起こるのか、もしくはある生成物がなぜ優先的に生成するのかを、軌道の相互作用、中間体もしくは遷移状態の安定性をもとに定性的に議論し、合理的な解釈へ至る方法を学ぶ。本授業は、有機化学の基礎知識の有無に関わらず、意欲のある学生を大いに歓迎する。なお、本講義では、受講希望者が多数の場合には、選抜を実施する。履修希望者は第 1 回目の講義に必ず出席すること。選抜結果は、第 2 回講義前までに掲示する。参考として、過去のクラスにおいて、受講者の選抜が行われたことはない。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51302	A	自然科学ゼミナール（数理科学）	木田 良才	数理科学研究科	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	確率論へようこそ					
授業の目標概要	G・ブロム／L・ホルスト／D・サンデル 著（森真 訳）「確率論へようこそ」を輪読する。本書は日常の例を元にした問題を数多く取り上げ、確率論の基本的な考え方を身につけることを目的としている。また、マルコフ連鎖など現代の確率論における重要な問題、確率論の黎明期における歴史的な問題など、刺激的な話題が豊富である。本書の輪読を通して、数学書の読み方・数学の理解の仕方を学び、他人に数学を説明する力を養う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51301	A	自然科学ゼミナール（数理科学）	植田 一石	数理科学研究科	金 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	群と対称性					
授業の目標概要	本ゼミナールでは，自然界に存在するさまざまな形態の対称性や周期性を数学的に記述する群の概念の基礎を学ぶ。また、将来、物質科学などでも必要になる結晶群や、群の行列表現と指標などにもふれる。具体例を通して、受講者が主体的に課題に取り組めるようにする。					

展開科目 自然科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51303	A	自然科学ゼミナール (情報科学)	伊東 乾	情報学環・ 学際情報学府	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		AI 時代の必修基礎理論科学 文系理系を問わず 機械学習 自動システムなど AI を活用する 知識駆動型社会で必須不可欠な理論科学を平易に扱う。例えば 文科２類に入学した学生は高校文系数学の履修のため 自然対数の底 e が活躍するファイナンスやコロナ対策などの数理をよく理解しない場合が見受けられる。じつにもったいないことである。前期は履修者の状況を見たうえで 高等学校２年の復習から始めて偏微分方程式、フーリエ解析、変分法などまでを平易に扱った。後期も基本同様に考えるが、高等学校レベルから始めて複素解析、特殊関数やそれを用いた統計分布（β 分布、ディリクレ分布）などを、コイントスやさいころ投げから語り起こして分かりやすく議論できたらと思う。理論はインタクト(無傷）であるから、あらゆる最先端の応用に直ちに耐えるものとなる。コロナ対策など、研究室で扱っている前線の話題にも触れる。				

「英語中級」「英語上級」について

【科目概要】

「英語中級」は指定されたクラスのみが履修できるもの（指定クラス型）と全クラスに開かれたもの（全クラス型）がある。「英語上級」はすべて全クラス型である。

S2ターム、A2タームの授業を含む、いずれの授業もセメスター開始時に履修希望の登録を行い、希望者が多数の授業については抽選を行う。各セメスターに履修できるのは指定クラス型、全クラス型をそれぞれ１コマまでである。

○履修の削除について

全クラス型授業の登録は削除できない。指定クラス型の授業は、同じセメスターの全クラス型授業に登録を認められた場合のみ削除できる。

○２年生の履修について

２年生が抽選登録できるのは、全クラス型のみとなる。ただし、追加募集の対象となっている場合に限り、指定クラス型も履修することができる。

【抽選登録】

「英語中級」および「英語上級」はUTASで希望登録を行う。所定の期間中にUTASログイン後の【抽選対象科目希望登録】画面から希望する授業を登録する。

特定の授業に学生の希望が集中した場合に抽選が行われ、外れた学生は下位の希望順位の授業に振り分けられることになる。希望を登録していない授業に振り分けられることはない。ただし、希望したいずれの授業にも振り分けられないことはある。

○追加募集について

学生数に余裕のある場合は追加募集を行う。追加募集授業の履修登録方法は、追加募集対象授業の発表時に指示する。追加募集の対象となっていない授業については、担当教員の許可を得ても履修登録は認められない。

（注意事項）

- 総合科目Ｌ系列の英語には、「英語中級・セメスター制授業」、「英語中級・ターム制授業」、「英語上級・セメスター制授業」、「英語上級・ターム制授業」の４種類の授業がある。同一教員による同一種類の授業を複数履修することはできない。
- 英語上級は各授業のシラバスに記載された習熟度レベルに到達した者を対象とする。
- Ｓセメスターの際には、抽選登録または追加募集登録する際に、初年次ゼミナールが自身のクラスに割り当てられる各２曜限には登録しないこと。
- TLP生は、TLP履修者用の科目と重複する曜限にも登録しないよう注意すること。

なお、一度当選した科目は履修登録を削除することはできない。

総合科目 L　英語中級・上級

英語中級（クラス指定ターム型）火 3

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50333	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	西川 杉子	英語	火 3	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目　History Today を読む。

授業の目標概要　イギリスで出版されている歴史の教養雑誌 History Today に収録された小論文を読み、イギリスの文化・歴史を学ぶ。世界史受験の学生でなくても大丈夫だが、ある程度、歴史に関心を持っていることが大切である。History Today については駒場図書館のデータベース GACoS に入っているので、参考にするとよい。
History Today へのアクセスは GACoS から、データベース・電子ジャーナル一覧＞E-Journal・E-Book Portal。
また授業の URL は UTAS および ITC-LMS で毎週掲示する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50334	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	大橋 理枝	英語	火 3	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目　Discussing Current Issues

授業の目標概要　教科書に沿ってリーディングやリスニングを織り交ぜながら、提示されたトピックに基づいて英語でディスカッションを行う。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50335	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	リチンスキ ダン	英語	火 3	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目　Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims

授業の目標概要　This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources.
The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50336	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	佐原 彩子	英語	火 3	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目　Reading An English Article: The Prophecies of Q

授業の目標概要　The goal is to read an article in English (from The Atlantic) to understand current issues in the U.S. in English. The article is on American conspiracy theories that are entering a dangerous new phase. Students need to read the article in six weeks to gain information in English and to be familiar with various issues in English. Through this course, students will improve their reading skills qualitatively as well as quantitatively through various activities in classes and at home.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50337	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	田尻 芳樹	英語	火 3	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目	短編小説を読む					
授業の目標概要	この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、２０世紀の世界の歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50338	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	小野 五弥子	英語	火 3	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目	Contemporary Japanese society in English academic texts 学術文献から見る現代日本社会					
授業の目標概要	The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English. In class, students will discuss topics related to contemporary Japanese society, namely gender, the body and popular culture. このクラスでは、日本の現代社会について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー論・身体論・ポップカルチャー等です。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50339	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	牛村 圭	英語	火 3	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目	英語で日本近現代史を読む					
授業の目標概要	外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60106	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	田尻 芳樹	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)
講義題目	短編小説を読む					
授業の目標概要	この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、２０世紀の世界の歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60107	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	佐原 彩子	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)
講義題目		Reading English Articles on Gig Economy and Coronavirus				
授業の目標概要		The goal is to read articles in English (from The Atlantic) to understand current issues in the U.S. in English. Articles are on gig economy and coronavirus. Students need to read articles in five weeks to gain information in English and to be familiar with various issues in English. Through this course, students will improve their reading skills qualitatively as well as quantitatively through various activities in classes and at home.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60108	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	牛村 圭	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)
講義題目		英語で日本近現代史を読む				
授業の目標概要		外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60109	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	西川 杉子	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)
講義題目		History Today を読む。				
授業の目標概要		イギリスで出版されている歴史の教養雑誌 History Today に収録された小論文を読み、イギリスの文化・歴史を学ぶ。世界史受験の学生でなくても大丈夫だが、ある程度、歴史に関心を持っていることが大切である。History Today については駒場図書館のデータベース GACoS に入っているので、参考にするとよい。 History Today へのアクセスは GACoS から、データベース・電子ジャーナル一覧＞E-Journal・E-Book Portal。 また授業の URL は UTAS および ITC-LMS で毎週掲示する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60110	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	大橋 理枝	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)
講義題目		Discussing Current Issues				
授業の目標概要		教科書に沿ってリーディングやリスニングを織り交ぜながら、提示されたトピックに基づいて英語でディスカッションを行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60111	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	小野 五弥子	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)

講義題目　Contemporary Japanese society in English academic texts
学術文献から見る現代日本社会

授業の目標概要　The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English. In class, students will discuss topics related to contemporary Japanese society, namely gender, the body and popular culture.
このクラスでは、日本の現代社会について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー論・身体論・ポップカルチャー等です。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60112	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	リチンスキ ダン	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)

講義題目　Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims

授業の目標概要　This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources.
The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.

英語中級（クラス指定ターム型）火４

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50397	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	小野 五弥子	英語	火 4	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目	Contemporary Japanese society in English academic texts 学術文献から見る現代日本社会					
授業の目標概要	The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English. In class, students will discuss topics related to contemporary Japanese society, namely gender, the body and popular culture. このクラスでは、日本の現代社会について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー論・身体論・ポップカルチャー等です。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50398	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	伊藤 たかね	英語	火 4	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目	講義を聴き、スクリプトを読む					
授業の目標概要	10-20 分程度のまとまった講義を聴き、問題に答えることで内容理解を確認する。その後、翌週までに自宅学習でスクリプト読み、その理解を授業で確認する。このような作業を繰り返すことで、読解力と聴解力を同時に伸ばすことを目指す。 認知心理学や遺伝学などの科学的研究の紹介や、マイノリティやメディアと社会の関係など、幅広く「人間」にかかわる題材を扱いたい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50399	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	田尻 芳樹	英語	火 4	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目	短編小説を読む					
授業の目標概要	この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、２０世紀の世界の歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50400	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	リチンスキ ダン	英語	火 4	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目	Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims					
授業の目標概要	This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50401	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	西川 杉子	英語	火 4	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目	History Today を読む。					
授業の目標概要	イギリスで出版されている歴史の教養雑誌 History Today に収録された小論文を読み、イギリスの文化・歴史を学ぶ。世界史受験の学生でなくても大丈夫だが、ある程度、歴史に関心を持っていることが大切である。History Today については駒場図書館のデータベース GACoS に入っているので、参考にするとよい。 History Today へのアクセスは GACoS から、データベース・電子ジャーナル一覧＞E-Journal・E-Book Portal。 また授業の URL は UTAS および ITC-LMS で毎週掲示する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50402	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	Williams David	英語	火 4	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目	Critical Discussion and Thinking					
授業の目標概要	The purpose of this class is to build students' English language reading and thinking skills beyond simple description to a more critical and analytical style through content that focuses on the UK. Each week students will focus on one topic and critically examine and consider an authentic English language text in an online group. extension activities will bring the discussion about the UK into a broader context. At the end of this course it is expected that students will be able to critically consider and assess a range of contemporary topics of domestic and international significance, and be able to reflect better on their own culture. Students will find that the online discussion skills acquired in this class will help them in other online settings; it is hoped the class will encourage students to see English language studies as an investment for the future.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50403	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	大橋 理枝	英語	火 4	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目	Discussing Current Issues					
授業の目標概要	教科書に沿ってリーディングやリスニングを織り交ぜながら、提示されたトピックに基づいて英語でディスカッションを行う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50404	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	牛村 圭	英語	火 4	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目	英語で日本近現代史を読む					
授業の目標概要	外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60150	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	西川 杉子	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目　History Today を読む。

授業の目標概要　イギリスで出版されている歴史の教養雑誌 History Today に収録された小論文を読み、イギリスの文化・歴史を学ぶ。世界史受験の学生でなくても大丈夫だが、ある程度、歴史に関心を持っていることが大切である。History Today については駒場図書館のデータベース GACoS に入っているので、参考にするとよい。
History Today へのアクセスは GACoS から、データベース・電子ジャーナル一覧＞E-Journal・E-Book Portal。
また授業の URL は UTAS および ITC-LMS で毎週掲示する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60151	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	大橋 理枝	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目　Discussing Current Issues
授業の目標概要　教科書に沿ってリーディングやリスニングを織り交ぜながら、提示されたトピックに基づいて英語でディスカッションを行う。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60152	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	Williams David	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目　Critical Discussion and Thinking
授業の目標概要　The purpose of this class is to build students' English language reading and thinking skills beyond simple description to a more critical and analytical style through content that focuses on the UK. Each week students will focus on one topic and critically examine and consider an authentic English language text in an online group. extension activities will bring the discussion about the UK into a broader context.
At the end of this course it is expected that students will be able to critically consider and assess a range of contemporary topics of domestic and international significance, and be able to reflect better on their own culture. Students will find that the online discussion skills acquired in this class will help them in other online settings; it is hoped the class will encourage students to see English language studies as an investment for the future.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60153	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	小野 五弥子	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目　Contemporary Japanese society in English academic texts
学術文献から見る現代日本社会

授業の目標概要　The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English. In class, students will discuss topics related to contemporary Japanese society, namely gender, the body and popular culture.
このクラスでは、日本の現代社会について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー論・身体論・ポップカルチャー等です。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60154	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	牛村 圭	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要		英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60155	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	田尻 芳樹	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要		短編小説を読む この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、２０世紀の世界の歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60156	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	リチンスキ ダン	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要		Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60157	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	伊藤 たかね	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要		講義を聴き、スクリプトを読む 10-20 分程度のまとまった講義を聴き、問題に答えることで内容理解を確認する。その後、翌週までに自宅学習でスクリプト読み、その理解を授業で確認する。このような作業を繰り返すことで、読解力と聴解力を同時に伸ばすことを目指す。 認知心理学や遺伝学などの科学的研究の紹介や、マイノリティやメディアと社会の関係など、幅広く「人間」にかかわる題材を扱いたい。				

英語中級（クラス指定ターム型）水２

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50524	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	坪井 栄治郎	英語	水 2	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要		社会的構築物としての人間の行動 人間の行動の社会[文化]的構築物としての性質について見た後で、一見当然と思える行動選択の欠陥や、理屈に合わないと思える行動の理由について論じている文章を読むことを通して読解力の向上を図り、合わせて関連する事柄についての知識を得ることを主な目標とするが、読解だけになる単調さを避けるためにも適宜聴き取り教材(一部動画)を用いた聴き取り練習も毎回行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50525	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	小野 五弥子	英語	水 2	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目		Contemporary Japanese society in English academic texts 学術文献から見る現代日本社会				
授業の目標概要		The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English. In class, students will discuss topics related to contemporary Japanese society, namely gender, the body and popular culture. このクラスでは、日本の現代社会について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー論・身体論・ポップカルチャー等です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50526	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	ナルト デリック	英語	水 2	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要		Futurology: Imagining the World of Tomorrow Futurology (or Futures Studies) involves the study of the past and present to make educated guesses about the future. It draws on both the arts and sciences as a field of inquiry. It does this by grappling with complex philosophical questions concerning economic, political, cultural, and technological change but also by analyzing scientific data to make forecasts and predictions. In this introductory course we will examine how the future has been imagined in the past eras but also in our own era. Interdisciplinary in nature, the course will refer to ideas expressed in popular culture and the humanities as well as scientific studies. Upon completing the course, students will be familiar with key debates in futurology, possess their own viewpoints about emerging developments, and be more adept at envisioning and understanding social, environmental, and technological change.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50527	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	三吉 美加	英語	水 2	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要		優れた短編作品の深読みを楽しむ 書かれていることをただ理解するのではなく、作品の背後にある時代、歴史、社会、文化に関する事柄についての知識を深めながら、テキストを読み、深くその世界観を味わっていく。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50528	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	具 裕珍	英語	水 2	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要		Reading Social Issues in English This course introduces students to various social issues in both domestic and international aspects. You will read a variety of text such as newspaper articles, speeches, and short research papers during this term. It will help students to have a broad perspective on social issues and better understand current events in the world. You will also develop academic interests for the future research through the readings.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50529	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	LANDAU Samantha	英語	水 2	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要		Ghosts and Hauntings in American and British Literature This course is an overview introduction to fiction that concerns hauntings, ghosts, and warped spaces in American and British fiction. In this class, students will approach stories about ghosts through the lens of cultural studies and historical contexts. In addition to stories, students will be introduced to social criticism, religious studies, gender theory, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50530	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	岩佐 将志	英語	水 2	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要		英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60158	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	LANDAU Samantha	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要		Ghosts and Hauntings in American and British Literature This course is an overview introduction to fiction that concerns hauntings, ghosts, and warped spaces in American and British fiction. In this class, students will approach stories about ghosts through the lens of cultural studies and historical contexts. In addition to stories, students will be introduced to social criticism, religious studies, gender theory, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60159	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	小野 五弥子	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目		Contemporary Japanese society in English academic texts 学術文献から見る現代日本社会				
授業の目標概要		The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English. In class, students will discuss topics related to contemporary Japanese society, namely gender, the body and popular culture. このクラスでは、日本の現代社会について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー論・身体論・ポップカルチャー等です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60160	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	坪井 栄治郎	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要		社会的構築物としての人間の行動 人間の行動の社会[文化]的構築物としての性質について見た後で、一見当然と思える行動選択の欠陥や、理屈に合わないと思える行動の理由について論じている文章を読むことを通して読解力の向上を図り、合わせて関連する事柄についての知識を得ることを主な目標とするが、読解だけになる単調さを避けるためにも適宜聴き取り教材(一部動画)を用いた聴き取り練習も毎回行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60161	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	岩佐 将志	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要		英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60162	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	具 裕珍	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要		Reading Social Issues in English This course introduces students to various social issues in both domestic and international aspects. You will read a variety of text such as newspaper articles, speeches, and short research papers during this term. It will help students to have a broad perspective on social issues and better understand current events in the world. You will also develop academic interests for the future research through the readings.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60163	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	三吉 美加	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要		優れた短編作品を深読みする 書かれたものをただ読みすすめるのではなく、作品の背景にある時代、社会、歴史、文化などについての知識を深めながら、作品の世界観を理解し、内容を味わっていく。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60164	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	ナルト デリック	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要		Futurology: Imagining the World of Tomorrow Futurology (or Futures Studies) involves the study of the past and present to make educated guesses about the future. It draws on both the arts and sciences as a field of inquiry. It does this by grappling with complex philosophical questions concerning economic, political, cultural, and technological change but also by analyzing scientific data to make forecasts and predictions. In this introductory course we will examine how the future has been imagined in the past eras but also in our own era. Interdisciplinary in nature, the course will refer to ideas expressed in popular culture and the humanities as well as scientific studies. Upon completing the course, students will be familiar with key debates in futurology, possess their own viewpoints about emerging developments, and be more adept at envisioning and understanding social, environmental, and technological change.				

英語中級（クラス指定ターム型）水３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50565	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	岩佐 将志	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要		英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50566	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	ナルト デリック	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要		Futurology: Imagining the World of Tomorrow Futurology (or Futures Studies) involves the study of the past and present to make educated guesses about the future. It draws on both the arts and sciences as a field of inquiry. It does this by grappling with complex philosophical questions concerning economic, political, cultural, and technological change but also by analyzing scientific data to make forecasts and predictions. In this introductory course we will examine how the future has been imagined in the past eras but also in our own era. Interdisciplinary in nature, the course will refer to ideas expressed in popular culture and the humanities as well as scientific studies. Upon completing the course, students will be familiar with key debates in futurology, possess their own viewpoints about emerging developments, and be more adept at envisioning and understanding social, environmental, and technological change.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50567	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	具 裕珍	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要		Presentation on Your Research in English Presentation is to orally explain to an audience what you have investigated, researched or claimed to be worth considering. Recently, conveying information skillfully to others has become increasingly important. This class is designed to provide students opportunities presenting their research project(s) in English. You will be assigned to groups, and are expected to hone your presentation content and skills through a process of peer review. In more detail, you first introduce a brief outline of your research (e.g. research questions, research methods, brief summary of main arguments, etc.) to your classmates for about 10 minutes. Your classmates will give you feedback on this draft presentation. With this feedback, you will improve your presentation. Throughout this process, you will be expected to learn how to make an academic presentation.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50568	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	坪井 栄治郎	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要		人間の行動の非合理性とその背景 人間の行動が意識しない次元で「自然」なものではないことを人間の基本的な行動を例として見た後で、一見非合理的な行動の背後にある要因について論じている文章を読むことを通して読解力の向上を図り、合わせて関連する事柄についての知識を得ることを主な目標とするが、読解だけになる単調さを避けるためにも適宜聴き取り教材(一部動画)を用いた聴き取り練習も毎回行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50569	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	三吉 美加	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要		優れた短編作品を深読みする 書かれたことをただ理解するのではなく、作品の背景にある時代、歴史、文化、社会などについての知識を深めながら、作品の世界観に深く入り込んでいく。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50570	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	伊藤 たかね	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要		講義を聴き、スクリプトを読む 10-20 分程度のまとまった講義を聴き、問題に答えることで内容理解を確認する。その後、翌週までに自宅学習でスクリプト読み、その理解を授業で確認する。このような作業を繰り返すことで、読解力と聴解力を同時に伸ばすことを目指す。 認知心理学や遺伝学などの科学的研究の紹介や、マイノリティやメディアと社会の関係など、幅広く「人間」にかかわる題材を扱いたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50571	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	LANDAU Samantha	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要		Climate Change: Fact and Fiction In this course, students will learn about how literature and cinema handle the subjects of climate change and global warming in the genre of Science Fiction. In other words, we will study "Cli-Fi." Climate change is usually addressed from scientific, political, or social issues (e.g. poverty or food scarcity) perspectives, but in reality climate change and global warming have been important to science fiction since the turn of the 20th century. Through discussions, presentations, and written work, students will focus on how to approach climate change from an interdisciplinary standpoint, and develop their ideas about what steps society needs to take in the future.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50572	A 1	英語中級 （クラス指定ターム型）	小野 五弥子	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要		Contemporary Japanese society in English academic texts 学術文献から見る現代日本社会 The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English. In class, students will discuss topics related to contemporary Japanese society, namely gender, the body and popular culture. このクラスでは、日本の現代社会について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー論・身体論・ポップカルチャー等です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60198	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	具 裕珍	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目	Presentation on Your Research in English					
授業の目標概要	Presentation is to orally explain to an audience what you have investigated, researched or claimed to be worth considering. Recently, conveying information skillfully to others has become increasingly important. This class is designed to provide students opportunities presenting their research project(s) in English. You will be assigned to groups, and are expected to hone your presentation content and skills through a process of peer review. In more detail, you first introduce a brief outline of your research (e.g. research questions, research methods, brief summary of main arguments, etc.) to your classmates for about 10 minutes. Your classmates will give you feedback on this draft presentation. With this feedback, you will improve your presentation. Throughout this process, you will be expected to learn how to make an academic presentation.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60199	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	三吉 美加	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目	優れた短編作品を深読みする					
授業の目標概要	書かれたものをただ読みすすめるのではなく、作品の背景にある時代、社会、歴史、文化などについての知識を深めながら、作品の世界観を理解し、内容を味わっていく。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60200	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	伊藤 たかね	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目	講義を聴き、スクリプトを読む					
授業の目標概要	10-20 分程度のまとまった講義を聴き、問題に答えることで内容理解を確認する。その後、翌週までに自宅学習でスクリプト読み、その理解を授業で確認する。このような作業を繰り返すことで、読解力と聴解力を同時に伸ばすことを目指す。 認知心理学や遺伝学などの科学的研究の紹介や、マイノリティやメディアと社会の関係など、幅広く「人間」にかかわる題材を扱いたい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60201	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	小野 五弥子	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目	Contemporary Japanese society in English academic texts 学術文献から見る現代日本社会					
授業の目標概要	The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English. In class, students will discuss topics related to contemporary Japanese society, namely gender, the body and popular culture. このクラスでは、日本の現代社会について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー論・身体論・ポップカルチャー等です。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60202	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	LANDAU Samantha	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一 (8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要		Climate Change: Fact and Fiction In this course, students will learn about how literature and cinema handle the subjects of climate change and global warming in the genre of Science Fiction. In other words, we will study "Cli-Fi." Climate change is usually addressed from scientific, political, or social issues (e.g. poverty or food scarcity) perspectives, but in reality climate change and global warming have been important to science fiction since the turn of the 20th century. Through discussions, presentations, and written work, students will focus on how to approach climate change from an interdisciplinary standpoint, and develop their ideas about what steps society needs to take in the future.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60203	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	岩佐 将志	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一 (8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要		英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60204	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	坪井 栄治郎	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一 (8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要		人間の行動の非合理性とその背景 人間の行動が意識しない次元で「自然」なものではないことを人間の基本的な行動を例として見た後で、一見非合理的な行動の背後にある要因について論じている文章を読むことを通して読解力の向上を図り、合わせて関連する事柄についての知識を得ることを主な目標とするが、読解だけになる単調さを避けるためにも適宜聴き取り教材(一部動画)を用いた聴き取り練習も毎回行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60205	A 2	英語中級 （クラス指定ターム型）	ナルト デリック	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一 (8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要		Futurology: Imagining the World of Tomorrow Futurology (or Futures Studies) involves the study of the past and present to make educated guesses about the future. It draws on both the arts and sciences as a field of inquiry. It does this by grappling with complex philosophical questions concerning economic, political, cultural, and technological change but also by analyzing scientific data to make forecasts and predictions. In this introductory course we will examine how the future has been imagined in the past eras but also in our own era. Interdisciplinary in nature, the course will refer to ideas expressed in popular culture and the humanities as well as scientific studies. Upon completing the course, students will be familiar with key debates in futurology, possess their own viewpoints about emerging developments, and be more adept at envisioning and understanding social, environmental, and technological change.				

英語中級（クラス指定セメスター型）月 2

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50019	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	メズールール ジェルマン	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目　[M2] Social Inequality: Now and in the Future

授業の目標概要
This course will explore a range of social issues and situations faced by people in different societies around the world today. We will also explore how ideas of social inequality in future societies is represented in movies.
Through learning and discussing these issues, students will develop their comprehension and communication skills in English. The course is designed to help you learn and understand important sociological issues, in English. You will learn new vocabulary, and also practice your English discussion and presentation skills.
The exact topics covered will be decided in class, through discussions and votes, and could include:
Social Stratification
Gender Inequality
Impact of AI and robots on society
Inequalities of Race and Ethnicity
etc.
Students will gain a better understanding of basic sociology, as well as use critical thinking to discuss possible solutions to some of the main social inequalities covered in the class.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50020	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	WONG Michelle	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目　TED Talks - Discussions and Presentations

授業の目標概要
The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50021	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	瀧野 みゆき	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目　プロフェッショナルのための共通語としての英語
Communicating in English as Professionals

授業の目標概要
プロフェッショナルとして、将来にわたって世界の人と英語を使って協働できるようになることを目標に、実践的な英語使用の考え方とスキルを学びます。プロフェッショナルとは、研究・専門職、ビジネス、公務員、国際協力など、多様なフィールドで、高度な専門性をもって仕事をする人を想定しています。
英語を多様な文化・国籍をもった人とコミュニケーションする共通語として使うことをイメージしながら、1）グローバル社会の英語の役割、2）プロフェッショナルとして英語を使うための基本的な考え方とルール、そして3）英語を将来にわたって長期的に学び、使っていくための英語学習方法、の3点を学ぶことを目指します。
授業では、ケースやタスクをもとに実際に英語を使い、国際協働のための英語の表現や話し方を練習し、実社会で英語を使う土台となる基本的スキルを習得します。
英語のコミュニケーションに重要なリスニング力の強化を、授業外学習で自律的に行います。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50022	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	矢島 宏紀	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目　英文精読―アメリカにおける宗教保守の歴史

授業の目標概要
文法、構文、語彙に関する知識を総動員し、やや難解な英文を正確に解釈できる力を向上させる。
英文を簡潔かつ正確な日本語で要約することで、文書および口頭で説明できるようになる。
アメリカの歴史や社会について知り、歴史、政治、社会に関する教養を深める。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50023	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	中澤 恒子	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要		アメリカ映画を楽しむ アメリカ映画を教材とする。自然な英語を聞き取り、大意をつかむ練習をした後に、スクリプトを読み進めながら理解できなかった部分を確認する。物語の展開、どこがおかしくてどうして悲しいのか、登場人物と共に笑ったり泣いたりできるような、映画を楽しむための英語理解を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50024	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	愛甲 雄一	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要		国際政治学・国際関係論の理論を学ぶ 本コースは、John Baylis et al. (eds.), The Globalization of World Politics (Oxford University Press, 2020) 所収の国際政治理論に関する一部の章を教材として用い、その読解を行なっていく「リーディング」を主眼としたコースである。この作業を通じて、本コースの受講者は、代表的な国際政治理論についての概要が説明できるようになるとともに、現代世界が直面している様々な国際政治上の問題・課題について、多角的な視点からアプローチできるようになる。また、英語で記された国際問題に関するニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50025	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	堀越 庸一郎	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要		楽園はどこにある―Marcus B. Huish, Happy England as Painted by Helen Allingham, R.W.S. (1903) を読む あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょう。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごとも、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、そういう居心地のいい楽園。そこで繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつかこんな薄汚れた都会を離れて、緑に囲まれたコテージに住み、そういう「本当に確実なもの、本当に大切なもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ている。 そういう「楽園」のイメージを、ヴィクトリア朝イギリスの画家、ヘレン・アリンガム (1848-1926）の水彩画が描いています。うっとりするような、はかない夢のような、イングランドの田園風景。今回、このクラスでテキストにするのは、そのアリンガムの絵をふんだんに掲載した、画集のようなエッセイ集のような、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ (1843-1921) による 1903 年出版の本です。 120 年も前の、ヴィクトリア朝の格調高い英文ですので、少々読みにくいと感じる方もおいでかもしれません。文体もそうですし、内容的にも古いので、ある程度はウェブ検索などで調べながら読んでいかないと、うまく読解することはできません。授業で行うのは、ですから、そういったこと、つまり、テキストの精読、ということになります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはどんな文章であろうと変わりません―現代英語の気楽な読み物だろうと、ヴィクトリア朝イングランドの流麗な文体だろうと、千年前に書かれた古英語の断片だろうと、同じです。この「作法」を、まあ、お伝えしたい、そういう授業です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50026	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	田中 伸一	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要		未来学入門 ここでいう「未来学」とは，未来と向き合うために教養人としてどのように現在を生きたら良いかに関わる見識を指す。現在の傾向から未来の状態を予測する通常の未来学と違って，逆に想定される未来をもたらすには今どうあるべきかを考える backcasting の手法である。また，社会全体の体制がどうあるべきかではなく，それを構成する個人の内面を問題とする。科学者のモラルまたは一般人の科学知識が大いに問われる昨今，教養人が当然知っておいてよい見識である。 この授業では，数学者・生物学者・科学哲学者である J.Bronowski の著書 A Sense of the Future (1977, MIT Press)に所収された５つのエッセーを読み，そうした「未来学」のイロハを学びつつ，未来への向き合い方と現在の生き方を考えていきたい。扱うテーマは，“A Sense of the Future”（未来と向き合う感覚），“The Creative Process”（創造のプロセス），“On Art and Science”（文芸と科学について），“The Reach of Imagination”（想像力が及ぶ範囲），“The Logic of Nature”（自然の論理）のうち４つまたは５つであり，こうした見識は当然ながら文理の垣根などない。また，やや古い著書ではあるが色褪せることもなく，古くて新しい普遍的なテーマを掘り起こす意味がある。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50027	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	岩崎 徹	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要		元祖ミュージカルの台本を読む 『キャッツ』や『オペラ座の怪人』のロイド・ウェバーの約 100 年前、ヴィクトリア朝末期のロンドンで大流行し、英語圏に広まった「サヴォイ・オペラ」は、元祖ミュージカルとも言うべき喜歌劇だ。諷刺の利いたギルバートの台本（・歌詞）と軽快で親しみやすいサリヴァンの曲で、現在でも人気が高い。今学期は、レパートリーの中から、婚約不履行訴訟の法廷を舞台にした『陪審裁判』（Trial by Jury）をビデオを鑑賞（各自視聴の場合あり）しながら読み、イギリス的ユーモアを味わう。洗練された英語で書かれた台詞、韻を踏んだ歌詞、それに時代背景や上演のエピソードなどについての詳しい注、と多様な文体にふれる機会にもなる。				

英語中級（クラス指定セメスター型）月 3

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50093	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	岩崎 徹	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目
元祖ミュージカルの台本を読む

授業の目標概要
『キャッツ』や『オペラ座の怪人』のロイド・ウェバーの約 100 年前、ヴィクトリア朝末期のロンドンで大流行し、英語圏に広まった「サヴォイ・オペラ」は、元祖ミュージカルとも言うべき喜歌劇だ。諷刺の利いたギルバートの台本（・歌詞）と軽快で親しみやすいサリヴァンの曲で、現在でも人気が高い。今学期は、レパートリーの中から、心やさしき海賊と臆病な警官隊の「対決」でクライマックスを迎える『ペンザンスの海賊』（The Pirates of Penzance）をビデオを鑑賞（各自で視聴の場合あり）しながら読み、イギリス的ユーモアを味わう。洗練された英語で書かれた台詞、韻を踏んだ歌詞、それに時代背景や上演のエピソードなどについての詳しい注、と多様な文体にふれる機会にもなる。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50094	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	メズールール ジェルマン	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目
[M3] Social Inequality: Now and in the Future

授業の目標概要
This course will explore a range of social issues and situations faced by people in different societies around the world today. We will also explore how ideas of social inequality in future societies is represented in movies.
Through learning and discussing these issues, students will develop their comprehension and communication skills in English. The course is designed to help you learn and understand important sociological issues, in English. You will learn new vocabulary, and also practice your English discussion and presentation skills.
The exact topics covered will be decided in class, through discussions and votes, and could include:
Social Stratification
Gender Inequality
Impact of AI and robots on society
Inequalities of Race and Ethnicity
etc.
Students will gain a better understanding of basic sociology, as well as use critical thinking to discuss possible solutions to some of the main social inequalities covered in the class.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50095	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	WONG Michelle	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目
TED Talks - Discussions and Presentations

授業の目標概要
The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50096	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	瀧野 みゆき	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目
プロフェッショナルのための共通語としての英語
Communicating in English as Professionals

授業の目標概要
プロフェッショナルとして、将来にわたって世界の人と英語を使って協働できるようになることを目標に、実践的な英語使用の考え方とスキルを学びます。プロフェッショナルとは、研究・専門職、ビジネス、公務員、国際協力など、多様なフィールドで、高度な専門性をもって仕事をする人を想定しています。
英語を多様な文化・国籍をもった人とコミュニケーションする共通語として使うことをイメージしながら、1）グローバル社会の英語の役割、2）プロフェッショナルとして英語を使うための基本的な考え方とルール、そして 3）英語を将来にわたって長期的に学び、使っていくための英語学習方法、の 3 点を学ぶことを目指します。
授業では、ケースやタスクをもとに実際に英語を使い、国際協働のための英語の表現や話し方を練習し、実社会で英語を使う土台となる基本的スキルを習得します。
英語のコミュニケーションに重要なリスニング力の強化を、授業外学習で自律的に行います。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50097	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	堀越 庸一郎	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)
講義題目 授業の目標概要	楽園はどこにある―Marcus B. Huish, Happy England as Painted by Helen Allingham, R.W.S. (1903) を読む あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょう。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごとも、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、そういう居心地のいい楽園。そこで繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつかこんな薄汚れた都会を離れて、緑に囲まれたコテージに住み、そういう「本当に確実なもの、本当に大切なもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ている。 そういう「楽園」のイメージを、ヴィクトリア朝イギリスの画家、ヘレン・アリンガム (1848-1926) の水彩画が描いています。うっとりするような、はかない夢のような、イングランドの田園風景。今回、このクラスでテキストにするのは、そのアリンガムの絵をふんだんに掲載した、画集のようなエッセイ集のような、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ (1843-1921) による 1903 年出版の本です。 120 年も前の、ヴィクトリア朝の格調高い英文ですので、少々読みにくいと感じる方もおいでかもしれません。文体もそうですし、内容的にも古いので、ある程度はウェブ検索などで調べながら読んでいかないと、うまく読解することはできません。授業で行うのは、ですから、そういったこと、つまり、テキストの精読、ということになります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはどんな文章であろうと変わりません―現代英語の気楽な読み物だろうと、ヴィクトリア朝イングランドの流麗な文体だろうと、千年前に書かれた古英語の断片だろうと、同じです。この「作法」を、まあ、お伝えしたい、そういう授業です。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50098	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	平沢 慎也	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)
講義題目 授業の目標概要	前置詞研究Ⅱ 英語の前置詞について言語学的に分析する授業です。教員が英米の TV ドラマ・映画・小説から採取した大量の実例（もちろん前置詞を含んだもの）を一つひとつ丁寧に観察して,「この英文を発するにあたって話し手が参照した知識はどのような知識か」を探求していきます。 目標は以下の通りです。 （1）洋書を読んだり英米の TV ドラマ・映画を見たりしているときに「自分はこの前置詞をこういう風に使えるかな？」と自問する姿勢を身につける。 （2）（1）の疑問を持った上で,「この前置詞をこういう風に使えるようになるためにはどのような知識を持っていなければいけないか」と問う姿勢を身につける。 （3）（2）の問いに答えるために必要な言語学的（認知言語学的・認知文法的）な発想法と調査法を身につける					

英語中級（クラス指定セメスター型）月 4

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50148	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	平沢 慎也	英語	月 4	1 年 理一(19)理二三(7,15,24)

講義題目　前置詞研究Ⅱ

授業の目標概要　英語の前置詞について言語学的に分析する授業です。教員が英米の TV ドラマ・映画・小説から採取した大量の実例（もちろん前置詞を含んだもの）を一つひとつ丁寧に観察して,「この英文を発するにあたって話し手が参照した知識はどのような知識か」を探求していきます。
目標は以下の通りです。
（1）洋書を読んだり英米の TV ドラマ・映画を見たりしているときに「自分はこの前置詞をこういう風に使えるかな？」と自問する姿勢を身につける。
（2）（1）の疑問を持った上で,「この前置詞をこういう風に使えるようになるためにはどのような知識を持っていなければいけないか」と問う姿勢を身につける。
（3）（2）の問いに答えるために必要な言語学的（認知言語学的・認知文法的）な発想法と調査法を身につける

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50149	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	瀧野 みゆき	英語	月 4	1 年 理一(19)理二三(7,15,24)

講義題目　プロフェッショナルのための共通語としての英語
Communicating in English as Professionals

授業の目標概要　プロフェッショナルとして、将来にわたって世界の人と英語を使って協働できるようになることを目標に、実践的な英語使用の考え方とスキルを学びます。プロフェッショナルとは、研究・専門職、ビジネス、公務員、国際協力など、多様なフィールドで、高度な専門性をもって仕事をする人を想定しています。
英語を多様な文化・国籍をもった人とコミュニケーションする共通語として使うことをイメージしながら、1）グローバル社会の英語の役割、2）プロフェッショナルとして英語を使うための基本的な考え方とルール、そして 3）英語を将来にわたって長期的に学び、使っていくための英語学習方法、の 3 点を学ぶことを目指します。
授業では、ケースやタスクをもとに実際に英語を使い、国際協働のための英語の表現や話し方を練習し、実社会で英語を使う土台となる基本的スキルを習得します。
英語のコミュニケーションに重要なリスニング力の強化を、授業外学習で自律的に行います。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50150	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	愛甲 雄一	英語	月 4	1 年 理一(19)理二三(7,15,24)

講義題目　国際政治の構造やプロセスの基本を学ぶ

授業の目標概要　本コースは、John Baylis et al. (eds.), The Globalization of World Politics (Oxford University Press, 2020) 所収の国際政治をめぐる構造・プロセスに関する一部の章を教材として用い、その読解を行なっていく「リーディング」を主眼としたコースである。この作業を通じて、本コースの受講者は、安全保障や国際政治経済・国際法などをめぐる国際的な枠組み・現状などについての概要が説明できるようになるとともに、現代世界が直面している様々な国際政治上の問題・課題を理解・考察するための素養が養われる。また、英語で記された国際問題に関するニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50151	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	高橋 和子	英語	月 4	1 年 理一(19)理二三(7,15,24)
講義題目		TOEFL の後は、名作を英語で読もう				
授業の目標概要		本授業では、授業前半で TOEFL の reading 問題を扱う。授業後半では、英語を学ぶ大学生ならば理科系・文科系に関わらず、一度は英語で読んでおきたい名作の名場面を取り上げる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50152	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	WONG Michelle	英語	月 4	1 年 理一(19)理二三(7,15,24)
講義題目		TED Talks - Discussions and Presentations				
授業の目標概要		The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly.				

英語中級（クラス指定セメスター型）火1

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50212	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	中澤 恒子	英語	火 1	1年 理一(10,14)理二三(12,16)
講義題目 授業の目標概要		アメリカ映画を楽しむ アメリカ映画を教材とする。自然な英語を聞き取り、大意をつかむ練習をした後に、スクリプトを読み進めながら理解できなかった部分を確認する。物語の展開、どこがおかしくてどうして悲しいのか、登場人物と共に笑ったり泣いたりできるような、映画を楽しむための英語理解を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50213	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	高橋 英海	英語	火 1	1年 理一(10,14)理二三(12,16)
講義題目 授業の目標概要		英語で世界を読む 英語はいまや英米豪などの英語圏のみの言語ではなく、事実上の世界の共通語であり、世界への扉である。本授業では、世界の中の英米豪以外の地域、特にアジアや中東・アフリカ地域から発信されるニュースなどを読みながら、世界への視野を広めるとともに英語の理解力を高める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50214	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	中尾 まさみ	英語	火 1	1年 理一(10,14)理二三(12,16)
講義題目 授業の目標概要		英語圏の短編小説を読む 英語圏で書かれた短編小説を講読します。英語を日常の言語として使用する国や地域は世界中に数多くあり、そこで書かれる文学作品もまた、それを生んだ社会、歴史、文化を反映して実に多彩な魅力を放っています。授業では、そうした作品を丁寧に読んで英語表現や文法構造などを解析する力をつけるとともに、文化的背景についても学びます。 ＊この授業は、オンラインで行います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50215	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	土屋 和代	英語	火 1	1年 理一(10,14)理二三(12,16)
講義題目 授業の目標概要		アメリカにおける人種、階級、ジェンダー―A・Y・デイヴィスを読む 現代アメリカにおける刑罰国家の拡大に警鐘を鳴らし、ブラック・ライヴズ・マター運動の理論的支柱の一人である活動家で哲学者のアンジェラ・Y・デイヴィスの著作を読む。デイヴィスは人種、階級、ジェンダー、社会運動について多数の著書を執筆しており、アメリカ内外の知識人に影響を与えてきた。デイヴィスのインタビューやスピーチ、論考を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させるとともに、関連するドキュメンタリー等を視聴し、背景となるアメリカの黒人解放運動と 20 世紀の米国の歴史、社会、文化についての理解を深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50216	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	アンダル ジャクリーン	英語	火 1	1年 理一(10,14)理二三(12,16)
講義題目 授業の目標概要		Contemporary Society This course will use a range of texts linked to contemporary social issues to improve students' ability to understand English. Discussions in class will be used to help with comprehension and to promote the active use of English. The course will include topics such as relationships, immigration, social protests and inequality. Texts may include newspaper articles, plays, political manifestos and extracts of academic texts.				

英語中級（クラス指定セメスター型）火 5

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50440	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	藤尾 美佐	英語	火 5	1 年 理一(30,37)理二三(5)
講義題目 授業の目標概要		世界で勝つための英語プレゼンテーション 英語コミュニケーションにおいて、プレゼンテーション(以下プレゼン)は不可欠なスキルである。また他のスキルと比べ、パフォーマンス的要素も強く、プレゼンスキルを学ぶことによって、英語の非母語話者であっても、母語話者以上のプレゼンターになることができる。本コースでは、英語のプレゼンに必要な基本的なスキル(プレゼンの構成、資料作成、英語のデリバリー、非言語コミュニケーション(ジェスチャー、アイコンタクトなど)の効果的な使い方)を学んだ後、授業内でグループ・プレゼンテーションを実施する。さらに、他のグループおよび自分自身のプレゼンのレビューを行うことにより、洞察を深めていく。授業は、英語と日本語の両方で行う(インストラクションにも極力英語を使用する予定)。 (今期は on-line での授業となるため、デリバリーより構成を重視する授業とする。)				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50441	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	Williams David	英語	火 5	1 年 理一(30,37)理二三(5)
講義題目 授業の目標概要		Critical Discussion and Thinking The purpose of this class is to build students' English language reading and thinking skills beyond simple description to a more critical and analytical style through content that focuses on the UK. Each week students will focus on one topic and critically examine and consider an authentic English language text in an online group. extension activities will bring the discussion about the UK into a broader context. At the end of this course it is expected that students will be able to critically consider and assess a range of contemporary topics of domestic and international significance, and be able to reflect better on their own culture. Students will find that the online discussion skills acquired in this class will help them in other online settings; it is hoped the class will encourage students to see English language studies as an investment for the future.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50442	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	リチンスキ ダン	英語	火 5	1 年 理一(30,37)理二三(5)
講義題目 授業の目標概要		English Lectures on General Physics This course will provide lectures on a series of Physics topics selected to ensure a balance between presentation of basic concepts and terminology, diagrams and formulas as well as proper reasoning about the underlying principles and mechanisms, using adequate English language. Although mainly intended for students interested to major in sciences, effort is made to select stand-alone content, presented so that it could be accessible to those specializing in other areas as well. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on two fronts: (i) comprehension of the studied Physics topics and (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various scientifically-valid perspectives, analyze problems, provide solutions and envision applications.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50443	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	髙橋 和子	英語	火 5	1 年 理一(30,37)理二三(5)
講義題目 授業の目標概要		Pronunciation and Listening 概要：英語発音とリスニング力の向上を目指すクラスである。特に発音訓練に重点をおくため、「発音だけには自信がなく、自分が話した英語が聞き手に通じにくい」と感じている人が履修することをお勧めする。主に、発音記号に沿って注意すべき英語音声について学び、ひとつずつ発音練習をしていく。加えて、英語独特の音の連結、消失、弱化やイントネーション、リズムを学び、リスニングの訓練を行う。また、聞き手に理解してもらえるように、文章の音読やプレゼンテーションを行う。 目標：英語を聞き、話す際に重要である英語音声の基礎知識を習得し、実践で活かせる力をつけることが本授業の目的である。将来、国際的な場において英語で発信、発表するための確かな道具を手に入れよう。本授業の到達目標は次の通りである。（1）英語音声を正しく理解し、発音できるようになる。（2）日本人にとって紛らわしい英語発音を聞き分けられるようになる。（3）専門用語を含む英文を、発音記号を調べ、正しく音読できるようになる。（4）英語リスニング力を向上させる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50444	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	牛村 圭	英語	火 5	1 年 理一(30,37)理二三(5)
講義題目 授業の目標概要		New York Times で世界を読む New York Times に掲載された署名入り記事に注釈が付された教材を精読する。さまざまな今日の諸問題が、英語ではどのように表現されて論じられているかを知る機会とするにとどまらず、学生諸君の文理にわたる知的関心を高めることをも目指したい。				

英語中級（クラス指定セメスター型）水１

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50468	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	吉国 浩哉	英語	水 1	1 年 理一(6,22,32,38)
講義題目 授業の目標概要		American Short Stories Believe it or not, there is such a thing as literature in America, and the purpose of this course is to familiarize students with this strange thing called American literature, which is usually considered a “minor” literature from the viewpoint of the history of civilization in the world. In the process to pursue this purpose, students will find themselves in a situation in which they cannot avoid reading more in English than they did in high schools. As a result, it is not totally unlikely that students might be able to develop their “reading skills” (whatever this phrase means). At least, it is very likely that students will become “used to” reading a considerable amount of texts written in English. As an English language course, there will be lectures on grammar and syntax that are used in the texts, but overall comprehension of the story and active interpretation on the side of the reader will receive more emphasis. This course will be taught in Japanese. Because this is not an “easy” course, those who see the English courses as nothing other than a means to earn credits should not take this course. If you are not confident enough about your command of English but willing to learn something new and different, there will be help for you. To the sophomore students, please contact the instructor before the first class via e-mail, and do not come to the meeting room without appointment.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50469	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	秦 邦生	英語	水 1	1 年 理一(6,22,32,38)
講義題目 授業の目標概要		短編小説の精読ならびに映像版との比較 まず英語で一定の長さの短編小説を精読し、その後、それらを原作とする映像作品を考察することで、言語テクストと映像テクストとの比較を行います。授業全体としては、①英文読解力、②文体や形式に配慮した文学テクスト解釈、③技法や演出に注目した映像テクスト分析、④双方の深い理解にもとづく原作と映像テクストとの比較、⑤文学から映像への「アダプテーション（翻案)」に関する理解という５つの力を、実践をつうじてやしなうことを目標とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50470	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	エリス 俊子	英語	水 1	1 年 理一(6,22,32,38)
講義題目 授業の目標概要		Japan Narrative: Looking at Japan from Outside This course will examine how Japan has been narrated, represented and translated in modern Western discourses by looking at films and reading texts related to Japan. 「日本」が海外でどのように語られ、表象され、翻訳されてきたか、日本をめぐる映画や日本に関する文章を読みながら考える。 （オンライン授業になるため、諸事情により映像分析ではなく文章の読解が中心になる可能性あり。）				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50471	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	清水 徹郎	英語	水 1	1 年 理一(6,22,32,38)
講義題目 授業の目標概要		The New York Times Online を読み、今日の世界のさまざまな問題を語り合う The New York Times の記事とビデオを教材として、ナマの最新の英語に触れるとともに、今日の世界のさまざまな問題を英語で話し合う習慣と技術を涵養する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50472	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	ペティート ジョシュア	英語	水 1	1 年 理一(6,22,32,38)
講義題目		Technological Hauntings				
授業の目標概要		This class will consider the relationship of haunting and the occult to forms of modern media and technology, including the phonograph, the photograph, the telegraph, television, and film. Over the course of the semester, students will learn how modern media have, through processes of disembodiment and decorporealization, enabled the formation of discourses that yoke technology to conceptions of the spectral and ghostly.				

英語中級（クラス指定セメスター型）木 2

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50726	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	小田 悠生	英語	木 2	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
講義題目 授業の目標概要		国際人口移動の基本概念と現代世界の諸課題 この授業のテーマは、国際人口移動です。日本でも入国管理法の改正に伴い、「外国人労働者」や「移民」に関する議論が活発となっていますが、移民とは誰を指すのかといった基本的問題に始まり、現代の世界において国境が持つ意味といった問題まで、様々なイシューについて考えてみましょう。 指定テキストの英語レベルは、概説書や新書に相当します。前提知識がない読者を対象とした、初学者向けのアカデミックな英語を読解することができるようになることが目標です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50727	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	柳川 浩三	英語	木 2	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
講義題目 授業の目標概要		The primary purpose of this class is twofold. One is to enhance your English skills so high as to discuss a wide variety of global issues. This purpose will be done using various communication tasks such as Show and tell, group presentations, impromptu an 1. To better understand global issues and discuss them in English. 2. To share personal opinions, views, feelings, and experiences.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50728	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	吉国 浩哉	英語	木 2	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
講義題目 授業の目標概要		American Short Stories Believe it or not, there is such a thing as literature in America, and the purpose of this course is to familiarize students with this strange thing called American literature, which is usually considered a “minor” literature from the viewpoint of the history of civilization in the world. In the process to pursue this purpose, students will find themselves in a situation in which they cannot avoid reading more in English than they did in high schools. As a result, it is not totally unlikely that students might be able to develop their “reading skills” (whatever this phrase means). At least, it is very likely that students will become “used to” reading a considerable amount of texts written in English. As an English language course, there will be lectures on grammar and syntax that are used in the texts, but overall comprehension of the story and active interpretation on the side of the reader will receive more emphasis. This course will be taught in Japanese. Because this is not an “easy” course, those who see the English courses as nothing other than a means to earn credits should not take this course. If you are not confident enough about your command of English but willing to learn something new and different, there will be help for you. To the sophomore students, please contact the instructor before the first class via e-mail, and do not come to the meeting room without appointment.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50729	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	アンダル ジャクリーン	英語	木 2	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
講義題目 授業の目標概要		Contemporary Society This course will use a range of texts linked to contemporary social issues to improve students' ability to understand English. Discussions in class will be used to help with comprehension and to promote the active use of English. The course will include topics such as relationships, immigration, social protests and inequality. Texts may include newspaper articles, plays, political manifestos and extracts of academic texts.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50730	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	平賀 優子	英語	木 2	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
講義題目 授業の目標概要		英語発音演習―発音力から聴解力へ― この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習（音読）は、模倣からのみでなく、音声学の理論（特に、IPA：International Phonetic Alphabet）やシャドーイング、オーバーラッピングの手法を用いて行います。また、応用言語学に基づく英語学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50731	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	戸谷 陽子	英語	木 2	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
講義題目 授業の目標概要		アカデミックプレゼンテーション 大学での授業をはじめ、研究会やパネルディスカッションなど、アカデミックな状況において、英語で口頭発表を行うための方法とスキルを学び、ワークショップ形式で実践することにより、実際に使える技術として身につける。				

英語中級（クラス指定セメスター型）木３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50800	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	久世 恭子	英語	木 3	1 年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		'Language Myths' & 'Pygmalion' 言語に関する「神話」について言語学者が一般向けに解説するテクスト'Language Myths'を主教材とし、読解力向上を目指すだけでなく、言語神話形成の背景にある社会問題や文化への関心も養う。また、内容に関連のある戯曲'Pygmalion'の読み合わせや映画 Pygmalion/My Fair Lady の視聴を取り入れることにより、文学的な作品にも触れる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50801	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	アンダル ジャクリーン	英語	木 3	1 年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		Contemporary Society This course will use a range of texts linked to contemporary social issues to improve students' ability to understand English. Discussions in class will be used to help with comprehension and to promote the active use of English. The course will include topics such as relationships, immigration, social protests and inequality. Texts may include newspaper articles, plays, political manifestos and extracts of academic texts.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50802	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	ペティート ジョシュア	英語	木 3	1 年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		Technological Hauntings This class will consider the relationship of haunting and the occult to forms of modern media and technology, including the phonograph, the photograph, the telegraph, television, and film. Over the course of the semester, students will learn how modern media have, through processes of disembodiment and decorporealization, enabled the formation of discourses that yoke technology to conceptions of the spectral and ghostly.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50803	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	柳川 浩三	英語	木 3	1 年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		The primary purpose of this class is twofold. One is to enhance your English skills so high as to discuss a wide variety of global issues. This purpose will be done using various communication tasks such as Show and tell, group presentations, impromptu an 1. To better understand global issues and discuss them in English. 2. To share personal opinions, views, feelings, and experiences.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50804	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	中山 匡美	英語	木 3	1 年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		ニュース英語でインプットからアウトプットへ 日本の出来事、あるいは日本とも関係の深い世界の出来事についての英文ニュースを文字と音声で正しく理解し、ニュースで頻繁にでてくる語彙や表現を自分の言葉として使えるようになることを目標とする。また、英文ニュース特有の表現や構成についても学び、英語でニュースを書くことをめざす。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50805	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	戸谷 陽子	英語	木 3	1 年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)
講義題目		アカデミックプレゼンテーション				
授業の目標概要		大学での授業をはじめ、研究会やパネルディスカッションなど、アカデミックな状況において、英語で口頭発表を行うための方法とスキルを学び、ワークショップ形式で実践することにより、実際に使える技術として身につける。				

英語中級（クラス指定セメスター型）金１

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50914	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	ポター サイモン	英語	金 1	1 年 文三(6,8)理二三(6,18)
講義題目 授業の目標概要		Ethics in the Context of Major Religious Traditions The main objectives of this course are to gain some experience in reading and writing in English and to learn about major religious traditions and their relationship to the field of ethics. From the second scheduled class meeting, students will be expected to have read an assigned part of the book "An Interview with Pranavichara about the Subject of Ethics" and to be prepared to answer some questions and/or to write a short essay during class time (in the classroom or online). In the case of conventional class meetings, the teacher is likely to provide additional or explanatory information before the questions and/or essay prompt are given. In the event of a class being done online, the questions and/or essay prompt will be given near the beginning of the allotted time period and the answers and/or essay will be due near the end of it; some supplementary materials such as written information and ideas from the teacher, extra articles for reading, and/or links to relevant YouTube sites will also be provided. The religions and/or philosophies touched upon during this course are Hinduism, Buddhism, Judaism, Christianity, Islam, Confucianism, Taoism, and legalism.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50915	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	清水 徹郎	英語	金 1	1 年 文三(6,8)理二三(6,18)
講義題目 授業の目標概要		The New York Times Online を読み、今日の世界のさまざまな問題を語り合う The New York Times の記事とビデオを教材として、ナマの最新の英語に触れるとともに、今日の世界のさまざまな問題を英語で話し合う習慣と技術を涵養する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50916	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	ナルト デリック	英語	金 1	1 年 文三(6,8)理二三(6,18)
講義題目 授業の目標概要		Creative Thinking Albert Einstein once said that “creative imagination” is central to scientific progress. Apple Co-Founder Steve Jobs, like many business leaders nowadays, likewise stressed that creativity differentiates average individuals and companies from exceptional ones. As important as creativity is said to be in today’s competitive global economy, what the creative process requires or involves is usually left unexplained. This course, therefore, aims to familiarize participants with what creative thinking entails, why it is important, where it comes from, and how individuals can improve their critical faculties to enable them to thrive in our era of rapid technological, social, political and economic change. By the end of the course students, besides improving their English speaking, listening, and writing skills, will learn: -- how some of the greatest innovators in human history have applied creative thinking to achieve breakthroughs in the realms of science, business, and the arts -- how they can overcome thinking blocks, formulate effective questions, create the right environment for creative thinking, and turn their creative thoughts into action				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50917	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	川﨑 修一	英語	金 1	1 年 文三(6,8)理二三(6,18)
講義題目 授業の目標概要		「学校では扱われない英語の文法や構文」に関する英語文献を読む 本授業の目標は、一義的には学術的な英文を完璧に読むための読解力の養成です。また、学校文法で扱われることのない（にもかかわらず実際の英語では頻繁に確認できる）文法や構文に関する文献を読み、英語についての洞察を深めることを第二の目標とします。なお、使用する教材は、世界最高峰の英文法書 Quirk et al (1985) と Huddleston and Pullum (2002) を中心に、第一級の研究者による文献を予定しています。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50918	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	佐藤 洋一	英語	金 1	1 年 文三(6,8)理二三(6,18)
講義題目		The day you do business in English				
授業の目標概要		In this course, you will learn various kinds of English vocabulary and expressions necessary for practical business communication. You will be expected to develop your business English knowledge, including spoken and written communication and critical thinking skills, while learning various kinds of authentic English.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50919	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	矢島 宏紀	英語	金 1	1 年 文三(6,8)理二三(6,18)
講義題目		英文精読で触れるアメリカ史―アメリカにおける宗教				
授業の目標概要		詳細は検討中				

英語中級（クラス指定セメスター型）金３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50986	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	志子田 祥子	英語	金 3	1 年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)
講義題目 授業の目標概要		Let's Read and Discuss The aim of this course is to help students improve their reading skills in English, through a range of student-centred activities designed to stimulate responses and promote as much social interactions as possible online, including pair/group work and discussion. We will read extracts from a selection of short stories written by contemporary authors, including but not limited to the ones published in The New Yorker magazine. It is hoped that the course will help students not only to develop their reading fluency, but also to learn to enjoy authentic texts, as well as opening up new horizons.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50987	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	古田 直肇	英語	金 3	1 年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)
講義題目 授業の目標概要		An Introduction to Positive Psychology and Intellectual Life この授業では、ハーバード大学で人気を博したポジティブ心理学の講義を基にしたワークブックである Even Happier（邦題は『ハーバードの人生を変える授業』）を読んでいきます。ただポジティブ心理学の理論を学ぶだけではなく、本で紹介されているタスクを実際に行うことを通して、受講生それぞれが自分の人生観について思索を深めること、そして考えたことを英語で表現できるようになることを目指します。ハーバードで最大の履修者がつめかけたという本書の内容を語ることを通して、同時に、大学生や社会人に必須の「言語技術」（特に物語と要約の技法）の実践を試みます。 また、英文の講読を通じて、発音・文法・語彙など、英語の基礎を学び直しつつ、「英語の学び方」を学ぶことも、この授業の目標です。テキストは比較的平易な英語で書かれており、読み取るのに苦労はしないと思いますので、授業での主眼はアウトプットであり、書く能力と話す能力に重点を置きます。 授業は教科書を軸にして進みますが、ハマトンの『知的生活』など、教科書以外の題材も適宜取り入れて補足します。 授業の到達目標は、以下の通りです。 ・数ページ程度の英文のメッセージを的確に把握することができる。 ・ある程度入り組んだ構造の英文であっても、語彙・文法の知識を活用して精読することで、正確にその意味を理解することができる。 ・自分の人生経験を「ストーリー」として他人に伝わるように母語および英語で物語ることができる。 ・自分なりの人生観を構築し、それを他者に母語および英語で説明することができる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50988	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	勅使河原 三保子	英語	金 3	1 年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)
講義題目 授業の目標概要		英語で提供された情報の理解と分析 話題性のある事柄や現代社会の諸問題をテーマとしたオンライン記事を読んだり動画を視聴したりすることにより、英語で提供された情報の理解と分析の訓練を行います。同じテーマでも異なる見解に立って書かれた記事を比較したり、主張の根拠となる資料に当たってみたりします。また、様々な訛りのある英語にも触れる機会を持ち、ある程度聞き取れるようになるよう、英語圏以外の訛りのある英語を話す話者の動画も扱います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50989	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	LANDAU Samantha	英語	金 3	1 年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)
講義題目 授業の目標概要		Maritime Economy and the Weird Tale This class will focus on reading a variety of short "weird tales" that concern the maritime economy between the mid-1800s to early WWII, touching on monsters, shipwrecks, and weird sea places. Students will consider how these stories criticize nautical transport, slavery and the slave economy, colonialism, and human greed. This course is designed to engage students in interdisciplinary approaches to reading a text. This course also aims to teach students to deeply consider historical contexts when reading literature. Students who want to understand psychological, economic, or scientific aspects of literature are encouraged to take this course.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50991	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	清水 徹郎	英語	金 3	1 年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)
講義題目 授業の目標概要		The New York Times Online を読み、今日の世界のさまざまな問題を語り合う The New York Times の記事とビデオを教材として、ナマの最新の英語に触れるとともに、今日の世界のさまざまな問題を英語で話し合う習慣と技術を涵養する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50992	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	ポター サイモン	英語	金 3	1 年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)
講義題目 授業の目標概要		Ethics in the Context of Major Religious Traditions The main objectives of this course are to gain some experience in reading and writing in English and to learn about major religious traditions and their relationship to the field of ethics. From the second scheduled class meeting, students will be expected to have read an assigned part of the book “An Interview with Prānavichāra about the Subject of Ethics” and to be prepared to answer some questions and/or to write a short essay during class time (in the classroom or online). In the case of conventional class meetings, the teacher is likely to provide additional or explanatory information before the questions and/or essay prompt are given. In the event of a class being done online, the questions and/or essay prompt will be given near the beginning of the allotted time period and the answers and/or essay will be due near the end of it; some supplementary materials such as written information and ideas from the teacher, extra articles for reading, and/or links to relevant YouTube sites will also be provided. The religions and/or philosophies touched upon during this course are Hinduism, Buddhism, Judaism, Christianity, Islam, Confucianism, Taoism, and legalism.				

英語中級（クラス指定セメスター型）金４

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51047	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	志子田 祥子	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		Let's Read and Discuss The aim of this course is to help students improve their reading skills in English, through a range of student-centred activities designed to stimulate responses and promote as much social interactions as possible online, including pair/group work and discussion. We will read extracts from a selection of short stories written by contemporary authors, including but not limited to the ones published in The New Yorker magazine. It is hoped that the course will help students not only to develop their reading fluency, but also to learn to enjoy authentic texts, as well as opening up new horizons.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51048	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	小林 宜子	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		Reith Lectures の読解と聴解を通して英語の理解力を養う 毎年、イギリスの公共放送局 BBC のラジオで放送される Reith Lectures のスクリプトと音声を教材として用い、各界を代表する専門家が一般の聴衆向けに行なった講演内容の読解と聴解を通じて英語の理解力を養います。講演の内容は政治、法律、科学、医学、文学など多岐にわたります。特に印象深く、啓発的な内容の講演を 5〜6 つほど選び、英文を細部まで正確に理解する力を養うとともに、講演で扱われた種々のテーマについても考察します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51049	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	土屋 和代	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		現代アメリカにおけるブラック・ライヴズ・マター運動 戦間期を起点とし、公教育の場における人種隔離を禁じた 1954 年のブラウン判決以降、全米各地で劇的に展開した黒人解放運動は、アフリカ系アメリカ人の生活を大きく変えただけでなく、アメリカ社会を根底から揺さぶり再編するものだった。奴隷としての身分から解放されて以降も「二級市民」としての地位を押しつけられてきたアメリカ黒人たちが、自らの権利を求め立ち上がった運動の歴史について、黒人解放運動に関連する文献を読み、学ぶ。 今学期はオバマ政権下のブラック・ライヴズ・マター運動の展開に焦点をあてる。文献の購読を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させるとともに、関連するドキュメンタリー等を視聴し、背景となるアメリカの黒人解放運動と 20 世紀の米国の歴史、社会、文化についての理解を深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51050	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	LANDAU Samantha	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		Introduction to American Gothic Fiction This course is an overview introduction to American Gothic fiction. In this class, students will learn to read literature in an interdisciplinary way. They will approach American Gothic through the lens of American social issues and in the context of American history. In addition to stories, students may be introduced to history, social criticism, gender theory, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51052	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	勅使河原 三保子	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		英語で提供された情報の理解と分析 話題性のある事柄や現代社会の諸問題をテーマとしたオンライン記事を読んだり動画を視聴したりすることにより、英語で提供された情報の理解と分析の訓練を行います。同じテーマでも異なる見解に立って書かれた記事を比較したり、主張の根拠となる資料に当たってみたりします。また、様々な訛りのある英語にも触れる機会を持ち、ある程度聞き取れるようになるよう、英語圏以外の訛りのある英語を話す話者の動画も扱います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51053	A	英語中級 （クラス指定セメスター型）	ポター サイモン	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		Ethics in the Context of Major Religious Traditions The main objectives of this course are to gain some experience in reading and writing in English and to learn about major religious traditions and their relationship to the field of ethics. From the second scheduled class meeting, students will be expected to have read an assigned part of the book “An Interview with Prānavichāra about the Subject of Ethics” and to be prepared to answer some questions and/or to write a short essay during class time (in the classroom or online). In the case of conventional class meetings, the teacher is likely to provide additional or explanatory information before the questions and/or essay prompt are given. In the event of a class being done online, the questions and/or essay prompt will be given near the beginning of the allotted time period and the answers and/or essay will be due near the end of it; some supplementary materials such as written information and ideas from the teacher, extra articles for reading, and/or links to relevant YouTube sites will also be provided. The religions and/or philosophies touched upon during this course are Hinduism, Buddhism, Judaism, Christianity, Islam, Confucianism, Taoism, and legalism.				

英語中級・上級　全クラス型

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50003	A	英語中級	佐藤 光	英語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		アガサ・クリスティ『パディントン発 4 時 50 分』を原文で読む				
授業の目標概要		＜目標＞英語で小説を読み切ることを目指します。 ＜概要＞原作を必ず手に入れて、読み進めて下さい。Harper Collins 版を生協が手配します。推理小説、英文学、イギリス文化に興味のある人を歓迎します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50176	A	英語中級	中尾 まさみ	英語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		英語圏の短編小説を読む				
授業の目標概要		英語圏で書かれた短編小説を講読します。英語を日常の言語として使用する国や地域は世界中に数多くあり、そこで書かれる文学作品もまた、それを生んだ社会、歴史、文化を反映して実に多彩な魅力を放っています。授業では、そうした作品を丁寧に読んで英語表現や文法構造などを解析する力をつけるとともに、文化的背景についても学びます。 ＊この授業は、オンラインで行います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50177	A	英語中級	LANDAU Samantha	英語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Introduction to American Gothic Fiction				
授業の目標概要		This course is an overview introduction to American Gothic fiction. In this class, students will learn to read literature in an interdisciplinary way. They will approach American Gothic through the lens of American social issues and in the context of American history. In addition to stories, students may be introduced to history, social criticism, gender theory, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50178	A	英語中級	小川 浩之	英語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Axis Empires: Towards a Global History of Fascist Imperialism				
授業の目標概要		一国史を超える視野と比較と関係性の視座を特徴とするグローバル・ヒストリーの代表的な学術雑誌である Journal of Global History の 2017 年 7 月刊行（Volume 12, Issue 2）の特集号（Axis Empires: Towards a Global History of Fascist Imperialism）から選んだ論文の読解を通して、日独伊三カ国の帝国や帝国主義について学ぶ。1 週間で扱う英文は 5〜10 ページ程度である。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50179	A	英語中級	後藤 春美	英語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		帝国の歴史				
授業の目標概要		ロンドン大学歴史研究所（Institute of Historical Research）が発行している学術雑誌 Historical Research に掲載された論文の読解。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50247	A	英語中級	エリス 俊子	英語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Japan Narrative: Looking at Japan from Outside					
授業の目標概要	This course will examine how Japan has been narrated, represented and translated in modern Western discourses by looking at films and reading texts related to Japan. 「日本」が海外でどのように語られ、表象され、翻訳されてきたか、日本をめぐる映画や日本に関する文章を読みながら考える。 （オンライン授業になるため、諸事情により映像分析ではなく文章の読解が中心になる可能性あり。）					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50248	A	英語中級	寺澤 盾	英語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	プレゼンテーションの基礎					
授業の目標概要	英語によって明晰かつ説得力のあるプレゼンテーションを行うことを目標にする。そのために、まず、それに必要な発表原稿の作成の仕方から学んでいく。併せて、発表をより効果的に行うための視覚的資料の用い方についても学んでいく。授業では、グループによる活動が中心となる。授業は毎週オンラインで行う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50673	A	英語中級	佐藤 光	英語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	アガサ・クリスティ『パディントン発 4 時 50 分』を原文で読む					
授業の目標概要	＜目標＞英語で小説を読み切ることを目指します。 ＜概要＞原作を必ず手に入れて、読み進めて下さい。Harper Collins 版を生協が手配します。推理小説、英文学、イギリス文化に興味のある人を歓迎します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50674	A	英語中級	後藤 春美	英語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	帝国の歴史					
授業の目標概要	ロンドン大学歴史研究所（Institute of Historical Research）が発行している学術雑誌 Historical Research に掲載された論文の読解。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50675	A	英語中級	小野瀬 宗一郎	英語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	現代アイルランド文学の短編を読む					
授業の目標概要	現代アイルランド文学を代表する作家による短編をいくつか読みます。英語の文学テキストを読みながら、英文の読解力を向上させ、異文化に対する理解を深めるのがこの授業の主な目的です。短編ごとに、担当教員が作家と時代背景について説明するので、文学やアイルランドについての知識がなくても問題ありません。この機会に外国文学を読んでみようという方、大いに歓迎します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50710	A	英語中級	小野瀬 宗一郎	英語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	現代アイルランド文学の短編を読む					
授業の目標概要	現代アイルランド文学を代表する作家による短編をいくつか読みます。英語の文学テキストを読みながら、英文の読解力を向上させ、異文化に対する理解を深めるのがこの授業の主な目的です。短編ごとに、担当教員が作家と時代背景について説明するので、文学やアイルランドについての知識がなくても問題ありません。この機会に外国文学を読んでみようという方、大いに歓迎します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50939	A	英語中級	寺澤 盾	英語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	プレゼンテーションの基礎					
授業の目標概要	英語によって明晰かつ説得力のあるプレゼンテーションを行うことを目標にする。そのために、まず、それに必要な発表原稿の作成の仕方から学んでいく。併せて、発表をより効果的に行うための視覚的資料の用い方についても学んでいく。授業では、グループによる活動が中心となる。授業は毎週オンラインで行う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50940	A	英語中級	小野瀬 宗一郎	英語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	現代アイルランド文学の短編を読む					
授業の目標概要	現代アイルランド文学を代表する作家による短編をいくつか読みます。英語の文学テキストを読みながら、英文の読解力を向上させ、異文化に対する理解を深めるのがこの授業の主な目的です。短編ごとに、担当教員が作家と時代背景について説明するので、文学やアイルランドについての知識がなくても問題ありません。この機会に外国文学を読んでみようという方、大いに歓迎します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51085	A	英語中級	小川 浩之	英語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Axis Empires: Towards a Global History of Fascist Imperialism					
授業の目標概要	一国史を超える視野と比較と関係性の視座を特徴とするグローバル・ヒストリーの代表的な学術雑誌である Journal of Global History の 2017 年 7 月刊行（Volume 12, Issue 2）の特集号（Axis Empires: Towards a Global History of Fascist Imperialism）から選んだ論文の読解を通して、日独伊三カ国の帝国や帝国主義について学ぶ。1 週間で扱う英文は 5〜10 ページ程度である。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51086	A	英語中級	石原 剛	英語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	多種多様な英語ディスカッションやリスニング練習を通して、英語の表現力と理解力を養成する					
授業の目標概要	教育、環境、家族、健康、宇宙開発など多岐にわたるテーマを用いて、自分の考えを英文でパラグラフにまとめたり、様々な英語 Discussion や英語 Listening 練習を行い、必要な情報や重要な意見を的確に英語で表現し、かつ理解する能力を養う。その為に、ディスカッションの場で良く使用される英語表現や重要語彙だけでなく、確認、批判、同意などの技法を学ぶことで、効果的に英語でコミュニケーションを進める経験をしてもらう。特に、アイディアを効果的に整理し、主張を明確にまとめ、的確な英語表現で発信できるような練習や、様々なジャンルやテーマのリスニング教材を利用して、必要な情報を効率よく把握する練習を行う。具体的には、予測の仕方や、図などを利用した情報整理の方法、話者の声のトーンなどに注目することで真意を推し量る技術などを学ぶ。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50004	A	英語上級	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Writing Myth, Reading Culture: An Introduction to Folklore Studies This course will provide students with a foundation in working in English to conduct folkloric studies. Working through a series of comparative case studies, your class activities will be based around group discussions, presentations, in-class readings and student-led work - each designed to help develop your verbal and analytic skills in English language. Students will examine folklore from a cross-cultural perspective, exploring folktales, ghost stories, myths and legends from the geographical East and West. As well as assessing the role of folklore from both contemporary and historical viewpoints, the class will also introduce students to methodological approaches in the investigation of folklore. You will be required to write a research paper and give short presentations in English, as well as to undertake various homework tasks throughout the course (readings, creative assignments, compiling research etc.). The class will be based on in-class discussion, written responses and presentation of ideas in English.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50676	A	英語上級	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Geographies of Horror This course will introduce students to the role of geography in cinematic and literary horror, exploring the ways in which filmmakers and writers have tried to imagine the supernatural qualities of the world that surrounds them. Starting with a short introduction to cultural geography, the classes will move on to discuss specific English language examples of gothic, monstrous and ecological horror. You will be studying the works of a range of influential writers, including; M.R. James, Lafcadio Hearn, and Shirley Jackson. You will consider how the supernatural entities that appear in horror (ghosts, vampires, zombies etc.) can be seen to tell us about place and environment, expressing the complex relationship between people and the landscapes they inhabit. Using cultural geography as a backdrop for the course, students will examine the impact of horror on the way we think about and describe the threat of the natural world. A number of short readings will provide opportunities for weekly class discussions, written responses and brief presentations in English, and develop comprehension of the texts that accompany the course. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class activities and presentations. Furthermore, this course aims to help you develop your analytical skills in working with English language texts, and audio-visual materials.				

総合科目 L　ドイツ語

ドイツ語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要	In dem Kurs werden überwiegend Grammatik- und Gespraechs-, durchgeführt, die sich an den Themen des Lehrbuchs orientieren, das auch in der ersten Reihe verwendet wird. 一列の授業で学習する教科書のテーマに沿った文法と会話の練習をおこなう。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　　ドイツ語共通教科書『Einblicke』 著者（訳者）　東京大学教養学部ドイツ語部会編
関連ホームページ	http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
51466	火 2	長木 誠司	1 年 文科(TLP)
50330	火 3	クリスティアン クリンク	1 年 文一二(20)
50331	火 3	オプヒュルス 鹿島	1 年 文一二(22)
50139	水 3	デーゲン ラルフ	1 年 文三(16)
51514	水 6	デーゲン ラルフ	1 年 文科(オンライン専用)
50603	水 3	Ｉ・カウフマン	1 年 文一二(21)
50745	木 2	ククリンスキ ルーベン	1 年 文三(15)
51484	金 2	田中 純	1 年 文科(TLP)

※TLP 履修者は、対象クラスで「1 年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51465	A	ドイツ語初級（演習）	長木 誠司	ドイツ語	火 2	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語演習（TLP クラス指定科目） In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレヴェルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51474	A	ドイツ語初級（演習）	Ｉ・カウフマン	ドイツ語	木 5	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語演習（準必修クラス指定科目） 理科生を対象として開講される、文科生の演習にあたる科目です。1 年理科生のみ受講可能。 In dem Kurs werden überwiegend Grammatik-, Gesprächs-, und Hörübungen durchgeführt, die sich an den Themen des Lehrbuchs orientieren, das auch in der ersten Reihe verwendet wird. 発音練習・聴き取り・文法ドリル・読解や表現の練習などを行い、一列の授業で学習した文法の知識の定着を図る。特に文法と会話の練習に重点を置く。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51482	A	ドイツ語初級（演習）	田中 純	ドイツ語	金 2	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語演習（TLP クラス指定科目） In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレヴェルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51461	A	ドイツ語初級（会話）	オプヒュルス 鹿島	ドイツ語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語会話 初めてドイツ語を学ぶ学生をめざし、DVD 付きの教科書を使って日常生活における基礎的なドイツ語表現（書く、聞き取り、コミュニケーション能力、単語習得）の運用能力を養う。夏学期を続ける。 Der Zweck dieses Kurses ist es, mit Hilfe von DVDs und entsprechenden Übungen dazu, die kommunikativen Fähigkeiten (Schreiben, Hörverständnis, Sprech- und Kommunikationsfähigkeit, Entwicklung des Vokabulars) der Teilnehmer zu entwickeln. Der Kurs baut auf dem Kurs im Frühjahrssemester auf.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51475	A	ドイツ語初級（作文）	金 志成	ドイツ語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ドイツ語初級（作文）				
授業の目標概要		作文の練習に特化したドイツ語の授業です。作文をつうじて文法事項のより深い定着を目指すと同時に、「正確」かつ「自然」なドイツ語の文章が書けるようになることを目標にします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51479	A	ドイツ語初級（作文）	工藤 達也	ドイツ語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ドイツ語初級（作文）				
授業の目標概要		ドイツ語を S セメスターから始めた学生を対象に基礎となる文法事項を確認、復習しながら独作文の能力を高める。A セメスターから習う文法事項も扱うことになるが、履修しているクラスの進度も考慮する。 以上のことから、必ず前期課程の統一教科書である Einblicke を持参すること。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51458	A	ドイツ語初級（表現練習）	ウォルブリング エファ	ドイツ語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ドイツ語初級（表現練習） ドイツ語の会話入門クラス Deutschkonversionsklasse für Anfänger*Innen				
授業の目標概要		ドイツ語会話の基礎力の向上を目指す授業です。既習の語彙・文法を復習しながら、語彙力・表現力を高め、ドイツ語の自然なリズムとイントネーションを定着させていきます。 日常会話のさまざまな場面を想定し、受信・発信の基礎を学んでいきます。教室での練習を通じ、自分の要求や簡単な考えをスムーズに発話できると同時に、ネイティブの指示や意見の大意をつかむことのできる程度のヒアリング力を養います。一連の学習を通じて、外国語運用能力を高め、既定の目標レベルに到達するための成し遂げ力（実行と継続力）を養っていきます。ゲーテインスティテュートの協力で作成された「ヨーロッパ言語共通参照枠」における A 1 レベルを到達目標にしています。 Diese Deutschklasse ist für Anfänger*Innen und hat das Ziel, die deutsche Alltagssprache zu vermitteln, sodass eine einfache Kommunikation mit Muttersprachlern möglich ist. Als Basis dient das Level A1 des Allgemeinen Europäischen Referenzrahmens.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51459	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	月 5	1 年 文科 理科
講義題目		ドイツ語初級（インテンシヴコース）				
授業の目標概要		S セメスターで学んだ基礎的なドイツ語の知識を実践的に練習して、読む・聴く・話す・書く能力の定着を図ります。 単位取得を希望する参加者は同一の教員が担当する 2 コマ(月曜 5 限・水曜 5 限)を履修してください。並行して開講される他のインテンシヴコースの時間を含めて履修することはできません。 30 名程度を上限とし、履修希望者が多い場合は、他のコースを履修することが困難な希望者の履修を優先します。 なお、冬学期からの履修も可能です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51460	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	Ｉ・カウフマン	ドイツ語	月 5	1 年 文科 理科

講義題目　ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）
授業の目標概要
In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen.
Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen.
この授業では、必修の一列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレヴェルを修了することを目指す。
ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51470	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	水 5	1 年 文科 理科

講義題目　ドイツ語初級（インテンシヴコース）
授業の目標概要
Ｓセメスターで学んだ基礎的なドイツ語の知識を実践的に練習して、読む・聴く・話す・書く能力の定着を図ります。
単位取得を希望する参加者は同一の教員が担当する 2 コマ(月曜 5 限・水曜 5 限)を履修してください。並行して開講される他のインテンシヴコースの時間を含めて履修することはできません。
30 名程度を上限とし、履修希望者が多い場合は、他のコースを履修することが困難な希望者の履修を優先します。
なお、冬学期からの履修も可能です。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51471	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	Ｉ・カウフマン	ドイツ語	水 5	1 年 文科 理科

講義題目　ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）
授業の目標概要
In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen.
Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen.
この授業では、必修の一列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレヴェルを修了することを目指す。
ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51472	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	水 5	1 年 文科 理科

講義題目　ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）
授業の目標概要
In dem Kurs wird das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen mit geringen Vorkenntnissen (Niveau A1) der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen.
Die Teilnehmer*innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen.
この授業では、必修の一列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を前期で始めた学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレヴェルを修了することを目指す。
ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51483	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	金 2	1 年 文科 理科

講義題目　ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）

授業の目標概要
In dem Kurs wird das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen mit geringen Vorkenntnissen (Niveau A1) der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen.
Die Teilnehmer*innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen.
この授業では、必修の一列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を前期で始めた学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレヴェルを修了することを目指す。
ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51462	A	ドイツ語初級（第三外国語）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　Deutsche Grammatik / German Grammar (Anfänger / Beginner)
Fortsetzungskurs / Continuation Course

授業の目標概要
Dieser Kurs ist für Studierende mit Vorkenntnissen der deutschen Sprache konzipiert (Stufe A1.1 des Europäischen Referenzrahmens). Im Mittelpunkt steht die Festigung der bereits erlernten Grammatik sowie die Vermittlung von weiteren grundlegenden grammatischen Strukturen. Durch diverse Übungen sollen die vier sprachlichen Fähigkeiten (Hören, Lesen, Schreiben, Sprechen) erlernt bzw. gefestigt werden. Der Kurs baut auf dem im Sommersemester (April – Juli) Gelernten auf, d.h. dass dieser im Wintersemester (September – Januar) angebotene Kurs ein Fortsetzungskurs auf Niveau A1.1 ist. Studenten, die nicht am Einführungskurs im Sommersemester teilgenommen haben, können ebenfalls an diesem Kurs teilnehmen, insofern ihre Kenntnisse in etwa auf dem oben angegebenen Niveau sind.
This course is designated for students with a previous knowledge of German (roughly equal to Level A1.1 of the European Reference Framework). The course focuses on consolidating the students' German knowledge. Moreover, further essential German grammatical structures are taught. Through various exercises (listening, reading, writing, speaking), students train what they have previously learned as well as practice newly learned grammar. This course (September – January) continues where the one in the summer semester (April – July) left off. This means this course is meant to be a continuation course (level A1.1). Students who did not participate in the course offered in the summer semester can still take this class, if their knowledge of German is roughly equal to the level mentioned above.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51476	A	ドイツ語初級（第三外国語）	宮谷 尚実	ドイツ語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ドイツ語初級（第三外国語）

授業の目標概要
この授業では、１学期でヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）A1 レベルの到達を目標とします。ABC から接続法まで、ドイツ語文法の見取り図を手に入れることを目指します。文法学習に伴い、言語の４技能（リスニング・スピーキング・リーディング・ライティング）の基本を習得します。本科目の修了後、各自の必要や興味に応じてドイツ語の運用能力を高めることができるようなドイツ語学習の基礎作りをします。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51480	A	ドイツ語初級（第三外国語）	新本 史斉	ドイツ語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ドイツ語初級（第三外国語）

授業の目標概要
S セメスターに続いて、『リヒトホーフー初級ドイツ文法』（本冊文法、別冊会話練習、朝日出版社）とプリントを用いて、ドイツ語文法の学習を進めつつ、ドイツ語を読む・話す・書く力の基礎を身につけていきます。
文法を一通り学んだ後は、同時代のトピックを扱う初中級のテクスト（プリントで配布）の講読を通じて、読む・聞く能力の向上を目指します。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51463	A	ドイツ語中級（演習）	久保 哲司	ドイツ語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	「ヨブ記」をやさしいドイツ語で読む					
授業の目標概要	何も悪いことをしていないのに、なぜこんな苦難に会うのか。これが旧約聖書「ヨブ記」のテーマです。過去に大きな災害が起こったときと同様、現在のコロナ禍のなかでも関心を呼んでいるこの書を読んでみましょう。テクストには、平易なドイツ語で短くまとめたものを使います。 これを終えたら、ドイツ語の短篇小説（これもやさしく書き直されたもの）を読みたいと思います。 平易な文章ならばある程度のスピードで、しかも正確に読めるようになることが授業の第 1 の目標です。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51485	A	ドイツ語中級（演習）	三宅 晶子	ドイツ語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ドイツ語中級（演習）：オンラインでドイツ語を楽しむ					
授業の目標概要	初級文法を学習済みの受講者を対象として、ドイツ語の総合的な能力のさらなる発展、ドイツ文化の理解を目指します。もう少しドイツ語をやってみたい、という学生さんを歓迎します。レベルとしては、欧州言語共通参照枠 A2 ないしはドイツ語検定 3 級（文法全体を勉強し終えたたレベル）を確実にし、さらにその上の B 1 ないしは独検 2 級取得可能なレベルを目標とします。ドイツのいろいろなサイトを使うなど、オンライン授業の特性を活かし、授業の内外で、様々な形でドイツ語に触れる機会をつくりながら授業を進めていきたいと思います。今後もドイツ語学習を自分で続けていけるように、役に立つサイトや文献も紹介していきます。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51481	A	ドイツ語中級（会話）	Ｉ・カウフマン	ドイツ語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ドイツ語中級（会話）					
授業の目標概要	Der Kurs richtet sich an Studenten mit Vorkenntnissen und dient dazu, die Sprechfähigkeit auszubauen und das Hörverstehen zu trainieren. Die Teilnehmer sollen lernen, Gespräche über verschiedene Themen des alltäglichen Lebens zu führen. Das Lehrmaterial wir abhängig vom Niveau und Interesse der Teilnehmer bestimmt. 中級会話の授業なので、初級程度の知識が前提となる。スピーキングはリスニングと一緒に練習し、ドイツ語を話すだけでなく、同時に聞く力も身につくようにする。グループ練習などを通して表現力を向上させ、ドイツでの日常生活の様々な状況に対応できるようになることを目指す。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51477	A	ドイツ語中級（作文）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ドイツ語中級（作文） Schreibübungen (Mittelstufe)					
授業の目標概要	様々なテーマについてドイツ語で表現する練習をする。 In diesem Seminar lernen die Studierenden, wie man Texte auf Deutsch zu verschiedenen Themen schreibt. Sie erwerben die Fähigkeit, Texte zu gliedern, Inhalte zusammenzufassen und kritisch zu erörtern.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51464	A	ドイツ語中級（インテンシヴ）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ドイツ語中級（インテンシヴ）／German Language (Intermediate)

授業の目標概要　この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業は S セメスターの「ドイツ語初級（インテンジヴ）」を続け、ドイツ語を前期で始めた学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 レヴェルに必要な能力を養うことを目指す。

ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A2 レヴェルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。

Dieser Kurs ist die Fortsetzung des Kurses „German Language (Intermediate)“ aus dem Sommer-Semester und richtet sich an Anfänger*innen mit geringen Vorkenntnissen (ca. A1) der deutschen Sprache, die zeitgleich in den Kursen der 1.+2. Reihe deutsche Grammatik lernen. In Ergänzung dazu wird in diesem Kurs das grammatische Wissen durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben in der Praxis gefestigt. Der Kurs zielt das Niveau A2 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER) an.

Die Teilnehmer*innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe Zertifikats A2.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51478	A	ドイツ語中級（インテンシヴ）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ドイツ語中級（インテンシヴ）／German Language (Intermediate)

授業の目標概要　この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業は S セメスターの「ドイツ語初級（インテンジヴ）」を続け、ドイツ語を前期で始めた学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 レヴェルに必要な能力を養うことを目指す。

ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A2 レヴェルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。

Dieser Kurs ist die Fortsetzung des Kurses „German Language (Intermediate)“ aus dem Sommer-Semester und richtet sich an Anfänger*innen mit geringen Vorkenntnissen (ca. A1) der deutschen Sprache, die zeitgleich in den Kursen der 1.+2. Reihe deutsche Grammatik lernen. In Ergänzung dazu wird in diesem Kurs das grammatische Wissen durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben in der Praxis gefestigt. Der Kurs zielt das Niveau A2 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER) an.

Die Teilnehmer*innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe Zertifikats A2.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51457	A	ドイツ語上級（演習）	Ｉ・カウフマン	ドイツ語	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ドイツ語上級（演習）

授業の目標概要　Der Kurs richtet sich an Studenten, die die Stufe B1 erreicht haben und ihre Fähigkeiten festigen und weiter ausbauen wollen. Dabei sollen alle Fertigkeiten einbezogen werden.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51468	A	ドイツ語上級（会話）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Konversationskurs Oberstufe ドイツ語上級（会話）				
授業の目標概要		Der Kurs richtet sich an Studenten, die bereits über (sehr) gute Deutschkenntnisse verfügen und diese weiter verbessern und anwenden möchten. Besonders die mündliche Ausdrucksfähigkeit soll hier trainiert werden, aber auch die anderen Teildisziplinen (Lesen, Schreiben, Hören) werden gezielt gefördert.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51473	A	ドイツ語上級（読解）	高橋 宗五	ドイツ語	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ドイツ語上級（読解）： Franz Kafka, Der Prozeß 講読				
授業の目標概要		文法事項の復習確認等を行いながらドイツ語で書かれた小説を読みます。カフカのこの小説は、James Joyce, Ulysses と Marcel Proust の A la recherche du temps perdu と並ぶ二十世紀を代表する有名かつ重要な小説です。授業中にそれほど多くを読むことはできないとは思いますが、この小説が世界文学の一角を占める重要な作品であることがお分かり頂けるように読んでゆきたいと思います。 カフカの作品は語彙がそれほど多くなく、例えば、Thomas Mann のテクストと比べると比較的に読みやすいと思います。またカフカの文体は独特ですからその魅力は原文で読まないと理解できません。 文学作品ですから丁寧に読んでゆきますが、他方で専門でドイツ語の読解力を生かすことができるようにするためにはある程度の速さで読むことができることも必要です。そのためこの授業の後半で速読の訓練もします。ドイツ語の文献を専門に扱うのではなくとも専門領域でドイツ語の文献を使用する場合には一時間で十頁ほどは読めないと困るでしょう。しかし心配は要りません。1 時間に 1〜2 頁読む力があれば訓練次第で 10 頁、或いは 20 頁、30 頁と読むことができるようになります。この半年の授業で一時間に 10 頁、20 頁読める水準にまで速読の力を引き上げることは無理でしょうから、自分で速読の訓練ができるように速読の訓練の仕方を教授します。英語のテクストがかなり速く読める方はドイツ語のテクストをそれと同じ程度に読めるようになるにはそれほど時間を要しません。また逆にドイツ語のテクストが速く読めるようになると英語のテクストも速く読めるようになります。 勿論速く読めたらよいという訳ではありません。カントの『純粋理性批判』やヘーゲルの『精神現象学』のような書物は速く読めませんし、速く読む必要もありません。しかし種々の理由から速く読まなければならない場合もあるでしょう。この授業だけで直ぐに速く読めるようになる訳ではありませんが、速読の訓練の仕方を身に付けたらじっくり時間を掛けて自分で速読の技を磨くことができるようになります。				

総合科目 L　フランス語

フランス語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要　一列・二列で文法および講読の基礎を学習していることを踏まえ、演習では発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。
この授業科目は文科生を対象としたものであるが、理科生に対しては、これに相当するものとして、国際コミュニケーション「フランス語初級（演習）」が開講されているので、積極的に参加してほしい。

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50134	月 4	デルヴロワ ミカエル	1 年 文一二(26)
50263	火 2	寺田 寅彦	1 年 文科(TLP)
50332	火 3	ビゼ	1 年 文一二(23)
50406	火 4	ビゼ	1 年 文一二(24)
50531	水 2	ファイフ ベアトリクス	1 年 文一二(27)
50532	水 2	アルベリック ドリブル	1 年 文一二(28)
50604	水 3	ファイフ ベアトリクス	1 年 文一二(25)
50638	水 4	アルベリック ドリブル	1 年 文三(20)
51010	金 3	ビゼ	1 年 文三(17)
51011	金 3	CAPEL Mathieu	1 年 文三(19)
51056	金 4	アガエス ジュリアン	1 年 文三(18)

※TLP 履修者は、対象クラスで「1 年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50262	A	フランス語初級（演習）	郷原 佳以	仏語・伊語	火 2	1 年 理科
講義題目		ＴＬＰフランス語演習（1 年次）				
授業の目標概要		ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（ＴＬＰ用）、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50677	A	フランス語初級（演習）	デルヴロワ ミカエル	仏語・伊語	水 5	1 年 理科
講義題目		フランス語初修				
授業の目標概要		一列・二列での学習内容を踏まえながら、発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などをおこないます。文科生の必修授業「フランス語演習」に対応する授業内容を理科生に向けて開く、ということが趣旨です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50249	A	フランス語初級（会話）	Vallienne Corinne	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Parlons français !				
授業の目標概要		会話の例文を読んでからペアで練習します。学生同士のコミュニケーションが中心です。教科書の練習問題をしながら、聞く、読む、話す、書くの４つの能力も鍛えます。初心者を対象とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50711	A	フランス語初級（作文）	CAPEL Mathieu	仏語・伊語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		フランス語作文				
授業の目標概要		毎週の短い作文課題に取り組むことで初級文法を用いて作文の能力を高めることを目標とする。同時に綴り字法の能力を高めるためにディクテ（書き取り）を毎週行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50250	A	フランス語初級（読解）	関俣 賢一	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		フランス語で簡単な文章・好きな文章を読んでみよう				
授業の目標概要		簡単なフランス語で書かれた文章を読むことによって、フランス文法・語彙の基礎固めをし、中上級への足掛かりをつくる。 また、各自が興味・関心のあるフランス語の文章読解を通して、多様な分野に亘る知見の深め方を習得する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50941	A	フランス語初級（読解）	鈴木 順子	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		フランス語初級（読解)				
授業の目標概要		受講者の中には初級文法に未修項目がある人もいることを踏まえつつ、文法の学習を並行して進めながら、授業を行う。初歩的な時事フランス語講読を通して、語彙力、読解力を身につけ、また同時にフランスの文化と社会の理解も深めていきたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50007	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	月 1	1年 文科 理科
講義題目		ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（1年次）				
授業の目標概要		ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（ＴＬＰ用）、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50008	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	月 1	1年 文科 理科
講義題目		ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（1年次）				
授業の目標概要		ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（ＴＬＰ用）、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50180	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	月 5	1年 文科 理科
講義題目		フランス語初級（インテンシヴコース）				
授業の目標概要		このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる２つの授業のうちの１つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、木曜日１限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、アガエス）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50181	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	月 5	1年 文科 理科
講義題目		フランス語初級（インテンシヴコース）				
授業の目標概要		このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる２つの授業のうちの１つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、水曜５限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、ドリブル）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50678	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	水 5	1年 文科 理科
講義題目		フランス語初級（インテンシヴコース）				
授業の目標概要		このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる２つの授業のうちの１つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、月曜５限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、ドリブル）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50712	A	フランス語初級 （インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	木 1	1 年 文科 理科
講義題目		フランス語初級（インテンシヴコース）				
授業の目標概要		このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる 2 つの授業のうちの 1 つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、月曜日 5 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、アガエス）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50951	A	フランス語初級 （インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科
講義題目		ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（1 年次）				
授業の目標概要		ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（ＴＬＰ用）、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51092	A	フランス語初級 （インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	金 5	1 年 文科 理科
講義題目		ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（1 年次）				
授業の目標概要		ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（ＴＬＰ用）、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50549	A	フランス語初級 （第三外国語）	小西 英則	仏語・伊語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		フランス語初級 （第三外国語）				
授業の目標概要		フランス語の文法的な仕組みを一通り理解し、丁寧に辞書を引けば平易な文章の意味が理解できるようになる。学習した文法事項の一部を用いながら、特定の話題に関してフランス語で自然に会話ができるようになる。フランス語の綴りと発音の関係を理解し、文章を正しく音読できるようになる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50679	A	フランス語初級 （第三外国語）	小野 潮	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		フランス語初級				
授業の目標概要		フランス語の初級文法の骨格を理解する。 フランス語のテキストを正しく音読できるようにする。 辞書を引きながら簡単なフランス語を理解できるようにする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50942	A	フランス語初級 （第三外国語）	小西 英則	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		フランス語初級 （第三外国語）				
授業の目標概要		フランス語の文法的な仕組みを一通り理解し、丁寧に辞書を引けば平易な文章の意味が理解できるようになる。学習した文法事項の一部を用いながら、特定の話題に関してフランス語で自然に会話ができるようになる。フランス語の綴りと発音の関係を理解し、文章を正しく音読できるようになる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50251	A	フランス語中級（演習）	COUCHOT Herve	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		フランス語既習				
授業の目標概要		フランス語中級程度の講読および会話のクラス。履修者の学力に応じた指導を行う。francophone が担当する。 Présentation de la société française d'aujourd'hui à partir d'un film étudié par extraits (2) (Saint Jacques ... La Mecque de Coline Serreau, 2005)				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51073	A	フランス語中級（会話）	ビゼ	仏語・伊語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Cours de conversation				
授業の目標概要		Ce cours a pour objectif d'introduire les étudiants aux techniques de la discussion et du débat contradictoire. Le thème choisi pour ce semestre est: "l'anthropocène" (人新世)				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50659	A	フランス語中級（作文）	DE VOS PATRICK HENRI	仏語・伊語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Entraînement à l'expression écrite en français				
授業の目標概要		Ce cours sera consacré à des exercices de thème proposés à partir de textes relevant de divers registres (épistolaire, dramatique, journalistique, littéraire ou théorique). L'accent sera mis sur les problèmes spécifiques que pose la traduction du japonais				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51038	A	フランス語中級 （表現練習）	マルティネル ルイ	仏語・伊語	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		“Apprendre le français par le cinéma, la littérature francophones” 映画とフランス語圏文学で学ぶ仏語				
授業の目標概要		Ce cours vous propose d’apprendre le français par le cinéma francophone. Au programme, films et documentaires francophones. En fonction du programme, du temps, de votre progression. Ce n’est pas “une séance cinéma”. Après chaque film (1 ou 2 par semestre), il faut réaliser des travaux, des présentations écrites et orales (fiche technique, résumé, analyse, présentation de personnages, de pays francophones, de thèmes sociaux, culturels, ...) sur des modèles donnés. Avec le professeur en activité-classe, il faut travailler sur des documents pédagogiques (fiche de vocabulaire, de grammaire, d’expressions orales (extraits de films), écrites (répliques, chansons à lire, mémoriser, jouer). フランス語圏の映画を教材にしてフランス語を学ぶ 授業では仏語の映画やドキュメンタリーを見ます。皆さんの理解具合にあわせて進めます。授業は映画鑑賞会ではないので、見た後に（学期に１本か２本）筆記や口頭で発表をしていただきます（テクニカルな特徴、要約、分析、人物紹介、国の紹介、社会や文化の紹介など）。単語、文法、口頭表現（映画から）や、筆記表現（表現、歌などを読み覚えて使ってみる）をそれぞれ学びます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50252	A	フランス語中級（読解）	中島 ひかる	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	フランス時事問題に関する新聞・雑誌記事の講読					
授業の目標概要	フランス現代のニュース記事を取り上げ講読することで、フランス語の読解力を高めるとともに、現代の時事問題に使われている語彙や表現を知る。また、フランスやヨーロッパの文化や社会、政治･経済に対する関心を高める。フランス社会の特徴が良く現れているニュースを幅広く取り上げる予定だが、あくまで語学の授業であるため、ニュースの背景について、授業で深く分析することはしない。また、どの記事を選ぶかは、原則として受講者の自主性に委ねるので、自らの学力・関心に合わせて記事を選んでもらって構わない。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50863	A	フランス語中級（読解）	増田 一夫	仏語・伊語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	テクストから見たフランスの「内」と「外」					
授業の目標概要	ひととおりフランス語文法を履修した学生が、無理なく読めるテクスト、Brahim Metiba, Ma mère et moi (2015) を講読します。 「彼」は、23 歳のときからフランスで生活するアルジェリア生まれの 37 歳。母はアルジェリアにとどまっている。「彼」は知識人、母は読み書きができない。「彼」は同性愛者、母は息子がムスリム女性と結婚することを願っている。相互理解が壁に打ち当たるなかで、「彼」は糸口を模索しつつ、自分が敬愛するユダヤ系作家アルベール・コーエンの『わが母の書』を、日々自分の母に読み聞かせることにする・・・。フランス‐アルジェリア間の文化の違い、イスラームとユダヤ、変貌する家族などが簡素かつ明晰な言語で綴られ、フランスやマグレブでも高い評価を受けた小説です。 平易な構文で書かれた文章に触れることで、1 年次に学習する諸要素を有機的に活用し、定着させることを授業の目標としています。ポケット版で 64 頁なので、完読も可能なはずです。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50224	A	フランス語上級（会話）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Cours de conversation en français niveau avancé (DELF B1/B2 et plus)					
授業の目標概要	Nous allons étudier l'actualité des pays francophones et discuter à propos de sujets et de thèmes variés. Nous demanderons également aux étudiants de participer à l'élaboration du programme afin d'étudier des thématiques qui les concernent et pour lesquel					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50680	A	フランス語上級（読解）	寺田 寅彦	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	パリの道路					
授業の目標概要	十九世紀パリにおいて知事のオスマン男爵による大規模な都市整備が行われたが、交通網整備は「パリ改造」の要だった。オスマン男爵の『回想録』（フランス語）を精読することでフランス語の読解能力向上を目指すと同時にこの都市整備が何だったかを考察する。					

総合科目 Ｌ　中国語

中国語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要　一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。
注意事項：クラス別に開講するので、自分のクラスの演習を履修すること。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　漢語課本 聴解・会話演習テキスト
著者(訳者)　毛 興華

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50040	月 2	林 立梅	1 年 文一二(16)
50132	月 4	毛 興華	1 年 文一二(13)
50136	月 4	賈 黎黎	1 年 文三(11)
50329	火 3	喬 志航	1 年 文一二(19)
50635	水 4	中原 裕貴	1 年 文一二(15)
50742	木 2	鄧 芳	1 年 文一二(17)
50744	木 2	王 前	1 年 文三(12)
50849	木 4	柴 森	1 年 文三(13)
50913	金 1	斉 金英	1 年 文一二(18)
50997	金 3	張 玉萍	1 年 文一二(14)
51009	金 3	李 雲	1 年 文三(14)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50225	A	中国語初級（演習）	李 洵	中国語	火 1	1 年 理科
講義題目		中国語の基礎を固める理系生のためのトレーニング				
授業の目標概要		1 年理系生を対象とした演習授業である。 一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とし、授業ではできるだけ中国語を使用する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50122	A	中国語初級（作文）	賈 黎黎	中国語	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		中国語初級作文				
授業の目標概要		半年から一年程度中国語を学習した学生を対象とした授業である。基礎語彙と文法を学び、その知識をもとに作文の訓練をする。更に履修者の作文を添削しながら解説を行うことで初歩的な中国語作文能力を身に付けることを目標とする。 ※この授業は、2014 年度以前入学者のうち、中国語二列② の単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50713	A	中国語初級（作文）	何 珍時	中国語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		中国語初級作文				
授業の目標概要		中国語の初級作文は中国語の基本的な仕組みを理解しながら、中国語の作文する力を身につけ、自分のことや日常生活で必要なことを中国語で書いて表現する能力を養成することを目的としています。 中国語の文法事項や重要な構文を詳しく説明し、単文を中心とした練習問題を解くことによって基礎的な作文能力を身につけていきます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50943	A	中国語初級（表現練習）	王 英輝	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		中国語初級会話演習				
授業の目標概要		一列、二列で学習した発音と文法事項を踏まえた上で、さらに発展させ、会話とリスニングを中心に練習し、簡単な日常会話ができるようになることを目的とする。作文の練習もする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50952	A	中国語初級（表現練習）	鄧 芳	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		TLP 中国語 理系生のための基礎トレーニング				
授業の目標概要		TLP（トライリンガル・プログラム）理系履修生のための科目。中国語一列・二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。TLP 修了必須科目ではないが、できるだけ参加することが望ましい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50182	A	中国語初級 （インテンシヴ）	毛 興華	中国語	月 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング B 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週二回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は２クラス開講し、各クラス定員を２０名までとする。Sセメスターに履修した学生を優先する。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木５と金２ 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：月５と木１ ☆抽選を行う場合は、にこのシラバスで通知する。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ずそのクラスを履修すること。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50264	A	中国語初級 （インテンシヴ）	鄧 芳	中国語	火 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング（初級会話） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50265	A	中国語初級 （インテンシヴ）	菊池 真純	中国語	火 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング（初級会話） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50714	A	中国語初級 （インテンシヴ）	毛 興華	中国語	木 1	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング B 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週二回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は２クラス開講し、各クラス定員を２０名までとする。Sセメスターに履修した学生を優先する。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木５と金２ 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：月５と木１ ☆抽選を行う場合は、にこのシラバスで通知する。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ずそのクラスを履修すること。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50716	A	中国語初級 （インテンシヴ）	李 彦銘	中国語	木 1	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング （初級リスニング） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50717	A	中国語初級 （インテンシヴ）	白 春花	中国語	木 1	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング（初級リスニング） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50868	A	中国語初級 （インテンシヴ）	白 春花	中国語	木 4	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング（初級会話） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50879	A	中国語初級 （インテンシヴ）	賈 黎黎	中国語	木 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング A 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週二回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は２クラス開講し、各クラス定員を２０名までとする。Sセメスターに履修した学生を優先する。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木５と金２ 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：月５と木１ ☆抽選を行う場合は、にこのシラバスで通知する。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ずそのクラスを履修すること。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50930	A	中国語初級 （インテンシヴ）	菊池 真純	中国語	金 1	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング （初級リスニング） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50944	A	中国語初級 （インテンシヴ）	賈 黎黎	中国語	金 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング A 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週二回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は２クラス開講し、各クラス定員を２０名までとする。Sセメスターに履修した学生を優先する。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木５と金２ 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：月５と木１ ☆抽選を行う場合は、にこのシラバスで通知する。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ずそのクラスを履修すること。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50005	A	中国語初級（第三外国語）	林 立梅	中国語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	中国語入門（A セメスターから始める中国語）					
授業の目標概要	中国語学習の重要な基礎となる”発音”と”文法”を学ぶ。 この授業は A セメスターより中国語学習を始めたい学生のためのクラスである。S セメスターに履修した学生は木 5 の毛興華教員の授業を履修すること。 授業の性質上 30 名を定員とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50880	A	中国語初級（第三外国語）	毛 興華	中国語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	中国語入門（S セメスターの続き）					
授業の目標概要	中国語学習の重要な基礎となる”発音”と”文法”を学ぶ。 この授業は同教員および林立梅教員が担当した S セメスターの続きを行う。 授業の性質上 30 名を定員とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50945	A	中国語初級（第三外国語）	張 玉萍	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	中国語の基礎					
授業の目標概要	この授業は直接教授法を取り入れ、基本的に中国語で中国語を教えるものである。教員の一方的な説明に終始することなく、学生とのやり取りや学生同士の様々な形の練習を通して、中国語の表現力・思考力を次第に身につけるようにする。PEAK の学生向けとなっているため、できるだけ日本語は使わずに中国語で講義をする。S セメスターはⅠ、A セメスターはその続きのⅡである。（G 1）					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50065	A	中国語中級（演習）	鍾 非	中国語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	中国語作文と和訳					
授業の目標概要	中国語作文（奇数週）と和訳（偶数週）を隔週で行う。前者はいろいろなレベルの中国語作文（和文中訳）。後者は近年出版された中国語の単行本（経済・政治・社会；向こうの出版社）を拼音（ピンイン）に基づき正確に朗読した後（もちろん、本には拼音表記なし）、流麗に和訳してゆく（中文和訳）。「いろいろ」と主張しただけに、受講者に「作文に終着駅などない」ことを強く気づかせる（or 本物の力は∞であることを淡々と実証）。「和訳」である以上、みなさまにプロの精錬された日本語訳の醍醐味を存分に味わわせる。ありとあらゆるレベルの受講者に対応可能。日中両国の慣用句・ことわざ・熟語・成語などを習慣的且つ瞬間的に言う・書く技を、しっかりと身に付けさせる。Zoom による授業を行うため、向こうの漢字を書いて日本語でのそれと区別させることは不可能。故に、日中の辞書（電子辞書がいい）をそのまま読んで、発想を論理的に展開してゆくことを思いついた。履修者による「共有」が絶対必要（私にも見せてほしい）。Zoom による online 授業が続く以上、これが中心（臨機応変）。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50253	A	中国語中級（会話）	李 洵	中国語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		中国語中級(会話) ーー基礎と応用ーー				
授業の目標概要		家庭、学校、職場などの場面での会話を通して、日常よく使う表現や語彙を覚える。 現代中国に暮らす人々の考え方、価値観や本音を知り、中国の文化・社会についての理解を深めていく。 到達目標： ①身近なことを簡単に言えること ②自分の考えを平明に表現できること ③発音と初級文法の基礎を固めること				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50622	A	中国語中級（会話）	中原 裕貴	中国語	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		中国語会話				
授業の目標概要		この授業では実用的であること、生きた会話であることを第一に考え、中国人の日常生活、例えば、坐地铁，拜访，租房，看病，登机，买东西，打工，谈爱好，打电话，旅行，问路，点菜などの話題を中心に会話を進める。「精讲多练」という原則にしたがって、また多くのイラストを使用して,見て即時表現できることを目標にする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50881	A	中国語中級（会話）	姚 毅	中国語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		コミュニケーション能力を高めるための実践的授業				
授業の目標概要		初級段階で学習した文法項目を応用し、語彙を増やしながら、中国語のコミュニケーション能力を高めるための実践的授業である。勉強、買物、趣味、仕事、交友など日常触れるさまざまな場面を話題にし、「聞く」「話す」の反復練習を通して、その場面に関する典型的表現を覚えていく。また、習ったことを活かし、自分自身の経験、感想などについて発表してもらう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50829	A	中国語中級（作文）	柴 森	中国語	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		やや高度の中級作文練習				
授業の目標概要		基礎復習から始め、中国語の構文を中心にした文法事項を系統的に学習しながら、さまざまな練習問題を解いていく。自分の伝えたいことをできるだけ幅広く中国語で表現できることを目指す。 (秋学期は内容上春学期の続き。補語、接続詞と複文、目的別の表現などの内容が多い。)				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50421	A	中国語中級（読解）	菊池 真純	中国語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		中国語 読解を中心とした応用トレーニング				
授業の目標概要		この授業の履修を通じて、いままで学んだ文法知識などをベースにさらに複雑な中国語の文章を読みながら読解能力をいっそう高めることを目標とする。 読解を通して中級程度の文法知識や読み解く要領をマスターするだけでなく、様々なジャンルの文章を吟味することを通して中国の歴史・社会・文化への理解をいっそう深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50254	A	中国語上級（演習）	秋山 珠子	中国語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	中国語映像翻訳演習					
授業の目標概要	本授業は、中国語の映像作品（劇映画、ドキュメンタリー、ビデオアート、テレビ作品等）の字幕翻訳の実習を通し、1) 言語・音声および映像が伝えるイメージを分析し、2) 的確な日本語に翻訳する力を身につけ、3) 既存の字幕翻訳ルールを再検討し、デジタル化、グローバル化が進む今日の映像文化にふさわしい字幕翻訳の方法を模索することを目標とする。またその過程で、映像翻訳の可能性/不可能性を考察し、作品の背景となる中国の社会や文化に関する理解を深めていく。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50660	A	中国語上級（会話）	王 雪萍	中国語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	中国語上級（会話）(後期 TLP 上級会話)					
授業の目標概要	この科目は後期 TLP(トライリンガル・プログラム)の一環に位置づけられている。対象となる学生は前期 TLP 修了生、またはそれと同等以上の中国語能力を有していると認められる学生である。初回授業でレベル判定テストを実施するので、履修希望者は必ず受験すること。履修者が 20 名を超えた場合には、「履修上の注意」に掲げる諸条件に応じた選抜を行う。 講義は全て中国語で行う。 口語表現を重点的に学習し、中国語での会話がスムーズにできるようになることを目標とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50162	A	中国語上級（作文）	李 彦銘	中国語	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	中国語上級作文					
授業の目標概要	この科目は前期課程 TLP（トライリンガル・プログラム）の発展プログラムの一環に位置づけられており、TLP 修了生と同等もしくはそれ以上の中国語能力を有していると認められる学生を対象に開講される中国語の上級科目である。一定の中国語能力を有する学生全体に開かれているので、中国語のさらなるブラッシュアップを目指し、TLP に関心を持つ積極的な学生の履修を歓迎したい。 授業では、平明達意な中国語の文章を書けることを目標とする。外国語で文章を書けると、外国語の勉強も一層楽しくなるので、そのために必要な書く技を分かりやすく説明し、また受講者自身が学んだ中国語の知識をフルに活用して、自分で文章を作成できる楽しい実践の場にしたい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50946	A	中国語上級（読解）	斉 金英	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	現代中国文学精読					
授業の目標概要	中国の文学雑誌『人民文学』に掲載された短篇傑作を精読する。生きた中国語や現代中国の世相に触れ、翻訳を通して言語力を高めると同時に、行間から滲み出る社会的、文化的なメッセージを読みとる。					

総合科目 L　ロシア語

ロシア語初級（演習）②	開講区分	A
授業の目標・概要	正確な発音を実につけて、簡単なテクストを読む。内容を理解した上で、テクストに関して質疑応答ができるようにする。	
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts	
※講義の詳細については、UTAS を参照すること		

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50843	木 4	ゴロウィナ クセーニヤ	1 年 文一二(4)
50846	木 4	Gutova Ekaterina	1 年 文三(4)
50932	金 1	Grecko Valerij	1 年 文科(TLP)

※TLP 履修者は、対象クラスで「1 年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50882	A	ロシア語初級（演習）	Grecko Valerij	ロシア語	木 5	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要		現代ロシア語の基礎 基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、パターン・プラクティスを通じて、聞く、話す、読む、書くという４つのスキルをバランスよく習得する。書かれたテクストだけでなく、ビデオなどのメディアも用いながら、ノンバーバル・コミュニケーションや言語を使用する際の態度についても学ぶ。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50931	A	ロシア語初級（演習）	Grecko Valerij	ロシア語	金 1	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要		現代ロシア語の基礎（TLP） 基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、パターン・プラクティスを通じて、聞く、話す、読む、書くという４つのスキルをバランスよく習得する。書かれたテクストだけでなく、ビデオなどのメディアも用いながら、ノンバーバル・コミュニケーションや言語を使用する際の態度についても学ぶ。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50255	A	ロシア語初級（会話）	Grecko Valerij	ロシア語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語会話の基礎 ロシア語ネイティブの教員が担当する初心者向けロシア語会話の授業。基礎的なロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）を習得することを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。 日常生活に密着した場面を設定して、会話練習を行う。また、毎回の授業で取り上げるトピックを通して、ロシアでの生活や社会事情、ロシア特有の習慣などについての知識を得る。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51087	A	ロシア語初級（作文）	古宮 路子	ロシア語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語初級（作文） ＜授業の目標＞ この授業では、初級レベルの文法を学びながら、作文を中心にロシア語運用力を向上させることを目指します。課題を通じて文法と語彙のトレーニングを行い、ロシア語の表現に親しんで、自ら使いこなす力を涵養します。 ＜概要＞ 毎回の講義では、まず簡単に文法を解説した後、関連する様々な課題に取り組み、表現力を身につけていきます。中間・期末にはレポート課題として与えられたテーマで短い作文を書きます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50183	A	ロシア語初級 （インテンシヴ）	奈倉 有里	ロシア語	月 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語初級 （インテンシヴ） ロシア語の読解力を強化します。 ※インテンシヴ・クラスは週 2 回のセットで履修することが必要です。かならずペアの授業といっしょに履修すること				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50186	A	ロシア語初級 （インテンシヴ）	Gutova Ekaterina	ロシア語	月 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語初級 （インテンシヴ）TLP TLP 生を対象にしたインテンシヴ・コースである。ネイティブ・スピーカーの先生が担当し、ロシア語のリスニングやスピーキングの基礎を集中的に学習する。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）に沿って、A1 に続き A2 のレベルを目指した学習を行う。２コマセットで履修すること（月曜 5 限と水曜 5 限）。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50681	A	ロシア語初級 （インテンシヴ）	Grecko Valerij	ロシア語	水 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		現代ロシア語の基礎 基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、聞く、話す、読む、書くという４つのスキルをバランスよく習得する。 ※「初級インテンシヴ」は週 2 コマをセットでのみ履修できます。かならず月曜 5 限の授業と両方を履修してください。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50686	A	ロシア語初級 （インテンシヴ）	Gutova Ekaterina	ロシア語	水 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語初級（インテンシヴ）TLP TLP 生を対象にしたインテンシヴ・コースである。ネイティブ・スピーカーの先生が担当し、ロシア語のリスニングやスピーキングの基礎を集中的に学習する。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）に沿って、A1 に続き A2 のレベルを目指した学習を行う。２コマセットで履修すること（月曜 5 限と水曜 5 限）。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51088	A	ロシア語初級 （第三外国語）	竹内 恵子	ロシア語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語初級（第三外国語）の続き 前期にひきつづき、ロシア語の初級文法の学習を進めていきます。 授業のオンライン化などの影響で、前期は例年通り進まず、教科書の第５課までしか解説できませんでした。 後期は第６課あたりから始め、焦らずじっくり丁寧に進めていきます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50451	A	ロシア語中級（演習）	毛利 公美	ロシア語	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア文学講読（現代ロシア児童文学を読む） ・ロシア語の初級・中級文法を習得した学生を対象とし、ロシア語で書かれたテクストを丁寧に読みながら、中級レベルの文法、語彙、構文の習得を目指す。 ・講読するテクストを通じてロシア語文化圏の人々が常識として共有する文化的な背景知識を身につける。				

時間割	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象

コード						
50947	A	ロシア語中級（会話）	Grecko Valerij	ロシア語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語会話表現（中級） ロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）をさらに伸ばすことを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。 授業では日常生活や身近な話題に取材した短い文章やスキットなどを使って、会話練習を重点的に行う。日常的な場面でよく使われる言い回しを習得し、語彙を増やすとともに、比較的複雑な構造をもった表現を正しく聞き取り、自分でも使えるようになることを目指す。また、毎回の授業で取り上げる題材を通して、ロシアでの生活や社会事情についての知識も身につける。 ※前期課程（1・2 年生）でこの授業を履修できるのは、「ロシア語既習」で入学した学生のみです。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50682	A	ロシア語中級（作文）	丸山 由紀子	ロシア語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語中級作文 既習文法事項、語彙を適切に用いることが出来ると同時に、一歩上の文法、語彙も取り入れ、自分が意図した内容・ニュアンスを正確に反映した文・テクストをロシア語で書けるようになることが目標です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50883	A	ロシア語中級（読解）	古宮 路子	ロシア語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		共通ロシア語（2）／ロシア語中級（読解） ＜授業の目標＞ 本授業は、ロシア語の初級文法が習得済みであることを前提とし、テクスト読解を通じて文法・語彙・表現等の面でのステップアップを目指します。ロシア語についての知識が深まるとともに、実践的な力を身につけることができます。 ＜概要＞ 文学・文化についてのテクストの講読を通じて、生きたロシア語に親しみます。主なテクストとして冒険小説『イペリット』(1925) を用います。気鋭の作家Ｂｃ．イヴァノフと、ロシア・フォルマリズムの理論家として知られるＢ．シクロフスキーが、西側のポップカルチャーのパロディとして共作した実験的な作品です。詳しい文法解説を付し、少しずつ読み進めていきます。また、サブテクストとして作品に関連した文化についてのロシア語の記事なども、インターネット上から紹介します。小説の鑑賞をする中で、中級レベルの文法事項を身につけ、ロシア語の文章に親しみ、語彙を増やしていきます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50123	A	ロシア語中級 （インテンシヴ）	奈倉 有里	ロシア語	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語中級（インテンシヴ） これまでに習った文法の知識を生かし、中級レベルの授業を行うなかで、使える語彙や慣用表現を増やしていきます。 文学作品を中心に様々な状況に合ったロシア語を知り、知識の向上を狙います。 必要に応じてその背景となる文化的知識についても解説します。 文化・文学的背景も踏まえた幅広い表現の習得を目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50623	A	ロシア語中級 （インテンシヴ）	Gutova Ekaterina	ロシア語	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語中級（インテンシブ） ネイティヴ・スピーカーの先生がリスニング、スピーキングに関して高度な運用能力を育成する。取り上げられたテーマに関する会話やディスカッション能力を養う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50661	A	ロシア語上級（会話）	Grecko Valerij	ロシア語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語会話表現（応用） ロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）をさらに伸ばすことを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。 授業では日常生活や身近な話題に取材した短い文章やスキットなどを使って、会話練習を重点的に行う。日常的な場面でよく使われる言い回しを習得し、語彙を増やすとともに、比較的複雑な構造をもった表現を正しく聞き取り、自分でも使えるようになることを目指す。また、毎回の授業で取り上げる題材を通して、ロシアでの生活や社会事情についての知識も身につける。 ※前期課程（1・2 年生）でこの授業を履修できるのは、「ロシア語既習」で入学した学生のみです。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50163	A	ロシア語上級（作文）	Gutova Ekaterina	ロシア語	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語上級（作文） 新聞、雑誌、インターネット上の記事やエッセイ、評論、論文を読み、それぞれの文体の特徴を考察する。読む力を高めると同時に、ロシア語で作文を書く方法も覚える。語彙や表現を増やし、文法事項を復習し、語結合力や文の構成を確認し、作文を書く能力の向上を目標とする。				

総合科目 L　スペイン語

スペイン語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要　共通教科書『Brújula』を用い、Aセメスターでは、1列で扱う文法及び講読の進度に合わせ、発音、聞き取り、会話練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力を高めることをめざす。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　スペイン語初級
著者(訳者)　東京大学教養学部スペイン語部会
出版社　朝日出版社

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50028	月 2	ドニャス ベレニャ アントニオ	1 年 文一二(7)
50135	月 4	イサベル カルロス	1 年 文三(10)
50187	月 5	ドニャス ベレニャ アントニオ	1 年 文科(TLP)
50310	火 3	イサベル カルロス	1 年 文一二(10)
50311	火 3	ドニャス ベレニャ アントニオ	1 年 文一二(11)
50312	火 3	AIT MORENO ISAAC	1 年 文一二(12)
50405	火 4	AIT MORENO ISAAC	1 年 文一二(9)
50506	水 2	ドニャス ベレニャ アントニオ	1 年 文一二(8)
50847	木 4	イサベル カルロス	1 年 文三(8)
50848	木 4	FERNANDEZ HERBOSO	1 年 文三(9)
51054	金 4	ドニャス ベレニャ アントニオ	1 年 文三(7)

※TLP 履修者は、対象クラスで「1 年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50256	A	スペイン語初級（演習）	AIT MORENO ISAAC	スペイン語	火 2	1 年 理科

講義題目　スペイン語初級（演習）

授業の目標概要　新型コロナ・ウィルス禍により、A セメスターの授業形態は大幅な変更を余儀なくされました。最初の 1 週目と 2 週目は遠隔（オンライン）授業の準備期間となっています。受講環境が整った方は、是非このシラバスの一番したにある URL にアクセスして、授業に参加し、3 週目からの正式の授業開始に備えて、Zoom の使い方に慣れたり、クラスメートや教員と交流するようにしてください。A セメスターは、当面、以下のように授業をおこないます。
この演習では、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、初歩的な会話の練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力を高めることをめざします。文系はクラス指定の演習を設けてあります。理系ではこれに対応する「スペイン語初級（演習）」（理科生限定）を開講しますので、積極的に参加してください。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50266	A	スペイン語初級（演習）	イサベル カルロス	スペイン語	火 2	1 年 理科

講義題目　Seminario de español para el TLP
Curso intensivo de español para el TLP
TLP スペイン語インテンシブ

授業の目標概要　Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana.
コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50715	A	スペイン語初級（会話）	受田 宏之	スペイン語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　スペイン語初級（会話）―ZOOM を用いたメキシコの大学生との会話

授業の目標概要　ZOOM を用いてメキシコの大学生と会話することを通じて、実践的なスペイン語力を身につけると同時に、ラテンアメリカについての理解を深めることを目標とする。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50884	A	スペイン語初級（会話）	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　スペイン語初級(会話)

授業の目標概要　新型コロナ・ウィルス禍により、S セメスターの授業形態は大幅な変更を余儀なくされました。最初の 1 週目と 2 週目は遠隔（オンライン）授業の準備期間となっています。受講環境が整った方は、是非このシラバスの一番 º 下にある URL にアクセスして、授業に参加し、3 週目からの正式の授業開始に備えて、Zoom の使い方に慣れたり、クラスメートや教員と交流するようにしてください。S セメスターは、当面、以下のように授業をおこないます。
練習を通して、文法とその機能についての内容を体系化し、生徒の理解を強化する。また、授業を通して学んだことを、それぞれの生徒が活用し表現できるようにすることを目指す。
その他に文法、単語のレベルを DELE A2 まで引き上げていく。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51089	A	スペイン語初級（会話）	エクトル シエラ	スペイン語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	¿HABLAMOS? スペイン語での基本的なコミュニケーション。					
授業の目標概要	スペイン語で日常生活について話せるようになることを目指す。 自己紹介、天気や家族、好きなこと、嫌いなこと、料理の簡単な感想、町の様子、過去にしたことや近い未来にしたいことについての会話の演習を行う。 スペイン語らしい発音や自然なイントネーションの習得を目指す。また、前学期で学習した規則動詞の現在形、現在進行形や近未来の復習をした上で、不規則動詞や再帰動詞を使った会話を習得する。 The course is recommended for students who want to learn basic Spanish and want to develop essential conversational skills.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50948	A	スペイン語初級（作文）	有田 美保	スペイン語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	スペイン語初級（作文）					
授業の目標概要	本コースは、和文（おもに単文）から適切にスペイン語文にするための解説と演習を中心としたものである。一年生の初修外国語（文科・理科）の授業で既習あるいは学習中である文法事項を『書く』ことを通して復習するとともに、能動的な言語応用を図る諸君の積極的な学びの場となるように展開していく。初修外国語の授業でカバーされなかった語彙やフレーズ、またさまざまな話題や言語使用のシーンにふれて、本言語の運用の幅を広げていってほしい。 【今セメスターは、GUSTAR 型構造→再帰動詞→過去時制→未来形→完了時制→接続法と進んでいく予定である】					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50184	A	スペイン語初級 （インテンシヴ）	イサベル カルロス	スペイン語	月 5	1 年 文科 理科
講義題目	スペイン語初級					
授業の目標概要	必修スペイン語に加えてスペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを開講する。内容は会話と作文で、必修の授業の進度に合わせながら実践的な運用能力を獲得することをめざす。履修人数を制限し、週 2 回の授業に出席することを義務とする。 2 つの授業ともスペイン語ネイティブの教員（カルロス・イサベル）が担当する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50687	A	スペイン語初級 （インテンシヴ）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	水 5	1 年 文科 理科
講義題目	Seminario de español para el TLP Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシブ					
授業の目標概要	Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50885	A	スペイン語初級（インテンシヴ）	イサベル カルロス	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科
講義題目		スペイン語初級				
授業の目標概要		必修スペイン語に加えてスペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを開講する。内容は会話と作文で、必修の授業の進度に合わせながら実践的な運用能力を獲得することをめざす。履修人数を制限し、週２回の授業に出席することを義務とする。２つの授業ともスペイン語ネイティブの教員（カルロス・イサベル）が担当する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50890	A	スペイン語初級（インテンシヴ）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科
講義題目		Seminario de español para el TLP Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシブ				
授業の目標概要		Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50953	A	スペイン語初級（インテンシヴ）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	金 2	1 年 文科 理科
講義題目		Seminario de español para el TLP Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシブ				
授業の目標概要		Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51093	A	スペイン語初級（インテンシヴ）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	金 5	1 年 文科 理科
講義題目		Seminario de español para el TLP Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシブ				
授業の目標概要		Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50006	A	スペイン語初級（第三外国語）	栗林 ゆき絵	スペイン語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		スペイン語（初級）（第三外国語） スペイン語の骨格となる動詞の全時制形式を知り、それらが日常会話でいかに用いられているかを学ぶ。 空港・買い物・アポイント・レストラン・ホテル・タクシー等、場面別のダイアログを教材とし、片言以上の運用能力を身につけることを目標とする。 受講者の希望があれば新聞記事講読等も行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50257	A	スペイン語初級（第三外国語）	川崎 義史	スペイン語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		速習スペイン語 １セメスターで，スペイン語文法の基礎を学びます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50683	A	スペイン語中級（演習）	ガルシア ルイス カスティージョ カルロス	スペイン語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Habla en español この教科の目的は、学生が B1 レベル相当の学力を身につけることである。授業は主に口頭表現の習得のために構成されている。口頭表現に加え、リスニング、読解、文章表現といった基礎も学習し、学生は実際にスペイン語を使うのに必要な社会文化にも親しむ。 El objetivo del curso es que los estudiantes adquieran las competencias propias del nivel B1. La clase está planteada para practicar principalmente la expresión oral. Además de la expresión oral, practicaremos también las otras destrezas básicas (comprensión auditiva y lectora y expresión escrita) y los estudiantes se familiarizarán con los aspectos socioculturales necesarios para poder usar la lengua en contextos reales.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51074	A	スペイン語中級（会話）	エクトル シエラ	スペイン語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		「¿CHARLAMOS? 」スペイン語を通じた西洋式のコミュニケーション 様々なトピックに触れながら、会話力を養う。 西洋式コミュニケーションのパターンを探り、慣用句を中心に、エリプシス、メトニミー、メタファーを学ぶ。曖昧で婉曲的な伝え方より、アサーティブでメタフォリックなコミュニケーションを目指す。 This is a course to learn new collocations, verbal periphrases, idioms and to practice conversation. The final exam is a presentation.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50258	A	スペイン語中級（作文）	竹村 文彦	スペイン語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		スペイン語中級（作文） スペイン語文法の基礎知識を確認しながら中級レベルの作文練習をおこない、表現力の向上をめざす。日本語の例文に対する複数のスペイン語訳例を提示し、それらのニュアンスの違いや初学者が間違いやすい問題個所などを解説することによって、スペイン語の知識をより確実なものにする。毎回の授業の前半では短めの例文を数多く取り上げ、授業の後半ではある程度まとまりのある文章課題に取り組んでもらう。また、セメスターの最後には、テーマを設定した上でより長い文章課題を提出してもらう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50886	A	スペイン語中級（読解）	内田 兆史	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ラテンアメリカを中心にしたスペイン語圏のニュース、講演、会話や曲を聞き取り、内容を理解することでスペイン語という視点を獲得し、世界を、あるいは日本を複眼的に眺める武器にしましょう。 スペイン語を用いて世界を、日本を複眼的に眺める手段について学び、たとえばニュースについて日本や英語圏のメディアでの取り上げられ方とスペイン語世界での取り上げられ方との違いについて考察することにより、新たな視点から世界を眺められるようになる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51488	A	スペイン語中級（読解）	棚瀬 あずさ	スペイン語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ガルシア＝マルケスを読む 南米コロンビア出身の作家ガブリエル・ガルシア＝マルケス（1927-2014）の短篇集 La increíble y triste historia de la cándida Eréndira y de su abuela desalmada （『無垢なエレンディラと無情な祖母の信じがたい悲惨の物語』）を原文で読みながら、スペイン語の文学テクストを読解する基本的な力を養うことを目標とします。 ガルシア＝マルケスは 1960・70 年代の世界的なラテンアメリカ文学ブームを牽引した作家であり、長編小説『百年の孤独』（1967）などの功績から、1982 年にはノーベル文学賞を受賞しました。 この授業で扱う短篇集『エレンディラ』は、他の長編作品に比べると気軽に手に取りやすいものながら、ガルシア＝マルケスらしさをふんだんに含んでいます。スペイン語読解力の向上をめざすとともに、作品の内容や文体のおもしろさも味わってもらえればと思います。受講者のスペイン語学習状況に応じた文法の解説も適宜行ないますので、未習事項のある人も歓迎します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50550	A	スペイン語上級（演習）	イサベル カルロス	スペイン語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Español Avanzado. Gramática y vocabulario. Este curso está destinado a estudiantes que ya han alcanzado niveles intermedios y desean profundizar en su aprendizaje del español. Los objetivos son: - En caso necesario, repasar contenidos propios de los cursos de niveles inferiores que suelen provocar más dudas, tales como los contrastes de los tiempos pasados o los usos básicos del modo subjuntivo . - Presentar nuevos contenidos gramaticales y discursivos que permitan a los alumnos expresarse en español con más precisión, tanto por escrito como oralmente. - Ampliar el vocabulario de los alumnos, con el mismo objetivo de mejorar la riqueza y precisión de su expresión en español. - Practicar los nuevos aprendizajes por medio de ejercicios estructurales, redacciones y ejercicios de práctica oral.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50830	A	スペイン語上級（会話）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		América Latina en su literatura. Principales tendencias de la narrativa (II). In this course, students will learn concepts such as "imagination", "fantasy" and "reality" related to Latin American literature, by reading some works of major authors. Students may improve their skills in Spanish language through readings and writing exercises. They may also strengthen aspects of grammar, syntax and vocabulary of Spanish.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50773	A	スペイン語上級（作文）	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		スペイン語による作文の授業				
授業の目標概要		Aprender a escribir bien en una nueva lengua requiere del aprendizaje de un género discursivo totalmente nuevo. Este curso de redacción tiene como fin dotar a los alumnos de las estructuras conceptuales imprescindibles que les permitan comprender el objetivo del texto y cómo realizarlo. El enfoque consiste en la introducción de los modelos conceptuales que permitan al estudiante reorganizar sus ideas y su entorno tanto dentro del aula como fuera de ella para facilitar el aprendizaje de este nuevo el discurso escrito en español. Los niveles de referencia de español que abordaremos son B1-B2 y C1. 新しい言語で正しく書くことを学ぶには、まったく新しい論法を学ぶ必要がある。この授業では、文章を書く目的とその実行方法を理解できるようにするための基本的な概念構造を学生に提供することを目的としている。授業の方法は、スペイン語で書かれたこの新しい論法の学習を容易にするために、学生が自分の考えを教室の内外で再編成できるようにする概念モデルを紹介することである。 授業で使用するスペイン語のレベルは前半が B1~B2、後半が C1 である。				

総合科目 L　韓国朝鮮語

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51456	A	韓国朝鮮語初級（演習）	崔 泰源	韓国朝鮮語	水 5	1 年 理科
講義題目		韓国朝鮮語初修				
授業の目標概要		韓国朝鮮語のネイティブ教師が担当する。一列の授業で学んだ基礎知識の定着と、さらに「スピーキング」「リスニング」「リーディング」「ライティング」の諸領域におけるバランスの取れた理解・表現能力の向上を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50563	A	韓国朝鮮語初級（演習）②	崔 泰源	韓国朝鮮語	水 3	1 年 文一二(5)文三(5)
講義題目		韓国朝鮮語初修（文系）				
授業の目標概要		韓国朝鮮語のネイティブ教師が担当する。一列の授業で学んだ基礎知識の定着と、さらに「スピーキング」「リスニング」「リーディング」「ライティング」の諸領域におけるバランスの取れた理解・表現能力の向上を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50551	A	韓国朝鮮語初級（会話）	崔 泰源	韓国朝鮮語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		韓国朝鮮語初級（会話）				
授業の目標概要		韓国朝鮮語の初級レベルの語彙や文法、表現などを、会話練習を中心にして学習していく。 ハングルの読み方や韓国朝鮮語の基礎的な文法を半年ほど学習した人を対象とする。 本授業を通して韓国朝鮮語の基礎会話力を身につけることを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50353	A	韓国朝鮮語初級（作文）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		韓国朝鮮語作文(初級)				
授業の目標概要		韓国朝鮮語の文字（ハングル）と発音を学び、文章を書くために必要な基本的な文型を学習する。学習した文型を用いて作文の練習を重ねると同時に、初級の語彙をしっかり覚えることで表現力の向上を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50259	A	韓国朝鮮語初級 （インテンシヴ）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		韓国朝鮮語初級 インテンシヴ一列				
授業の目標概要		必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50864	A	韓国朝鮮語初級 （インテンシヴ）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		韓国朝鮮語初級 インテンシヴ二列				
授業の目標概要		必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50066	A	韓国朝鮮語初級 （第三外国語）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級 韓国朝鮮語の文字（ハングル）と発音、基本的な助詞、数詞、用言の活用（現在形、過去形）を学習する。これらの文型と一緒に基礎語彙を増やしていくことで、簡単な会話や作文ができることを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50260	A	韓国朝鮮語初級 （第三外国語）	岩井 智彦	韓国朝鮮語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国語初級 S セメスター火曜 2 限の初級クラスの続きで、同講義を履修した方を受講対象としています。初級後半レベルの文法項目、語彙表現を身につけることを目標とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50774	A	韓国朝鮮語初級 （第三外国語）	崔 泰源	韓国朝鮮語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級の文法と会話 現代韓国朝鮮語の文字や発音から始め、基礎文法と語彙を体系的に学習し、基本的な自己紹介やレストランで簡単な注文ができる程度のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。受講に際しての予備知識は要りませんが、文字が特殊なので最初の 1 ヶ月は、きちんと授業を受け、予習・復習を徹底する必要があります。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50929	A	韓国朝鮮語初級 （第三外国語）	李 英蘭	韓国朝鮮語	金 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級 韓国朝鮮語初級（後半レベル）の表現と語彙を学び、日常生活の基本的な会話ができるようになることを目指す。 授業は、できる限り、韓国朝鮮語で行う。 履修前にハングルの読み方をしっかり覚えておくことが望ましい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50887	A	韓国朝鮮語中級（作文）	崔 泰源	韓国朝鮮語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語の作文演習(中級) 日常生活で必要な文章が自由に書ける程度の表現能力を身につけることを目指す。メールやエッセイ作成などの課題については、教師による添削をもとに誤用の分析と解説を行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50775	A	韓国朝鮮語中級 （表現練習）	伊藤 英人	韓国朝鮮語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		韓国朝鮮語講読				
授業の目標概要		日本漢字音と朝鮮漢字音の対応規則を学び、漢語を多く含む論説文の読解力を涵養する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50865	A	韓国朝鮮語中級（読解）	植田 喜兵成智	韓国朝鮮語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		韓国朝鮮語の文章の講読				
授業の目標概要		韓国朝鮮語の新聞や雑誌の時事的な記事、論説、エッセイ、短編小説など様々な種類の文章を講読する。各文章の解説を通じて、中級以上の文法事項および韓国朝鮮語の独特の語彙や表現などを理解する。また多様な文章の講読を通じて、現代の韓国社会や文化についても理解を深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50776	A	韓国朝鮮語上級（会話）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		韓国朝鮮語上級（会話）				
授業の目標概要		様々な会話場面やテーマに関連する語彙と文型を覚えていくことで、的確な表現・伝達ができるように練習する。また、韓国朝鮮語らしい表現法を身につけ、コミュニケーション能力の向上を目指す。				

総合科目 L　イタリア語

イタリア語初級（演習）②	開講区分	A
授業の目標・概要	会話、作文など、イタリア語の表現の練習を中心に行い、より実践的なコミュニケーション能力の習得と文法知識の定着をめざします。	
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time	

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50044	月 2	マルコ ビオンディ	1 年 文三(6)
50993	金 3	マルコ ビオンディ	1 年 文一二(6)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50452	A	イタリア語初級（会話）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級会話				
授業の目標概要		ネイティヴスピーカーの教員とともに、イタリア語の初歩を身につけながら、基本的なコミュニケーションと、自然な会話を学びます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50662	A	イタリア語初級（会話）	USICCO Francesca	仏語・伊語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級会話				
授業の目標概要		ネイティヴスピーカーの教員とともにイタリア語の初歩を身に付けつつ、基本的なコミュニケーションと自然な会話を学びます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50888	A	イタリア語初級（作文）	大崎 さやの	仏語・伊語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級（作文）				
授業の目標概要		イタリア語の初級文法を学びながら、作文の練習をします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50949	A	イタリア語初級（作文）	野里 紳一郎	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級（作文）				
授業の目標概要		本講義では、作文演習を主目的としているが、その前提としての基礎的な文法の知識、およびその運用力は不可欠であろうから、まずその習得を目標とする。作文の演習にも配慮しつつ、現代イタリア語の基礎文法の理解をはかっていくことにしたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51075	A	イタリア語初級（表現練習）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		E allora…?				
授業の目標概要		この講義は、初級レベルの学習段階でもボキャブラリーや表現を広げて、日常的な場で使えるようになりたいという人が対象です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50777	A	イタリア語初級（読解）	池上 俊一	仏語・伊語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級（読解）				
授業の目標概要		イタリア児童文学の代表作から何作品かを選んで講読するとともに、背景にある文化的・社会的状況についても考えていく。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50261	A	イタリア語初級（インテンシヴ）	宮坂 真紀	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科
講義題目		初級イタリア語の応用				
授業の目標概要		基礎科目の初修外国語でイタリア語初級クラスを受講する学生を対象にイタリア語能力を向上させるための初級コース。読解・文法・作文に取り組む授業 1 コマと、ネイティブ教員の指導のもと会話や聞き取りを中心とする授業 1 コマのあわせて 2 コマを履修することにより、イタリア語の応用力を集中的に身につけることを目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50866	A	イタリア語初級（インテンシヴ）	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	木 4	1 年 文科 理科
講義題目		Bravissimo!				
授業の目標概要		Questo corso è rivolto a chi desidera esercitarsi nell'ascolto e nella conversazione per il livello principiante-elementare intensivo (A1). 初修イタリア語・国際コミュニケーションのイタリア語科目に加えて、聞き取り・会話をより集中的に勉強したい人が対象です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50067	A	イタリア語初級（第三外国語）	野里 紳一郎	仏語・伊語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級（第三外国語）I				
授業の目標概要		イタリア語の基本文法の理解。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51090	A	イタリア語初級（第三外国語）	大澤 麻里子	仏語・伊語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		初修イタリア語				
授業の目標概要		イタリア語共通教科書（東京大学イタリア語教材編集委員会編『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート』）を用いて、イタリア語の基礎を勉強します。A セメスターでは文字の読み方、文の組み立て方の学習から始めて、イタリア語の概要を理解するとともに初級レベルの文法の習得を目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51091	A	イタリア語初級（演習）	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	金 5	1 年 理科
講義題目		イタリア語初級演習				
授業の目標概要		習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることをネイティブのイタリア語教員といっしょに目指します。生きたイタリア語の教材等を使って、理解力を高めながら、話したり書いたりする応用力を高め、コミュニケーション能力をみがきましょう。理科生向けの演習です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50185	A	イタリア語中級（会話）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ネイティブの教員によるイタリア語会話。初級文法をすでに履修した学生を対象とします。					
授業の目標概要	自然なイタリア語の表現を学び、会話コミュニケーション能力の向上をはかります。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50889	A	イタリア語中級 （表現練習）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	イタリア語中級表現練習（Lingua italiana, espressioni di livello intermedio）					
授業の目標概要	すでにイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティヴスピーカの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、ヴィデオ教材なども交えて、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。通年で開講していますが、セメスターごとに独立して受講することが履修上も内容としても可能です。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50867	A	イタリア語中級（読解）	宮坂 真紀	仏語・伊語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	イタリア語中級（読解）					
授業の目標概要	イタリア語の基本的な文法を学習し終えた人を対象とします。さまざまな分野のイタリア語の文章を読みながら、イタリア語の読解力の向上とイタリアの歴史・文化・社会についての理解を深めることを目指します。授業で扱うテキストは受講者の興味や、どの程度イタリア語の学習経験があるのかなどを考慮して決めます。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50164	A	イタリア語中級 （インテンシヴ）	山﨑 彩	仏語・伊語	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	中級イタリア語の応用					
授業の目標概要	初修クラス受講者がイタリア語能力を向上させるための中級コース。読解・文法練習・作文を中心に運用能力を高める授業 1 コマと、会話聞き取りを中心に応用力をつけるネイティブの教員による授業 1 コマがあり、できればその両方を履修することが望ましい。1 年間の初修イタリア語学習の基礎の上に、イタリア語の総合的な能力を定着させ、さまざまな専門分野で運用するための能力を養成することを目指す。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50950	A	イタリア語中級 （インテンシヴ）	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	中級イタリア語の応用					
授業の目標概要	初修クラス受講者が集中的にさらにイタリア語能力を向上させるための中級コース。読解・文法練習・作文を中心に運用能力をたかめる授業 1 コマと、会話聞き取りを中心に応用力をつけるネイティブの教員による授業 1 コマのあわせて 2 コマの両方を履修する（両方あわせての履修を推奨するが片方だけも可能）。1 年間の初修イタリア語学習の基礎の上に、イタリア語の総合的な能力を定着させ、さまざまな専門分野で運用するための能力を養成する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50684	A	イタリア語上級（会話）	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Facciamo un passo avanti!				
授業の目標概要		Questo corso è rivolto sia per chi desidera esercitarsi nell'ascolto e nella conversazione per il livello avanzato (B1)..				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50663	A	イタリア語上級（作文）	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語上級作文（Lingua italiana- composizione di livello avanzato）				
授業の目標概要		L'obiettivo del corso è imparare come scrivere un testo accademico. Redarre un testo accademico non è una cosa facile, non lo è neanche nella propria lingua. Scriverlo in un'altra lingua porta la sfida a un nuovo livello. La scrittura accademica è piena d				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50685	A	イタリア語上級（読解）	野里 紳一郎	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語上級講読				
授業の目標概要		テクストの精読により基礎文法の知識をいかに運用して行くかをトレーニングする。				

総合科目 L　その他外国語

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50354	A	アラビア語初級（第三外国語）	濱田 聖子	古典語・地中海諸言語	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アラビア語初級 1 年間で、正則アラビア語（フスハー）の文法を概観する。辞書を用いて、アラビア語の文章が読解できるようになることを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50688	A	アラビア語初級（第三外国語）	杉田 英明	古典語・地中海諸言語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アラビア語初級 （第三外国語） II S セメスターの続きで，文語文法の構造の後半を概観します。毎回，教科書の練習問題を課題として提出していただきますので，自宅での作業が不可欠です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50422	A	アラビア語初級（会話）	ドーカ ハッサン	古典語・地中海諸言語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アラビア語初級（会話） This course is offered by courtesy of the Arabic Islamic Institute in Tokyo (AIIT). The aim of the course is to acquaint the students with the fundamentals of the Arabic language. The emphasis will be on conversation, and the students will be taught to sp				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50664	A	アラビア語中級（第三外国語）	杉田 英明	古典語・地中海諸言語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アラビア語中級 （第三外国語） II 初級文法を一通り終えた方を対象に，文法事項を確認しながら，母音符号の付いた比較的簡単な読み物を講読します。自分で辞書を引きながら，文章の意味が取れるようになることを目標とし，母音符号のない文章が自由に読めるようになるまでの橋渡しをいたします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50778	A	ヒンディー語初級（第三外国語）	藤井 毅	アジア・日本研究コース	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ヒンディー語（初級）：Introductory Hindi インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 5 億人超を有する「共通標準ヒンディー語」を学びます。表記に用いるデーヴァナーガリー文字と音声の習得より入り、指定教科書の夏学期の残り部分 11 課から 18 課までを終えることを目標とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50831	A	ヒンディー語中級（第三外国語）	藤井 毅	アジア・日本研究コース	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ヒンディー語（中級）・読解： Intermediate Hindi course/Reading				
授業の目標概要		インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 5 億人超を有する「共通標準ヒンディー語」を学びます。 ヒンディー語（初級）で用いたテキストの知識に基づき、実際のヒンディー語文を読むことにより、より深い知識を身につけることを目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50625	A	インドネシア語初級（第三外国語）	高地 薫	アジア・日本研究コース	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		インドネシア語入門 2 (Indonesian language for beginners)				
授業の目標概要		インドネシア語はローマ字表記で、発音も日本人にとって比較的容易で、文法の簡易な言語である。この授業では、S タームにインドネシア語を履修した学生を対象に、文章を読むために必要なインドネシア語の基本文法を完成することを目的とする。 A タームでは、S タームにおける授業内容を前提に授業を進める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50665	A	インドネシア語中級（第三外国語）	高地 薫	アジア・日本研究コース	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		インドネシア語中級 (Indonesian language for Intermediate Students)				
授業の目標概要		この授業では、インドネシア語既習者を対象に、原文の精読をする。講読するテクストは広い分野から新聞や雑誌の記事、エッセイ、短編小説などを用いる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50355	A	ベトナム語初級（第三外国語）	野平 宗弘	アジア・日本研究コース	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ベトナム語入門 2				
授業の目標概要		S セメスターで学んだことを復習し、暗記し、応用しながら、ベトナム語の新たな基本的文法事項を学んでいく。 ベトナム語を用いた自己紹介や日常の簡単な会話表現ができるようにする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51076	A	ベトナム語中級（第三外国語）	大泉 さやか	アジア・日本研究コース	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ベトナム語文献講読				
授業の目標概要		ベトナム語文献の初歩的な読解力を身につけることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50954	A	広東語初級 （第三外国語）	倉田 明子	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		広東語（初級） 広東語は香港とマカオで第 1 言語である他、中国国内では広東省・広西壮族自治区・海南省の華南 3 地域を覆うリンガ・フランカ（広域共通語）として、またベトナムやマレーシア、シンガポールを始めとする東南アジア及び世界の華僑社会では現地語や英語に次ぐ有力言語として広く使用されています。文学作品・漫画・映画・歌謡曲・新聞雑誌記事などが広東語で書かれることも少なくありません。 この授業では影響力の最も大きい香港の広東語について初級レベルの習得を目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51077	A	広東語中級 （第三外国語）	吉川 雅之	中国語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		広東語中級 広東語は香港と澳門（マカオ）で公用語である他、中国本土では広東省・広西壮族自治区・海南省の華南 3 地域を覆うリンガ・フランカ（広域共通語）として、またベトナムやマレーシア、シンガポールを始めとする東南アジア及び世界の華僑社会では現地語や英語に次ぐ有力言語として広く使用されています。漢語派諸言語の中では民族共通語である普通話（いわゆる中国語）に次ぐ影響力を誇り、使用人口は全世界で約 8000 万人と推定されます。また文学作品・漫画・映画・歌謡曲・新聞雑誌記事などが広東語で書かれることも多く、香港を発信地とした文化				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50124	A	ヘブライ語初級 （第三外国語）	飯郷 友康	アジア・日本研究コース	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ヘブライ語文法初歩 ユダヤ文化を深く理解するために、また中東情勢の一端を把握するために、ヘブライ語の知識は欠かせない。この重要な、そして面白い言語の初歩を、なるべく実用的、実践的に習得したいと思う。ひとまずの目標は、自力で辞書を検索できるようになること──すなわち、文法の基礎を把握すること。そして、ある程度の複雑な長文を理解し得る読解力を身につけること。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51078	A	上海語初級 （第三外国語）	李 雲	中国語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		上海語初級 上海語の発音の仕方、ローマ字表記法について学び、繰り返し練習することで、発音を習得する。上海語の語彙、特に中国語の標準語と違うものの意味と用法を学習する。また上海語の文法や表現を学び、日常的なコミュニケーションができるよう「聞く」、「話す」能力を養成することを目指す。 基本的に上海語ネイティブの受講は認めない。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50226	A	ペルシア語初級（第三外国語）	前田 君江	アジア・日本研究コース	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ペルシア語中級：会話と文法、購読				
授業の目標概要		ペルシア語のみで授業を行います（原則、日本語は話さない！）。 授業の主体は、各履修者のスピーチです。毎回テーマ（家族、旅行、服 etc.）と必修文型・必修文法事項を提示したうえで、全員（履修者が多い場合には半分ずつ）がショート・スピーチを行うため、お互いに話す・聞く練習ができるはずです。なお、自分が話すときには、ビデオ・オンでお願いします。 ペルシア語を話したことがなくても、心配する必要はありません。 併せて、文法事項確認の小テストを毎回授業開始時に行います（事前に文法解説/もしくは文法書該当頁を指定し、				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51079	A	セルビア・クロアチア語初級（第三外国語）	山崎 信一	ロシア語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		セルビア・クロアチア語（初級）				
授業の目標概要		セルビア・クロアチア語の初等文法の基礎を学習し、その後、読解力向上のための平易な文章の購読を行う。基礎的な言語能力を身につけることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50267	A	ポーランド語初級（第三外国語）	久山 宏一	ロシア語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ポーランド語初級				
授業の目標概要		ポーランド語の基礎的な文法を学ぶ。簡単な会話ができ、辞書を活用できることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50626	A	タイ語初級（第三外国語）	浅見 靖仁	アジア・日本研究コース	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		タイ語初級				
授業の目標概要		S セメスターからの継続。原則として、S セメスターの授業を履修した学生のみに受講を認めますが、すでにタイ語の基礎的知識を持っている場合は、A セメスターのみの履修も認めます。今年度ではなく、昨年度以前の S セメスターにタイ語を履修した人たちの履修も歓迎します。A セメスターの前半は、テキスト第 12 課以降を 2 週間に 3 課のペースで扱います。A セメスター後半は、タイ語で書かれたウェブサイト上の記事や子供向けの本などを教材として用い、タイ語の読解力を向上させます。辞書を引けば、タイ語で書かれたウェブサイトなどを理解でき				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50891	A	ポルトガル語初級（第三外国語）	牧野 真也	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ポルトガル語の基礎				
授業の目標概要		ポルトガル語を初めて学習する人を対象としており、S セメスターの講義と併せて通年でポルトガル語の基礎的な文法を学びます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50869	A	ポルトガル語中級（第三外国語）	牧野 真也	スペイン語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ポルトガル語の基礎 ポルトガル語の初歩的な知識を有する者を対象としており、ポルトガル語（初級）とポルトガル語（中級・夏学期）の履修内容を土台として読解力と聴解力を身に付けることを目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50955	A	台湾語初級（第三外国語）	蔡 承維	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		台湾語初級 B 「台湾語」は、17 世紀以来、福建南部の泉州、漳州、厦門などから台湾に渡ってきた人々がもたらした言語である。台湾では、2300 万の総人口の 75%を占める 1700 万人の母語と推定される。この言語は、現代中国では「閩南語」と称し、母語話者もおよそ 1700 万と言われている。歴史的に東南アジアや欧米では、この言語を「福建語」と称している。インドネシア、マレーシア、シンガポール、フィリピンでは福建語は華語の方言の中で最も話者が多く、インドネシア語、マレーシア語においても福建語由来の語彙が 500 以上あるとの研究もある。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50956	A	モンゴル語初級（第三外国語）	荒井 幸康	アジア・日本研究コース	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		モンゴル語 本授業は、夏学期履修者を前提とした授業である。 夏学期に引き続き、初歩的な文法および語彙を習得し、辞書を引きつつ、新聞が読める程度の語学力を身につけることを目標とする 会話では、適切な質問文をつくり、5 分程度の会話を成立させることを目標とする また、モンゴル語の背景にある文化を織り込んだ話題を購読で織り込み、モンゴル文化への理解を深める				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50356	A	トルコ語初級（第三外国語）	高松 洋一	アジア・日本研究コース	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		現代トルコ語初級文法入門 2 現代トルコ語の初級文法を習得する。S・A 両セメスターの通年で完結するため、A セメスターは、S セメスターの既習箇所の継続となる。最終的に新聞・雑誌等のトルコ語のテキストを辞典をひきながら読めるようになることをめざす。A セメスターでは、受動の動詞、動詞の提案形、命令形、願望形、後置詞、可能の動詞、動名詞、副動詞、形動詞などを中心に学習し、初級文法をひととおりマスターすることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50423	A	トルコ語中級（第三外国語）	高松 洋一	アジア・日本研究コース	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		トルコ語中級文献講読 2 文献講読を通じて、現代トルコ語の初級文法をいちおう習得した者を対象に、既習・未習の文法事項を整理しつつ、語彙を増やしてトルコ語テキスト読解のスキルを身につけることを目標とする。どのようなテキストに 出会っても辞典さえあれば自分で問題を解決できるようになることを目指したい。 あわせて講読する文献の内容を通じて、トルコの社会・文化・歴史などに関する知識を深めることも期待したい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50009	A 1	日本語上級	藤井 明子	日本語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		アカデミックライティング（1） ー日本語の短編小説を読み、エッセイを書く Academic Writing and Japanese literature 1: Writing Essays				
授業の目標概要		This course is designed for students at the advanced level of Japanese. This course introduces academic writing, citation style in Japanese and critical thinking to students taking this course. It also enhances the development of students' skill in thinki				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60001	A 2	日本語上級	藤井 明子	日本語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		アカデミックライティング（2） ー日本語の短編小説を批判的に読んで書評をまとめる Academic Writing and Japanese literature 2: Critical Reading and Book Review				
授業の目標概要		This course introduces academic writing, citation style in Japanese and critical thinking to students taking this course. It also enhances the development of students' skill in researching. Specifically, by the end of the course, students are expected to				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50188	A 1	日本語上級	大久保 雅子	日本語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		アカデミック・プレゼンテーションのための発音／Academic presentation and pronunciation				
授業の目標概要		授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。 1）ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。 2）自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。 3）自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。 4）日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。 5）聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60008	A 2	日本語上級	大久保 雅子	日本語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		アカデミック・プレゼンテーションのための発音／Academic presentation and pronunciation				
授業の目標概要		授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。 1）ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。 2）自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。 3）自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。 4）日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。 5）聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50227	A 1	日本語上級	中野 てい子	日本語	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	理系のアカデミック・ライティング 1（準備編） Academic Writing for Science 1					
授業の目標概要	他人に読んでもらう文章を書くときは、間違いなく相手に通じるように表現する必要があります。また、文章全体が論理的な順序にしたがって組み立てられていなければなりません。 この授業では、理科系の仕事の文書を書くときの心得を学び、目的に合った適切な表現が使えるようになることを目指します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60009	A 2	日本語上級	中野 てい子	日本語	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	理系のアカデミック・ライティング 2（実践編） Academic Writing for Science 2					
授業の目標概要	他人に読んでもらう文章を書くときは、間違いなく相手に通じるように表現する必要があります。また、文章全体が論理的な順序にしたがって組み立てられていなければなりません。 この授業では、レポートを作成する過程で論理的文章構成法を実践し、表現内容にふさわしい論理形式が使えるようになることを目指します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50689	A 1	日本語上級	大久保 雅子	日本語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	アカデミック・プレゼンテーションのための発音／Academic presentation and pronunciation					
授業の目標概要	授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。 1）ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。 2）自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。 3）自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。 4）日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。 5）聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60082	A 2	日本語上級	木村 政樹	日本語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	近代日本の童話を読む					
授業の目標概要	授業の目標：近代日本の童話を読むことで、文章を理解する力、語彙力、思考力を身につける。 授業の概要：童話は平易な文章で書かれていて読みやすく、日本語表現の基礎を学ぶのに適している。また、深くテクストを読み込むことによって、初読のときには思いもよらなかった新たな解釈を生み出すことができる。この授業では、童話を通して日本語の豊かさを学びながら、文学的想像力のもつ意義と創造的な読解の可能性について考えていく。最終回では、作品ひとつを選んで、その魅力について発表する。また、選んだ作品についてのレポートを提出する					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50718	A 1	日本語上級	奥川 育子	日本語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	『テーマで考え議論する日本語 -Active Learning in Academic Japanese -』と連動する精読・語彙・ライティング					
授業の目標概要	「基礎科目日本語一列」でのテーマや読解テクスト・活動と連動して、構文・語彙習得、正確な精読と要約を行いつつ、ライティングやプレゼンテーション発表を行う。 一列授業と連動し、相互に相補的な活動を行う 。それぞれの授業目的・概要や履修方法等詳細は、初回授業での説明、および、それぞれの授業シラバスを参照のこと。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60083	A 2	日本語上級	奥川 育子	日本語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	『テーマで考え議論する日本語 -Active Learning in Academic Japanese -』と連動する精読・ライティング・プレゼンテーション					
授業の目標概要	「基礎科目日本語一列」でのテーマや読解テクスト・活動と連動し、アクティブラーニングのプレゼンテーション・レポート執筆を行う。一列授業と連動しつつ、相互に相補的な活動を行う。それぞれの授業目的・概要や履修方法等詳細は、初回授業での説明、および、それぞれの授業シラバスを参照のこと。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50892	A 1	日本語上級	田中 祐輔	日本語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	アカデミックライティング（５）–表現学習のためのツール–／Academic Writing (5): Tools and Resources for Learning and Polishing Expressions					
授業の目標概要	『アカデミックライティング（５）–表現学習のためのツール–』では、大学での学びにおいて得られた知識や考えを表現するためのアカデミックライティングに関する解説とアクティビティを行います。とりわけ、語彙や文法、表現法に着目した内容を扱います。 授業の冒頭の 15 分間では、日本語の学習やライティング能力の育成に役立つ情報を紹介します。留学生が能動的・協働的に学ぶことが可能なツールを紹介することを目的としています。ご自身の目的や目標と得られた情報とを照らし合わせ日々の学習に取り入れましょう。 次に、各講義のト					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60088	A 2	日本語上級	田中 祐輔	日本語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	アカデミックライティング（６）–ツールを用いた構成と形式の実践–／Academic Writing (6): Tools and Resources for Text Organization and Format					
授業の目標概要	『アカデミックライティング（６）–ツールを用いた構成と形式の実践–』では、大学での学びにおいて得られた知識や考えを表現するためのアカデミックライティングに関する解説とアクティビティを行います。とりわけ、論文の構成や形式に着目した内容を扱います。 授業の冒頭の 15 分間では、日本語の学習やライティング能力の育成に役立つ情報を紹介します。留学生が能動的・協働的に学ぶことが可能なツールを紹介することを目的としています。ご自身の目的や目標と得られた情報とを照らし合わせ日々の学習に取り入れましょう。 次に、各講					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50719	A	古典語初級（ギリシア語）Ⅱ	上野 愼也	古典語・地中海諸言語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	古典ギリシア語の手ほどき（のつづき）					
授業の目標概要	古典ギリシア語で綴られた平易な文章を読解するための力を培う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51094	A	古典語初級（ギリシア語）Ⅱ	松浦 高志	古典語・地中海諸言語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	古典ギリシア語初級（後半）					
授業の目標概要	※当授業はＳセメスターの「古典ギリシア語初級（前半）」（科目名：「古典語初級（ギリシア語）I」）の続きである．これを履修していない場合，その内容を自習しておく必要がある．当授業の第 1 回で扱う内容は以下の「授業計画」と「関連ホームページ」に記載されているので確認しておくこと． 1, 目標 初級文法を 1 年かけて学び，古典ギリシア語で書かれた簡単な文章を読めるようにし，難しい文章であっても文法書と辞書を使えば何とか読めるようにする． 一般に古典ギリシア語を学ぶにはかなりの負担を覚悟しなければならないと思わ					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50779	A	古典語中級（ギリシア語）Ⅱ	上野 愼也	古典語・地中海諸言語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	古典ギリシア語散文講読					
授業の目標概要	古典期（前五～四世紀）のアッティカ方言で綴られた散文を精読する。初級で習得した文法の運用能力を錬磨し、実際の読解に必要な作品の背景について基礎知識を蓄える。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50424	A	古典語初級（ラテン語）Ⅰ	ヘルマン ゴチェフスキ	古典語・地中海諸言語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ラテン語初級（1）−名詞形容詞変化と動詞の現在形を中心に					
授業の目標概要	ラテン語は古代から近代まで広く使われた言語で、さまざまな学問分野で読まれる文献も多種多様だが、その基礎勉強を提供するこの授業は古代（紀元前後一世紀ごろ）の「古典語」の文法と基礎単語を一年間のコースで身に付けることを目標としている。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50010	A	古典語初級（ラテン語）Ⅱ	井上 秀太郎	古典語・地中海諸言語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ラテン語初級					
授業の目標概要	辞書を使って独力でラテン語の簡単な文章が読めるように、基本的な文法事項を身につける。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50068	A	古典語中級（ラテン語）Ⅱ	井上 秀太郎	古典語・地中海諸言語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ラテン語散文講読				
授業の目標概要		元首政時代の散文を丁寧に読むことにより、ラテン語を読解する能力を向上させる。初級の授業で身につけた知識、特に文法的な事項を逐一確認しながら、読み進めていく。 授業では小プリニウスの『書簡集』を読んでいく。文中に盛り込まれた古代ローマの社会、文化、政治に関する豊富な情報と合わせ、帝政ローマを代表する文人政治家の端正なラテン語を味わってほしい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50228	A	古典語初級（サンスクリット語）Ⅱ	加藤 隆宏	アジア・日本研究コース	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		サンスクリット初級文法 (II)				
授業の目標概要		古典サンスクリット語の初級文法を習得し、平易なサンスクリット文を読解する運用力を養成することをめざす。A セメスターは、文法の後半部（動詞の変化・複合語）を扱う。 サンスクリット語は古代・中世インドで聖典に用いられ、仏教などを通してアジアの文化にも少なからぬ影響を与えた言語である。また、印欧比較言語学においては、ギリシア語・ラテン語とならぶ重要な位置を占める。サンスクリットを学ぶことは、古典教養の基礎を身につけることである。 授業は文法の解説と練習問題による演習を組み合わせて進める。				

総合科目 A（思想・芸術）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50268	A	言語構造論	伊藤 たかね	言語情報科学専攻	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	言語の認知科学への招待					
授業の目標概要	私たちは，普段，母語をむずかしいと思うこともなく使っているが，その背景にはどのような言語知識が働いているのだろうか。理論言語学・心理言語学・神経言語学の研究にかんする講義を聞き、さらに、音素という小さな単位から、単語、句、文まで、具体的な言語データを授業でともに考えていく作業を通して、私たちがいかに精緻な文法体系を無意識のうちに駆使しているかを実感してもらいたい。ことばを使いこなす人間って，すごい，という素朴な感動を共有したい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50357	A	言語比較論	中澤 恒子	言語情報科学専攻	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	言語科学のトピック					
授業の目標概要	一般的に「言語学」と呼ばれているのは、どのような分野なのか。その問いに答えるべく、形態論・統語論（言語の構造）、意味論、音声学・音韻論、語用論、計算機による言語処理など言語学を構成する各分野において、さまざまな言語のデータに触れながら、その見方、分析の進め方、仮説と論証の構築の仕方など、言語分析の実際を経験する。各分野の手法を通して、一見混沌としたデータから見えてくる言語の不思議、分析のおもしろさを実感してほしい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50690	A	言語態理論	吉国 浩哉	言語情報科学専攻	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	文学入門：本屋さんで売っている文庫本で古今東西の文学を実際に読んでみる					
授業の目標概要	そろそろ大学の授業にも慣れてきた（＝こんな程度かと失望したり、飽きてきたりしきた）人々に、オースティン、バルザック、フロベール、ドストエフスキーなど（それなりに有名な）文学作品を実際に読む機会を提供することがこの授業を開講する目的です。様々な言語で書かれた様々な作品を日本語訳でできるだけ多く読みます。古今東西これまでの人類の歴史の中で世界中のさまざまな場所で書かれたとても有名な文学作品をできるだけたくさん読むことによって世界標準の教養を身につける・・・ということを最終的な目標として掲げはするがそれは大変すぎるのでとりあえず入手しやすい文庫本でお手軽に読むことでまずは受験勉強で破壊された脳細胞のリハビリを行いつつ「文学」なるものにちょっとだけ入門してみるような授業です。 授業で扱う予定の長編小説は以下の通りです。 オースティン『高慢と偏見』 フローベール『ボヴァリー夫人』 バルザック『ゴリオ爺さん』 ドストエフスキー『白痴』 以上四編の小説をおおむね一ヶ月に一作品のペースで読みます。それに加えて、ソフォクレス、ゲーテ、シェークスピアによる戯曲、メルヴィル、ジェームズ、漱石、魯迅、カフカによる中短篇も読む予定です。 授業の形式は、教員が詳細な作品解説をするような講義ではなく（最低限の情報提供は行いますが）、学生による発表とディスカッションを中心とします。そのことによって、ただひたすらに本を読むことに加えて、文学作品について自分の言葉で語る（そして書く）方法も学びます。 何はともあれ、これらの「有名な」作品は、普通の意味で面白いです（だから今まで読み継がれてきました）。古い作品なので敬遠されがちですが、だまされたと思って読んでみてください。映画、ドラマ、マンガ、ゲームよりもさらに一歩、人間と人間社会の暗部（＝リアル）に踏み込んだ物語を読んでみたいと思う人にはお勧めです。 文学「入門」の授業ではありますが、人文学の学問を専門とする大学院進学を考えている学生の履修も歓迎します。というよりも、高校までの日本の学校では人文学の教育はあまり行われていないので、今から入門しても人文学のエキスパートとなることは日本では十分に可能です。人文学に関しては、入門は同時に専門家養成でもあります。 ※初回（9 月 30 日）の授業に必ず出席すること。やむをえず欠席する場合は、第 2 回の前に必ず担当教員にメールで連絡すること。課題があるので第 2 回の授業に突然来ても参加は認められない。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50957	A	言語態理論	田尻 芳樹	言語情報科学専攻	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		日本の近代小説を読み直す もう終わったと言われることもある「文学」ですが、もし衰えたとしても、それが重要なものとして社会に認知されてきたのはなぜなのでしょう。あるいはそもそも近代文学とは何だったのでしょうか。この授業ではそういう根本的な問題を考えるために、明治期から昭和にかけての小説を読んでみます。その際の導きの糸が柄谷行人『日本近代文学の起源』です。この本をまず読んで問題意識を共有してから、二葉亭四迷、国木田独歩、夏目漱石あたりから読み始めます。最初はこちらから読む作品をしてしますが、後半は受講者の関心も聞きながら作品を選択していきます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51329	A	言語文化論	長屋 尚典	文学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		言語の多様性から考える言語学 世界には 6000 から 7000 ほどの言語が存在すると言われるが、その構造は言語ごとに異なり、多様である。たとえば、「花子さんが (S) みかんを (O) 食べた (V)」という内容を伝えるために、日本語のように SOV 語順をとる言語もあれば、英語のように SVO 語順をとる言語も存在する。さらには VSO、VOS、OSV、OVS といった語順も存在し、多様である。しかし、完全に不規則というわけでもない。実は SOV 言語と SVO 言語だけで世界の言語の 80% 以上を占めており、人間の言語に「S が V に先行する」「V と O が隣接する」という傾向があることが分かっている。このような言語の特徴は、世界の言語を幅広く観察することによって初めて知ることができる。 このような言語の多様性の問題は、言語を科学的に探求する学問である言語学 linguistics の研究課題のひとつであるが、この授業では、この言語の多様性に注目しながら、言語学という学問体系の導入をおこなう。世界のさまざまな言語の例をとりあげ、世界の言語の驚くべき多様性について学びながら、言語学とはどういう問題に取り組んでいるのかを議論する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50269	A	現代哲学	高村 夏輝	哲学・科学史	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		近代哲学と心身問題 ヨーロッパにおいて、アリストテレスやキリスト教の影響下にあるものから近代科学を支えるものへと世界観が変わっていくのに応じて、物質と心に関する理解の仕方も変化し、両者の関係を問う心身問題が深刻化した。 この授業では、デカルト・ホッブズ・スピノザ・ライプニッツなど、主に 17 世紀に活躍した哲学者たちの心身問題への取り組みを紹介していく。それを通じて、心身問題の基本的な問題構成、それに対する代表的な解決方法およびそれらが抱える問題点を理解することを目的とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50720	A	科学哲学	鈴木 貴之	哲学・科学史	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		科学哲学入門 いわゆる科学革命以降、近代科学はめざましい発展を遂げてきました。近代科学が短期間でこれだけの発展を遂げることができたのは、なぜでしょうか。科学的説明は、他の説明とどのように異なるのでしょうか。人文科学や社会科学も広義の科学の一部と言えるのでしょうか。科学に関するこのような理論的・原理的問題を考察するのが科学哲学です。この授業では、現代の科学哲学の主要問題を概観します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50958	A	記号論理学 I （文科生）	秋吉 亮太	哲学・科学史	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	述語論理入門					
授業の目標概要	現代論理学，とくに述語論理を初歩から解説する．「すべて」や「ある」といった量化子を取り扱う述語論理の意味論・証明論に慣れることを目指す．時間があれば言語哲学への応用や述語論理の完全性定理を概観する．命題論理の初歩に関する知識を持っていることが望ましい．					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50011	A	記号論理学Ⅱ	岡本 賢吾	哲学・科学史	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	完全性定理から不完全性定理まで					
授業の目標概要	まず、古典一階述語論理の完全性定理を概観する。その上で、ゲーデルの不完全性定理に進み、その証明を一歩ずつ辿る。(第一)不完全性定理とは、(1)自然数論としての最も基本的な力能（i.e.再帰関数の表現可能性）を備え，(2)しかも，通常の意味での公理系（i.e.再帰的に枚挙可能な公理系）を成している，という 2 条件を満たす形式体系であれば，いかなるものであっても，それが無矛盾（より詳しくは ω 無矛盾）である限り，必ず，証明することも反証すること（否定を証明すること）も不可能な文（閉じた式）を含む，というものである。この定理の証明に関わる技術的な事項をできるだけ精確に説明し、この定理が持つ概念的な意義を適切に考察するための基盤を作ることを目指す。 授業はオンライン形式であるが、以上の点については基本的に変更はない。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50691	A	精神分析学	山田 広昭	哲学・科学史	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	精神分析の歴史と基本概念					
授業の目標概要	精神分析が生まれ発展してきた歴史的状況を理解するとともに、その基本的な概念や方法論をフロイトならびにラカンの学説を中心に提示する。それによって、20 世紀以降、精神分析が狭義の精神医学の世界を超えて、文学、芸術、思想、さらに人文科学全体に大きな影響を与えてきた理由を考えることが本授業の主たる目標となる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50692	A	表象文化論	清水 晶子	表象文化論コース	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	セクシュアリティ論（クィアスタディーズ）					
授業の目標概要	セクシュアリティ論、とりわけ 1990 年代から 25 年にわたるクィア・スタディーズの議論の基礎を学び、セクシュアリティをめぐる現代日本の様々な文化的・政治的事象を分析しながら、性、欲望、身体の構成が文化や法や政治とどうかかわってきた／いるのかを考えます。 授業修了時に、セクシュアリティに関する処分権を読む際に必要となることの多い基本的な用語や概念、現在セクシュアリティをめぐって交わされている多方面における議論の概観を理解していること、セクシュアリティについての議論に参加するために欠くことのできない基本姿勢を身につけていることを、目的とします。 ジェンダー論、セクシュアリティ論についての基礎的な知識は求めません。 授業はオンラインで行います。Zoom, Google Classroom を使用予定です。Slack も使うかもしれませんが、これは参加者の様子を見て決めます。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50627	A	演劇論 I	DE VOS PATRICK HENRI	表象文化論コース	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	文化の間に生きる舞台芸術 （遠くから観た日本に舞台芸術文化）					
授業の目標概要	20 世紀に入って日本の演劇は近代化を模索して、目指すべきモデルとして選んだのは西洋演劇だが、こちらの現場を見ると、ほぼ同じ時期に逆に東洋あるいは日本の舞台芸術の中で刷新の種を見出そうとする演劇人は少なくないことが分かる。芸術の近代化は複数の、場合によってすれ違う道を辿ることがある。この授業で、新劇などの日本演劇の近代化ではなく、 いわゆる「西洋」という視点から東洋の一部としての日本の舞台芸術が如何に観られ、語られ、誤解され、時代によってその眼差しが如何に変わったのか、または如何なるモダニティを東洋・日本という「他者」に求めようとしたのか、文化の「出会い」から何が生み出されたのか、と言う問題系について考えてみようと思っています。また、この視点を問い直すことは、20 世紀の西洋の舞台芸術のいくつかの側面を反射的に垣間見せるきっかけにもなる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50959	A	演劇論Ⅱ	河合 祥一郎	表象文化論コース	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	『ハムレット』論					
授業の目標概要	もともとは、ローレンス・オリヴィエ、メル・ギブソン、ケネス・ブラナーらの映画『ハムレット』を比較して進める予定であったが、オンライン授業のためテキスト読解が中心になるであろう。ハムレット表象の問題をベースにしつつ、何の予備知識もない人にもわかるように、哲学の問題や演劇の実践に触れつつ、『ハムレット』という作品の核心に迫る。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50693	A	美術論	森元 庸介	表象文化論コース	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	イメージへの愛、イメージへの憎しみ					
授業の目標概要	とりわけ西洋世界について、イメージをめぐって愛と憎悪の絡み合うさまを、まずは歴史に即しながら、しかしまた現在におけるさまざまな発現のありようを視野に収めつつ考察する（その両者をなるべく切り離さずに捉えるようにしたい）。具体的な作品・事例――ちなみに絵画や彫刻だけでなく、映画、あるいはまた報道・広告にまつわるイメジャリーなどを少なからず取り扱う――を参照することはもちろんだが、ベースとなるのは思想史的な関心である。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51330	A	美術論	高岸 輝	文学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	美術史学入門					
授業の目標概要	美術史学の入門として、日本美術史、東洋美術史、西洋美術史の各分野から、計 5 名の教員がオムニバス形式で講義を行う。芸術家や美術作品の調査、文字資料を使った検討、鑑定や作品の評価、美術館・博物館における美術展示の実際など、美術史学にかかわる様々な研究方法を概説するとともに、日本・東洋・西洋の古代から現代にいたる主要な研究トピックや国内外での研究動向を紹介する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50628	A	映画論	韓 燕麗	表象文化論コース	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		映画を読むこと、語ること 映像表現の基本的な概念について学ぶ。 映画を詳細に分析するのに役立つ原則を習得させることが目標である。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50960	A	音楽論	長木 誠司	表象文化論コース	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		オペラを観る・オペラを知る⑤ 西欧の代表的な舞台音楽ジャンルであるオペラを観るためのイントロダクション的な授業である。今年度はおそらくオンラインという制約があるため、あえてテーマは立てずに、バロックから現代までの代表的なオペラを、オペラ導入も兼ねて観ていくことにする。美食的な芸術と見なされやすいオペラだが、現代の上演は時代が抱え込むさまざまな問題を明示化し、観る者を挑発する演劇性を持っており、単に楽しめばよいだけではなく、心の重くなるような側面も多く携えている。あえてそうした「現代的」な舞台をここでは多く取り上げる。導入だからといって、必ずしも伝統的な舞台鑑賞にはならないし、筋書きも見えにくくなる場合があるので心得ていて欲しい。 現在、オペラはどのような視点で観られ・聴かれるものなのか。どのように観れば面白いのか。現在オペラ上演の最先端はどのようになっているのか。オペラはすでに過去のジャンルなのか。以上のような疑問を持つ受講者を望むが、もちろん単なるオペラ好きも大いに歓迎する。少しでも別の観方が得られればよいと思う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50453	A	比較文化論	寺田 寅彦	比較文学比較文化コース	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イラストから読む教科書 イメージとテキスト論の観点から教科書のイラストを検討することで画像情報と文字情報の関わりについて考察する。日本の教科書だけではなく世界各国の教科書を扱うことで教育において画像情報がどのような役割を果たしうるかを探る。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50832	A	比較文化論	前島 志保	比較文学比較文化コース	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		近代日本における出版・読書文化の大衆化 近代日本における出版・読書文化の大衆化の諸相を、雑誌の展開に焦点を当て、比較出版史的な観点から概観する。雑誌に書かれた（描かれた）言説・表象を分析する前に、まず、「言説・表象を盛る器」（メディア）としての雑誌自体に注目し、映画やラジオなど他メディアとの関連にも目配りしつつ、その文章表現・視覚表現の変容が、記事表象と読者、読者・編集部・専門寄稿家の間の関係性を、どのように変えたのか考えていく。様々な研究の資料として扱われることが多い雑誌を、文化的産物としてとらえなおすことを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50270	A	比較文学	佐藤 光	比較文学比較文化コース	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		比較文学研究入門				
授業の目標概要		比較文学とは、各国文学（英文学、日本文学など）の間の影響関係や対応関係を考察する学問です。この授業では比較文学の研究事例を（1）英文学と出会った日本、（2）日本と出会った英文学、（3）クロス・ジャンルの事例としてロンドンのミュージカル研究、という三つの観点から紹介します。歴史と文学をあわせて考える実証研究の事例集です。イギリス児童文学に関する講義ノートを作成中なので、間に合えば、4 つめの観点としてシリーズの中に組み込みます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50358	A	比較思想	梶谷 真司	比較文学比較文化コース	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		共創哲学入門～対話型哲学の可能性				
授業の目標概要		「共創哲学」というのは私の作った言葉で、英語では inclusive philosophy としています。私自身、すでに 10 年近く哲学対話という、他者と共に対話を通して考える「体験としての哲学」を学校や地域コミュニティ、企業等、さまざまな場所で実践してきました。そこでは考えることを通して、多様な人が多様なままで共にいられる inclusive な場が作られます。それを通して世の中にはどのような排除 exclusion があるのかもわかります。「共に考える」という営みがどれほどの意義と可能性をもつのか、まだまだポテンシャルは尽くされていません。この講義では、対話型哲学の歴史的・社会的背景から、哲学対話とその実践例について口述し、受講生にも実際に対話を体験してもらいます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51328	A	比較思想	渡辺 優	文学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		宗教学入門				
授業の目標概要		本講義のねらいは、私たちの「宗教」理解をより深く豊かなものとすること、あるいは、現代においておよそ「宗教」というものに向き合うにあたり求められる知性のしなやかさを幾分かなりと培うことである。（それはそのまま、「私と他者のあいだ」をトポスとする宗教学の哀楽を知ることでもあるかもしれない。） 本講義は大きく以下の三部から構成される。 ①いま「宗教」を考えるということ（の意味と意義） ②宗教学の歴史と今日的課題 ③他者学としての宗教学 「宗教」について私たちが抱きがちなステレオタイプや世俗主義的イメージを解きほぐすことからはじめ、宗教学ないし宗教学的な営みの歴史と今日的課題を概観したうえで、「他者学（heterology）」としての宗教学の思想的可能性を探る。とくに③については、宗教学草創期からの鍵概念であった「神秘主義」を主題とする予定。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51327	A	比較思想	乗立 雄輝	文学部	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		この世界が存在するということについて考える。この世界が存在することに理由はあるのか？そして、何かがあることに、何らかの理由を求めることが妥当なのかという問題について考えていきたい。				
授業の目標概要		（彼が初めてというわけではありませんが）ライプニッツが発して以来，現在に至るまでさまざまな哲学者や科学者たちの頭を悩ませ続けている「なぜ，何もないのではなく，何かがあるのか？」という問いを考察します。 この問いを，最も根源的かつ重要な問いだと主張する哲学者もいる一方で，問いとして適切ではない，もしくは，考えるのが無駄な疑似問題だと批判する哲学者も少なくありません。 しかし，この問いが妥当な問いなのかどうかを批判的に検証することも含めて，この問いを考察することは，この問いが関わる領域の広さゆえに，哲学的思考に必要かつ基本的な諸概念群を理解し，その諸概念を用いながらさまざまな問題を考えていくきっかけとなります。 この講義では，この問いを考えていく中で，存在と無をめぐる問題，因果の問題，「説明する」とはどういうことなのか，原因と理由（根拠）の差異，可能性・偶然性・必然性をめぐる議論といった，これまで哲学者たちが悪戦苦闘してきた諸概念について学ぶと同時に，それらの諸概念を使って，参加者のみなさんが「なぜ，何もないのではなく，何かがあるのか？」という問いへの（この問いそのものの否定の可能性も含めた）応答を試みてほしいと考えます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50125	A	比較芸術	今橋 映子	比較文学比較文化コース	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		比較芸術入門				
授業の目標概要		未定				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50189	A	比較芸術	三浦 篤	比較文学比較文化コース	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		西洋近現代絵画の見方				
授業の目標概要		19 世紀、20 世紀の西洋絵画の見方、考え方を学ぶ。S セメスターの美術論「西洋伝統絵画の見方」で扱った絵画の体系が崩壊して、新しい近代のパラダイムに移行する時代が対象となる。19 世紀のロマン主義にはじまり、印象派、ポスト印象派、20 世紀の抽象絵画、ポップ・アートなど、現在にまでいたる歴史をたどっていくが、単純に時代順に語るのではなく、主題や造形様式や受容に関わるいくつかの重要な問題を設定して論じていく。広い意味における視覚芸術の機能、芸術と社会の関係、芸術家の意義や在り方等々、価値観が揺らぐ時代の美術を考えるためのテーマは少なくない。講義はスライドを使って、作品を具体的に分析しつつ行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50271	A	東洋思想史	田中 正樹	国文・漢文学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	宋代学術思想の諸相					
授業の目標概要	中国学術思想の大きな流れを学ぶことにより、近代に至るまで日本を含む東アジア全体に多様な影響力を及ぼしていた中国文化の特質が理解できるようになるのが目標である。 しかし、講義時間の制約もあり中国思想の全体を詳細に論ずることは不可能なので、中国思想史の概略を把握した後、特に宋代士大夫の学術思想の在り方の理解を深める。というのも、宋代学術・文化は中国のみならず朝鮮半島や日本、東南アジアに於いて各文化に受容され、その一部となって現代まで生きていると言えるからである。 宋代はその後の思想界に多大な影響を与えることになった程朱学（二程子・朱熹の学問）が起こり、漢・唐の訓詁学から新儒学への画期をなす時代と考えられる。そして、南宋・朱熹の学術が後に「朱子学」に再構成され、近代に至るまで中国のみならず朝鮮王朝や江戸期の日本に少なからぬ役割を果たしてきた（従ってそれ以降は前近代的なものとして批判された）ことはよく知られている。しかし、宋代の学術は程朱学の系統だけでなく、それに属さない士大夫達も独自の思索を試み、豊かな成果を残していることは、あまり問題とされない。 そこで、本講義では、宋代知識人の学的基礎を解明する試みの一つとして、儒教経典の学問「経学」や士大夫に好まれた道家思想（及び道教）のテクスト等がどのように読まれていたのかについて理解すべく、具体的な資料を読解する作業も行い、受講者が宋代学術の諸相に関して深く考察する機会とする。また、学術思想を中心とするが、より広範な文化―芸術や飲食―と士大夫との関係についても情報を提供し、幅広く古典中国文化の理解を深める。 加えて、資料読解のための工具書に関する知識を得、漢文資料読解の復習ができるようにする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50190	A	経済思想史	松原 隆一郎	経済・統計	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	経済思想史					
授業の目標概要	経済思想史について概説する。原著者の文章をプリントで配布する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50961	A	科学史	三村 太郎	哲学・科学史	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ギリシャ科学から近代科学まで					
授業の目標概要	科学は不変の真理を扱った学問というイメージを抱くが、その一方で、科学は古代からの長い歴史を持っており、地域や時代によって様々な「科学」が営まれ、今日の科学が形成された。本講義を通じて、科学という営みを世界の歴史の視点から見るきっかけを与える。具体的には、古代から近代科学成立にいたるまで、科学が各地域各時代で、どういった人々によって、どういった目的で、どのような形ではぐくまれてきたのかをたどる。					

総合科目 B（国際・地域）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50012	A	国際関係論	下谷内 奈緒	国際関係	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		国際社会の秩序と正義				
授業の目標概要		秩序と正義を軸に近代以降の国際関係を概説する。今日の「国際社会」はどのような考えに基づいて成り立っているのか、国際社会において秩序を維持し、正義を実現するためにどのような考えが生み出され実践されてきたのかを批判的に検討する。国際政治学の基礎的な概念と分析枠組みを用いて、国際社会の歴史的発展と主要争点について問題の所在を理解することで、国際問題を読み解く視座を獲得することを目的とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50272	A	国際関係論	鶴見 太郎	国際関係	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		国際社会におけるミクロとマクロ				
授業の目標概要		国際関係論の対象は国際社会（地球社会）である。地球大の、あるいは広範な地域にわたる制度や勢力、経済、法、さらには文化や記憶がテーマになることが多く、議論のスケールは壮大である一方で、どこかつかみどころのない話に感じられることもある。人々が日常的に実感できるミクロな次元とそうしたマクロな次元はいかに関わるのか。例えば、誰も望まない戦争や貧困はなぜ発生し、誰もがかかわるはずの環境問題に多くの政府が後ろ向きである一方で、それなりに環境保護の流れが生まれるのはなぜか。本講義では、国際社会を複数の次元や視点から分析し、それら相互のかかわりを見出していく視座の涵養を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50273	A	国際関係史	酒井 哲哉	国際関係	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		国際関係史				
授業の目標概要		幕末・維新期から、太平洋戦争終結にいたるまでの、日本外交の展開を、東アジア国際秩序の変容と関連付けながら、歴史的に概観する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50963	A	現代国際社会論	石井 梨紗子	国際関係	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		国際協力論序説				
授業の目標概要		本講義は、途上国の「開発」に向けた非軍事的支援の総称としての「国際協力」（International Development Cooperation）について、その担い手となる主体と活動の内容を多面的に理解することを目的としている。具体的には、各国政府による政府開発援助（ODA）を始めとした二国間支援、国際機関による多国間支援、非政府組織（NGO）を通じた支援、さらに企業による支援について、それぞれの特徴を概観し、比較検討する。 国際協力活動への評価はとかく二極化しがちであるが、本講義を通じて「国際協力」を捉える尺度の多様性を学んで欲しい。講義の中では、講師の開発コンサルタントとしての経験に基づくプロジェクト事例等も紹介していく予定である。 国際政治イシューとしての「開発」や「援助」に関心を持つ学生の他、途上国の社会・文化全般に関心を持つ学生の参加も歓迎する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50964	A	地域文化論Ⅱ	遠藤 泰生	地域文化研究専攻	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アメリカ近代の歴史と文化 アメリカ合衆国は歴史の「浅い」国と言われます、流れた年の数だけを数えれば、なるほどその歴史は「短い」かもしれません。けれども、ヨーロッパからの植民者が入植して以来わずか 400 年余りの間に、アメリカ合衆国は、１３の植民地から世界髄一の超大国へと変貌を遂げました。その歴史には、他国の歴史には見られない「激しい変化」が見られます。その歴史を貫く大きな流れを掴むことが授業の目標です。事実としての歴史だけでなく、捏造されたり、歪曲されたりしながら、アメリカ国民の記憶に降り積もったアメリカ近代の経験を読み解くことに力を注ぎます。文学作品や絵画、映画なども用いて、出来る限りひろくアメリカの地域文化に触れることを目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51095	A	地域文化論Ⅱ	谷垣 真理子	地域文化研究専攻	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		紛争と和解から見たアジア共同体 この授業では、アジア地域における、一国内あるいは複数の国の間での、人びとの紛争・対立・葛藤をめぐる記憶について、個別の事例を取り上げて論じていく。具体的には、それはどのようなもので、それがどのように想起され、それがどのように語り継がれ、その解決のためにどのような取り組みや政策がとられてきたのか、またそれが効果をもったのか、限界があるとすればどのようななぜであるか、などを、それぞれの問題に詳しい研究者などに話を聞き、受講者と議論していく。 そして、それぞれの事例について知り、それを比較することで、地域文化研究のあり方を学んでいく。そうした記憶・対立・葛藤を乗り越えて、アジア共同体をどう展望していくのかについても、受講者はスピーカーと議論してほしい。 予定している各回の内容は以下のとおりである。 植民地朝鮮の記憶 ／ 北朝鮮への「帰国」事業 台湾における日本の「記憶」と現在 ／ 中国人強制連行の記憶 日本におけるソ連／ロシアの記憶 香港における英領植民地としての「記憶」				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50965	A	比較地域史	渡辺 美季	歴史学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		近世日中関係史 日本と中国は、絶え間ないヒト・モノの出入りを通じて、歴史を大きく共有してきた。本講義では、前近代の日中関係史、特に明の国際秩序の瓦解を経て日中両国の関係が再構築される 16-19 世紀前半（いわゆる「近世」）の両国の関係を、日本・中国双方の視点から、また琉球・朝鮮などのアジア諸地域の動きも視野に入れて、多元的に論じていく。なお単に通史として講義するのではなく、各時期を特徴づけるようなトピックを取り上げ、それに関わる史料の読み解きを通じて理解を深めることに重点を置きたい。二国の関係史を学ぶことで、それぞれの歴史を客観的に捉える視点を養ってほしい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50191	A	日本文化論Ⅰ	村上 克尚	国文・漢文学部会	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		大江健三郎の短編小説を読む 大江健三郎（1935 - ）の短編小説を時代順に読んでいきます。後年川端康成に続く日本人二人目のノーベル賞作家となる大江は、1957 年、東京大学在学中に「奇妙な仕事」で鮮烈なデビューを果たしました。しかし、なぜそのデビュー小説は、一五〇匹の犬を殺すという奇怪な内容を持たなければならなかったのでしょうか。この問いに答えるためには、同時代の日本の状況を詳しく知る必要があります。時代状況の確認と文学作品の精読を循環させていくことで、大江の文学作品が持っている可能性を取り出してみることを、この授業の目的としたいと思います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50966	A	日本文化論Ⅱ	高山 大毅	国文・漢文学部会	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		江戸時代の文学論 文学研究をしていると、「文学は何の役に立つのですか？」といった質問をぶつけられることがある。この種の質問は大抵礼を失していることはさておき、文学の価値をどのように説明するかについては古来様々な議論があった。この授業では、江戸期の文学論の検討することで、上記の問いについて考えてみたい。伊藤仁齋・荻生徂徠・賀茂真淵・本居宣長といった学者の所説を取り上げる。彼らの文学をめぐる思考は、今日の読者にとっても示唆に富んでいる。江戸期の思想・文学に関心がある人だけでなく、広く「文学」に関心のある人に受講してもらいたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51096	A 1	日本語日本文学Ⅰ（理科生）	矢田 勉	国文・漢文学部会	金 5	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		日本語史研究の方法 日本語は、文献上遡ることができる歴史が千年以上に亘るうえ、他言語との接触はあっても、言語侵略を蒙ることはほとんどなかったという点で、言語はなぜ、どのように変化するのかということを追究するに恰好の材料です。 本講義では、奈良時代・平安時代・室町時代の言語資料を一つずつ取り上げ、文献資料からの言語史的事実（就中、音声言語史的事実）の抽出方法、言語変化の原因と法則、といったことについて理解することを目標とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50454	A	日本語日本文学Ⅱ	戸塚 学	国文・漢文学	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		日本近代の短編小説を読む 文学作品を読むというのはどういう行為なのでしょうか。この授業では、日本近代の代表的な短編小説を取り上げながら、あらためて文学作品を読むとはどういうことなのか、考え、かつ体感していただきます。半期の授業を通して、自分なりにある文学作品の中に問いを見出して読むことができるようになることを目指します。 １、小説の中に自らの問いを発見する。 ２、先行研究を調べて要約し、批判的に捉え直す。 ３、作品の背景について調べ、まとめられるようになる。 ４、問いと答えを筋と関連させつつ一つの解釈をまとめる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50893	A	日本語日本文学Ⅱ	清水 由美子	国文・漢文学	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		『平家物語』を読む。 『平家物語』は日本の中世文学、軍記文学のみならず、古典文学全体においても代表的な作品であり、一般にもよく知られ、中学校や高等学校でも教材とされる事が多い。そうした『平家物語』の様々な話を読む。 この作品は、十二世紀末の治承寿永の内乱を描くものであるが、随所に様々な挿話を付け加え、戦いについてだけではなく、中世の人々の心情や社会のありようを写し出すものとなっている。それらを読み解き、中世の社会、歴史、宗教などについて考察することで、この時代への理解を深めることを目標とする。 さらに、そうした作業は、また逆に、戦乱の世を生きた人々にとって、いくさを語ることや書き残すということがどのような意味を持っていたのか、という次の問題への探求に導いてくれるはずである。とりもなおさず、それは我々人間にとっての文学という存在の意味という普遍的なテーマへつながるだろう。 そのような大きな目標のもと、まずは『平家物語』の話を一つ一つ丁寧に読んでみよう。そこで聞こえてきた中世人が語り残したことについての自分なりの考察を積み重ねてみよう。 最初の数回で、『平家物語』についての基本的な事項を紹介し、その後は、授業計画で示したようなテーマに沿った話を取り上げる予定である。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50833	A	東洋古典学	高芝 麻子	国文・漢文学	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	安史の乱と詩人たち					
授業の目標概要	唐代の詩人の人生と作品について、安史の乱を一つの切り口として読み解いていきたい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50694	A	西洋古典学	筒井 賢治	地域文化研究専攻	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ギリシア・ローマ文学の概要					
授業の目標概要	ヨーロッパ系文化の基礎をなすギリシア・ローマ古典文学をひととおり紹介する。 近現代の文学と異なり、ギリシア・ローマ文学には形式上の制約が数多くあるので、その点を特に詳しく説明する予定。 できるだけ原典（翻訳）を紹介するようにする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50695	A	歴史社会論	桜井 英治	歴史学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	戦国時代史					
授業の目標概要	応仁・文明の乱後、室町幕府が全国政権としての実体を失うと、各地に戦国大名が出現し、自立的な分国支配を展開する。さまざまな出自を有する彼らの権威・権力をささえていたものとは何か。戦国大名の権威の源泉と権力の構造、近世権力との連続性・断絶性の問題等を検討しながら、日本史における 16 世紀の意義について考える。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51097	A	近現代史	戸邉 秀明	歴史学	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	沖縄近現代思想史					
授業の目標概要	＜目標＞ 1．沖縄に関する 19 世紀半ば以降の歴史学習を通じて、高等学校段階の世界史及び日本近現代史の知識や理解の枠組みを批判的に捉え返せるようにする。 2．ある地域の歴史から現代世界の諸問題と密接に関わる普遍的課題をつかみとる能力を身につけ、歴史研究の意義と可能性について理解できるようにする。 3．幅広い性格の史料を読解することで、近現代史研究の基本的な進め方について学べるようにする。 4．関連する映像の視聴、ならびに映像に関する課題に取り組むことで、歴史に関する映像資料の読解力を高める。 ＜概要＞ 19 世紀半ば以降、現在までの沖縄をめぐる近現代史について講義する。特に「琉球処分」から地上戦・軍事占領を経て現在にいたる期間、沖縄に生きる人々が試みた「自立」をめぐる思想的模索を概観していく。人々は自立を阻む国際的・国内的権力状況にいかなる抵抗を試み、どのような思想を育んできたのか。この問いへの答えを、当時の具体的な史料の読解を通じて明らかにする。その際、沖縄近現代史を「沖縄問題」なる基地・安保問題の単なる背景とみなす狭い理解を排し、一方で近代以来の東アジア史の変動のなかに沖縄を位置づけ、他方で現代的課題の淵源を探究する理論的枠組みをもって、その実態に迫る。そのために、政治史・経済史・国際関係史の基本的な動向をおさえつつも、特に社会史・思想史的な観点を重視する。それにより、受講者が現代日本と世界の関係を新たに見据えるための歴史的視座を養う一助としたい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50274	A	歴史と文化	岩本 通弥	歴史学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	日常史としての衣食住ー柳田國男のみた近代日本の暮らし					
授業の目標概要	民俗学からみた近現代日本の衣食住という暮らしの変化を扱うが、本講義ではすでに古典となっている柳田國男の『明治大正史世相篇』(1931＝1993）を精読することによって、それに接近する（加えて、可能ならば、それにならって、その後の近現代の世相や生活の変化も、引き続いて通観することを目指すが、時間の関係上、部分的にならざるを得ない)。柳田のテクストを 1 回に、2 節ずつ講読する予定であるが（場合によっては 1 節になる)、難解な柳田の文章を徹底的に読み解くことを、授業の一番の目標とし、民俗学を体感・体得することを目的する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50275	A	歴史と文化	小島 敬裕	歴史学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	中国・ミャンマー国境地域における文化変容と地域の歴史					
授業の目標概要	本講義では、ミクロな地域における文化変容の過程を、マクロな国際関係や地域の歴史との関わりから分析する手法を身につけることを目標とします。 具体的には、中国雲南省のミャンマー国境地域に位置する徳宏州の農村を事例とし、まずタイ族の文化変容の実態について、調査をもとに紹介します。次に、地域における文化変容が、中国とミャンマーの両国家のみならず、日本・欧米の政策や、国境地域における人・モノ・カネの移動の歴史とどのように関わってきたか、具体的に解説します。さらに、ある地域の文化について深く理解するためには、地域社会に生きる人々の日常生活に着目することも重要であることを示します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50192	A	世界史論	二宮 文子	歴史学	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	前近代南アジアにおける文化接触					
授業の目標概要	13 世紀から 17 世紀までの南アジアにおける文化接触・文化形成について、分析枠組みと具体的な事例を通して学ぶ。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50894	A	世界史論	小田 悠生	歴史学	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	「移民の国」アメリカの形成					
授業の目標概要	みなさんはアメリカ合衆国にどのようなイメージを持っているでしょうか。多くの人が抱くのは、「移民の国」というアメリカ像ではないでしょうか。アメリカは、建国以来 3 度目の大規模移住期の只中にあります。外国出身者は総人口 3 億 2700 万人の 15%を占め、アメリカ生まれの第二世代を含めると 25%となります。近年の移民の多くはメキシコを筆頭とするラテンアメリカ、そして中国、インド、フィリピンをはじめとするアジアの出身です。ヒスパニックは全人口の 18 パーセントを占め、一部の地域ではスペイン語は英語とならぶ共通語となっています。こうした社会の変化と同時に、多様化を「われわれ」「わが国」「わたしたちの社会」への脅威と捉える排外主義もまた顕著となっています。「国境の壁」をスローガンに掲げた大統領が 4 年前に誕生したことは、その象徴です。この授業では、揺れ動く 「移民の国」アメリカの形成を 18 世紀末に遡って検討しながら、現代アメリカへの理解を深めます。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51098	A	文化人類学 I	田中 大介	文化人類学	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	死の人類学					
授業の目標概要	この授業の目的は人類学の視座に基づいて死を探究することである。20 世紀前半までの古典期に属する人類学および民族学は、死の社会－文化的様態を射程に含む学術領域群の最前線にあった。進化主義と伝播主義を軸とする通文化的洞察や、その後に続く機能主義人類学の民族誌的記述は、理論と背景に種々の難点を有するとは言え今日でも死をめぐる思考に豊かな示唆をもたらしている。しかし 1960 年代から医療・臨床・終末期心理への照射を中心に形成されてきた学際的な死の研究（デス・スタディーズ）の潮流が拡大すると、概して局地的習俗の様態から死を見つめるという手続を採ることの多かった人類学は徐々に周縁的かつ補完的な位置に退き、その情況は現在も続く。本授業では「人間が死ぬこと」をラディカルな経験科学として捕捉することを試みてきた人類学の系譜を再省察し、今日的なトピックに関する議論も交えながら、より先鋭的に現代の死を考える人類学的アプローチを紡ぎ出していくことを目指す。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50276	A	文化人類学Ⅱ	箭内 匡	文化人類学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	人類学的思考とは何かー映像／イメージを通して学ぶー					
授業の目標概要	文化人類学（以下「人類学」と略）はもともと、世界の諸民族を研究する「民族学」を原点とする学問だった。しかし、今日の人類学はそうしたイメージからかなり遠いものになっている。「未開」や「伝統」はもはや人類学の中心的テーマではなく、今日の人類学者は、例えば先端科学のラボやインターネット上の世界などもフィールドワークの対象にするようになった。そのような現代人類学は、人類学の過去の学問的遺産とどのように連結しているのか。そして、そうした伝統の上に立つ現代人類学は、どのような独自の知見を我々にもたらしてくれるのだろうか。 過去から現在そして未来の人類学へと向かう、こうした流れの全体を見通すために、映像（写真を含む）は有益な土台となる。人類学者はフィールドワークという作業をつねに重視してきたが、そこで大事なのは、「言葉で表現されたもの」と同じかそれ以上に、「言葉で表現されていないもの」であって、映像は、うまく使うならば、この後者（およびその前者との関係）をダイレクトの感じ取らせてくれるのだ。それゆえこの授業では、映像的素材を見ながら、フィールドの現場を間近で想像しつつ、古典的および現代的な人類学の独特の思考方法を学んでいってほしいと思う。 かつて「文化」、「社会」は人類学の基本概念であった。しかし実は、人類学は「文化」、「社会」の概念なしでも十分にやっていけるし、そういう考え方のほうが人類学的思考の今日的な現場に接近しやすいとも考えられる。この授業でのキーワードは、従って、社会・文化を次第に離れ、イメージ・自然・身体といったものになっていくはずである。このあたりの事情は、授業全体を追うなかで、少しずつ確実に理解していってもらえると思う。					

総合科目 C（社会・制度）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50721	A	法と社会	西土 彰一郎	法・政治	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	法理論の探究					
授業の目標概要	ある論者の表現を借りるならば、法理論とは「法システム全体が、環境に適合しつつその首尾一貫性を保つことができているかということについての、法システム内部における法の『反省理論』である」。本講義は、この意味での法理論を受講生諸君とともに探究することを目的とする。その際、社会学における社会システム理論など隣接分野の知見を用いつつ、法の理論的反省を企てている「教科書」を読みとくことにより、以上の目的を追究してみたい。 理論的反省の経験は、「思考の型の中で全体を推論すること」である。したがって、法の内的視点からとはいえ、反省理論を探究することは、様々な分野の学生にとっても刺戟的であるように考えられる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51099	A	日本国憲法	福岡 安都子	法・政治	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	教養としての憲法					
授業の目標概要	法学を必ずしも専攻しない学生も対象に、「日本国憲法」の基本的原理を、その歴史的背景にも配慮しつつ講義する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50193	A	現代社会論	丹羽 美之	社会・社会思想史	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	テレビ番組で見る現代社会					
授業の目標概要	日本でテレビの本放送が始まって 60 年あまり。テレビは単に現代社会を映し出すだけでなく、現代社会を積極的に作り出し、動かしてきた。この授業では、ドキュメンタリー、ドラマ、バラエティなど、テレビ史に残る番組の数々を視聴しながら、テレビと現代社会の歩みを多角的に振り返る。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51080	A	比較社会論	傅 凱儀	社会・社会思想史	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	経済人類学 Economic Anthropology					
授業の目標概要	This course introduces students to the issues, methods, and concepts of economic anthropology. Economic anthropologists try to ask questions about human nature, power and social life in all cultures. In doing this, economic anthropology takes a position in the main intellectual battlefield of the last 100 years, engaging with dramatic questions about the basic nature of the human condition. The material for the course will consider issues of production, distribution, and consumption in non-Western societies as well as Western societies. We will be thinking about the purpose of work and material goods, the comparison of gifts and commodities, why poverty exists, the evolution of regional and global economies, and the way contemporary capitalist economies shape other aspects of society and culture. ＜到達目標＞ １） 経済の多義性を認識する。 ２） 人間の社会的行為の土台と動因を考察する。 ３） 人間社会の全体構造との関連において，社会の物質的必要を満たす経済制度や経済活動を説明できる。 ＜講義概要＞ 本講義を通じて、受講者は経済人類学の歴史、概念、方法論、及び諸問題に触れることになる。講義では広い世界史的な文脈から人類諸社会の経済を俯瞰し、経済学と人類学、さらに諸研究分野との間のつながりを探求する。20 世紀後半の世界の経済状況を分析しつつ、現代社会のなかで経済人類学という学問が何をなしえるのかを考察しながら、人間の経済とは何か、その本質と展望を考える。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50697	A	ジェンダー論	瀬地山 角	社会・社会思想史	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	セクシュアリティとジェンダーの社会学					
授業の目標概要	セクシュアリティとジェンダーについて、大学生として最低限知っておくべき知識を伝える講義です。 前半のセクシュアリティ編については、「下ネタの講義」という誤解、風評被害に悩まされていますが、きちんと履修した学生さんはそのような感想を決して持たないはずです。そういった愚かな反応がなぜ起きるのかも含めて、一貫した問題意識の下で「社会科学の立場から性を考える」とはどういうことなのかについて論じていきます。「本能」だと勘違いされている「性」を自然科学とは異なるアプローチで読み解きます。 ジェンダー編は、みなさんの人生設計そのものに関わります。この講義は東大全体で女性の履修者がもっとも多いもので、優秀な女子学生の未来が、男子学生のそれとどう関わりを持つのかについても、この講義を通じて、考えてもらいたいと思います。 今年新しく出した本を教科書として指定していますが、それに則って講義をするのではありません。これでカバーされるのは講義の 1〜2 回分です。講義で触れるいくつかの論点については、『ジェンダーとセクシュアリティで見る東アジア』の中でも言及しています。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51100	A	相関社会科学	市野川 容孝	社会・社会思想史	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	現代社会と相関社会科学					
授業の目標概要	教養学部後期課程の教養学科・総合社会科学分科： http://www.kiss.c.u-tokyo.ac.jp/undergraduate/aboutundergraduate/ に所属する数名の教員のリレー講義によって、同分科のコースの 1 つである「相関社会科学」の可能性を、具体的に知ってもらう。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50967	A	政治経済学	丸川 知雄	経済・統計	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	歴史観（マクロ・ヒストリー）の探求					
授業の目標概要	人類の歴史を巨視的にとらえるさまざまな歴史観（マクロ・ヒストリー）を紹介し、その妥当性を検討します。 マクロ・ヒストリーとは、単に歴史を記述するものではなく、歴史の動きを内在的または外在的要因によって説明しようとする試みです。もちろん歴史学とは無縁ではありませんが、むしろ思想の系譜としては、哲学や政治思想、経済思想の分野から生まれてきたものです。 マクロ・ヒストリーには、技術や生産力の成長が社会の変動をもたらす、自然環境によって社会の発展パターンが決まる、といったように客観的な条件によって人類の歴史を説明するものと、民主主義や自由、あるいは特定の宗教などの理念が歴史を動かすと説明するものがあります。 また、おのおのの社会の内在的発展を見ようとする歴史観、社会の間の相互作用を重視する歴史観、さらに世界全体を見なければ意味がないとする歴史観など、歴史を見る単位による類型化もできます。 こうしてさまざまな歴史観を対比し、関連づけ、類型化することを試みたいと思います。また、理論の紹介するだけでなく、批判的に考察し、データで検証します。 大学受験のために多くの人が世界史、日本史の勉強をしたと思いますが、この講義では歴史観という軸によって学んだ知識を再活性化します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50277	A	計量社会科学	清水 剛	経済・統計	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		計量社会科学 本講義では、「数値によって社会を見ること」の問題点と基本的な統計分析の考え方を学んでいく。社会に関するさまざまなデータは客観的に存在しているようなものではなく、それ自体が社会的な条件の下で形成される。この点を踏まえて、まずデータを「読む」とはどのようなことかについて講義した上で、その上で統計分析の考え方を述べていく。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50896	A	経済政策	安部 竜一郎	経済・統計	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		経済政策を問い直す 経済政策が常に論争の的となるのはなぜか。国民経済を領域とする経済政策はグローバル経済のもとでどこまで可能なのか。環境問題や男女格差、貧困の是正が課題とされているにも関わらず、現実は逆行しているようにみえるのはなぜか。本講義では、こうした問いに答えるため、経済政策の基礎的な枠組みを学びつつ、通例のマクロ経済学や厚生経済学など「狭義の経済学」の枠組みを超えて、自然と人間-社会との相互作用という視点から経済政策を考える。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50698	A	現代教育論	佐々木 英和	心理・教育学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		教育・学校心理学 誰もが経験し、かつ言葉としても認知している「教育」。意識的であれ無自覚的であれ、この「教育なるもの」の定義を「教え育てること」として初期設定したり、「学校の中に教育が存在する」と決めつけてしまったりする人が多くないか。もしそうだとすれば、そこに根源的な間違いが潜んでおり、それにより教育実践の可能性が大きく制約されてしまうし、それどころか難題の発生源となることもある。実際、不登校問題など、学校教育の現場で「教師－児童・生徒・学生」関係がうまくいかない背景として、教育者なりの「善意」に基づいた「べき論」が被教育者に一方的に押しつけられるために生じる心理的抑圧の問題が存在しているケースも少なくない。いずれにせよ、教育に対する「思い入れ」の強さがそのまま「思い込み」の強化に転じてしまう愚から脱する必要がある。 上記のような立場を基本とする本講義は、教育に関して視野を拡大するとともに、根本的な発想の転換が図れるような力量を育成しながら、教育に関する見識を受講者なりに醸成し創造的に論じられる力を育成することを主目的とする。そのための学習支援戦略は、主に以下の三つである。 第一に、大前提として、授業構成を「一般教養の一分野としての教育を学ぶ」という発想と「教育を切り口として教養概念を問い直す」という発想との二本柱で成り立たせ、両者を交差させながら展開する。これにより、表層的には学校に焦点化されがちな教育問題の背景には、家族・地域社会・組織等における人間関係や各種メディアの影響などが複雑に絡みあっており、深みと広がりのある心理社会的問題が存在していることを確認する。 第二に、「教育現場において生じる問題及びその背景」に効果的に迫っていくための手法として、教育問題を「教育の論じられ方の問題」として扱うことを出発点にして、教育学的知識や実践事例などを参照しながら、教育について多角的に検討することにより、受講者が抱えがちな諸々の固定観念を流動化させていく。特に、教育イメージを子どもや学校だけに限定しないとともに、それを「教える－教わる」関係から解放することにより開かれてくる様々な可能性および課題について考察していく。 第三に、「教育現場における心理社会的課題及び必要な支援」を考える際に、「教えこみ」から「学びあい」への転換こそが、教育実践として有効であることを、単なる知的理解としてでなく、体験的に味わってもらう。具体的には、受講者どうしでペアやグループを組み、お互いの話を傾聴しあう実習を行うことなどにより、親や子ども達、悩みを抱えた教師などに対する接し方を実感してもらい、コミュニケーション問題の解決に不可欠なスキルの基本を経験できるように配慮する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50069	A	教育臨床心理学	石垣 琢麿、西口雄基	心理・教育学	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		臨床心理学概論				
授業の目標概要		臨床心理学は、多様な個々のクライエントの具体的福祉向上をめざす、実践（心理臨床）のための「学」である。しかし、それを学問体系として、あるいは、科学として理解するためには、精神分析学や精神医学とならび、認知・発達・社会などの心理学諸分野の知識が不可欠である。本講義では、「発達」をキーワードに、「臨床心理学の成り立ち」と、それに基づく「臨床心理学の代表的な理論」と介入法、教育臨床心理学と教育支援についての理解を目的とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51101	A	教育臨床心理学	前田 基成	心理・教育学	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		臨床心理学概論				
授業の目標概要		近年、いじめや不登校の問題行動のほか、自然災害や犯罪被害に関連して心のケア、カウンセリングということが社会的に注目されている。本講義では心の健康である精神保健、適応論と不適応、中学生・高校生の青年期に見られる問題行動などについて、その心理的メカニズムを臨床心理学の基礎知識に基づいて学習する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51342	A	教育実践・政策学入門	北村 友人	教育学部	木 4	1 年 文科 理科
講義題目		教育実践・政策学入門				
授業の目標概要		（授業の目標） この授業は、教育の「現場」と「制度・政策」がそれぞれどのように動いているのか、また両者がどのように関係しているのかを理解したうえで、現代の教育課題を分析する視点を獲得し、それらの課題について自分で考えることができるようにすることが目標である。 （授業の概要） 教育の実践や政策が関わる領域は多岐にわたる。この授業では、主に学校教育、社会教育、教育行政を専門とする 3 名の教員が交代で授業を担当し、それぞれの研究分野について、教育実践と制度・政策の実態、および相互の関係がどう展開しているのかについて、また、社会教育と呼ばれる学校外における学びのあり方などについて、基本的な事項を含めながら講義を行う。				

総合科目 D（人間・環境）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50278	A	環境物質科学	角野 浩史	化学	火 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		物質循環と環境化学 環境問題は近年、高濃度汚染による局地的な被害（いわゆる公害問題）から低濃度汚染による地球規模の慢性被害へと、質的に変化を遂げてきた。環境中に排出された化学物質はどのような挙動をとり、どのような運命をたどるのであろうか。そのことを考える際、忘れてはならない事は、もともと天然においても化学物質は動いているのであり、地球上での循環・滞留を繰り返しているという事である。 本講義では、環境化学・地球化学の立場から、環境中における種々の化学物質・元素の自然の分布とそれに対する人為の影響について検討する。具体的なテーマとしては、ＣＯ２による地球温暖化、フロンによるオゾン層破壊、酸性雨などについても取り上げる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50279	A	生態学	奥崎 穣、川北 篤	生物	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		生態学 生態学は，身近な環境での生き物の生活史から，地球レベルでの生物圏の挙動や物質循環に至るまで，広いスケールを対象にする．同時に，個体レベルでの遺伝的多様性，個体群（集団）や生物群集の動態，そして物質循環とエネルギー流を示す生態系に至るまで，多段階の階層性を持つことになるため，生態学の理解は多岐に渡り，一筋縄ではいかない面がある．しかし，それが自然界で生活している生き物と生態系の実態であり，生態学を学ぶ面白さでもある． 本講義の初回は生態学とはどのような学問かを紹介した後，前半（担当，奥崎）には動物を対象として，個体群動態／種間相互作用／群集構造／進化のメカニズム／性にまつわる進化／種分化などを解説する．後半（担当，川北）には主に植物生態の視点から，日本と世界の植生／環境条件と植物群集／種多様性の地理的パターン／生態系における物質の流れ／共生／生物多様性の保全などを解説する． 講義を通して基礎科学としての生態学を学ぶだけに留まらず，人間社会との接点に位置する自然環境や生物多様性の保全，そして生態系への人為的負荷と地球環境への視点も養うことを目標とする．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50834	A	社会環境論	梶田 真	人文地理学	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		地域開発と地域の動態 地域的不均等発展という言葉があるように，経済成長は必ずしも全国一様の発展をもたらすわけではなく，成長地域と成長から取り残される地域を生みだすことになります。このような中で，中央政府は”均衡ある国土の発展”といった観点から，経済成長から取り残された地域の開発を推進し，後進地域自身も格差を埋めようと様々な開発事業を行ってきました。しかし，こうした政策・取り組みは意図するような成果をあげることができたのでしょうか。また，経済面以外の部分を含め，地域にどのような影響を及ぼしたのでしょうか。本講義では「虫の目」の視点から，個別地域の動態を丁寧に跡づけていくことによって，これらの点について考えていきたいと思います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50780	A	社会生態学	松原 宏	人文地理学	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		産業立地と地域経済の実態 本講義では、日本の地域経済の実態を事例を通して学ぶとともに、地域経済と地域政策の理論について理解を深めることをねらいとする。授業は３部からなり、第１部地域経済の理論では、経済地理学独自の経済地域のとらえ方、地域経済循環と地域構造の考え方を紹介する。第２部では、日本の地域構造の歴史的変化をおさえた後に、都市地域、工業地域、農山村地域の事例をもとに、現代日本の地域経済の実態をみていく。第３部では、地域経済政策の理論を解説した後、日本における地域政策の歴史と今後のあり方を検討する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50165	A	地域生態学	鎌倉 夏来	人文地理学	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		産業立地と都市空間の変化 この授業では、（1）産業立地や産業立地政策に関する基礎理論や考え方、（2）産業立地政策の歴史的展開、（3）産業立地と都市空間の変化について講義形式で学びます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50280	A	地域生態学	江口 卓	人文地理学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ブータンヒマラヤの地誌 地理学の視点から地域をどのようにとらえるかを理解するとともに、ヒマラヤ地域について理解を深めることを目標とする。ブータンヒマラヤを中心に、ヒマラヤ地域の自然・社会・文化の特徴について概観しながら、相互の関係について考え、ヒマラヤにおける地域の成り立ちについて理解を深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50781	A	人間行動基礎論（理科生）	大久保 街亜	心理・教育学	木 2	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		心理学概論 「心理学の成り立ち」並びに「人の心の基本的な仕組み及び働き」について知識を身につけ体系立てて説明できることを目標とする。現生人類は Homo sapiens と呼ばれる。これは「人間、知的なるもの」と訳される。知性が人間の基本的特徴であることが、この名称からよくわかる。この授業では心理学の立場から人間の知性ついて講義する。それにあたり、はじめに学問としての心理学の成り立ちを関連諸科学との比較や歴史的展開を通じて紹介する。また、実証的な科学である心理学の測定について検討する、それらを踏まえ、知性ついて、知覚、記憶、思考、感情といった側面を検討しつつ、基本的な心の仕組みや働きについて学習する。それらを通して人間の知性について理解を深め、心理学の基礎を理解し、願わくは「人間とは何か？」という根本的な疑問を考えるきっかけとしてほしい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50897	A	情報認知科学	鈴木 宏昭	心理・教育学	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		知覚・認知心理学 記憶、推論、問題解決などの高次認知における、内的資源(情報処理機構、経験的知識、生得的制約)と外的資源(状況、道具、他者)の利用、およびその間の相互作用について論じる。これらを通して、人間の知性を多様な資源の巧みな組合せによる創発として捉える可能性を提示する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50070	A	認知脳科学	石金 浩史	心理・教育学	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	神経・生理心理学 ＜目標＞ ・「脳神経系の構造及び機能」を説明することができる。 ・視覚の特性とその神経科学的基盤を説明することができる。 ・「記憶、感情等の生理学的反応の機序」を説明することができる。 ・「高次脳機能障害の概要」を説明することができる。 ・脳と心の関係を調べる実験的技法を研究に応用できる。 ＜概要＞ 本講義では様々な精神機能の実現に深く関与する「脳」を研究対象とする神経科学分野に関して、いくつかのトピックを選び、基礎的な知識から最新の知見まで紹介する。この分野は心理学・生物学をはじめとして医学・工学・物理学等が結集してその解明に突き進んでいる学際的なフロンティア領域であり、幅広くその応用が期待されている。そして、脳研究の知見は「我々がいかなる存在であるのか」ということを垣間見せてくれる。授業では「心の諸特性」とそれを司る「脳のメカニズム」がどのような実験手法で解明されてきたのかを、視聴覚教材を用いて体験しながら学ぶ。講義では、まず、脳が実現している私達人間の視覚・記憶・感情などの心的特性を学ぶ。また、脳神経系の構造及び機能を学んだ上で、視覚特性を説明する視覚系の概要や記憶・感情等の生理学的反応の機序を理解する。また、高次脳機能障害の概要を学び、そこから示唆されたことを証明した実験研究などを紹介する。さらに、心理・生物データの特性や標準的な科学的取り扱い、およびそれらに基づいた論理展開や解釈の仕方も勉強した上で、原著論文のデータを交えつつ、「ニューロンの活動」から「皮質レベルの活動」、そして「行動や意識」のレベルにいたるまでの「脳」と「心」の関係を包括的に理解することを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50359	A	認知脳科学	岡ノ谷 一夫	心理・教育学	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	神経・生理心理学 脳神経系の構造及び機能 記憶、感情等の生理学的反応の機序 高次脳機能障害の概要					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50426	A	適応行動論	齋藤 慈子	心理・教育学	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ヒトの心と行動を進化から考える 授業の目標・概要：ヒトは他の動物と同様、進化の産物である。したがって、ヒトの心と行動も進化の産物である。そのような視点から見ると、人間の心や行動の理解がより深まる。本講義では、前半で進化とは何か、進化と心がどのように関係しているかを理解してもらうために、進化生物学の基本的概念を説明する。次にヒトがどのように進化してきたかを理解してもらうために、ヒトを生んだ系統である霊長類の特徴、ヒトの進化史について説明する。その後、ヒトの心理や行動（配偶、養育、協力行動など）の具体的な例について、進化的観点から解説を行っていく。人間の心や行動に関する「なぜ」について、新たな見方を獲得する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50554	A	社会行動論	北村 英哉	心理・教育学	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　社会・集団・家族心理学

授業の目標概要

本授業は主に専門領域で言えば、心理学、なかでも社会心理学領域の講義を柱とし、家族心理学を補う。社会心理学は人間関係、集団関係の心理学領域であり、三面記事的な「社会」とは異なる。人間についても、自然法則、経済法則などといった他の分野と同様、あるいは独自の形で法則性が見られ、心理学とは人間を科学的に研究・解析してその法則性を樹立する学問分野である。イメージとしては行動科学、人間科学、認知科学といった用語の方が適合するかもしれない。一方、常に社会との関係性をも意識し、広く人文科学と社会科学をつなげる領域総合的な観点を有することも社会心理学の利点と魅力である。社会心理学分野は多岐にわたり、個人の行動分野から対人行動、自己、対人相互作用、集団過程、集合現象、家族関係など広く、経済学や政治学とも密接な関係をもつ隣接分野である。本講義は全体に目配りしながら、「対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程」、「人の態度及び行動」、「家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響」など、「公認心理師」の社会・集団・家族の選択科目分野が学べるような講義になっている。

人間関係は誰もが一生経験し、どのような職業についても無関係であることはなく、しかしながら単なる「人間関係のノウハウ」のような通俗本に取り上げられているものとは異なる。その知見は、実験や調査などの実証研究を土台とし、定義された専門用語によってはじめて正確に描写、記述することができるきわめて専門的な知識である。その専門的知識は深めるほどに個人の独創的・創造的な応用によってより深く、鋭く日常と接続し、本人の技量にしたがって一生役立てていける知識基盤となる。そして重要なのはそれは自分ためだけではなく、他者のためにもなり、またそれは結局ひいては自分のためであることを利他行動の授業回において明確に示すであろう。また心理学は一般に方法の学問と言われるように、その内容だけでなく、研究方法、知の獲得の仕方に特徴と味わいがあり、物の見方の学習こそが一生用いていくことができる最も応用可能な点である。

心理学は題材として人間を俎上に載せ、またその人間のひとりは他でもない自分自身であるだろうが、だからと言ってそれは学ばずして十分理解できるものでもなく、そのパースペクティブを獲得することがなければ一生気づかずに過ごしてしまう貴重な知見を豊富に含んでいる。とりわけ進化的なパースペクティブや体内物質、遺伝についての知見は、自分自身で気づくには圧倒的に不可能的なアイデアであったり、鋭く実証的な科学的知見であったりする。そもそも統計解析を重視する心理学にあって、人と環境の交互作用は知見の中心であるが、人は直観的に「交互作用効果」が理解できるように頭脳がしつらえられていない。これはきわめて現代的な進展であり、そうした学問の進展は生涯学び続けなければ、どんどん古びてしまうものである。

世間で心理学や人間について誤った言説が溢れているのは人が容易に新たな知見を学習しないからであると言っていい。受講者は一生にわたってこれらの知識を現代人として更新していってほしい。そういう意味で本講義の目標はよりよい現代人になることであり、基本的な人間の性質というものへの感受性を高め、その捉え方についてより科学的なスタンスを自分自身に確立させることを目標とする。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50488	A	身体運動科学	久保 啓太郎	スポーツ・身体運動	水 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	健康増進およびパフォーマンス向上のためのスポーツ科学					
授業の目標概要	運動（トレーニング）を実践することは、現代におけるあらゆる年齢層にとって大切であることは常識になりつつある。本講義では、一般人における健康増進、競技選手におけるパフォーマンス向上のためのスポーツ科学に関する基礎的な内容から、最近の知見も交えて概説する。特に、運動（トレーニング）に伴う身体諸機能（筋機能、骨強度、呼吸循環など）の変化から、それに基づいた適切な運動処方、トレーニング方法を紹介する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50969	A	身体運動科学	中澤 公孝	スポーツ・身体運動	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	身体運動科学					
授業の目標概要	授業の目標： ニューロリハビリテーションやスポーツ科学の理論基盤としての身体運動科学、特に神経科学の一領域であるヒトの運動制御を学び、実用科学としての身体運動科学の意義を、臨床応用の実例を通じて理解することが目標。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50071	A	健康スポーツ医学	福井 尚志	スポーツ・身体運動	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	健康スポーツ医学					
授業の目標概要	現代生活では身体を動かす機会が少なくなったことで健康がさまざまに障害されることが多くなった。糖尿病、高血圧、高脂血症（脂質異常症）、心臓病、脳血管障害などの生活習慣病がその代表であるが、肩こりや腰痛も多くの場合運動の不足と関連している。 これらの健康障害を改善しまた予防するためにスポーツがすすめられる。一方、スポーツを一生懸命に行ったことでかえって健康を害する人もいる。過度の運動から病気になり、あるいはスポーツ中に怪我や障害を負うことも多い。スポーツ障害の原因は何か、予防のために何をすればよいか、また障害が起った場合スポーツ復帰のためにどういうことをすればよいのかを考え研究するのがスポーツ医学である。本講座では駒場にいる内科、整形外科、精神科、産業医、歯科の専門家から現代人が知っておくべき健康医科学、スポーツ医学などの医学的知識および健康に関する知識を学ぶ。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50933	A	身体生命科学	佐々木 一茂	スポーツ・身体運動	金 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	身体づくりの科学					
授業の目標概要	身体の形状や機能は生涯を通じて変化を続けるが、こうした変化は全て遺伝的に決定されているわけではなく、相当に環境の影響を受けている。生活習慣を少し変えただけで、身体に大きな変化が生じることもある。現代社会においては、身体を適切に管理する術を身につけること、あるいは適切に管理された身体それ自体がひとつの教養と言える。 そこで本講では、前半は筋（骨格筋）、後半は脂肪（体脂肪）に焦点を当てながら、身体づくりに関する生命科学的な知見の紹介および考察を行う。授業の到達目標は、常に自らの存在とともにある身体との上手な付き合い方について本質から理解し、他者に説明できること、また身につけた知識を日々の生活に役立てられるようになることである。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50230	A	身体運動メカニクス	吉岡 伸輔	スポーツ・身体運動	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	スポーツ動作を科学する					
授業の目標概要	身体運動メカニクスでは、身体と運動をキーワードに、特にスポーツ動作について、自然科学的な研究成果を体系的に講義する。この授業では、通常、健康であれば意識外に追いやられる「身体や運動」について再認識し、それを自然科学的観点から直視して深く考えること、そしてダ イナミックなスポーツ動作の成り立ちをバイオメカニクスの観点から理解することを目的とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50196	A	情報メディア伝達論	大庭 幸治	情報メディア委員会	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	疫学研究の基礎と実際					
授業の目標概要	疫学とは、「人間集団の中で出現する健康関連のいろいろな事象の頻度と分布およびそれらに影響を与える要因を明らかにして、健康関連の諸問題に対する有効な対策に役立てるための科学」と定義される。元々は感染症を研究対象として始まったが、その後、公害などの人災、地震などの天災、環境問題、がんなど生活習慣病など、研究対象・調査対象は多様化している。疫学研究から得られた分析結果や対策は、一般にメディアを通して広く伝わることになるが、その結果を読み解き、解釈するためには、統計リテラシーが必要となる。本講義では、疫学研究の基礎およびいくつかの研究事例を学ぶことで、メディアで目にする分析結果を批判的に吟味する力を身につけることを目標とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50197	A	情報メディア表現論	酒井 慎一	情報メディア委員会	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	情報メディア表現論（人々の行動に結びついた情報伝達）					
授業の目標概要	情報メディアは、情報にかかわる多くの分野にまたがる学際的な分野である。ここでは、情報を作り送り出す側と情報を受け取る側とのコミュニケーションの場やその手段を、情報メディアと呼ぶことにする。この「情報メディア表現論」では、情報をどうやって得るのか、どんな方法で伝達するのか、そのデータをどう解析処理するのか、といった理工学的な研究、および、その結果をどう見せたら伝わるのか、どんな表現が人々の行動に結びつくのか、その結果、社会がどう変わっていくのか、といった人文社会学的な研究の両方を対象とする。今回は、我々の生存に直結する災害情報（地震発生と火山噴火）を主な題材として、自然災害に直面した時に生じる情報メディアの課題を明らかにする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50282	A	科学技術基礎論 I	橋本 毅彦	哲学・科学史	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	技術の歴史					
授業の目標概要	古代中世から現代に至るまでの技術とその利用についての発展の歴史を概観することによって、技術自身や技術と社会の関係について検討する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50198	A	現代倫理	吉永 明弘	哲学・科学史	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	「都市の環境倫理」入門					
授業の目標概要	【注意】この授業は、2014 年度以前の入学者には、総合科目D系列 応用倫理学 として開講される。 現代倫理学の一分野である「環境倫理学」について講義する。ただし、いわゆる自然環境の倫理学ではなく、都市や人工物の倫理学を主なテーマとする。現代人の半数以上は都市に住んでおり、都市の環境こそが身近な環境となっているからである。そのなかで、科学技術の倫理についても言及する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50283	A	科学技術社会論	寿楽 浩太	情報・図形	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　科学技術社会論入門

授業の目標概要

【授業の目標】
科学技術社会論の学術的な基礎を理解する。
それを科学技術と社会のあいだで生じる現実の諸課題に適用できるようになる。
科学技術に関する諸課題や科学技術と社会の関係について、批判的思考（物事を当たり前とばかり見なさず、健全な懐疑の姿勢をとり続けること）を身につける。
【授業の概要】
科学技術は現代社会を支える基盤であり、その発展の原動力であり、しかし多くの社会的問題・争点の焦点ともなっている。科学技術を社会から切り離され、それとは全く独立に存在するものとはみなさずに、社会と相互作用し、あるいは社会のなかで展開される人間の活動として捉え、そこで生じるさまざまな課題に取り組む手がかりを見つけようとするのが科学技術社会論（STS: Social Studies of Science）と呼ばれる分野である。
STS は、様々な人文・社会科学の知見や方法を縦横に活用しながら、自然科学を単なる観察や分析の対象とばかりはみなさずに、積極的に関与したり協働したりすることもいとわない。あるいは、従来は学術的な活動の枠外と見なされがちだった、科学者・技術者・研究者以外の人びと（典型的には、さまざまな生業を持ち、公共的活動にも関与する市民）の役割を重視し、その力を引き出すことにも積極的だ。STS のこれまでの取り組みとその成果は、すでに現実の科学技術と社会の関係の変容を促してきたし、STS 研究者は今日この瞬間もそこで生じるさまざまな問題に最前線で取り組んでいる。本科目では、そうした STS のものの見方やそこから得られる含意、現実の諸課題への対処の手がかりを初学者向けに概説し、履修者が科学技術に関する諸課題や科学技術と社会の関係についての批判的思考を身につけることを促す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51323	A	現代工学概論	六川 修一、津本 浩平、石田 哲也、高木 信一、淺間 一、江崎 浩	工学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　工学概論

授業の目標概要

工学とは、科学技術を用いて経済的･社会的価値を生み出すための学問である。対象は宇宙、地球、地域、都市、社会、産業、製品、生活から生命、分子、原子まで、多岐にわたる。生み出される価値も、地球環境の保全、経済発展、利便性、快適性、安全安心から心の豊かさまで、幅が広い。近年のディジタル化の進みつつある社会において、工学的に研究を進め解決すべき新たな課題がますます多様化しており、技術と社会との関わりを一層密にしなければならないことが再認識されている。工学がさまざまな価値を生み出すためのアプローチには、目標や問題を特定し、目標達成、問題解決の手段を設計するというニーズ立脚型アプローチと、目標達成、問題解決に活かされる技術を開発するというシーズ指向型アプローチが存在する。本講義では、工学に関わる複数の課題に関する各 2 回程度の講義を通じて、工学の全体像を把握するとともに、工学の基底をなす基本的な方法論を理解することを目的とする。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51306	A	現代工学基礎 I	泉 聡志	工学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　四力学とデザイン入門〜〜ワークショップで学ぶ機械のデザイン

授業の目標概要

機械工学科で伝統的に教えられてきた四力学（ヨンリキガク）は，機械力学、材料力学、熱工学、流体力学からなり、自動車、鉄道、航空機、ガスタービン、スマートフォン、医療器械など、あらゆるものの設計に必須の知識となっている。さまざまな機械を生み出すためのいわゆるエンジニアリングには、デザインの思考と発想力が不可欠である。そしてその発想をかたちあるものにする設計する技術、これを実際にかたちづくる生産加工技術、この２つの連携が我々の生活を豊かにする様々な機械を生み出す。
講義の半分は四力学に関する講義であり、力学のエッセンス・面白さを学んでもらう。残りの半分は、ものづくり基礎技術入門（認知神経科学、感性設計学、生産工学）の講義と、新規事業創出の考え方の概略を学び、自分の中のモヤモヤをアイディアに変えていくワークショップを行う。具体的には、「アナロジー思考」によるアイディア発想方法や「リーン・スタートアップ」によるアイディアの磨き方を実践的に学ぶ。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51312	A	現代工学基礎Ⅰ	小山 翔一	工学部	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目
授業の目標概要

物理情報システム工学 -あらゆる工学を計測・制御・認識で斬る-
物理的，人工的，社会的，どんな対象であれ，そこに望みの機能を工学的に実現する際，
1) 対象で生じる物理現象のモデリングと解析，
2) 計測による物理現象の本質の情報化，
3) 情報処理と制御による所望の機能の最適な実現
4) 情報の認識と実世界の理解，
が重要となる．本講義は，駒場生にこの工学的方法論のエッセンスを講義することを目的とする．具体的には，以下の各項目に関し，最先端の事例を交えつつ講義する．
1)物理現象の数理モデリング
未だ科学技術の土俵にあがったことがない社会的課題が生じたとき，まずその対象の中で生じている物理現象を数式で表現し，問題として定式化することが重要となる．これを数理モデリングという．本講義では，音声・生物・ロボット・環境など動きや空間的変化をもつシステムを例に数理モデリングの基礎を説明する．
2)信号処理の基礎
信号処理の基礎：情報理解と実世界インテリジェントシステムへの応用
信号処理とは，生物・社会・経済・ロボットや自動車など動きや空間的な変化をもつシステムから計測された様々な信号を数学的に加工し，望みの情報を取り出すことや機能を実現させるための技術である。
本講義では，音信号のモデリングを例にとり，システムモデリングに基づく情報理解と実世界制御の基礎事項とその応用について説明する。
3)制御の基礎
対象を望み通り操るために理論的に体系化された制御理論は，機械，電気，情報通信，生物などへ応用可能な横断的学問である．本講義では，理論体系が確立している現代制御理論の入門について概説する．力学系・電気回路などの物理システムを例として，現代制御理論において重要となる状態方程式，システムの応答，およびリアプノフ安定性について説明する．
4)認識の基礎
サイバースペースやサイボーグの元となる言葉、サイバネティクスとはノーバート・ウィーナーが著書『Cybernetics: or Control
and Communication in the Animal and the
Machine』で示したように、計測・認識・行動・コミュニケーションする過程が動物と自動機械とで類似していることに着目し、情報・物理・生物を俯瞰する学問分野である。
本講義ではヒト、(ヒト以外の)動物の認識機能を踏まえつつ、機械や人に超感覚を与えるシステムについて論じる。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51311	A	現代工学基礎Ⅱ	沙川 貴大	工学部	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目
授業の目標概要

物理をエンジニアリング
物理学とエンジニアリングは互いに切っても切れない関係で発展して来ました。産業革命に刺激されて発展した熱力学、電磁気学の方程式から生まれた電信技術、ドイツ鉄鋼業から生まれた量子力学、など歴史を繙くとその例には事欠きません。そして現代、その関係はどのようになっているのでしょうか？ この講義では、身近だけれども不思議な現象を実際にお見せするところから始めて、その謎解きとその奥にひそむ物理を解説し、さらに現代科学技術との関係までのストーリーを下記の４つのテーマについてそれぞれ「読み切り」で示します。そして、物理がエンジニアリングに「応用される」というだけの関係ではなく、エンジニアリング自体が物理学を変革してゆく様子を皆さんにお伝えします。
１．超伝導 － 量子の世界からエネルギー革命へ
２．ナノサイエンス － オングストロームの世界を操る
３．光の物理学 － 光と原子の物理学―レーザーで原子を冷やす
４．理論物理学の挑戦 － 基礎方程式の力

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51317	A	現代工学基礎Ⅱ	中山 哲	工学部	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目
授業の目標概要

化学情報とシミュレーション
社会問題を化学の力で解決に導くための基本的なシミュレーション技術や情報処理技術を Microsoft Excel を利用した演習を通して学ぶ。
また、計算化学・理論化学の基礎を学び、演習を通して、課題解決に向けての具体的なアプローチの仕方について学ぶ。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60219	A 2	現代工学基礎Ⅱ	梅田 靖	工学部	火 2, 金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		デザイン思考によるイノベーション入門 イノベーションを引き起こすためには、技術的、もしくは、非技術的な新しい発想が不可欠である。ただやみくもに考えても新しい発想が出てくる訳ではなく、そこには適切な思考方法がある。本講義では、イノベーションを引き起こすことが可能な人材になるために、広い意味での工学設計の分野で注目を集めている 4 つの思考法（本講義では、「イノベーションのための 4 つの道具」と呼ぶ）を学ぶ。4 つの道具とは、デザイン思考、サービス設計、体系的設計方法論、および、ロジカル思考である。この 4 つの道具は、2 つの座標軸によって分類できる。第一の軸は、より論理性、体系性を重んじる「論理的思考」と、より思考の柔軟性、発想の豊かさを重んじる「デザイン思考」である。第二の軸は、対象を、ものを中心に考える「実物指向」と、ものだけでなくサービスを含めて考える「サービス指向」である。 本講義のメッセージは、この 4 つの道具を学ぶことにより、各道具を比較し、各道具の特徴と限界を知ることができ、結果としてこの 4 つの道具をバランス良く使い分けることで様々な新しい発想を生み出すことが可能になる、ということである。 手法は、チームによる演習を通して実践的に学習し、最終回で与えられた課題に対してイノベーティブな提案を行うプレゼンテーションを行う。 演習課題は、2015 年度は「一人暮らしの大学生の健康を増進する製品/サービス」、2016 年度は「自分たちの欲しい学内ファシリティ」、2017 年度は「超スマート社会における精神的 well-being を実現するための製品やサービスの提案」、2018 年度は「一人暮らしの大学生の時間を有効に使う製品/サービス」、2019 年度は「卒業後のキャリア形成に向けたスキルアップに役立つ製品/サービス」であった。今年は何が出てくるか？				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51324	A	社会システム工学基礎Ⅱ	羽藤 英二、柴崎 隆一	工学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		人間社会と交通システム 交通システムは、現在の経済・生活・社会において、なくてはならないものである。また、近年の増え続ける地震などの災害や度重なる事故のことを考えると、交通システムと社会のあり方は新しいステージへと向かう必要がある。本講義は、道路交通、鉄道、航空など様々な交通システムと人間・地域社会との様々な関わりやそうした交通システムを支える様々な技術について、社会基盤学、都市工学、機械工学、電気工学をはじめとする「交通」の専門家が、歴史、人、環境、インフラ、車両、動力、制御などといった切り口から、最新の技術的展望や現代の交通政策的課題を含めて包括的に講義する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51305	A	社会システム工学基礎Ⅱ	小泉 秀樹	工学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		TOKYO: 東京の都市計画 さまざまな人々を惹きつけてやまない世界一の大都市 TOKYO それは、どのように発展し、制御されてきたのか、そしてどこに向かおうとしているのか？ 本講義では、TOKYO／東京を題材として、都市の発展とその制御について、歴史、文化、環境、経済、社会制度、計画・デザイン手法など総合的・包括的観点から講義を行い、都市の諸問題について自問し、またその将来を構想することにむけて必要となる学術的パースペクティブを獲得することを目的として実施する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51320	A	総合工学基礎Ⅱ	石川 顕一	工学部	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		核科学応用概論 現代科学技術を構築する基礎のひとつに、原子核や放射線や光の科学がある。本講義ではその物理現象を学ぶとともに、これらを応用したシステムの例である原子力プラント、核融合炉、医療機械について解説したうえで、今後の世界を取り巻くエネルギー問題を科学技術の観点から解説する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51308	A	総合工学基礎Ⅱ	寺本 進	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		航空宇宙工学 —社会を豊かにする総合工学— "重力に逆らって空を飛ぶ飛行機や宇宙機には 無駄のない極限的な設計が求められます。そこには、流体、構造・材料、飛行・制御、推進などの様々な工学分野のバランスの取れた""統合""が要求されます。 ライト兄弟が 1903 年に、初の動力飛行を成功させた鍵も大空への熱意と各分野の統合にありました。ライト兄弟の精神を受け継ぎ、宇宙まで飛行できる""再利用型スペースプレーン""や""小型衛星""、""惑星探査機""、""超安全航空機""、""高信頼性ロケット""など、人類のさらなる希望をかなえる航空機・宇宙機の研究に取り組んでいます。 この「バランスよく統合された最先端技術」は、皆さんの社会・暮らしを直接間接に豊かにしています。 この講義では、航空宇宙工学科で行われている研究と社会の関わりについて、理解を深めてもらうことを目的とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51309	A	生体医工学基礎Ⅱ	神保 泰彦	工学部	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		生体医工学の世界－工学から見た生体物理現象と医療応用技術－ 周囲の環境に適応しながら生命を維持し，伝えていくのが生体現象の本質であり，その過程で生じた障害への対処が医療診断・治療です．最先端の医療では，工学技術が重要な役割を果たしています．本講義では，生体現象を情報，物質，エネルギーの流れの視点から説明し，工学技術に基づく医療診断・治療の研究開発動向と今後の可能性について議論します.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51322	A	環境・エネルギー工学概論	村上 進亮	工学部	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		環境・エネルギー工学概論／ Introduction to Environmental and Energy Engineering 本講義は工学部全体として、環境･エネルギー問題を概観した上で、工学的なアプローチの理解を進めることを目的としている。内容は大きく 3 つのパートに分かれており、それぞれの取りまとめ担当の教員が講義を行う。よって、受講者には以下を目標とされたい。 ・現在良く議論されている環境･エネルギー問題の概観を理解すること ・それぞれの問題の特徴を技術的、社会システム的双方の視点から理解すること ・技術、社会それぞれどのようなアプローチでその解決に当たっているのかを理解すること ・これらを理解した上でどのような課題が残されており、そのために何をすべきかを考えること				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51319	A	環境・エネルギー工学基礎Ⅱ	松島 潤	工学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		エネルギー資源論 本講義では、地球科学・工学、エネルギー化学・科学、資源経済・政策学の基礎学理を概観し、地球システムの理解、エネルギー資源の開発・変換・有効利用、環境の保全、エネルギー資源の安定供給といった一連の方法論を概説する。エネルギー資源を取り巻く多様な分野を多角的に概観することにより、エネルギー資源の本質を理解することを助け、複雑性を呈するエネルギー資源に係る困難な問題にどのように対処すべきかについてともに考える。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51318	A	環境・エネルギー工学基礎Ⅱ	多部田 茂	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		海と社会概論 人類は地球に負担をかけながら生活している。有限な地球に負担をかけず、持続可能な社会を実現するためには、地球の面積の 7 割を占める海洋を賢く利用して行くことが必要不可欠である。これまで海洋は科学的な探査を主体とする調査の時代であったが、これからは、海洋のメカニズムを熟知した上での統制のとれた海洋利用を実現してゆくことが、カギとなる。 例えば、海洋には未だに利用されていない資源が相当量残されており、循環型社会に適したエネルギー資源の供給源となる可能性を有している。また我が国の EEZ（排他的経済水域）内には、黒潮と親潮の合流による好漁場、深層水、メタンハイドレート、鉱物資源等が存在しており、海洋資源の潜在的ポテンシャルは非常に高い。これらを利用することにより、我が国の脆弱な食料、資源・エネルギー基盤の強化や新産業の創出が期待されるとともに、海底空間の利用によって CO2 の海底下地層への隔離等の環境問題の課題解決に資する可能性をも秘めている。 この講義では、食料・資源・エネルギーの安定確保と地球環境問題解決のための海洋利用技術ついて包括的に学び、その方向性を論じる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51304	A	看護学概論Ⅱ	山本 則子、本田 千可子、小柳 礼恵、角川 由香、稲垣 晃子、玉井 奈緒、佐藤 伊織、成瀬 昂、森 武俊、五十嵐 歩	医学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		社会で活躍する看護プロフェッショナル 高度に医療技術が発展してきた現代社会では、疾患を抱えたまま生活する者は多くなり、また、従来の医学モデルでは解決できない、健康への様々なニーズが顕在化してきている。特に少子高齢化が高度に進んだ日本においては、この社会を看護学モデルとして扱い、新たな対処方法を構築することへの社会的期待が高まっている。つまり、生きることを支える学問である看護学は、あらゆる年代の個人から集団、地域社会を対象に、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛緩和等について、生涯を通して支援することが出来る。 本講義では、保健・医療・福祉の分野における臨床実践や研究、政策活動に至るまで、社会で広く活躍している看護のプロフェッショナルから実際の活動についてご講義いただき、少子高齢社会において看護学が担う役割と今後の看護学の発展について議論する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60220	A 2	環境と生物資源	木南 章	農学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		農学フィールドワーク論 農業および農村におけるフィールドワークについて理解を深めることを目標とする。 フィールドワークをめぐる調査手法、データの取り扱い、分析の実施、について学習する。アンケート調査票を作成し、模擬的な調査を実施し、分析を行い、結果についてプレゼンテーションを行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60218	A 2	食糧と環境	根本 圭介	農学部	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		農業生産学概論 人口爆発に伴う食糧需要、農業を取り巻く環境の悪化と自然資本の枯渇、穀物を巡る食糧需要とエネルギー需要の競合、経済のグローバル化に伴って深刻化する世界農業の構造的問題など、今日の農業は、かつてなかったほど多くの問題を抱えている。本講義では農業の生態学的な原理を踏まえつつ、世界の農業システムはいかなる座標軸の上で多様化してきたか、そこで展開してきた技術発展の必然性とは何か、食料供給網（フードサプライチェーン）の発達は農業をどのように変えてきたか、今日の農業が将来の世界人口を扶養できるか、といった問題を論じた上で、あらためてアジア稲作の持つ意味を考えてみたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51340	A	森林環境資源学	蔵治 光一郎	農学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		森の最終形、森と癒し 世界の森林が危機的な状況にあり、植林によって環境問題に貢献していることをアピールする企業の CM が TV や新聞に頻繁に流されている。その一方で、日本の国土の 68.5%は森林に覆われている。日本は世界有数の森林大国であり、森林は日本最大の「地主」である。さて、皆さんは、このような広大な面積をもつ森林の実態を、どれだけ知っているだろうか。 高校までの生物や地理で、生き物としての樹木や森林に生息する動物、世界の森林の分布などを勉強した人は多いだろう。しかし森林の全体像を知るためには、森林内で何が起きているかを知る自然科学や、森林を取り扱うための技術といった「理系的アプローチ」だけでなく、森林の歴史、経済・経営、法制度、行政・財政といった「森林と人とのかかわり」＝「文系的アプローチ」の両方をあわせて学ぶことが不可欠である。その意味で、森林は、東京大学前期課程の総合科目で学ぶ対象として最もふさわしい対象の一つである。 森林を学ぶための場として、東京大学は、北海道、東京、千葉、埼玉、山梨、静岡、愛知の 7 県に、山手線の内側の面積の 5 倍以上の面積の森林を演習林として保有しており、その面積は、東京大学の全キャンパス面積の 98%を占めている。 本講義は、東京大学を卒業して社会で活躍する皆さんが教養として知っておくべき「森林の基礎の基礎」についてのオンライン講義と、千葉県および山梨県に位置する演習林で開講する日帰りのフィールドワーク（現地講義）をあわせて行うことで、森林を机上での学習と実体験により総合的に理解することを目的として開講する。フィールドワークでは、現場に常駐して教育研究を行っている教員の指導のもと、森林の現物に触れるとともに、教員と学生のディスカッションを行う。 ※受講人数には制限があります。受講希望者が制限人数を上回った場合はセレクションを行います。 ※オンラインでの講義と、日帰りのフィールドワークを行います。フィールドワークは以下の 2 つから 1 つを選んで参加します。2 つにはそれぞれ定員がありますので希望の場所に行けるとは限りません。また、もし空きがあれば、複数のフィールドワークに参加することもできます。 1．テーマ：森の最終形 場所：千葉演習林（千葉県鴨川市） 日程：12 月 12 日（土）または 13 日（日） ※同じ内容です。どちらか一方に参加ください。 定員：各 15 名 2 日間合計 30 名 2．テーマ：森と癒し 場所：富士癒しの森研究所（山梨県山中湖村） 日程：12 月 26 日（土）または 27 日（日） ※同じ内容です。どちらか一方に参加ください。 定員：各 10 名、2 日間合計 20 名				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51335	A	放射線環境科学	田野井 慶太朗	農学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	福島第一原発事故に起因した農業環境における放射能汚染の実状および調査研究により得られた知見を学ぶ					
授業の目標概要	2011 年 3 月の東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故では多くの放射性物質が環境中に放出されました。放射性物質が降下した場の多くは農林水畜産業の場であり、事故直後から農学者により多くの調査研究がなされました。本講義では、食の安全と農業環境に焦点を当て、農業の場における放射能汚染の実態とその対策のための試験研究で得られた知見を学びます。同時に放射線や放射性物質の基礎も講義します。受講者は、本講義を通じて、農業環境における放射能汚染の実態把握と放射能汚染からみた食の安全確保への取り組みを理解することが期待されています。さらに、当該事故と同時代を生き、今後世界を舞台に活躍が期待される受講者諸君にとって、本講義が、当該事故を体験とともに語れる人材となる最初のステップとなることを期待します。なお、この講義は「福島復興学（仮称）」の支援により現場の方の話を聞く機会など設けています。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51341	A	教育心理学の世界	能智 正博	教育学部	木 5	1 年 文科 理科
講義題目	教育心理学の世界					
授業の目標概要	教育心理学は、心理学の手法を用いて、教育の科学的基礎を実証的に探究し、また、その知見の教育や生活場面への応用まで考える学問である。このため、教授・学習、発達、臨床、認知科学、情報科学など、人間理解にかかわる多岐にわたる内容を扱う。この授業では、教育心理学において具体的にどのような研究が行われているのかや、どのような実践が行われているのかを知ってもらうために、これまで行われてきた重要な研究から近年の新たな知見まで幅広く紹介する。各回の授業は、本学の教育心理学コースの教員や教育心理学にかかわる若手研究者が行う。これらを通じて、教育心理学とはどのような学問であるのかを知ることが主たる目的である。さらに、心理学の手法と知見にもとづき、広い分野での応用・実践に取り組む研究者、心理技術者の養成の基礎となる、人間に関する心理学的理解や、心理学の基本的な研究手法を知ることも目的としている。					

総合科目 E（物質・生命）

振動・波動論	開講区分	A

授業の目標・概要

音や光は我々が生存してゆく上で決定的に重要な情報を担い，音楽，美しい景色，絵画，写真と生活に喜びを与えてくれる．
音と光は共に波動現象の典型例であるが，我々の知的興味を引き付ける振動・波動現象は身近なところに数多く存在する．
たとえば，ブランコはどうして漕げるのだろうかとか，海の波はどうして波打ち際で砕けるのだろうかなど．また，建造物や製品の設計においても，振動・波動の影響は欠かせない．
このように我々の日常と密接に関わっている振動・波動現象を，物理学の基本法則により根本的に理解することがこの講義の目的である．
その内容は古典的な場の理論の初歩を含み，引き続き量子力学，場の量子論を学ぶ者にとっては必須なものでもある．
主な項目は以下の通りであるが，実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に＊印のついた項目は省略される場合がある．

1. 序論
2. 1 自由度系の振動
  ・単振動
  ・減衰振動
  ・強制振動，共鳴，Q 値
  ＊パラメーター励振
  ＊簡単な非線形振動
3. 連成振動
  ・2 自由度系
  ・基準振動，うなり
  ・N 自由度系
4. 1 次元の波動
  ・弦，弾性体，気柱
  ・縦波と横波
  ・波動方程式
  ・反射と透過
  ＊波のエネルギー
  ＊インピーダンス
5. フーリエ級数，変換の方法
  ・考え方，基本事項，線形性
  ・波束
  ・位相速度と群速度
  ＊不確定性関係
＊6. 2，3 次元の波
  ＊波動方程式
  ＊平面波
  ＊球面波
  ＊水の表面波
  ＊反射と屈折
  ＊干渉，回折

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50014	月 1	加藤 雄介	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50199	月 5	大川 祐司	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50284	火 2	大川 祐司	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50700	水 5	澤井 哲	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50970	金 2	菊川 芳夫	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50200	A	解析力学	加藤 光裕	物理	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	解析力学					
授業の目標概要	解析力学は、ニュートンに始まる古典力学の最も一般的で洗練された理論形式であり、これによって保存量と対称性の関係や可積分性等の力学の構造を見通し良く理解することができるようになる。また、量子力学や統計力学を構築する上で不可欠な基礎を与えるものでもあり、現代物理学を理解する上で重要な役割を果たす。本講義では、理系 1 年で学ぶ力学の基礎知識をもとにして、その発展としての解析力学の理論形式や諸概念をじっくりと学ぶことを目標とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50971	A	相対論	風間 洋一	物理	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	アインシュタインの原論文の精神に即した特殊相対性理論の基礎					
授業の目標概要	相対論には特殊相対論と一般相対論があるが、それらの概要を説明した後、特殊相対論に特化して、 アインシュタイン自身の原論文の精神に基づいて説明する。基本となる時間及び空間座標のローレンツ変換を詳しく導出し、そこからいかに時間と空間が融合した「時空」の概念が生ずるかを説明する。次に相対論の記述の要となる「テンソル」の概念を詳しく説明し、それを用いて相対論的な運動学を構築する。そして実際に相対論が威力を発揮する具体例を学び、それらの計算ができるようになることを一つの目標とする。また最後に、電磁気学の基本理論であるマックスウェル理論の相対論がいかにうまく具現化されているかを見る。また時間があれば、一般相対論の考え方と構造への入門的説明を行う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50285	A	量子論	清水 明	物理	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	量子論の基礎					
授業の目標概要	量子論は、現在の物理学の中核を成す理論であり、物理学のみならず、化学、電子工学、情報理論や、時には生物学にまで、広く使われている。また、量子論で発展した不確定性関係は、文科系の著作にもしばしば現れる。量子論は現代人の最低限の教養のひとつであるといっても過言ではない。 ところが残念ながら、初学者向けの量子論の講義というと、その本質を教えることなく、簡単な例だけ見せて終わることが多いのが実情である。 それに対して本講義では、計算ができるだけ易しくなるような例を用いて、量子論の基本的な考え方や本質を、丁寧に教えることを目指す。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50015	A	統計物理学	福島 孝治	物理	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	統計物理学					
授業の目標概要	多数の気体分子を考えたとき，初期条件としての位置と運動量のようなミクロな状態とその時間発展規則としての運動方程式が与えられると，少なくとも古典力学の意味で，ミクロな状態の時々刻々の移り変わりは予言することはできるであろう．しかしながら，その気体分子の数がアボガドロ数のように非常に大きな数の場合に，運動方程式を解くことで有益な情報は得られるとは限らない．一方で，熱力学は，温度や圧力のように驚くほど少数の変数でマクロな世界の性質を記述することに成功している．このミクロな状態からマクロな熱力学的性質を議論する理論体系を与えているのが統計力学である．講義では，統計力学の基本的な考え方や概念を古典平衡統計力学の範囲で説明し，いくつかの適用例題(気体のボイルーシャルルの法則，強磁性の相転移現象，等)を解説する．					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50286	A	物理科学Ⅱ（文科生）	和田 純夫	物理	火 2	1 年 文科 2 年 文科
講義題目		物質の究極像を目指して ・・・素粒子物理学の歴史と展開				
授業の目標概要		物質は何から構成されているか、その最も基本的な構成粒子は何かという問題を扱うのが、素粒子物理学という学問です。原子というものの存在が確定したのが 20 世紀初頭でしたが、20 世紀全体を通してのその後の発展は目覚ましいものがありました。そして 20 世紀が終わり、標準理論と呼ばれる一つの到達点に達しました。この授業は、20 世紀以前の近代科学確立の部分から初めて、20 世紀の考え方のどこが新しいのか、それがどのように登場したのかを説明した上で、現在の到達点までをわかりやすく解説しようと思います。 数式は極力避けますが、粒子の質量など、数字は頻繁に登場します。予備知識は不要です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50287	A	化学平衡と反応速度	若杉 桂輔	化学	火 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		化学平衡と反応速度 「化学平衡と反応速度」は、あらゆる物質に関わる化学反応を理解するうえで必須の学問である。本講義では、1S セメスターで学んだ化学熱力学または熱力学の基礎を踏まえ、「どのような場合に化学反応が自発的に起こるのか」「どれ位の速度で生成物ができるか」などについて基礎的事項を学習する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50972	A	化学平衡と反応速度	奥野 将成	化学	金 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		化学平衡と反応速度／Chemical Equilibrium and Kinetics 化学平衡と反応速度は、さまざまな化学反応を理解するうえで必要不可欠な概念である。本講義では、熱力学の基礎を踏まえ、物質間の平衡である化学平衡を導出する。さらに、化学反応が平衡状態にいたるまでの反応速度について講義する。化学平衡および反応の基礎となる気相中での反応を解説したのち、現実の化学反応で問題とある溶液中の化学反応について講義する。触媒反応・光化学反応・ラジカル反応・酵素反応・爆発反応など、具体的な事例を学習する中で化学反応の基礎の理解を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50973	A	物質化学（文科生）	渡辺 正	化学	金 2	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		化学の知恵をもとに，日常生活（食品・体のしくみ・身近な製品・環境）を見つめ直す。 中学校理科と高校『化学基礎』程度の知識をもとに，命や暮らしと化学のかかわりをつかむ。 原子・分子のミクロ世界を想像する力をつけ，生命のしくみや，暮らしを支える多彩な製品の特性，環境中で進む出来事の素顔を（エネルギーの出入りにも注目しつつ）理解する。 カタカナの化学用語や物質名，英語の化学用語に関心をもつ姿勢も養う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50974	A	分子システムの化学	豊田 太郎	統合自然科学科	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		分子が協同的に形成する形・機能・ダイナミクス 身近にあふれる物質の様々な現象の解明、さらには最先端の高機能性材料の開発や新たな生命現象の発見は、分子の性質や反応、そして分子間の相互作用を理解し、「分子が組み合わされたシステム」という観点に立つところから始まる。これまでの講義では、原子・分子や化学反応をただ暗記していただけではなかっただろうか。もしくは、分子の形状や反応の仕組みを、物理の観点に立って理解することが、最先端の化学ということに終始していたかもしれない。否、化学本来の持ち味は「物質の多様性の理解」、「物質の設計と開発」である。本講義では、そのサイエンスの最先端を駒場の化学系教員が紹介する。基礎から体系立てて化学の最先端を解説する本講義を受講することで、分子や物質の多様性、分子システムという考え方を習得していただきたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51326	A	物質・生命工学概論	吉田 英弘	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		物質・生命工学概論 本講義は，工学部が提供する工学概論 4 講義の一つである。 物質・材料の探究と開発は，新たな物理現象の発見につながる基礎科学として重要であるのに加え，生命工学を通じた医療分野の技術革新から環境・資源問題の解決に至るまで，幅広い分野での産業創出や新たな社会価値の創造を支える工学の基盤となっている。 本講義では，ナノサイエンス・ナノテクノロジーをベースにした物質・材料の基礎と最先端研究を紹介し，エネルギーや環境，情報通信，バイオ，医療などへの応用について理解を深めることを目的とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51314	A	物質・生命工学基礎Ⅱ	長汐 晃輔	工学部	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ナノ・機能マテリアル入門				
授業の目標概要		「古典的・量子力学的波動の振る舞いについて理解したうえで，ナノテクノロジーとその機能マテリアルへの応用について学ぶ」ことがこの講義の目標である．大学教養学部では基礎科学の普遍性を強調したアカデミックなアプローチで講義が行われることが多く，専門の決まっていない学生に対する講義としてはある種正しい．しかしながら，厳密性を重視した数学による表現が多用されると，高校までに学習した物理や化学の知識との間に大きなギャップを感じることも多いのではないかと思う．間違って捉えてはいけないのは，数学的難しさと物理的な難しさは違うという点である．この講義では，固体中の電子の挙動を表すシュレーディンガー方程式から得られる波動関数に対する物理的意味を正しく理解し，どのように我々の身の回りのテクノロジーに結実しているのかをわかりやすく解説する． 文系も受講可ですが，偏微分方程式，常微分方程式，行列に対する数学的知識は必須ですので注意してください． 以下の項目を具体的な題材として議論したい． 高速トランジスタ，電子顕微鏡，走査トンネル顕微鏡，半導体レーザ，等				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50201	A	進化学	青木 誠志郎	生物	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		進化学				
授業の目標概要		生物の研究には、生物を物質として還元的に解析する研究分野の他に、人も含めた生物同士あるいは生物と環境の関係性を研究する分野があり、進化学は主に後者についての興味を扱う学問とされています。例えば、多様な生物はなぜどのように生まれて来たのか？男女の違いや、そもそも性はなぜ存在するのか？協力的な関係が成立するためには何が重要か？DNA と形質の多様性はどのように結びついて来たのか？といった疑問についての面白さを追求します。一般に進化学では"進化機構"と"進化史"が研究のための２つの柱と言われ、本授業はそれらの研究法とそこからわかった様々な知見について、色々な生物の例を具体的に挙げながら順次説明していきます。 １回１回の授業としては、進化学に関係する分野としての系統学、生態学、ゲーム理論、行動生物学、集団遺伝学、分子進化学、発生進化学などの項目を扱い、個別に楽しめる授業にします。また授業全体としては、(1)これまでの授業で学生さんから面白いと評価を受けた項目から授業を初め、中盤以降にそれら全体を総合する考え方の基盤について説明します。(2)理論的な意味で、進化をハーディー・ワインベルク平衡を崩す５つの要因と結びつけて考え、形質進化と分子進化の結びつける方法について説明していきます。(3)実践的な意味で、コロナウィルスの昨今の状況を鑑み、寄生者と宿主のせめぎ合いを背景に、そこからゲノムの変異、自然選択の条件、生物地理、有性生殖の意義などを総合的に考える面白さについて説明します。 高等学校で生物を学ばなかった方にもわかるように、授業の早期に最低限の遺伝学・分子生物学の資料を渡し、解説を行う予定です。また最新の論文を紹介することで、教科書的にはまるで解決されてしまったかのように言われている現象の中に、まだたくさんの未解明の謎が隠れていることを紹介し、将来生物の研究を目指す方々にも楽しんでもらいたいと考えています。本授業を通じ、遺伝子-個体-集団から見た生物の面白さについて、進化学的に理解することを本授業の目標とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50202	A 1	現代生命科学Ⅰ（文科生、理一生）	石丸 喜朗	生物	月 5	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
講義題目		生命科学の基礎				
授業の目標概要		21 世紀以降、生命科学は飛躍的に発展しています。本授業では、生命科学の基礎知識・基本原理を幅広く習得し、科学的思考力を身に付けることを目標とします。身近な生命現象を手がかりとして、その奥にある仕組みを科学的に基本から学習します。過去の生物学の履修歴は問いません。知的好奇心に溢れ、勉学意欲に富んだ学生の参加を希望します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50288	A 1	現代生命科学Ⅱ（文科生、理一生）	渡邊 雄一郎	生物	火 2	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
講義題目		現代社会の問題をを生命科学、特に植物科学、食品科学から考える。				
授業の目標概要		教科書の内容を参考にしつつ、学生の皆さんの将来に想定される問題を考える知的基礎体力をつける。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51334	A	分子生命科学	濡木 理	理学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	分子から見た生命現象					
授業の目標概要	生物の織りなすさまざまな生命現象は、すべて遺伝子 DNA にコードされた遺伝情報が機能を発揮した結果であると言ってもよい。遺伝情報は、RNA、タンパク質、そしてそれが作り出す低分子有機化合物などの分子の形となり、これらの分子が相互作用しながら細胞内外で働いた結果、生き物としての不思議な性質が作り出されてくるのである。生物化学という学問分野は、このような生命現象が、分子の働きによっていかに作り出されるかを解明する研究分野である。 この授業では、この分野の代表的な教科書である「細胞の分子生物学 第 5 版」に沿って基本的な概念の説明と、その知識を基盤とする最先端の研究の紹介を交互に行う。基礎知識がなくとも生命科学研究のテーストを味わうことができるように配慮して講義を進める。理学部生物化学科の担当教員 6 名により、本学科の研究と密着した、タンパクの質構造と機能、RNA による制御、神経細胞の分化、生体リズム、味覚・嗅覚・光感覚、学習記憶などのテーマについての講義を行う予定である。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50898	A	惑星地球科学 I (理科生)	小久保 英一郎、 中本 泰史	宇宙地球	木 5	1 年 理科 2 年 理科
講義題目	惑星地球科学 I(惑星系天文学概論)					
授業の目標概要	太陽系は惑星、衛星、環、小惑星、太陽系外縁天体、彗星と、質量・組成・軌道の異なる多様な天体から構成されている。これらの天体はどのような特徴をもち、どのようにして形成されたのだろうか。また、近年、観測によって銀河系には太陽系以外にも多様な惑星系が存在することが明らかになっている。これらの惑星系は太陽系とは何が違うのだろうか。授業では惑星系の構造・起源・進化について、最新の観測・理論研究の成果を交えながら概説する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50975	A	惑星地球科学Ⅱ(理科生)	小河 正基	宇宙地球	金 2	1 年 理科 2 年 理科
講義題目	地球の気候変動					
授業の目標概要	近年、人為的な二酸化炭素の放出による地球温暖化が大きな問題となりつつある。この講義では、この問題の根本にある大気の温室効果や大気海洋大循環、エルニーニョに代表される気候の振動等の基礎的な解説を行った後、IPCC 報告書の内容について解説する。さらに、より長い時間スケールでの気候変動やそもそもなぜ地球では生命にとって都合の良い環境が維持されてきたのかについても解説する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51333	A	地球惑星環境学入門	高橋 嘉夫	理学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	本講義では、太陽系の誕生、生命と地球の共進化、固体地球の構造、プレートテクトニクスと表層環境の関係、現在の地球環境と資源などの地球惑星科学の基礎知識を専門が異なる 4 人の講師で解説する。					
授業の目標概要	本講義では、学際的な科学である地球惑星科学が持つ物理的側面、化学的側面、生物学的側面、地質学的側面の様々な観点を紹介しながら、地球惑星や生命の進化や、地球の表層環境の進化と現在の環境について理解することを目標とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50360	A	惑星地球科学実習	澤木 佑介	宇宙地球	火 3, 火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		惑星地球科学実習 科学は自然現象の観察、データ収集とその取り扱い、解釈という三つの過程を経て論じられ、発展してきました。特に、地球科学は野外実習を通して体験的に科学を学ぶことができ、それらを身近に体験することのできる学問です。本実習では野外観察・室内実験・実習とその議論を通して、地球科学のみならず、科学的なものの考え方を学びます。 実習室の広さ，使用する道具や材料の数に限りが有るので，受講者希望者数が予定数(40 人：感染拡大予防のためさらに人員削減の可能性有り)を超えた場合は，初回授業時に抽選等による選択を行います. 月曜日，火曜日の２回同じ授業を行うので，いずれかの曜日を選択して下さい.また、 本授業は 3，4 限の２コマ続きで行います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50128	A	惑星地球科学実習	澤木 佑介	宇宙地球	月 3, 月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		惑星地球科学実習 科学は自然現象の観察、データ収集とその取り扱い、解釈という三つの過程を経て論じられ、発展してきました。特に、地球科学は野外実習を通し体験的に科学を学ぶことができ、それらを身近に体験することのできる学問です。本実習では野外観察・室内実験・実習とその議論を通して、地球科学のみならず、科学的なものの考え方を学びます。 実習室の広さ，使用する道具や材料の数に限りが有るので，受講者希望者数が予定数(40 人：感染予防策次第ではさらに人数を減らす可能性有り)を超えた場合は，初回授業時に抽選等による選択を行います. 月曜日，火曜日の２回同じ授業を行うので，いずれかの曜日を選択して下さい.また、 本授業は 3，4 限の２コマ続きで行います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50016	A	宇宙科学Ⅰ（理科生）	鈴木 建	宇宙地球	月 1	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		天文学・宇宙物理学の基礎的内容 宇宙における天体現象が、現代科学の手法を用いてどのように理解されているのかを、自ら噛み砕いて把握することが、本講義の目標である。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50976	A	宇宙科学Ⅱ（理科生）	清水 敏文	宇宙地球	金 2	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		母なる星「太陽」の研究最前線 本講義は、地球にとって母なる星である「太陽」に関して基礎を解説し、太陽という星を研究する最前線に触れる内容を取り扱う。「太陽」を研究する学問は太陽物理学と呼ばれ、天文学・宇宙物理学の中では、唯一高精度に空間分解できる天体であり、天体プラズマの磁気流体現象を理解するために必要な基礎を与える。また、太陽は太陽風や CME と呼ばれる物質の吹き出しによって影響を与える領域～太陽圏～を形成する。そこには地球や惑星が存在し、太陽の振る舞いが地球や惑星、さらには私たちの日々の生活、に影響を与えており、太陽系科学の中で、太陽は必要な研究対象である。現在太陽の研究最前線では、飛翔体(人工衛星、観測ロケットや大気球など)や地上観測装置(大型可視望遠鏡や電波望遠鏡など)を用いて観測的研究が進められ、磁気流体数値シミュレーションに基づく理論的研究とともに、太陽プラズマの多様な振る舞いを物理的に理解することが進められている。太陽観測衛星「ひので」をはじめ最新の観測装置が捉えた画像や動画も用いて、「太陽」について理解を深めることで、天文学・太陽系科学・宇宙プラズマ物理学に対する太陽物理学の位置付けを理解することを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50701	A	惑星地球科学Ⅱ（文科生）	小宮 剛	宇宙地球	水 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		地球惑星科学概論 II 地球惑星科学 I に引き続き、特に以下の点について、講義する。 地球史：固体地球進化（熱史）、大気・海洋表層環境進化（酸素と二酸化炭素）、暗い太陽のパラドックスと表層環境進化、地球生物史、全球凍結、顕生代の生命史と大量絶滅 表層環境：大気・海洋構造、炭素循環、第四紀以降（氷期間氷期サイクル）、地球温暖化、環境と人類史、鉱床の形成と成長の限界（資源、エネルギー問題）				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50977	A	宇宙科学Ⅰ（文科生）	榎戸 輝揚	宇宙地球	金 2	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		宇宙科学入門：天文学の謎と現代の宇宙像 観測に基づく最新の宇宙像を理解してもらうのが目標である。宇宙科学の多様なテーマを各回の講義で概説する。純粋な知的好奇心の発露として、私たちがどんな世界に生き、どんな宇宙に住んでいるかを知り、ひいては自分や人類を客観的にとらえ、宇宙科学の発展史や科学研究の営みに理解を深める。文科生向けに数式操作などは極力避ける予定である。毎回で完結する聞き切り型ですすめる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51336	A	微生物の科学	大西 康夫	農学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		微生物の世界 微生物の種の多様性と微生物が示す驚くべき機能の多様性は、微生物が生物学、生物化学、遺伝学、生理学、分子生物学の基本的研究対象となり、かつバイオテクノロジーの主役として活躍する基本をなしている。本講義では、まず、イントロダクションとして、微生物学の歴史、微生物取扱手法、微生物の多様性を解説する。その後、種々の微生物（あるいは微生物群）について、それぞれが示す多様な生命現象をわかりやすく紹介していくことで、受講者を「微生物の世界」にいざなう。主として「人類に役に立つ微生物」という農学的見地から微生物について解説するが、受講者には、いわゆる「応用微生物学」のエッセンスを学んでいただきたいと考えている。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51337	A 1	アグリバイオロジー	井澤 毅	農学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	植物の機能とその利用					
授業の目標概要	前世紀後半、世界の食料生産は「緑の革命」に代表されるような資本投入型技術の開発により大きく飛躍した。これら増産主体の農業技術は、人口爆発に伴う食糧需要をなんとか支えてきた反面、農業生態系全体の調和・持続性との間に大きな摩擦を生んできた。さらなる人口増、工業化や砂漠化による耕地面積の減少、地球規模での異常気象などによってこのジレンマが拡大の一途を辿るなかで、問題解決に向けた新たな取り組みが求められている。 本講義では、農業生産の基礎となる植物の機能とその利用について最新の知見を解説し、将来の技術開発の方向性を考える。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51338	A	応用動物科学Ⅱ	堀本 泰介	農学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	高等動物の比較生物学					
授業の目標概要	高等動物（主に哺乳類、鳥類）の生理、病気、感染症、診療など、加えて公衆衛生、ヒトと動物の関係などについて、農学部獣医学専攻と応用動物科学専攻の教員が講義する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51339	A	海の生命科学	浅川 修一	農学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	海の生命科学					
授業の目標概要	水温、塩分、水圧等の大きく異なる棲息環境に、バクテリア、プランクトンなどの微小な生物から、各種の無脊椎動物、魚 類、大型ほ乳類に至る多種多様な生物が独自の進化・繁栄をしてきた。水圏には地球上のほぼすべての動物門が棲息しており、その多様性は陸上の比ではない。 水中での生活を可能にするために、陸上生物には見られない特殊な器官やユニークな代謝経路を発達させた種も多い。しかし、陸上生物である我々ヒトにとっ て、水圏にはまだまだ未解明の現象が多く、そこに未知の利用可能性や新たな研究領域の発展可能性を秘めたフロンティアが存在する。われわれ人類は、様々な 形で水圏生物と関わりを持っている。水圏生物に関する理解を深め、再生産可能な形で有効に利用することは、人類が真剣に取り組むべき課題である。この課題 達成のために求められることは、水圏生物をよく知ることである。 本講義では、水圏生物科学専攻各講座の教員が、（1）海洋生物の生理、（2）海洋生物の有機化学、（3）海洋生物のゲノム科学、（4）海洋生物の食への利用と生理調節作用、について、その研究の概要と最新の動向について紹介する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50203	A	生物物理学	石原 秀至	統合自然科学科	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	生物物理学 ー実験から理論までー					
授業の目標概要	生物は物質で構成されているので、物理学的な立場から生命現象を理解できるはずである。しかしながら、単に化学物質を寄せ集めただけでは生命らしさはあらわれてこない。生物物理学は、生物を分子や細胞に要素還元するとともに、それらが相互作用するシステムとして生物を捉えることで、生命現象の普遍的な理解をめざす学問であるといえる。本講義では、生物を構成する物質の最小単位であるタンパク質などの生体高分子から、それらの集合体である超分子や細胞までの各階層において生命らしさが創発する仕組みと、生命の可塑性と頑健性についての数理的な理解の方法を学ぶ。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50702	A	先進科学Ⅰα	野口 篤史	先進科学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	量子技術と量子コンピュータ（アドバンスト理科） 近年、大学だけでなく、大企業やベンチャー企業までもが量子コンピュータの開発や応用を目指した研究を進めており、夢のコンピュータである量子コンピュータを使える世界が音を立てて近づいてきている．量子コンピュータが扱う量子情報を担う物理系は，分子や原子からなるものから，超伝導体の電気回路からなる人工的な素子まで様々なものが研究されてきた．この講義では，量子コンピュータが扱う量子ビットの基礎を学ぶ。また、授業の中では IBM Q Experience が提供する超伝導量子コンピュータ実機を使用可能なクラウドサービスを利用し、量子アルゴリズムを実際にプログラムし、量子コンピュータにて実行する演習を行う。演習に際し、履修生には東京大学の IBM Q hub のアカウントを付与する。このアカウントでは、フリーアカウントでは触れないチップへのアクセスもできる。また、授業の後半ではハードウェアとしての超伝導量子コンピュータの仕組みやその他の量子技術について解説する。 最終日の授業には、実際に超伝導量子コンピュータの研究をおこなっている実験室の見学をする。 python の記述経験や量子力学への知識の有無は問わないので、量子コンピュータ・量子力学に興味のある学生を歓迎します。 受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時にレポート課題によって数学などに関する基礎学力の確認と量子力学への学習意欲に関する調査を行い選抜する。その結果、受講対象者をアドバンスト理科のホームページに掲載する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50204	A	先進科学Ⅱα	市橋 伯一	先進科学	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	生命進化概論（アドバンスト理科） 「生物学は進化という観点がないと何も理解できない」というのは進化生物学者のドブジャンスキーの言葉である。生物とは自然界で唯一進化する能力をもつ存在である。生物はおよそ 40 億年前に化合物の集まりとして誕生し、その後数億年を経て原核生物、真核生物、さらに多細胞生物へと進化し、ヒトが誕生した。いまや自然界はスケールの異なる無数の生物で埋め尽くされている。なぜ生物は進化するのだろうか？ いかなる仕組みでこんなにも多種多様に進化し得たのだろうか？ どこから来て、そしてどこへ行くのだろうか？ そこにはどんな法則や傾向があるのだろうか？ これらの答えを得るために、今現在も数多くの科学者が研究を続けている。本講義では、これまでに行われてきた生命進化の研究を紹介し、実際に進化の計算機シミュレーションを通じてその研究の一端を体験してもらう。これにより進化という現象を計算機の中に再現できるようになり、生命進化の何が当然で、何が奇跡だったのかを理解できるようになる。 本講義では講義とあわせて受講者に python を使って進化シミュレーションを行ってもらう。シミュレーションにはプログラミング技術が必要であるが、意欲さえあればこれまでの経験は問わない。必要な知識は授業中に身につけることができる。進化という現象は生物学を学ぶだけではなく、最適化のアルゴリズムとしても、そして私たち人間の特性を知るためにも重要な知識である。生物の知識の有無や理系文系を問わず意欲のある受講者を歓迎する。 なお、受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時に生命科学の基礎学力の確認と学習意欲に関する調査を行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50978	A	先進科学Ⅲα	柳澤 実穂	先進科学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	物理学による生命の記述（アドバンスト理科）					
授業の目標概要	「生命の神秘」を見たとき、それを物理学で説明できたならば、その「神秘さ」は失われてしまうでしょうか。あるいは、「物質の神秘さ」をもたらすでしょうか。皆さんの答えがそのどちらであったとしても、生命現象の根底には数多くの物理法則が存在しています。例えば、細胞運動ではタンパク質溶液の液体－固体相転移（ゾル―ゲル相転移）やタンパク質の反応拡散波が鍵となります。また近年、細胞内ではタンパク質や核酸が会合し、膜を持たないオルガネラとして機能することが分かってきました。相分離と呼ばれるこの現象の原理は、ドレッシングにみられる水と油の分離と同じものです。しかし、理論的に記述できる試験管中での相分離や相転移と細胞内での振る舞いには違いがあり、説明できない点も多く存在します。こうした溝を埋めるべく、生物学と物理学が協力して研究を展開してきています。本講義では、物理学で説明できる（はずの）物質と生物の境界を明確化することで、現在の物理学で説明できる「物質の神秘さ」や説明できない「生命の神秘さ」を味わうことを目指します。そのため、物理学は得意ではないけれど好きな生物学を極めたい、あるいは、生物学は得意ではないけれど物理学を極めたい、という方を歓迎します。 本講義の前半では、ソフトという力学的性質の定義から、従来の気体・液体・個体とは異なるソフトマター全般の力学的性質について理解します。その後、生物細胞を題材に力学や熱力学、統計力学の知識を総動員しながら、生命を特徴付ける「生物の形、物質の移送、運動」といった現象について物理的に表現します。さらに、物質である人工細胞と生細胞を実際に観察したり、マイクロキャピラリーと呼ばれる非常に細いガラス管を操作して直接操作したりすることによる、生物らしさの体験も行います。 授業では、講義に加えてデモ実験も行うため、人数を 20 人程度に制限します。そのため、受講希望者が 20 名を超える場合には、ガイダンス時に基礎学力の確認と、生物学と物理学の複合領域への学習意欲に関する調査による選抜を行います。提示した課題は、以下に書いた通り ITC-LMS に掲示されていますが、見られなかった人は柳澤へメールにて問い合わせてください。また選抜試験を行った場合、優 3 割ルールの適用外となり、成績は 3 割を超えて有を与える場合があります。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50979	A	先進科学Ⅳα	加藤 英明	先進科学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	構造生命科学概論（アドバンスト理科 IV）					
授業の目標概要	我々ヒトは約 2 万種類の遺伝子を持っており、遺伝子によってコードされたタンパク質は驚くほど多様な機能を発揮する。例えば我々が眼で物を見ることができるのはロドプシンと呼ばれる膜タンパク質が光を受容し、その情報を細胞内に伝えるためであり、我々が記憶や情動といった複雑な脳機能を発揮するのは、元を辿ればカリウムイオンチャネルやナトリウムイオンチャネルといった膜タンパク質が適切なタイミングで特定のイオン種を細胞内外へ輸送するためである。しかし、タンパク質が「光を受容し、その情報を細胞内に伝える」とは一体どういうことだろうか。タンパク質が「適切なタイミングで特定のイオンだけを輸送する」とは、原子レベルで考えた時に一体何が起こっているのだろうか。化学的に見ると「20 種類のアミノ酸が連なった鎖」に過ぎないタンパク質がこれだけ多彩な機能を示すのは、タンパク質がそのアミノ酸の種類や並び方によって特定の立体構造に折り畳まれ、その複雑な形に応じて機能を発揮するためである。タンパク質の複雑な機能を理解するためにはその形を理解することが肝要であり、それを可能としてくれるのがタンパク質立体構造解析であり、構造生物学（構造生命科学）である。本講義では、タンパク質立体構造解析の手法の中でも、その手法開発や関連研究について 20 以上のノーベル賞が送られている X 線結晶構造解析、クライオ電子顕微鏡法に焦点を当て、その原理や実例を紹介する。さらには、タンパク質の構造から一体どういった情報を読み取ることができるのか、タンパク質の構造情報を用いることで一体何ができるようになるのか、タンパク質エンジニアリングや創薬などを例に交え、講義と簡単な演習を行う予定である。 なお、受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時に生命科学や生物物理への興味と学習意欲に関する調査を行う。その結果、1 週間以内に、第二回以降の受講対象者の学生証番号をアドバンスト理科のホームページに掲載する。					

総合科目 F（数理・情報）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50722	A	数理科学概論 I (文科生)	小林 俊行	数学	木 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		数理科学概論 I 文科生向けに一変数関数の微分法の基本的な考え方から始めて，二変数関数の偏微分法の基礎と応用ならびに重積分に関する基礎的な内容を扱う科目である．社会科学に関連する題材を織り交ぜ，数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，担当教員によって順序は異なることがある．この科目を履修した後に，より進んだ内容を理科生向け総合科目「微分積分学続論」で学ぶことができるが，そのためには「数学 II」「数理科学概論 II」もあわせて履修しておくことが望ましい．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50289	A	数理科学概論Ⅱ(文科生)	小木曽 啓示	数学	火 2	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		数理科学概論 II（文科生） 文科生向けの，行列の定める線型変換（一次変換）の固有値と固有ベクトルを求める手法と その応用を扱う科目である．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが， 担当教員によって順序は異なることがある．この科目では「数学 II 」で扱う内容を前提とするが， 基礎科目「数学 I 」で扱う内容は前提としない． ただし，項目 3 においては「数学 I 」の関連する 内容を理解しておくことが望ましい．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51313	A	数理工学入門	佐藤 一宏	工学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		最適化の数理 産業経済活動に現れる生産計画，配送計画，スケジューリング，投資計画を始めとする多くの重要な問題は，大規模な最適化問題として捉えられる．本講義では，現実問題からどのように数理的な構造をとり出し，最適化問題として定式化するかを学ぶとともに，モデル化された最適化問題を効率的に解くアルゴリズムを設計し，解析するための考え方を学ぶ．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50290	A	統計データ解析 I	小池 祐太	数学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		データサイエンス入門 ビッグデータの時代と言われている。近年、データの計測およびストレージ技術の発達とともに、大規模データから適切に情報抽出し、それを意思決定に活用することが必須のリテラシーとなっている。いっぽうデータの形式と対応する解析法の変化は著しく、新しい方法を正しく利用するために、普遍的な統計科学の原理を理解することが重要である。基礎となる統計数理とともに、具体的な統計解析手法とその運用を、 統計ソフトウエアによるデータ解析実習を通じて習得する。 統計データ解析 I では、受講者が統計ソフトウエアを用いた実験によって確率的現象に慣れ、統計推測法の意味を理解し、データ解析の方法を実習する。統計ソフトウ エア R の使い方を学んだあと、シミュレーションによってランダムネスと極限定理を 体験する。後で必要になる確率分布を学び、基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する。推測統計における基礎的な推定・検定法、および分散分析の方法を、データ処理を通じて実習する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50703	A	統計データ解析 I	小池 祐太	数学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		データサイエンス入門				
授業の目標概要		ビッグデータの時代と言われている。近年、データの計測およびストレージ技術の発達とともに、大規模データから適切に情報抽出し、それを意思決定に活用することが必須のリテラシーとなっている。いっぽうデータの形式と対応する解析法の変化は著しく、新しい方法を正しく利用するために、普遍的な統計科学の原理を理解することが重要である。基礎となる統計数理とともに、具体的な統計解析手法とその運用を、 統計ソフトウエアによるデータ解析実習を通じて習得する。 統計データ解析 I では、受講者が統計ソフトウエアを用いた実験によって確率的現象に慣れ、統計推測法の意味を理解し、データ解析の方法を実習する。統計ソフトウ エア R の使い方を学んだあと、シミュレーションによってランダムネスと極限定理を 体験する。後で必要になる確率分布を学び、基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する。推測統計における基礎的な推定・検定法、および分散分析の方法を、データ処理を通じて実習する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50899	A	統計データ解析 I	吉田 朋広	数学	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		データサイエンス入門				
授業の目標概要		ビッグデータの時代と言われている。近年、データの計測およびストレージ技術の発達とともに、大規模データから適切に情報抽出し、それを意思決定に活用することが必須のリテラシーとなっている。いっぽうデータの形式と対応する解析法の変化は著しく、新しい方法を正しく利用するために、普遍的な統計科学の原理を理解することが重要である。基礎となる統計数理とともに、具体的な統計解析手法とその運用を、統計ソフトウエアによるデータ解析実習を通じて習得する。 統計データ解析 I では、受講者が統計ソフトウエアを用いた実験によって確率的現象に慣れ、統計推測法の意味を理解し、データ解析の方法を実習する。統計ソフトウエア R の使い方を学んだあと、シミュレーションによってランダムネスと極限定理を体験する。後で必要になる確率分布を学び、基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する。推測統計における基礎的な推定・検定法、および分散分析、回帰分析の方法を、データ処理を通じて実習する。				

図形科学A	開講区分	A

授業の目標・概要

3 次元立体形状の図的表現および形状処理について、ＣＡＤ（計算機援用設計）／ＣＧ（コンピュータ・グラフィックス）ソフトの実習を通して学び、立体形状の把握・伝達・構想能力を養う.主な学習項目は以下のとおり.

1. 2D モデリング（線分，円，多角形，スプライン曲線）
2. 3D モデリング（押し出し・回転，空間幾何課題の解法）
3. アセンブリ・正投影図面
4. パースペクティブビュー（透視投影）
5. レンダリング（色彩，マッピング，陰影）
6. アニメーション（動的表示，ウォークスルー）

教科書

次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　3D-CAD/CG 入門[第 3 版]～Inventor と 3dsMax で学ぶ図形科学
著者(訳者)　鈴木賢次郎，横山ゆりか，金井崇，舘知宏 共著
出版社　サイエンス社 発行日：2016 年 9 月
ISBN　978-4-7819-1389-6

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50053	月 2	舘 知宏、三木 優彰	1 年 文科 理一(7,16-17,29,39) 2 年 文科 理科
50076	月 3	三木 優彰、舘 知宏	1 年 文科 理一(6,12,19,36-37) 2 年 文科 理科
50241	火 2	横山 ゆりか、吉岡 陽介	1 年 文科 理二三(1-13) 2 年 文科 理科
50343	火 3	吉岡 陽介、横山 ゆりか	1 年 文科 理一(10,15,21,26,32) 2 年 文科 理科
50611	水 3	奈尾 信英、山下 典理男	1 年 文科 理一(5,11,14,23) 2 年 文科 理科
50640	水 4	山下 典理男、奈尾 信英	1 年 文科 理一(8,22,24,27-28,30) 2 年 文科 理科
50709	木 1	柏原 賢二、早川 大地	1 年 文科 理二三(14-24) 2 年 文科 理科
50754	木 2	早川 大地、柏原 賢二	1 年 文科 理一(13,18,34,38) 2 年 文科 理科
51017	金 3	金井 崇、田中 一郎	1 年 文科 理一(20,25,35) 2 年 文科 理科
51057	金 4	田中 一郎、金井 崇	1 年 文科 理一(1-4,9,31,33) 2 年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50205	A	基礎統計	佐藤 俊樹	経済・統計	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		基礎統計				
授業の目標概要		統計学の考え方の基礎にあたる部分を解説する。 範囲としては、分布をとらえる基本的な指標、確率分布の基礎知識、確率モデルの基本的な考え方、検定や推定などの統計的推測の初歩であるが、技法を詳しく説明するよりも、その背後にある考え方（いわば統計学はどういう風に世界を見ようとしたのか）に焦点をあてて進めていく。初心者にとって最大の障壁はそこが理解できないことであり、その結果として、具体的な数式や論理が「ブラックボックス」化するからである。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50723	A	基礎統計	河合 玲一郎	経済・統計	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		基礎統計				
授業の目標概要		統計学は、近年注目されているデータサイエンスにおいて、数学・計算機科学と並んで基盤となる学問である。本講義では統計学の基本事項である記述統計、確率分布、独立同一分布性、統計的推測の考え方を解説する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50206	A	統計分析	倉田 博史	経済・統計	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		回帰分析のより進んだ扱い				
授業の目標概要		基礎統計などの入門講義で学んだ回帰分析のより発展的な内容について扱う。経済の実証的分析を例に取りながら解説するが、経済学に関する知識は要求しない。Excel とフリーソフトの gretl を用いる。				

アルゴリズム入門	開講区分	A

授業の目標・概要　コンピュータやインターネットに代表される情報処理・情報通信技術は、現代社会の基盤となっています。このような技術の基盤となっているのが「アルゴリズム」と呼ばれる概念です。アルゴリズムは、観測データからの気象予測や、文章からの執筆年代予測など、あらゆる分野での問題解決の基礎となるものです。
本科目の目的は、アルゴリズムの基本概念や、アルゴリズムを作るための考え方を、Python 言語によるプログラミングをを通して習得することです。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Python によるプログラミング入門 東京大学教養学部テキスト アルゴリズムと情報科学の基礎を学ぶ
著者(訳者)　森畑明昌
出版社　東京大学出版会
ISBN　978-4-13-062458-9

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50054	月 2	山口 和紀	1 年 文科 理一(18,27-28,38) 2 年 文科 理科
50140	月 4	伊知地 宏	1 年 文科 理一(8,10,15,17) 2 年 文科 理科
50169	月 5	伊知地 宏	1 年 文科 理二三(4,8,12-17) 2 年 文科 理科
50240	火 2	丸山 一貴	1 年 文科 理一(12,14,20,23,26,32) 2 年 文科 理科
50291	火 2	萩谷 昌己	1 年 文科 2 年 文科 理科
50539	水 2	塚田 学	1 年 文科 理一(9,21,25) 2 年 文科 理科
50639	水 4	田中 哲朗	1 年 文科 理一(1-5,7) 2 年 文科 理科
50704	水 5	森畑 明昌	1 年 文科 2 年 文科 理科
50750	木 2	地引 昌弘	1 年 文科 理一(6,11,16,37) 2 年 文科 理科
50878	木 5	塩谷 亮太	1 年 文科 理二三(1-3,5-7,9-10) 2 年 文科 理科
50920	金 1	松島 慎	1 年 文科 理一(13,22,29-30,36,39) 2 年 文科 理科
50934	金 2	千葉 滋	1 年 文科 理二三(11,18-24) 2 年 文科 理科
51021	金 3	羽山 博	1 年 文科 理一(24,31,33) 2 年 文科 理科
51062	金 4	勝股 審也	1 年 文科 理一(19,34-35) 2 年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50361	A	計算機プログラミング	小林 浩二	情報・図形	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		非専門家のためのアルゴリズムとデータ構造 アルゴリズムとは「問題」を解くための手順であり、データ構造は計算機（コンピュータ）上においてアルゴリズムを実行する際にデータを保持するための方法である。これらは計算機科学の基礎をなす学問分野である一方、計算機科学とは全く異なる分野においても陰に陽に重要な役割を果たしていることが少なくない。 そこで本授業では、文理問わず後期課程進学後に計算機科学「以外」の学問を修める学生を対象とし、進学後に出会うであろうアルゴリズムとデータ構造に関する事柄について学ぶ。具体的には、実際にこれらが他分野（例えば、言語学、生物学など）において関わってくる場面を例示しつつ、それらの機能や仕組みについて学ぶ。 そのため、本授業は後期課程進学後に計算機科学とそれに直接関わる分野を専攻することを検討している学生の履修は推奨されない。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51331	A	計算機プログラミング	萩谷 昌己	理学部	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		プログラミング技法 プログラミングが簡潔で速く、正確になることは、情報科学の知識や数学的能力 だけでは不十分であり、技法としてのプログラミングを身に着け、訓練を経るこ とが必須である。本講義では、簡単なプログラム作成が出来ることを前提とし て、より速く、より正確、より大規模なプログラムを作成する技術的側面につい て講義し、実際の課題を通してプログラミング技法を錬成する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51332	A	計算機システム概論	小林 克志	理学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		計算機システム概論 コンピュータシステムを利用した情報サービスの知識はあらゆる分野で求められている。本講義では、情報サービスの提供に必要な知識・スキルに加えてそれらの獲得方法を学ぶ。具体的には、Web サービスの提供を想定し、その実現に必要な知識・技術を解説する。併せて、具体的なサービス構築を通じ知識・技術の活用に加え、それらの獲得方法を実践的に体得する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51325	A	情報・システム工学概論	長谷川 禎彦	工学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		情報・システム工学概論 近年情報技術の対象は、個数、金額、品番など、数値として管理するのが適切であることが一見してわかるものから、人間の言葉、動作、社会的行動など、単純な数値化による情報技術の適用が容易でないものに広がってきている。本講では、こうした対象に情報技術を適用するのに必要となる技術を概観し、具体的な適用例の紹介を通じてその理解を深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51310	A	情報システム基礎Ⅱ	三田 吉郎	工学部	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		わかる電子回路 電子回路は、自動車から玩具に至るまで、世の中のありとあらゆる分野で使われている、普遍的な技術である。と同時に、電気電子工学のしっかりした理論体系を持っているので、基礎理論を一たび学ぶだけで、驚くほど多くの分野に応用することができる。工学の基礎ともいえるこの電子回路理論を、実演も含めながらわかりやすく講義する。学習の応用として実用的な回路を設計し、学生の意欲により自作演習と発表会を計画する。。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51307	A	情報システム基礎Ⅱ	國吉 康夫	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ロボット・AI・VR と人間					
授業の目標概要	人間の特性やメカニズムの理解に基づいて人工システムを構築することで，人間の機能や能力を部分的に再現・代替・拡張する，あるいは人間に対して効果的に働きかけたり支援する．ロボット，ＡＩ，ＶＲの研究開発はいずれもこの方法論を共有し，相互に関連し，様々に融合しつつ発展している．これらの基本原理，人間との関係，最新の研究や応用，今後の方向性について，各分野の最先端研究を担う教員が解説する．					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51321	A	モデリングとシミュレーション基礎Ⅱ	鳥海 不二夫	工学部	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	経済物理・金融情報学・計算社会科学					
授業の目標概要	現代の社会における現象は複雑系に特徴的な特性を示し，新古典経済理論や金融工学，社会学では説明の付かない現象が数多く観察される．それに対して理工系の知見を適用して，社会現象を実証的に解明し解析しようとする学問がいくつも存在する．この講義では，そのような学問の中で経済物理・金融情報・計算社会科学の考え方や手法を学習するとともに，社会現象・人間行動に関係する複雑な現象にどのように取り組むかを考える． ※履修人数制限 20 人 ※講義は集中講義にて行う．(2020 年 12 月 25(金)，26 日(土)を予定) ※受講希望者は 10 月 2 日までに 100 字程度の希望理由を添えてで申し込むこと https://goo.gl/forms/IGGUSrUvEkFJlkwl2					

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51450	A	音楽プログラミングと電子音響音楽の作曲	長木 誠司	芸術創造連携研究機構	月 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	Pure Data による音楽プログラミングの基礎を習得する。グラニュラーサンプリングを実装する。メロディ・リズム・ハーモニーに依らない電子音響音楽作品を作曲する。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51449	A	現代音楽作品研究 –聴取と実践を通して	長木 誠司	芸術創造連携研究機構	月 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	２０世紀以降の作曲には、作家の独自性が特に強く求められてきた時代でもあります。これは、作曲家が今までとは違う独自の作曲言語を持っているか、を強く問われてきたからでもあり、また同時に聴衆は、新たな視点と新たな解釈を希求し、作品鑑賞を通じて切り拓かれた新たな世界を体現することの喜びがそこに見出されてきたともいえるでしょう。本授業では、主に２０世紀以降の現代音楽といわれるカテゴリーに分類される作品を聴き、各作品の創作方法や思考を学んだ上で、それらの知識や方法を基に学生自身も短い作品を創作し、発表するという演習形式の授業です。そして、創作を通じて得た思考や視点、創作過程で浮かび上がってきた課題について参加学生と意見を交わし共有することによって、知識や方法論を知るにとどまらない学びを体験的に実践していきます。 本授業では、主に２０世紀以降の作曲家の作品を聴くことを通じて作品独自の特長的なアイディアや技法を学び、インプットしたそれらの知識を基に演習という形で実践的創作としてアウトプットすることによって、新しい視点や創造的な思考を身につけることを目標とします。また、創作についてのプレゼンテーションを通じて、参加学生や教員との積極的な対話からより多角的な観点を深め、なおかつ柔軟で自由な発想を培うことが本授業の目標です。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51405	A	社会を先導する化学システム工学	杉山 弘和	工学部	月 5	2	1 年 理科
授業の目標概要	化学システム工学科の教員が、持続可能社会を創るための化学を、基礎から分かりやすく説明します。以下のテーマを学びます。 【環境分野】 ・計算化学から見た触媒と環境問題 ・環境問題を解決するナノ空間材料 【エネルギー分野】 ・環境問題を解決するナノ空間材料 ・触媒と未来のエネルギー 【医療分野】 ・分子から見たバイオと未来医療 ・Simulation for chemical/drug manufacturing 「化学と社会のつながり」を考えたい学生諸君の参加を歓迎します。教員や大学院生と交流する機会も設けます。希望者には化学システム工学科研究室のバーチャル見学会も企画します（参加は自由です)。 ---------- ※このゼミは 9 月 25 日（金）6 限（18：45～）Zoom にて 行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。 ----------						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51447	A	Sound-Art Creation	池上 高志	芸術創造連携研究機構	月 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

※この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に登録・公開される見込みが高く、
成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に留意してください。
The final grades for this course can't be included as course credits for completion for Junior Division Section because it might be registered and notified after the specified date due to the class schedule.

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、開講を中止する可能性があります。
There's a possibility that this course could be cancelled due to the outbreak of COVID-19.

The class will aim to teach the history of sound expression, techniques of sampling and recording technology, and introducing new modes of listening. The course will be divided between practical exercising and lectures covering the history of sound expression, which will introduce different people's works in the field.

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51360	A 1	競争法の世界	白石 忠志	法学部	火 2	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

競争法（独禁法の国際的通称）は、身近な生活から世界的大型事件まであらゆるところに関係し、また、国内法の国際的適用や専門家の国際交流が活発に行われている法分野です。多様なバックグラウンドを持つ国内外の研究者・実務家が、それぞれが得意とする問題について講義します。内容の詳細は「授業計画」のとおりです。
Zoom と Google Classroom を用いたリアルタイム型のオンライン授業とする予定です。開講日までは、アクセス方法を含む詳細・変更を UTAS のこの場所で知らせます。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60226	A 2	先端ビジネスローの諸問題	白石 忠志	法学部	火 2	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

法学部で開講される実定法科目を担当する教員が、それぞれの専門分野の先端で起きている問題を講義します。内容の詳細は「授業計画」のとおりであり、競争法・租税法・知的財産法・商取引法・会社法・金融法などの先端にお誘いします。
Zoom と Google Classroom を用いたリアルタイム型のオンライン授業とする予定です。開講日までは、アクセス方法を含む詳細・変更を UTAS のこの場所で知らせます。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51379	A	惑星科学のフロンティア	生駒 大洋	理学部	火 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

我々は，太陽を周回する天体の一つである「地球」という惑星に住んでいる．それは，太陽系では地球だけが海や温暖な気候を有するからだろう．そのような生命にとって快適な環境はどのようにもたらされたのか？また，太陽系外には第二の地球と呼ぶにふさわしい惑星は存在するのか？近年では，理論・室内実験に加えて，太陽系探査や系外惑星観測など様々なアプローチで研究がなされている．本講義では，この分野の世界をリードしている科学者が最先端のサイエンスを講義する．

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51451	A	音響を用いた表現	長木 誠司	芸術創造連携研究機構	水 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

一般的な音楽は、メロディー、ハーモニー、リズムから構成されている。しかし、それらは長い歴史の積み重ねによる恣意的かつ暗黙のルールに縛られていて、多くの人は、その「基準」に基づいたものだけを「音楽」と認識する傾向がある。その一方 20 世紀以降には、これらのルールを解体し、音楽そのもののあり方を考え直すような様々な試みが行われた。「これは音楽ではない！」といった批判も受けたものも少なくないが、その批判の是非はさておき、こうした試みをとりあえず「音響による表現」と呼んでおこう。
この授業では、そうした過去の実例を紹介し、そのいくつかについては実際に演奏を試みる。そして、既存のアイデアを模倣し、拡張、超越することによって、受講生自身による独自の「音響表現」に挑戦してもらう。簡単な演奏上のルールを決めることで、他の受講生に、そのアイデアを演奏してもらうこともできるだろう。
このような実験的な表現を体験することで、音楽演奏への新しいアプローチを見つけるだけではなく、先入観にとらわれない自由な感性で音楽を聴取できるようになることが、本授業の到達目標である。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51427	A	Breakout / Outbreak ： 新型コロナウィルスの 「経験」と変容する世界	原 和之、 白 佐立	教養教育高度化機構	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

2020 年初頭からの短期間の間に、新型コロナウィルスの感染拡大は私たちが当然のものとして捉えていた社会の在り方を大きく変容させました。破壊的ともいえるようなこの変容のなか、社会における暗黙の前提として埋め込まれていたものの見方や価値観が取り出され、われわれはこれを改めて考え直す必要に迫られています。また同時にこの感染症の問題が、必ずしも同じように生きられているのではないという分断の問題も徐々に明らかになっており、それを乗り越える方途を見出すことが、新たな社会的融和の実現のためにはますます重要になっているように思われます。声高に唱えられる「新しい日常」の手前でいったん立ち止まり、それぞれ脱出の方向の手掛かりを模索する皆さんに、本講義では文理の教員の講義を通じて新型コロナウィルスのもたらした経験の多様性と、その課題に対するさまざまなアプローチを提示することを目指します。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51344	A	脳科学の基礎と 研究の最前線	岡ノ谷 一夫	心理・教育学	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

脳科学は脳の仕組み（メカニズム）と働き（機能）を研究する学際領域である。このテーマ講義では、脳科学に関心のある教養学部前期課程の学生諸君を対象に、この分野の見取り図を示すと共に、その奥行きと魅力を伝え、脳科学への誘い（いざない）を目指している。
脳科学は比較的新興の学際領域であるため、伝統的な個々の学問分野ではとうていカバーしきれない。そこでこの講義では、教養学部生命・認知科学科、理化学研究所脳科学総合研究センター（理研 BSI）、総合文化研究科進化認知科学研究センターの各スタッフが、オムニバス形式で脳科学の全体像を描いてゆく。
具体的な下位分野のテーマとしては、電気生理学、神経解剖学（計測法を含む）、分子神経科学、認知神経科学（神経経済学を含む）、計算神経科学などを扱う。初学者向けの講義なので、文系諸君の受講も歓迎する。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51358	A	悦ばしきイタリア 地中海・シーズン 6	池上 俊一	イタリア地中海研究コース	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

2013 年度から教養学部後期課程に「イタリア地中海研究コース」が発足しているが、広く前期課程の学生にもイタリア文化圏や古代中世の地中海文化圏に親しんでもらうことを目的とする講義シリーズを学術フロンティア講義として隔年で開講している。
講師は、後期課程の上記コースに関与する駒場の教員だけでなく、全体の半数程度は外部から気鋭の講師を招待する。

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51371	A	現代の数学 ー その源泉と フロンティア ー	齋藤 秀司、 入江 慶、阿 部 紀行、木 田 良才	数理科学研究科	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	現在の数学研究の現場で話題になっている事柄を平易に解説する。 高等学校で学んだ数学、大学の前期課程で学ぶ数学が、 どのように現代の数学につながっているか、 現代の数学の研究の源泉はどこにあり、どのようなことがわかっていて、 何を求めて研究が行われているかということを、 最前線で活躍する数学者がいくつかのトピックについて数回ずつ解説する。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51345	A	公認心理師の職責	石垣 琢麿	心理・教育学	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	2017 年に公認心理師法が施行され、国家資格「公認心理師」が誕生することになった。公認心理師は、「医師」「教師」「薬剤師」等と並ぶ重要な国家資格であり、人文系ではほぼ唯一の本格的な国家資格である。資格者は心理学の知識にもとづいた仕事をする。働く場所は、病院、学校、福祉施設、司法施設、企業など 5 分野である。 公認心理師の資格を得るためには、大学で必修の 25 科目を履修して卒業し、大学院で必修の 10 科目を履修して修了し、国家試験を受けなければならない。今年度から東京大学でも公認心理師カリキュラムが開始される。 ●本科目『公認心理師の職責』は公認心理師の必修科目なので、公認心理師の資格を希望する者は必ず履修すること。 また、公認心理師の説明会も兼ねるので、関心のある者はこの科目を履修してほしい。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51408	A	海研究のフロンティアⅡ	早稲田 卓爾	工学部	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	本講義は、理学・工学・農学・法学・総合文化・新領域創成科学研究科、大気海洋・地震・気候システム・東洋文化・生産技術研究所、史料編纂所・アジア生物資源環境研究センターなどで海洋に関する研究・教育活動に関わっている教員が、最先端の研究成果を紹介する。 講義に関する追加情報は、以下に記載されます。 http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/ ※この講義は 9 月 25 日(金) 6 限 (18：45～) にオンラインで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51428	A	感染症を考える	佐藤 佳、 美馬 秀樹	教養教育 高度化機構	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

コーディネータ：佐藤 佳（医科学研究所）
概要：
2019 年末に発生した新型コロナウイルスは、2020 年 8 月現在、世界中に伝播し、パンデミックを引き起こしている。新型コロナウイルス感染症 COVID-19 はなぜ引き起こされてしまったのか。そもそもウイルスとは何なのか。現在進行形のパンデミック禍に際し、ウイルスや感染症についての正しい知識を得、それについて議論を深める。
講義予定：
・第 1 回 9/25 ガイダンス
・第 2 回 10/2 UTokyoOCW オンデマンド授業
・第 3 回 10/9 UTokyoOCW オンデマンド授業
・第 4 回 10/16 UTokyoOCW オンデマンド授業
・第 5 回 10/23 学生ディスカッション①
・第 6 回 10/30 UTokyoOCW オンデマンド授業
・第 7 回 11/6 UTokyoOCW オンデマンド授業
・第 8 回 11/27 UTokyoOCW オンデマンド授業
・第 9 回 12/4 学生ディスカッション②
・第 10 回 12/11 UTokyoOCW オンデマンド授業
・第 11 回 12/18 UTokyoOCW オンデマンド授業
・第 12 回 12/25 UTokyoOCW オンデマンド授業
・第 13 回 1/8 学生ディスカッション③

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51396	A	ノーベル賞に学ぶ 物理工学	芝内 孝禎	工学部	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

近年のノーベル物理学賞の多くは、磁性や超伝導などの物性物理学、量子光学、量子情報、ソフトマターなど「物理工学」と呼べる分野での受賞となっている。これらの受賞内容を学ぶことは、物理工学の歴史や今後の展開を知るのにいい機会になると考えられる。そこで、過去 40 年間のノーベル物理学賞から物理工学分野に関連の深い受賞テーマをとりあげ、その物理的背景や受賞後の発展などを含めて、各テーマを専門とする教員陣がわかりやすく解説する。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51425	A	放射線を科学的に理解する	鳥居 寛之	教養教育高度化機構	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

福島第一原子力発電所の事故から 10 年の節目を迎えようとしています。現地では、復興と帰還、そして廃炉に向けた取り組みが進んでいますが、事故にともなって広範な地域に放出された大量の放射性物質による環境汚染は、未だに社会的影響を与えています。科学的事実に一定の了解が得られている昨今のコロナ感染症と違い、低線量放射線のリスクに関しては様々な意見が対立し、メディアを賑わせて人々を混乱に陥れました。そして今、必ずしも人々の科学的リテラシーが向上したとは言えない状況の中、意識の風化が起きています。

放射線の問題を理解するには、物理・化学・生物・医学・工学・農学・法律・社会学など様々な分野の知識が必要で、全てを網羅することは容易ではありません。放射線の基礎的知識に関する教育は十分とは言い難く、大学においても、広く一般の学生が系統立って学べる機会は限られています。

その貴重な機会を提供すべく、教養学部の教員が科学者・教育者の使命と意気込んで震災以来毎年続けている講義が、主題科目「放射線を科学的に理解する」です。ゲスト講師も含めた様々な分野の専門家が、放射性核種や放射線の物理学的性質から生物学的・医学的影響やリスクの考え方、さらには環境汚染の社会的影響まで、幅広く講義を展開します。学際的な教養学部の強みを生かした講義で、科学的知識を体系的に身につけ、定性的および定量的に正しく判断する能力を養うことを目的とします。

理科生を主な対象としますが、意欲のある文科生も歓迎します。教員一同、熱意あふれる分かりやすい講義を心がけており、履修生からは、理解が深まり役に立つ授業だったと、毎年高い評価を受けています。多くの参加を期待しています。

★ 前半ガイダンス【鳥居・小豆川・渡邊】、後半【鳥居】放射線入門（放射線とは、身の周りの放射線）
★ 【鳥居：理学部】放射線物理学（放射性崩壊と放射能、放射線と物質の相互作用）
★ 【小豆川：教養化学】放射線計測学（放射線の測定原理・方法・問題点）
★ 【鳥居】放射線物理学・放射線化学（物質中でのエネルギー損失過程、放射線の単位）
★ 【渡邊：教養生命科学】放射線生物学（放射線の細胞および生体への影響）
★ 【坪倉正治：福島県立医科大学】被曝調査・医療支援（福島事故後の内部被曝の状況、現場での医療）
★ 【小豆川】環境放射化学（放射線量の時間変化、放射性物質の濃縮と拡散）
★ 【鳥居】原子核物理学（原子核模型と核構造、核崩壊と核分裂）
★ 【鳥居】原子力工学と原子力事故（原子力発電の原理、原子力事故、放射性廃棄物処理問題）
★ 【小豆川】環境放射化学（シミュレーションと将来の放射線量）
★ 【藤原徹：農学部応用生命化学】放射性物質汚染と農業（植物によるセシウムの吸収と輸送）
★ 【渡邊】放射線の利用（生命科学研究、育種、滅菌、工学応用など）
★ 【鳥居】加速器科学（人工の放射線）・放射線防護学（線量評価・リスクコミュニケーション）・まとめ

なお、以下の教科書はこの講義を元に執筆したものです。なくても分かるように講義しますが、授業の深い理解に役立つので是非お薦めします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51426	A	教養学部生のためのキャリア教室	高橋 史子	教養教育高度化機構	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

国内外で活躍している各界の社会人をお迎えし、自身の進路選択、仕事の内容、人生の転機や悩み、生き方をお話いただくオムニバス形式の授業です。多様な価値観や進路選択を知ることで、グローバル化や超高齢化、高度情報化などの変化にさらされる現代で柔軟に自らのキャリアを形成するための基礎、考え方を学びます。

ゲストスピーカーは企業、官公庁、大学・研究機関、国際機関などから多様な幅広い年代の方を予定しています。講義を聞く時間だけでなく、ゲストへ質問する時間や、受講生同士で議論する時間、主体的に自分のキャリアや生き方について考えるためのワークショップもありますので、積極的に参加することが期待されます。

すでに具体的に進路を定めている人はもちろん、「社会人ってキツくて大変そうだけど実際どうなのだろう」と仕事と生活について話を聞いてみたい人、「何をやりたいかわからないけれど進学選択の際に困らないようにとりあえず高い点数を取っておこう」と考えるのを先延ばしにしている人も歓迎します。専門課程に進む前に自分のこれからについて考えてみましょう。

過去の授業概要や本年度の講義予定のゲストスピーカーと略歴は、授業ホームページ（http://www.sr.komex.c.u-tokyo.ac.jp/）で確認することができます。

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60228	A 2	経営工学のすすめ	川中 孝章	工学部	金 5	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	皆さんの中には、理系に進んだけれど文系分野にも興味がある。文系に進んだけれど理系分野にも興味があるといった人がいるのではないでしょうか？私も高校時代、数学と社会が好きでした。経営工学は文理融合の分野です。経営学、経済学を中心とした社会科学の諸問題を、科学的視点から数理的あるいは工学的アプローチにより解決することを目指しています。 本講義では、経営工学のベーシックな理論を解説するとともに、その応用事例を紹介します。さらに、最新の研究論文にも触れながら経営工学の全体像を説明します。取り上げるテーマは以下を予定しています。 ・生産管理、在庫管理 ・ロジスティクス、サプライチェーンマネジメント（SCM） ・品質管理 ・人的資源管理、行動科学、人間工学 ・プロジェクトマネジメント ・マーケティング、需要予測 ・企業行動、プロフィットマネジメント 学際的分野のため、文科、理科を問わず受講することができます。 ---------- ※このゼミは 9 月 25 日（金）6 限（18：45～）Zoom にて 行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。 ----------					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51346	A	医科学研究最前線	中西 真	医科学研究所	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	がん・免疫/アレルギー疾患・感染症をはじめとする難治性疾患の病因・病態の解明と、これらの疾患に対する治療・予防法の開発を目指す医科学研究所の研究活動の実際を紹介する。さらに、関連する分野（老化、疾患ゲノム解析、難治性感染症、マウス発生工学、ワクチン療法）の動向について、集中講義形式で分かりやすく解説する。 ※開講日時:令和 2 年 12月12日（土）9:15～16:40、および 12月13日（日）9:30～16:40 <12月12日> 9:15～9:30 医科研紹介 9:30～16:40 講義(1 コマ 90 分、12:40～13:30 昼休み) <12月13日> 9:30～16:40 講義(1 コマ 90 分、12:40～13:30 昼休み) ※開講は ZOOM を利用したオンラインで行う。 ※ガイダンスは本年度は行わない。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51388	A	スタートアップ・チャレンジ（駒場）	長藤 圭介	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

東大が企業人・スタートアップ関係者と企画・運営するソニー東大社会連携講座の一環で、
主には初めて講座に参加する 1，2 年生向けセッション。

講座が提供するプロジェクトの原石を一つ選び、仲間と共にプロジェクトを立ち上げて、
講座のヒトモノカネの支援を受けながら社会実装を目指して活動する。
原石の具体的な内容はガイダンス参照。
地域での芸術祭のプロデュース、小学生との IoT おもちゃ作り、新形態の牡蠣の養殖などを検討中。

今期は基本的にオンラインで、活動時間帯や活動量はプロジェクトメンバ間で相談する。
10 月開始で 1 月に実施予定の報告会に向けて活動をいったんまとめる。

「スタートアップ・チャレンジ」「スタートアップ・ワークショップ」「スタートアップ・トレーニング」

1 月以降も活動して社会実装をやり切りたいと思うプロジェクトに磨き上げ、
2021 年度の社会連携講座のオーディションへのエントリーに繋げることが望ましい。

※このゼミは 9 月 25 日（金）6 限（18：45～）Zoom にて
行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51389	A	スタートアップ・トレーニング（駒場）	長藤 圭介	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

東大が企業人・スタートアップ関係者と企画・運営するソニー東大社会連携講座の一環で、
初めて講座に参加する 1，2 年生と現在講座でプロジェクト実施中の学生向けトレーニング。

3 時間×3 回のオンライン演習と、各自のやっている/やってみたいプロジェクトへの
相談会（メンタリング）への参加状況に応じて単位を提供する。

※このゼミは 9 月 25 日（金）6 限（18：45～）Zoom にて
行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51390	A	スタートアップ・ワークショップ（駒場）	長藤 圭介	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

東大が企業人・スタートアップ関係者と企画・運営するソニー東大社会連携講座の一環で、
初めて講座に参加する 1，2 年生と現在講座でプロジェクト実施中の学生向けワークショップ。

1 回 3 時間のオンライン・アイデア発想グループワークと、各自のやっている/やってみたい
プロジェクトについての有識者との相談会・ブレスト会への参加状況に応じて単位を提供する。

※このゼミは 9 月 25 日（金）6 限（18：45～）Zoom にて
行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51407	A	海研究のフロンティアⅠ	早稲田 卓爾	工学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	本講義は、東京大学海洋アライアンスを構成する教員による，駒場キャンパス，本郷キャンパス，柏キャンパスの実験施設の見学と講義を通して，海洋研究の最先端に触れることが目的である．例えば，海中ロボットの実験施設，船体運動を計測する大水槽，海洋生物などを研究する施設，洋上風車の研究をする施設，海洋の流れのメカニズムを解明する実験装置などを見学することができます. 講義に関する追加情報は、以下に記載されます。 http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/ ※このゼミは 9 月 25 日(金)6 限（18：45～）にオンラインで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51448	A	彫刻演習 ー見方の角度を考える	加治屋 健司	芸術創造 連携研究機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	※本授業は、冨井大裕・武蔵野美術大学造形学部彫刻学科准教授が行うものである。 概要： 彫刻は目の前の現実と直面することから制作を始めるメディアである。始める為には何がどの様に現れていて、それを個人がどの様に見てしまったのかを実感として認めた上で、その実感を疑うことが必要である。認めることと疑うこと、その果てしない、のっぴきならない作業の果てに残された物体が彫刻ではないだろうか。認め、疑い、残されたものを受け容れる…ことから始める。この彫刻的作業を、いくつかの彫刻制作の演習ー見方の角度を考えることから体験してもらう。 目標： 制作を通じて、彫刻制作の方法と思考を学ぶ。 彫刻を、彫刻とは別の領域、社会に展開／活用する為の方法を学ぶ。 実制作者の視点による彫刻／立体表現の変遷について学ぶ						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60246	A 2	個と群	舘 知宏	芸術創造 連携研究機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	美術家の野老朝雄氏を講師に招き、集中講義でアート制作の演習を行う。野老氏は、東京 2020 オリンピック・パラリンピックエンブレムの「組市松紋」をはじめとする、紋様作品、グラフィックデザイン、建築ファサードデザインなど、幾何学的操作や原理に基づき、単純なピースを組み合わせて非周期的に平面や空間を充填することで、多様な表現を生み出している。野老はこれらの表現の体系を「個と群と律」と呼ぶ。「個と群と律」による表現のアクティビティを通し、かたちを介して繋がる、数理、仕組み、人工物、自然現象など多様な領域をつなげるアート・サイエンス協働を目指す。						

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51365	A	再生可能エネルギーと公共政策	有馬 純	公共政策大学院	月 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	エネルギーは現代の産業社会を支える血液のような存在であり、各国の国家安全保障にも大きな影響を与える。他方で地球温暖化問題に代表されるようにエネルギー利用に伴う環境負荷の低減も大きな課題となっている。コロナにより世界のエネルギー需給をとりまく状況も大きく変化してきている。こうした中で環境負荷の小さい国産エネルギー源として再生可能エネルギーに対する期待値があがってきている。再生可能エネルギーのコスト低下が進んでいる一方で、間欠性のある再生可能エネルギーの大量導入が系統に与える影響、他電源に及ぼす影響、補助負担の拡大等、様々な課題も考えねばならない。本講座ではエネルギー問題、地球温暖化問題の全体論から再生可能エネルギー導入拡大のための政策の現状、課題及び主要な再生可能エネルギー源毎の課題、プロジェクトファイナンスのあり方等について講義を行い、再生可能エネルギーについてバランスのとれた視点を提供することを目的とする。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51373	A	微分方程式と特殊函数	岩木 耕平	数理科学研究科	月 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	高校までに学習した三角函数, 指数函数, 対数函数たちの拡張となる様々な特殊函数に触れる. 主に超幾何函数とその仲間が持つ様々な性質を, 級数表示, 積分表示, 微分方程式などを導くことを目標とする. これら函数を調べる際には, その定義域を複素数にまで広げることが不可欠であり, 必要となる複素函数論の知識も学ぶ. 超幾何函数とその仲間は解析学のみならず, 整数論, 表現論, 統計学, 理論物理学などの様々な分野に現れるので, 履修者の興味に応じて扱う話題を変更する可能性もある.						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51375	A	保型関数入門	松本 久義	数理科学研究科	月 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	保型関数はもともと、ガウス、フックス、クライン、ポアンカレらの微分方程式の研究で見出された特殊関数であるが、数論とも深く関連しており例えば フェルマー予想の解決においても重要な役割を果たした。また 幾何学、数理物理など数学の広い分野にわたって現れる重要な関数でもある。 このセミナーでは保型関数・保型形式に対して基本的な内容を講義する。 この講義は、数学あるいは数理物理学の研究者を目指している学生を対象としているので一年の解析学程度の知識に加え、複素関数論の初歩 (コーシーの積分定理、偏角の原理あたりまで)を予備知識として仮定する。 だだし、講義内で何を勉強したらよいか指示するので、意欲のある学生なら並行して学習すれば何とかなるかもしれない。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51412	A 1	これからの「農業」の話をしよう ～ 先端研究の紹介とそれに基づくアクティブ・ラーニングを通して、近未来の農業について考える ～	岩田 洋佳	農学部	月 5	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	逆境には必ずチャンスが潜んでいる。例えば、逆境におかれている農業も然りである。高齢化する農業人口、不確実性の増す環境変動、深刻化する食料問題。 こうした逆境は新たな価値創造の原動力となる。本ゼミナールでは、先端農学研究の紹介とそれに基づくアクティブ・ラーニングを通して、近未来の農業と社会を支えるための新たなアイデアについて、ともに考案することを目的として行う。ゼミナールの前半では、先端農業研究について紹介し、近未来の農業を支える科学技術について基本的知識を習得する。ゼミナールの後半では、グループごとに絞り込んだテーマにもとづき、新たなアイデアを醸成する。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51434	A	ICT は教育を どう変えるか?	坂口 菊恵、 橋田 浩一	教養教育 高度化機構	火 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	新型コロナウィルス感染症の影響を受け、各国と比較した日本の ICT 化の遅れがもたらす問題点が、さまざまな方面で明るみに出てきました。教育面での取り組みの現状と課題は皆さんが現在経験している通りです。 小中高では ICT を活用してで教育活動を継続できたケースは少数にとどまり、大学のオンライン授業においても授業形式の画一化・質の担保の問題や、受講者の負担増加、評価方法などの課題が指摘されています。授業だけではない包括的なキャンパスライフをどのように実現していくかという問題もあります。 一方で、ICT を使った教育・学習の変化は今回の事態以前から着々と研究・実装されてきていました。今回の事態はその成果が広く共有された機会と捉えることもできます。with コロナの時代において教育はどう変わっていくのか、また ICT のより効率的な活用を進めるにはどうすべきか、実体験をもとに検証していきます。 本講義では、産・官・学それぞれの立場で ICT×教育に携わってこられた方々をゲストスピーカーとして招き、ICT と教育のあり方について議論します。さらに、モバイル脳波計を用いた教育効果の測定と最適化の試み、学生生活を快適にするアプリの検証も体験する予定です。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51439	A	書評の世界	谷本 道昭	教養教育 高度化機構	火 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	権威ある学術誌から権威から遠く離れた趣味性の高い同人誌まで、あるいはまた、刊行部数数百万部の大新聞からある組織内のみで流通するような○○報まで、書評・書評欄は、オンライン、オフラインの別を問わず、活字メディアの創世記から現代にいたるまで、小さくはあっても重要なコンテンツとして世に親しまれ続けている。批評とも論文とも、コラムともエッセイとも、もちろん感想文とも異なる書評独自の味わいを好む読者は多く、本来であれば、対象とする書物あっての書評であるにも関わらず、優れた書評文にすっかり満足してしまい、書評を読んだ後、書物のことは半ばどうでもよくなる、ということさえしばしば起こる。 本演習では、こうした、身近でありながらも奥深い書評の世界にあらためて足を踏み入れ、書評の持つ様々な機能――顕彰機能、宣伝機能、批判機能、教育機能、交流機能等々を理解するところから始めたい。既知のジャンルや領域から離れたところに存在する未知の書物と出会うことができるのが書評を読む楽しみの一つではあるが、とりあえずは、担当教員がカバーできそうな文芸、思想、社会、歴史、芸術分野の書評を題材として取り上げ、書評の分析を行ったうえで、履修者からも（教員がカバーできそうにない分野を含めて）題材となる書評を募り、レビューやディスカッションを行いながら書評への理解をさらに深めていく。 授業の後半では、履修者に実際に書評の執筆を行ってもらいたい。演習形式の授業として、模擬的に掲載媒体を想定し字数を設定したうえで書評を執筆し、授業中に発表する機会を多く持つことで、最終的に、実践的な書評力を身につけることが到達目標となるだろう。言うまでもなく、書評力を高めるためには、その前提となる読書力を十分に養い、自身の考えや主張を明快に提示するプレゼンテーション能力をあわせて向上させていくことが求められる。よく書くためにはよく読むことが必要なのと同じように、よく読むためにはよく書く経験を積む必要がある、とも言えるだろう。 積極的に優れた書物にふれ、書評を通じて書物の魅力を皆で分かち合いたいと願う書物愛・書評愛に満ちたディープな学生に限らず、とりあえずの教養として書評の世界のことも少しばかりは知っておきたいというライトな学生の受講も歓迎する。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51368	A	中世日本の旅行事情	及川 亘	史料編纂所	火 3	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	日本中世の旅行に関連する古文書・古記録や絵画などの各種史料の読解を通じて、当時の人々の旅行の在り方や習俗、その他物事一般の考え方などを、現代人と比較しながら検討する。併せて史料読解の初歩を学ぶ。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51352	A	地震火山史料を読む	加納 靖之	地震火山史料連携研究機構	火 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

【概要】
東京大学の地震研究所と史料編纂所が連携して設立された地震火山史料連携研究機構では、地震学者と歴史学者が協力して史料の収集・編纂と分析と、地震活動や火山活動の長期的な情報を提供するデータベースの構築を行っている。
この連携研究機構が提供するゼミナールでは、地震や火山噴火に関する歴史史料を読みとく。入門的な素材からスタートし、講義の後半では受講生の興味に応じて選択した史料を読みとく。デジタルアーカイブで公開されている史料を活用し、必要に応じて既刊の地震史料集や刊本も利用する。歴史史料を読みとく作業を通じて、必要な情報を抽出し解釈する方法を学び、また、異分野融合研究の意義や在り方に触れる。
授業は、加納靖之（地震研究所）が分担します。
【目標】
・歴史学や地震学を背景として、地震や火山噴火に関する歴史史料を読みとく
・複数の研究分野からのアプローチでより深く現象を理解できることを知る
・これらの研究のおもしろさや解決すべき課題について考える
【こんな人に来てほしい】
文系理系を問わず、歴史、地球、防災などに関心のある人。また、本や資料を読むのが好きな人、観察や観測をもとに推理するのが好きな人など。
（参考）地震火山史料連携研究機構の概要
地震火山史料連携研究機構は、東京大学の地震研究所と史料編纂所が連携して設立されました。この学際的な研究機構では、歴史学者と地震学者が協力して史料の収集・編纂と分析を実施し、日本における地震活動や火山活動の長期的な情報を提供できる科学的なデータベースを構築しています。このような歴史時代のデータは、地震や火山の危険性の長期的な予測には不可欠です。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51487	A	現代中東基礎講座 II	鈴木 啓之、高橋 英海	地域文化研究専攻	火 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

【授業の目的】
この講義では、現代中東の諸相を横断的に学び、現代社会を理解するための基礎教養を身につけていきます。
【到達目標】
目標① 中東地域で起きた出来事について、具体例を 3 つ以上挙げて説明することができる。
目標② 中東地域での事象を事例として、自らの意見を述べることができる。
目標③ 関連する 3 点以上の言葉を、因果関係で結びつけて整理し、示すことができる。
目標④ 任意のテーマについて、関連するキーワードを 3 点以上用いて論述することができる。
目標⑤ 自らの関心に引きつけて、中東地域の具体的な事象を論じることができる。
目標⑥ 中東地域に関わる任意のテーマに関して、自ら参考文献を調べ、まとめることができる。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51142	A	食文化理論	河崎 妙子	学生の希望によって開設される全学自由研究ゼミナール	火 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

日頃の生活に密着した食文化について学ぶことで、今後一般社会に出た場合、あらゆる食のシーンで自信を持って行動することができる。特に世界に出て活躍することを目指している人は日本の食文化を知っておくことは必要不可欠である。
また、食の知識を身に付けることは自分自身の健康にも繋がることになる。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51367	A	作曲・指揮	伊東 乾	情報学環・学際情報学府	火 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	ピエール・ブーレーズと担当者が体系化した　スペクトラル・コンダクティング　の指揮技法を実習教授する。実習は従来は東京藝術大学在学生、OBOG などのピアノ連弾、弦楽四重奏などを対象アンサンブルとして、プロフェッショナル向けの内容を扱っている。ソルフェージュ、作曲などの基礎にも、状況に応じて触れる。 フランス国立音楽音響研究所、上海音楽学院などと共同で進める、身体運動の AI 解析を含む、進んだ内容も平易に取り扱う予定である。 昨年度までは　「合宿」参加を前提とする　音楽実技のクラスであった。今年度はコロナウイルスパンデミックのため、合宿は不可能であるが、学振「ひらめきときめき」中学高校生のための東京大学白熱音楽教室と同様、遠隔での芸大生などの奏者との「スマートアンサンブル」を工夫する念頭である。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51380	A	考える力を養う／コントラクトブリッジ	浅井 潔	理学部	火 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	本ゼミナールでは、コントラクトブリッジの基礎を初歩から学び、簡単にプレイできる実戦経験を身につける。さらに、判断力、分析力を駆使し、確率を見積って最適なプレイを選ぶ考え方を実践を通じて身に着ける。 コントラクトブリッジは、カード（トランプ）を使用して行う競技であり、チェス、囲碁、将棋と共に頭脳スポーツと呼ばれている。世界中に愛好者がおり、ブリッジの国際組織（WBF＝World Bridge Federation）には１００か国以上が加盟している。担当教員は日本リーグ１部でプレイした経験を持つ上級者である。本授業は公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟の協力を得る。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51343	A	2050 年の地球と人類社会 ――分野横断的なアプローチを通して The Earth and Human Society – Interdisciplinary Perspectives	石井 剛、 FACIUS Michael	東京カレッジ	水 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

本授業は東京大学国際高等研究所東京カレッジの研究テーマ「2050 年の地球と人類社会」に基づいて行われます。デジタル化の衝撃・環境の危機・人文知の将来など、現在の人類社会が直面している重大な課題に取り組むために、受講者が総合的かつ分野横断的な考え方を身に付け発展させることを目標とします。これらの地球規模の課題の解決に、あなたは、東京大学は、そして日本は、一体どのように貢献できるのか、一緒に考えてみましょう。

【学びの目標】

- 日本と人類社会が直面している課題について基礎的な知識と理解を得ること
- 分野横断的な研究の必要性を知り、その特徴を理解すること
- 様々な研究分野のアプローチを用いて諸課題を分析し、自分自身の批判的立場を確立すること
- 地球規模の課題への日本の貢献の可能性について検討し、評価すること

This seminar builds on the theme of “Tokyo College” to enable you to develop an integrated and interdisciplinary perspective on some of the pressing challenges confronting human society: the impact of digitalization, environmental crises, and the future of humanistic knowledge. It encourages you to reflect on the question how you, the University of Tokyo and Japan can contribute to the solution of these global issues.

After successfully completing this course, you will

·have a basic understanding of some of the key challenges faced by Japan and global society
·be aware of the need for interdisciplinary research and its characteristics
·be able to analyze issues from different disciplinary perspectives and develop your own critical standpoint
·be able to debate and evaluate Japan’s potential to contribute to the solution of global issues

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50705	A	ベルカント研究 ゼミナール	夏目 張安	学生の希望によって開設される全学自由研究ゼミナール	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　イタリア、ベルカント唱法の発声と呼吸法を学び、輝きに満ちた広がりのある声と、表現豊かな歌唱力を身につける。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51140	A	国際化を読み解くゼミナール	須田 洋平	学生の希望によって開設される全学自由研究ゼミナール	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

2020 年度の「国際化を読み解くゼミナール」は 2 つのテーマを用意しました。
テーマ 1 With コロナ時代とグローバリゼーション
テーマ 2 国際人道法とロボット兵器
（それぞれのテーマの説明）
テーマ 1 With コロナ時代とグローバリゼーション
グローバリゼーションは，20 世紀後半から進展し，特に 1990 年代から加速しました。しかし，2010 年代半ばから世界各国で自国中心主義が台頭し，グローバリゼーションが曲がり角を迎えたと言われました。
さらに，2020 年には新型コロナウイルスが世界で広がり，国境を超えた経済活動がストップし，グローバリゼーションにもさらなる影響が生じています。
グローバリゼーションがこれらの壁にぶつかったことを受け，With コロナ時代とも言われるこれからの時代においてどのような世界像が求められるのかを探求していきます。
テーマ 2 国際人道法とロボット兵器
武力紛争（戦争）にもルールがあります。そのルールが国際人道法です。国際人道法により，武力紛争で使うことが許される武器や攻撃方法が定められています。
武力紛争において兵士の犠牲を減らす目的でロボットが導入されつつあります。さらに，現在は，人工知能（AI）の発達により，AI を搭載したロボット兵器の開発が進みつつあります。他方，AI を搭載したロボット兵器には，人類が想定していなかった事態を引き起こすリスクもあります。
そこで，国際人道法の基礎を学びつつ，ロボット兵器の規制がどうあるべきかについて議論をしていきます。
また，これらのテーマのいずれかに関連して，日本にある大使館を訪問し，外国における取り組みについて話を伺うことも検討しています。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51347	A	米中関係から学ぶ国際政治	佐橋 亮	東洋文化研究所	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

国際関係論、または国際政治学には様々な側面がある。経済相互依存や軍拡、内戦といった現象から学ぶことも、憲法や国際法からアプローチすることもできれば、歴史を紐解いたり、難民や国際公務員・NGO 関係者のインタビューから学んだりすることも有益だろう。世界に関心をもったのであれば、色々なアプローチから学ぶことを強く勧める。
このゼミでは、あくまでも一つのアプローチとして、今の国際政治がどのように展開しているのか、大国政治、同盟、多国間協力などの視点から学びたい。この数年、熾烈な対立を経験している米中関係は必然的に話題の多くを占めることになる。
テーマを考えるために必要な、歴史的事実と理論を紹介するが、本講義は体系的に理論を学ぶものでも、米中関係全史のようなものでもない。重要なトピックを取り上げて、それを毎回多くの角度から吟味することで、国際政治を分析する視角を養うことが目的である。私の方からの講義の箇所、受講生による事前学習を元にしたディスカッション（英語で Foreign Affairs, The New York Times 等を少なからず読んでもらう）、また個別研究（グループまたは個人）も行う。
このゼミナールが終わった後も、自分の力で、様々な国際政治、経済にかかわる情報を収集、分析できる土台を構築してもらうことが目標となる。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51350	A	古典に親しむ ～大学における教養の 一環として～	玉井 克哉	先端科学技術 研究センター	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

長年にわたって読み継がれ、その価値が認められてきた書物を古典という。これを読むことは、われわれの洞察を扶け、社会への目を開き、人生を豊かにする。そのような古典に親しむための第一歩を進めるきっかけとなることが、この授業の目的である。
近代大学の発祥は、未曾有の国家的危機にあったプロイセンにおいて 1810 年に創立されたベルリン大学である。その構想は 19 世紀を通じて多大の成功を収め、世界各国に影響を与えたが、その一つが、1877 年に設立された帝国大学であった。また、敗戦後の本学が再出発するにあたり、ベルリン大学の実質的な創設者であるヴィルヘルム・フォン・フンボルトの唱えた「教養」の理念に還ることを掲げて設けられたのが、教養学部である。そして、そのフンボルトが導入した形式が「ゼミナール」であり、全学自由研究ゼミナールというのは、それを体現する存在である。この演習は、そのような知的伝統を強く意識しつつ開講される。
このように、大学という制度自体が、近代の知的文脈に連なっている。古代から現代に至るさまざまな知的文脈の源流をなすのが古典であり、その古典に親しむことは、大学生活を有意義にする。この演習は、そのための手ほどきをすることを目的としている。
担当教員が本学に入学したのは 1979 年ごろには読書会というのが盛んで、学生のみで集まって難しい本に取り組むというのが、東大生の伝統文化であった。しかし、あまりに大部な書物に取り組んだり、文脈がわからずに難解なものに挑んだりして、挫折することも多かった。そのような学生諸君の手助けをするというのも、この演習の一つの目的である。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51355	A	国際政治・経済・社会の 変容とメディア	高山 博	文学部	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

グローバル化と情報化が急速に進展する中、世界の構造も日本の社会やシステムも劇的に変貌しつつある。国内外で活躍する人材には、国外の情報を的確に選別・分析し、世界の中における日本の位置や、世界全体の動きを冷静に見通す能力がますます必要とされている。この授業では、国外のメディアから出される情報を検討しながら、現代世界のグローバル化を考察する。変革期を乗り越え、グローバル化した世界でリーダーシップを発揮できる人材となるために必要な知識の獲得と情報分析技術の取得を目指す。
最初の授業で、受講者をヨーロッパ地域、アメリカ地域、アジア・アフリカ地域の三つのグループに分け、毎週各グループから一人ずつ、その担当する地域に関する重要な記事（日本語以外の新聞・雑誌からのもの）の報告と分析を行う。
選考を行うので、氏名、学生証番号、学年、科類、連絡先（メールアドレスなど）とともに、受講希望理由を A4 サイズの紙一枚にまとめ、9 月 28 日 24 時までに私のメールアドレス(tkymh1@l.u-tokyo.ac.jp)に添付ファイルで送付すること。※@の前は数字の 1（いち）、@の後はアルファベットの小文字 l（エル）
※履修人数を 18 名に制限する。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51369	A	英語による数学書の輪講	河東 泰之	数理科学研究科	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

数学的内容について英語で発表できるようになることを目指します.

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51438	A	自然環境と農業農村から考える東アジア研究	永田 淳嗣、原 裕太	教養教育高度化機構	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■ 授業の概要

環境問題・社会問題は，既存の教科や研究領域を大きく越えて相互に複雑に結びついている。そのため，狭い空間範囲や短い時間スケール，狭い研究領域では，対策がうまく進まず，場合によっては決定的な誤りを生む可能性がある。「持続可能な社会」の実現に向けて，自然と人文の諸事象の相互関係を総合的，俯瞰的に捉え，そのなかで守るべきもの，改善すべきものを導出する力が求められている。本授業では，自然環境と人間社会との関係性について，以下の３点から考える。

１）人間社会に与える自然環境の影響
２）自然環境に対する人間社会の影響
３）自然環境の保護・保全に対する人間の役割

事例として，自然環境変動，文化の多様性，自然災害，農村の貧困問題，人の健康，観光開発などを取り上げ，イシュー間の相互関係を見つめ直す。とくに，政治・経済や東洋史の枠組みで扱われることが多い隣国・中国に焦点を当てる。これにより，多様な顔を持つ中国に対する新たな視点の取得を目指す。関連して，地球環境・地域環境の把握に有効な，人工衛星による地球観測の技法や，デジタル地図・統計資料などの扱い方も紹介する。以上を通じて俯瞰的思考力を養う。

講義と並行して，履修学生が関心をもったテーマ・切り口を選び深掘りする自由研究ワークを行い，参加者全員で意見交換することを予定している。当該ワークでは，オンラインでの学術情報の収集，見やすい資料の作成，データ表現などの方法について随時サポートする。作業と議論を通じて，学問分野の隔たりや，社会と学術の壁を取り除くための基礎的なコミュニケーション・スキルの習得を目指す。最後にワークで得られた知見をレポートとして纏める。

■ 到達目標

１．自然環境と農業農村に関する視点から，日本と東アジアの社会，歴史，文化を理解する。
２．中国を事例に，様々な環境問題・社会問題の史的展開と現状を知り，とくに発展途上国・新興国における問題の複雑性について理解する。
３．「持続可能な発展（Sustainable Development）」や「持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals）」，「超学際（Transdisciplinary）」の理念についての理解を深め，自然環境や人間社会に関わる諸要素の知識を用いて各国各地域の環境問題・社会問題に多角的な視点でアプローチできるようになる。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51486	A	East-West Interactions and the Formation of Modern Societies	松原 健太郎	法学部	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

In the first instance, this seminar discusses how East-West interactions took place in the course of modern history, and how specific processes of interaction shaped modern societies. While starting with some of the epistemological problems of how to conceptualise East and West in the first place, and the implications of such concepts, our main focus will be on the formation of East Asian societies and the problems surrounding the integration of these "modernised" societies into the international order, the latter also undergoing significant change in this process. Topics will include: the dichotomies between (what are deemed) universal values on one hand and traditional social institutions on the other; the uneasy relationships between "modernisation" "westernisation" and "colonisation" in these societies; intellectual attempts to categorise and compare different civilisations; and how Myth, Memory and History are manipulated and recycled in such attempts. At a slightly deeper level, we aim to delve into some of the central issues related to how a student (or future graduate of this university) might form her/his intellectual identity as an individual who: a) was educated in a Japanese university, becoming part of Japanese society in the process; but b) wishes to operate in a global context, primarily (for better or for worse) in the English language. In this latter context, it will often fall on that future graduate to explain aspects of Japanese (or perhaps more widely East Asian) cultures and societies, and this will have to be done using a relatively universal language of concepts and categories, originating in European thought. In this seminar we will attempt to understand both the historical experiences of East Asian societies and the implications of the formation and existence of such a language.

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60242	A 2	多文化社会の共創–移民難民第二世代の就職	高橋 史子	教養教育高度化機構	水 6	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

日本社会には、古くからさまざまな民族的・文化的背景を持つ人々が生活してきました。特に、'70 年代からはインドシナ難民、'80 年代からはアジアを中心とするさまざまな国々から来日する人々、'90 年代からはブラジルやペルーなど南米から来日する人々が増え、社会の多民族化、多文化化は増していると言えるでしょう。
なかでも、幼少期に親とともに渡日し、日本の教育を受けて育った子どもや、外国出身の親のもとに日本で生まれた子どものことを、移民・難民第二世代と呼んでいます。
移民・難民第二世代の教育においては、不就学、マジョリティとの学力・進学格差、差別、家庭内言語や文化の継承の難しさ、アイデンティティの確立の難しさなど、さまざまな課題が指摘されていますが（S セメスター「多文化社会と教育―移民の子どもたちをめぐる現状と課題の理解」""Comparative Study of Immigrant Education 参照）、本ゼミでは、彼ら・彼女らの就職活動に注目します。
日本では現在、グローバルに活躍することが期待される「グローバル人材」の育成が産学官の連携のもと目指されており、企業のなかには少子高齢化による人手不足やグローバル化・社会の多様化への対応策として「グローバル人材」の積極採用を行っているところも少なくありません。しかし、移民・難民第二世代については、その民族的・文化的背景の多様性にも関わらず、大学または大学院卒業後の就職がなかなかうまくいかないという現状が報告されています。なぜ、移民・難民第二世代の就職はうまくいかないのでしょうか。この問いの探求から浮かび上がってくる日本社会の現状、グローバル化に対する課題とはどのようなものでしょうか。
本ゼミは、上記の問題関心で進めている大学とマイノリティ支援 NPO による共同研究プロジェクトに基づいて、関連する知識の習得、調査データの分析、ディスカッション、レポート作成のためのフィードバックなどをインテンシブに行います。
グローバリゼーションや社会の多様化、移民・難民、大卒労働市場などのテーマに関心がある学生のほか、社会科学系の研究活動に関心のある学生、NPO などによるマイノリティ支援の活動に関心のある学生などに受講してもらいたいと思います。
＜目的・目標＞
・日本社会の多様化、企業のグローバル化への対応、移民・難民の若者の社会参加について理解を深めます。
・マイノリティの社会参加をテーマに、平等・公正と多様性について理解を深めます。
・さまざまな知識、データを収集し、それらを分析し、問いに対する答えを導くまでの論理的思考力、批判的思考力を磨きます。
・参加者同士のディスカッションや互いの分析に対するフィードバックを通じて、ゼミ生全体での成果を最大化する方法を模索します。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51453	A	難民から学ぶ 「人間の安全保障」	佐藤 安信	「人間の安全保障」プログラム	木 3	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	日本が外交の原則とし、政府開発援助(ODA)の指針ともしている、「人間の安全保障」を理解し、実践するための入門的なセミナー。とりわけ、その中心的な地球規模の課題の１つである、「難民」に焦点を当てる。講師として難民やそれに準じる方々や、その支援者を招き、その体験談から、難民など「人間の安全保障」を脅かされている人々の生活や、その支援の実態を知り、可能な解決と予防について考え、討議する。参加者も、グループで様々な難民や支援団体などについて、調査し、可能ならば、難民や庇護申請者などからの聞き取りをし、提言を含めた発表を行う。英語のみで行う場合もある。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51433	A	「茶わんの湯」から 最新の科学を考える	鹿島 勲	教養教育 高度化機構	木 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	普段は特別に意識しない、なんの変哲もない茶わんと湯であっても、よくよく観察することで様々な系に共通する普遍的な構造や法則および、最新の知見と関係していることが見えてくる。 オムニバス形式で行う本ゼミは、物理学者・寺田寅彦の名随筆「茶碗の湯」を起点とし、その追体験、加えて寺田が文中で言及しなかった器としての茶碗や湯（お茶）に関連する考察・講義を実演を交えながら試みる。寺田寅彦的思考、学際的な研究、独創的な研究、実社会問題の発見や解決と密接に関係しうる研究とはどんなものか問いかける講義もある。あらゆる先入観・偏見から解き放たれ、学問領域を自由に往来し、さまざまな視点・観点から知の獲得と思考のトレーニングをする機会を「茶わんの湯」を通じて提供する。今セメスターは、オンライン授業にて開講する。 【授業ホームページ／最新情報の確認】 → 授業「茶わんの湯」2020A URL：https://bit.ly/30xJ4HB 【Zoom 情報】 URL：未定 ミーティング ID：未定 パスワード：未定 【問い合わせ先】 e-mail：chawan2020a@adves.c.u-tokyo.ac.jp					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51436	A 1	国連とインクルージョン	井筒 節	教養教育高度化機構	木 4	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

（今の所、オンラインで開講予定です）
国連で、193 カ国の首脳によって採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」(2015)。SDGs は、2016 年から 2030 年までの国際の優先事項を定めたもので、「誰一人取り残さない（Leaving no one behind）」こと、すなわち「インクルージョン」をコア概念としている。国連では、女性、子供、移民・難民・国内避難民、先住民・少数民族、障害者、高齢者、LGBTI 等のインクルージョンが重点課題とされている。偏見や差別により周辺化された人々は、身体的・性的暴力や殺人を含む人権侵害、貧困をはじめとする様々な開発上の困難に曝されることが多い。また、国際社会においては、障害、LGBTI、精神保健等、テーマ自体が周辺化されることもある。
2020 年度 A1 タームでは、世界人口の 15%を占める「障害者のインクルージョン」をテーマとする。SDGs では 7 つのターゲットが障害に関する指標を含んでおり、今後の開発・人権を考える上では、障害者のインクルージョンやアクセシビリティーの視点は欠かせない。中でも、精神障害・知的障害は目に見えにくく、スティグマや偏見も強いため、周辺化されやすい。開発途上国では、精神・知的障害者に対する殺人や暴力等が多く見られる他、閉鎖施設等で鎖に繋がれる等、重篤な人権侵害が後をたたない。一方で、4 人に 1 人が精神疾患を経験し、OECD によると精神疾患による経済的コストは GDP の 4%以上である。また、世界銀行と WHO は、精神保健に対する 1 ドルの投資は、3 ドルの利益を生むとしている。
国連では、2006 年に障害者権利条約が採択され、批准国においては精神・知的障害も含む障害者のインクルージョンが法的義務となった他、SDGs や仙台防災枠組でも優先事項に含まれた。しかし、これらの実施をめぐっては、差別的態度を含む社会的障壁、身体拘束や強制入院、重度の障害や認知症を持っている人々の意思決定や社会参加、精神障害者や知的障害者のアクセシビリティーの確保方法等をめぐり、難しい課題が多い。
本講義では、国連機関職員や当事者を含む講師から現場の状況を学びつつ、学生間の討議や調査を行い、障害者の権利をめぐる国際社会の新しい解決策を考える。また、これを通して、国連の実際およびインクルージョンについて学ぶことを目的とする。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51139	A	ボーカロイド音楽論	鮎川 ぱて	学生の希望によって開設される全学自由研究ゼミナール	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

ボカロ P で音楽評論家の鮎川ぱてと申します。本講義は、現代日本の音楽状況の中でもっとも重要な存在感を示す「ボーカロイド（ボカロ）」を用いた音楽群の分析を通して、近年のボカロ流行現象の本質、ひいては音楽自体の本質に迫ろうというものです。
講義では、講師がこれまでも強調してきた「永きにわたった人類による”うたの私有”が終わった」ことのインパクトを考えます。それは同時に、既存の音楽論を振り返り、再検討する機会にもなるでしょう。「アンチ・セクシュアル」というキーワードが、講義のひとつの軸になっていきます。
最初に「シーンの中で人気を博したのが、ラブソング群ではなかった」という事実に注目します。かつて音楽評論家の湯川れい子さんは「人間は、思春期を迎えるとラブソングを求めるようになる生き物なんです」と語りました。果たしてそうでしょうか。ボカロシーンでは、アンチ・ラブソング、とまでは言わないまでも、恋愛などの通念を自明とはしない感性を持った曲が人気を集めました（ex.「ラブという得体の知れないもの」）。人によっては厨二病的とも言うその感性の内と外を、フランスの人文学者ミシェル・フーコーの議論を参照しながら考えていくところから講義はスタートします。
主なアプローチ手法は、記号論、ジェンダー論、精神分析ですが、駒場と言えば、リベラルアーツ。私は、一本学出身者としてこの理念に共感する者です。狭義のアカデミシャンではないゆえに可能なある種の知的蛮勇として、前記の人文科学的手法に留まらない領域横断的な分析を試みてみたいと思っています。
開講にあたって大学から頂戴した前期課程講師用マニュアルには、皆さんに次の 3 つを促すようにと謳われています。「新しい概念の理解」「自発的想起」「創造的思考」。これらの現場的実践が、私の言葉で言えば「知的蛮勇」であり、「批評」です。
ボカロは老若男女、すべての人を受け入れるシーンですが、その上で、やはり主役は、若いみなさんだと思っています。みなさんが当事者として立ち会い、そしていまだ深度のある議論が少ないボカロカルチャーこそは、そのような批評の対象とするに最適です。
初音ミクが発表されて 13 年が経ちました。新しい作家が参入しつづけるこのシーンは衰えることを知りません（本ゼミからもたくさんのボカロ P が誕生しました）。出会いばかりでなく、別れもありました。本学における本講義には、必ず弔わなければいけない作家がいます。
ボカロが好きな人。音楽が好きな人。かつてボカロが好きだった人。どの立場の人も主役です。科類は問いません。「感覚を思考の俎上にあげること」を恐れないあなたの参加をお待ちしています。
＜補記＞
講師は 2017 年より東京大学先端科学技術研究センター人間支援工学分野中邑研究室に協力研究員として所属しています。同研究室は、学校教育がフィットしない非典型的な子どもたちにオルタナティブな教育を提供するプロジェクト「ROCKET」を運営しています。本講義は独立したものですが、「典型的ではないこと」をめぐる思考において同プロジェクトと共鳴しています。このような活動に関心のある学生にも集まってもらえたらと思っています。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51348	A	読み破る政治学 －多読・乱読・精読ゼミ－	牧原 出	先端科学技術研究センター	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

このゼミは当面は教養学部の方針に沿ってオンラインでの開講を基本とします。説明会は第１週（１７：００開始）にオンラインで行いますが、どうしても参加できない、できなかったが受講を希望する学生については、個別に contact@pha.rcast.u-tokyo.ac.jp までご連絡ください。

今年で８年目となるこのゼミでは、多読、乱読、ときに精読を心がけ、古今東西の政治学に関する本を「読み破る」ことを目標にします。毎週１冊本を読んで短いペーパーを書いて全員が事前にそれを読んだ後ゼミが始まります。ゼミでは、いくつかのペーパーを取り上げて、全学生が意見を言う、質問をする、反論をする、といった議論を繰り返します。もちろん人の意見をじっくり聞くことも大事です。教員はできるだけ議事進行に努めますが、ここぞというときには今学生に必要と判断したコメントを出すようにします。学生同士の議論が基本です。そこから何が得られるのでしょうか。もちろん政治と政治学についてよりよい読みを目指して理解を深めることはとりあえずの課題です。しかしそれだけではありません。まずは自分の考えを構築してみましょう。その上で他の学生からの質問で驚いたり考えたりすることで、一冊の本に対する多様な理解があることを知るでしょう。集合知としての本に対する理解というものがあることに気づいてほしいと思います。そこから初めて自分の読みが広がります。このように自分の読みを深め広げることこそが、これから勉学を深めたり、研究に踏み込んだり、自分の人生を生きぬく力を得ることができるのです。ゼミでは、そのためにいろいろな仕掛けを用意しています。著者同席の回や、「私の勧める一冊」という回もあるでしょう。例年恒例だったゼミ終了後のブック・サロン、ブック・トリップ、ラボ・アドヴェンチャーもあ可能な範囲で行うことも考えます。すでの多くの修了生がいますが、冬休みには OB・OG も参加する合宿（オンラインで実施します）を行います。合宿で何をするかは未定ですが、ここ数年、夏合宿は本の集中的な講読、冬合宿は本に関するドキュメンタリーを製作することが課題でした。

※受講人数：あらかじめ制限はしない。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51349	A	ビジネスと法の最前線を探訪する ～最前線の話題を一次資料によって検証する～	玉井 克哉	先端科学技術研究センター	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

現代のビジネスは、激動の中にある。

1991 年以降の約 30 年間、世界経済の基調は「グローバル化」であった。物とサービスの貿易を自由化し、知的財産権の保護水準を斉一化しようとする WTO 協定が 1995 年に発効して以来、製造業のサプライチェーンは全世界に延び、各国の国民経済は「フラット化」し、わずかに残った各国・地域の特色を現地で享受させる観光産業が隆盛となった。「平成」の元号に概ね対応するこの期間、わが国はこの変化によく対応できたとはいえず、その国際的地位は低下を続けた。

昨今、この基調が大きく変わろうとしている。それは、第一次的には、経済成長を続けつつ自由で民主的な統治体制に移行しない中国に対して米国が懸念を強め、グローバル化という長年の潮流を逆転させることも厭わないとの姿勢を明示したためであるが、米国の国際的地位から見て、わが国が無関係でいることはありえない。新聞報道等で「経済安全保障」という術語がしばしば見られるようになったのは、その一つの表れである。いまや、グローバル化に代わって「国境の復活」こそが時代のキーワードだと言っていい。

担当教員（玉井克哉）は知的財産法・行政法を専攻する法学者であるが、この急激な変化を日々感じている。そして、そのかなりの部分は法的な変化として表れ、学問研究の対象である。その際、研究というのは、信頼に足る知識を獲得するための手順のことである。この演習は、社会変化の最前線に関わる種々の現象について、単なる一知半解の情報ではなく、根拠のある知識を得るための手法を体得することを目的とする。

演習という授業形式は、わが帝国大学が範としたベルリン大学（1810 年創立）において、その実質的な創設者だったヴィルヘルム・フォン・フンボルトが始めたものである。彼の専門は古典文献学であり、この演習とはまったく対象が異なるが、学生と教師が、ともに学問共同体に所属するという立場から、一定の文書に書かれた意味を厳密に探求しようとするという点では、手法を共通にしている。なお、フンボルトの唱えた「教養」の理念を自らの理念として戦後に発足したのが教養学部であり、全学自由研究ゼミナールというのは、フンボルトの理念を体現する存在である。この演習は、その伝統を強く意識しつつ開講される。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51359	A	災害復興と法・社会	米村 滋人	法学部	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	日本は世界有数の災害大国であり、地震・津波・火山噴火・台風・集中豪雨等による被害が頻繁に発生している。災害の発生後に問題となるのが、被災者・被災地域の復興である。復興支援は行政（政府や関係自治体）によっても担われるが、近年は、ボランティア活動や各種非営利活動等の民間の支援活動が重要な役割を担っている。この授業では、東日本大震災や熊本地震などの実例を素材として、災害復興の現状と課題を知り、復興に向けた活動の意義やそのあり方を考えることを目的とする。同時に、われわれ自身が有意義な復興支援に従事するためにはどうすれば良いかについても、議論を交わしたい。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51376	A	生命科学の最前線	岡田 由紀	定量生命科学研究所	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	定量生命科学研究所で行われている研究を題材に、その分野の歴史や最新の知見をオムニバス講義形式で紹介する。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51381	A	『世界開発報告』を読む	森川 想	工学部	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	最新版の『世界開発報告』を会読します。講師は開発の専門家ではありませんが、開発を学ぶことは、先進国・途上国を問わず現代社会の課題を見つめることに直結すると考えています。報告そのものや、その根拠となっている文献をクリティカルに読み、議論することで、社会課題解決のために世界各国で行われているプラクティスの可能性と限界や、科学技術（社会科学・自然科学）と公共政策の関係等について考え、見直す機会としていただければ幸いです。 ※本演習は、第 1 週から開始していますが、都度ガイダンスしますので、準備ができた週から参加してください。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51410	A	農学入門： タネ蒔く農学部有志	高橋 伸一郎	農学部	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	本講義は、『農学』とは何か？『農学部』は何を教育・研究しているところか？そんな素朴な疑問を持たれている学生の皆さんと一緒に、農学の観点から地球の未来を考えることを目標としています。 『農学』とは、有限な資源を前提として、人類の安定した生存と心地よい生活に貢献する「実学」です。生物が生息している空間は、すべて農学がカバーすべき学問領域であり、分子、細胞、組織、個体レベルは言うまでもなく生態系、そして地球レベルに至るまでが、研究対象となっています。農学では、自然科学だけではなく、社会・経済学、そして人文科学の手法も動員して、総合科学的に問題を捉える必要があります。 人類は誕生以来，微生物，植物や動物，鉱物など，地球上のあらゆる「もの」を利用して生きてきました。この活動は人類の生活を豊かにすると同時に，経済価値を優先した産業開発が，私たちのかけがえのない地球に大きなダメージを与えてきたことは、皆が認めるところだと思います。この危機に行政的には、生物多様性の観点から「愛知目標」や「科学と政策の統合（IPDES）」、人間活動の観点から「持続可能な開発目標（SDGs）」などが設定されました。人類の衣食住を多方面から支えてきた学問領域『農学』においても，持続可能で環境調和型の科学技術の確立が喫緊の課題となっています。そういう意味では、ヒトを含めた生物の共存共生のため、地球上の生物資源を利用することで起こした問題を俯瞰的に洗い出して，総合科学の力で解決していくことが、「農学」の使命といえます。 この使命達成のため、農学部は多くの専修や専攻、附属施設から構成されています。この講義は、農学部の広報室メンバーの教員を中心に、農学部教員の有志が担当します。本講義では、生物の共存共生に今後我々人類が何をしていくべきかを抽出した後、いろいろな専修・専攻・附属施設の教員が、それぞれの課題の解決法につながるような農学領域の情報を提供し、これを基に出席者が農学を通じて地球のために何ができるかを考え、議論、解決法を提案することを最終ゴールとしています。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51411	A 1	植物はどう生きるか -植物栄養学入門	藤原 徹	農学部	木 5	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	地球上の生態系は植物抜きでは成り立たない。植物の成長には例外なく無機栄養を吸収する必要がある。植物の無機栄養の吸収は植物の生育を促進し人類に恵みをもたらす一方で、物質の移動をもたらし環境に大きな影響を与える。人類の活動がさらにその影響を大きくしている。本講義では植物と栄養の関わりを多様な観点から考え、人類の活動が、植物の持つ特性によって恩恵を受けるとともに、制限もされていることを理解するとともに、それらを踏まえて将来の展望について議論する。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51413	A	農作物を知る	河鰭 実之	農学部	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	普段何気なく食べ，また観賞する農作物はいったいどのようにつくられ，またどのような特徴があるのだろうか．それらの植物としての特徴，伝統的な栽培から最新の技術，生態系との関わり，社会文化との関わりなどを交えながら，文系の学生にもわかりやすく説明する．本セミナーを通して，人類にとって必須の食料・農産物の持続的生産に関する課題，新しい農業への取り組みなどをより具体的に知り，農業問題について身近に感じて考えてもらいたい．						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51441	A	平和のために 東大生ができること	岡田 晃枝	教養教育 高度化機構	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	ソ連崩壊後に誕生した国々の多くはソ連の負の遺産を抱えたままで、それぞれの国内事情や国際環境等に応じた速度と程度で民主化・資本主義化の道を、（前向きであれ後ろ向きであれ）進んでいる。15 か国の道のりは一様でなく、また、平坦ではありえない。 この授業では、新興ドナー国として存在感を高めつつあり、また、ソ連時代の核実験被害を背景に核軍縮分野で国際的なリーダーシップを発揮するカザフスタンをとりあげる。とくに国連の持続可能な開発目標（SDGs）の目標 16 にてらして、カザフスタンの内政および外交を検討する。 ＊この授業は、A2 タームの集中講義として行われる国際研修「平和のために東大生ができること：カザフスタン研修」の事前準備および選抜を兼ねる。カザフスタンへの国際研修に参加したい者は必ず初回ガイダンスに参加し、この授業に履修登録すること。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51364	A	日本の経済戦略と政策が果たす役割 ～政策の最前線で奮闘する現役官僚が語る～	坂田 一郎、芳川 恒志	公共政策大学院	金 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

現在、新型コロナ感染症が医療のみならず私たちの生活や働き方、産業や経済など多方面に大きな影響を与えています。ひるがえって、この感染症が猛威を振るう前には、私たちは、比較的には「豊かで安心できる」社会に生きていると思ってたのではないでしょうか。しかしながら、日本における超少子高齢化、生産年齢人口の減少や財政赤字、グローバルにはエネルギーや温暖化をめぐる問題、米中の対立の先鋭化、中東などにおける民族や宗教の対立をはじめとする世界の不安定化等日本を取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。このような環境下、これまで享受してきた「豊かさ」や「安心」は、もはや自明なものではありません。他方で、AI、バイオテクノロジー、新素材、量子コンピュータなどの新技術は、私たちの社会や生活を大きく変える可能性を秘めています。「豊かさ」や「安心」を持続可能にしながら、「今までなかった価値」を生み出していくためには、社会と経済の「仕組み」を不断に見直し、世界の目まぐるしい変化の最先端に適応し続けることが求められます。

本講義では、このような激動する社会において、政策立案の最前線で日々奮闘している経済産業省、財務省及び金融庁の現役官僚をゲストスピーカーとして招きます。それぞれが担当する政策分野について、①激動する国際社会の動向、②その変化が私たちの社会・経済に与える影響やその変化の意義、③これらを踏まえた日本経済の再生に向けた戦略、④政策が果たす役割を語るとともに質問に答え、また学生の皆さんとディスカッションしていただきます。産業政策、財政政策、金融政策、通商政策、資源エネルギー政策、環境政策など、新型コロナ感染症が政策の様々な分野に及ぼす影響のみならず私たちの社会・経済のあり方に深く関わる政策をテーマとしてとりあげる予定です。

本講義を通じ、以下の３点を身につけていただくことができると考えています。

１）メディアでは時として報道されない、世界規模の構造変化の真の姿

２）学際的な視点から、社会・経済の諸問題を分析すること

３）日本経済の再生戦略と、それを実現するために政策が果たす役割

文系・理系を問わず、次代の日本を担う学生の皆さんの幅広い参加を期待しています。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51141	A	法と社会と人権 －社会の実態を知り， 人権を学び考える－	中川 素充	学生の希望によって開設される全学自由研究ゼミナール	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

当ゼミは，１９９２年度から川人博弁護士が中心になり担当してきた。今学期も川人弁護士の協力を得て，当ゼミの出身者である中川素充弁護士が担当する。笠置裕亮弁護士（当ゼミＯＢ）も協力する。
Ａセメスターのテーマとしては，メディア，司法，国際，マイノリティ，医療福祉などを予定している。
文Ⅰは勿論，文Ⅱ・文Ⅲ・理Ⅰ・理Ⅱ・理Ⅲの学生も歓迎する（例年，文Ⅰ以外の学生も多く参加している）。
人権問題を考えるにあたって大切なことは，社会の実態をよく知ることである。このゼミでは，従前より，普段の授業時間での講義以外にフィールドワークを実施している。事件現場，ＮＧＯ，法律事務所，官公庁，企業，労働組合，裁判所，少年院，刑務所，テレビ局，新聞社，病院などに出向き，様々な当事者，専門家，弁護士，医師，公務員などから話を聞く。様々な職に就いている当ゼミ卒業生との交流も随時行う。
これらのフィールドワーク（主として平日午後６時４０分以降，土日祝日に実施）は，今学期を通じて１５回以上実施予定である。今学期は，新型コロナウイルス感染症対策のため，オンラインを活用したフィールドワークも実施する。いずれかを選択して，計１回以上参加すること。
金曜５限の授業では，１０月～１２月上旬は講義形式を中心にし，１２月～１月はテーマ班ごとに，授業やフィールドワークで学んだことをまとめて，論考を作成してもらうとともに，学生発表を実施する。
※ ガイダンスは９月２５日５限（第１回授業時）におこなう。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51353	A	人文-社会科学のアカデミックフィールドを体験する	石井 剛、 前野 清太朗	学融合プログラム・東アジア教養学	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■目標■ 東アジア藝文書院（EAA）が駒場アクティブラーニングスタジオ（KALS）と共同して開講するこの講義は、前期課程生のみなさん（文科・理科の別を問いません）が、人文-社会科学的な研究をするにあたってのアカデミックな議論の「場」を体験し、専門や立場を異にする人々と対話的な議論を交わせるようになることを目標としています。
■概要■ EAA は「東アジア発のリベラル・アーツ」構築を標榜する本学の国際研究教育プロジェクトです。新しいリベラル・アーツを駒場から発信するために、わたしたちは前期課程生向けに「30 年後の世界」を構想することを呼びかけています。この授業では、皆さんがご自身の未来を切り拓くために欠かせない学問的態度の基礎を実践的に養っていきたいと思います。ここで学問は決してそれぞれの研究者の孤独な営みではありませんし、学会や研究会のような専門のアソシエーションに閉じた営みでもありません。そうではなく、それぞれの生活におけるあらゆる体験がアカデミック・フィールドと相互に作用することによって、ひとりひとりが世界そのものを形成し、豊かにしていく取り組みです。したがってそれは常に異なる誰かとの共同作業であり、それに参与する人それぞれには固有のフィールドが複数あります。学問の場とは、それらのフィールドが交錯しながら、それ自体が多層的なフィールドとしても形成されていく空間なのです。この講義では人文-社会科学的な 6 つのアカデミック・トピックを取り上げ、参加者全員で話題とそれに対する問いを共有し、アカデミック・フィールドの相互性と共同性がどのように形成されていくのかを実践的に会得してもらいます。各トピックについて 2 週をかけて話題提供とディスカッションを行います。
取り上げるアカデミック・トピック： 「大伝統と小伝統」「パブリック・デザイン」「社会の中の貧困」「ポスト植民地主義」「バイナショナリズム」「語り継ぐ／継承する」
人文-社会科学の研究者たちが意見を交わし、異なる立場を共有する交流的学問を体験的に養っていきます。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51354	A	ドイツ語圏文学への誘い	山本 潤	文学部	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

ドイツ語によって書かれた文学作品を紹介し、その抜粋を原語（一部の作品は現代ドイツ語訳）で精読する。この授業はドイツ語圏文学入門としての意味を持ち、ドイツ語で文学作品を鑑賞するための語学能力を養うことを目標とするとともに、様々な時代の作品を取り上げ、ドイツ語圏文学史に関する知見を獲得することを目指す。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51361	A	Molecular Biology of the Cell 輪読ゼミ	尾藤 晴彦	医学部	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	主に駒場の 2 年生を対象とし（1 年生も参加可能）、Molecular Biology of the Cell を英語で読むことで、生命科学を英語で学ぶ習慣を身につけ、さらにその基礎となっている原著論文を読む事が出来るようになる事を目標とする。今年度は Zoom による開講を予定している。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51351	A	ミュオグラフィと諸科学の連携による海域・地下・宇宙におけるテーマ開拓 Looking for new research subjects in the field of marine, underground and planetary sciences in collaboration with muography	田中 宏幸	国際ミュオグラフィ連携研究機構	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	火山、ピラミッド、原発などの透視に成果を上げてきた巨大物体の透視技術「ミュオグラフィ」はこれまで陸域それも地表の観測に限られてきた。本全学自由研究ゼミナールでは、海洋、資源、宇宙惑星理工学分野における専門家が地下、海域、宇宙において既存の観測技術における課題を洗い出す。そしてミュオグラフィを今後どのような価値ある形で海域、地下、宇宙の透視へとつなげていけるのかについて以下の 3 つの観点から集中的に議論する。（1）海洋センシングの分野においては、近年，衛星測位工学を空間中から海底に拡張する技術（GNSS-A），光ファイバで海中・海底情報を収集する技術（海底観測網や DAS）の発達により，高度な海洋・海底情報を収集することができるようになった．しかし，現状の観測技術は時空間的な観測範囲の制約が未だ大きい．より時空間的に連続な海洋情報を取得する方法は 21 世紀の海洋観測工学が推し進めなければならない技術課題である．こういった背景を踏まえ，ミュオグラフィによる海洋観測の新展開の可能性について議論する．（2）石油天然ガス資源の探査ターゲットは、大深度化・複雑化・小規模化へ年々移行しており、技術革新がますます必要な状況である。ミュオグラフィと既存手法である弾性波探査を組み合わせることにより拓かれるパラダイムを紹介するとともに東京湾下に存在する天然ガス探査の可能性について議論する。（3）惑星探査について。更に、大規模ミュオグラフィ画像データの共有や機会学習、上記の諸科学とミュオグラフィとの連携によって得られる横断的知見を研究者同士や研究者と社会との間で最大限に理活用していくために必要な技術的課題についても議論を深める。そのために、これまで東京大学の諸分野と社会との接続に大きな役割を果たして来た総合研究博物館のデジタルアーカイブ技術とミュオグラフィとの連携を実現するための（4）大規模ストレージ開発の歴史と技術について解説する。ストレージの基礎的な仕組みから始まり、RAID(Redundant Arrays of Inexpensive Disks)という技術。google や facebook など、EXA バイト級のビックデータを管理する最近のトレンド、イレージャーコーディングの技術を紹介する。また、今では、インターネットは生活に浸透しているが、そもそも、インターネットはどの様にして動いているのか。リライアブル通信技術、輻輳制御といった基礎技術の紹介と、IoT などの最近のネットワーク技術のトレンドを紹介する。 Muography, the novel imaging technique to visualize gigantic objects such as volcanoes, pyramids, and nuclear reactors, has been restricted to its performance on the ground. In this seminar, the experts in the fields of marine, natural resource and planetary scientists will clarify the restrictions in the current observation techniques, and will extensively discuss the following topics to address how muography can be applied to benefit their fields. (1) In the field of ocean sensing technologies, it is now possible to collect marine and ocean floor information with GNSS-A and DAS. However, the spatiotemporal windows of these techniques are still limited. (2) The target of the oil and natural gas resources are deepened, more complicated, and down-sized, and more technological developments are required. (3) Planetary sciences. Furthermore, in order to realize sharing and machine learning large-sized muographic data, and to utilize the muographic results between researchers and/or researchers and society in the valuable way, (4) large-sized storage and networking technologies will be discussed.						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51356	A	オンライン時代の自然科学塾	福島 孝治	先進科学研究機構	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

世界規模の感染症問題の影響から現在、社会システムは大きな変革を求められており、自然科学研究の現場においても松下村塾さながらに新たな時代を切り開くための人材教育が急務とされている。そして本格的に迎えつつあるオンライン時代は、従来の自然科学の作法を踏襲しつつも自然科学の新たな側面を浮かび上がらせるものと期待される。本自由ゼミでは、オンライン時代における自然科学研究の方法を少人数で構成されたグループワークにより実践し、特に「データをどのように取得し，どのような解析を行い，他者との理解をどのように共有するか？」と言う自然科学の作法をいかにオンライン環境で実現するかに焦点を当て、受講者に新たな時代を切り開くための教養・技術を学ぶ機会を提供する。
ガイダンスは 2020 年 9 月 25 日 12:20-12:55 に，オンラインで行う．ZoomURL は「オンライン授業内容」を参照のこと．

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51357	A	生命の普遍原理に迫る研究体験ゼミ	石原 秀至	生物普遍性研究機構	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件（2014 年度以前入学者）・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。
東京大学生物普遍性連携研究機構（Universal Biology Institute, UBI）に関連する研究室で研究体験型のゼミをおこなう。
過去半世紀にわたる生命科学の進展により、我々は生体内で起こる分子レベルの反応の詳細や、それに関わる分子種についての膨大な知識を集積してきた。一方で、それら分子が総体として織りなす「生きている状態」とは、そもそもどういう状態なのか？そして、そのような状態を特徴付ける法則や原理は何か？このような基本的な問題について、我々人類はまだほとんど理解できていない。この問いは生物学のみに閉じた課題ではなく、現象の記述と理解に必要な数理科学の発展や、新たな実験・計測技術の開発を必須とする。この意味で現代生命科学は科学諸分野のフロンティアを押し広げるとともに、これらを再統合する現場ともなっている。UBI では、生物に共通する普遍的な法則とメカニズムの解明を目指し、従来の生物学の枠を越えて、数理科学、理論物理、分子生物学、生物物理学、進化生物学、有機化学、ナノバイオテクノロジー、細胞イメージングなど、広範な分野の研究者が共同で研究に取り組んでいる。
本ゼミでは、通常の学生実験や授業とは異なる、最先端の科学研究の現場を体験する機会を提供する。履修者は下記のいずれかの研究室に配属し、学問分野の垣根を越えた、分野横断的な科学研究に触れながら、基本的な実験技術やデータ解析手法を学習したり、数理演習や計算機実習を通じて理論研究の基礎を学んだりする。未知の分野にチャレンジし、将来的に自ら新しい分野を開拓していこうと思う意欲的かつ野心的な学生を歓迎する。
担当教員と研究テーマ
【駒場キャンパス】
澤井 哲: 細胞のナビゲーションを、実験的・理論的に理解する
若本 祐一: 細胞表現型ゆらぎと適応・進化の関係を探る実験研究
石原 秀至: 生命現象の数理モデルのシミュレーション
道上 達男: 胚の形態形成に関わる”力”を調べる実験
豊田 太郎: 人工細胞観察デバイスを微細加工技術で創って，人工細胞を実際に観察する
小林 徹也: 細胞複製過程の熱力学を考える(駒場 II キャンパス)
市橋 伯一: RNA ゲノムを持つ人工細胞を継代してみて、寄生体が自然発生すること、細胞構造によって防ぐことができることを実験とシミュレーションで体験する
柳澤 実穂: 細胞モデルを用いた生命現象の物理的理解
【本郷キャンパス】
古澤 力: 進化過程の計算機シミュレーションによって何が解るか?
岡田 康志: 顕微鏡を作って生きた細胞を計測する
伊藤 創祐: 情報理論や確率的な熱力学を用いた生命現象の理論研究
最新の情報は以下を参照。http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/UBI/education.html

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51366	A	駒場すずかんゼミナール『学藝饗宴』	鈴木 寛	公共政策大学院	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	爛熟期を迎えた 19 世紀末フランスのサロン、とりわけ詩人マラルメの「火曜会」を範とする本ゼミは、文部科学副大臣も務めた東京大学公共政策大学院教授の鈴木寛（すずかん）主催のもと、『学藝饗宴』と題して学術と藝術を綜合する教養教育を目指すものである。「すずかんゼミ」として四半世紀に亘り開講されてきた歴史を持ち、2017 年度より本題にて開講されて 8 期目となる本ゼミの主な授業内容は、ゼミ生同士の対話および各界の第一線で活躍するゲストを講師に招き行うセッションである。過去にお招きした講師の方々については、是非下記の Facebook ページにて確認してほしい。2020 年度 S セメスターでは《ノマドロジー》と《罪》というテーマを始点として、自分と、自身の細部や周囲を揺蕩うものとの距離を見つめながら、ときにそれらを攪拌し、ときにテーマへと回帰することによって、異なる何かへと変化することを試みた。今年度 A セメスターのテーマは《ドラマトゥルギー》と《残響》である。「現実と虚構が交錯した舞台における実践的創造を通じて関係性を組織し発展させること」と「次々と零れ落ちてゆく音の生成から消失への境目のない過程にたえず耳を澄ますこと」という両概念の吟味を幕開きとする今秋の舞台は、自然科学、人文科学、社会科学とさまざまな知を横断し、深化と跳躍を幾度も展開するものになるだろう。そこで求められる身振りは、特定の問題についての答えを得ようとすることではない。むしろ本ゼミでは、関心のある領域をそれぞれが見出し、頭から離れなくなるような問いを生み出すことが求められる。問いに際して、論理や経験から答えを導こうとするだけではなく、個々人が自らの真善美を追求し、感性を磨きあげることに重きをおく。分からないものの分からなさに好奇心を抱き、それを自らの血肉としてゆっくりと結実させようと試みるような学生を歓迎する。※本講義は集中講義形式の授業であるが、履修者・OB/OG・オムニバス講師等が主体的に開催する毎週のサブゼミが火曜日 19〜21 時に行われる。集中講義も基本的に同時間帯である。※選考をガイダンス時に行い、受講者を若干名に限定する。 ※過去の選考課題、その他の詳細は Facebook ページ（https://www.facebook.com/MinervaKomaba/）を参照すること。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51387	A	ロボティック医療システム	光石 衛	工学部	集中	1	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要	【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。 手術ロボットによって，（1）臓器や骨格の裏側や内部などの医師が通常では見ることができない部位を見ることができるようになる．また，（2）医師が通常手では困難な狭い領域や臓器の裏側の手術，微細な手術，高精度な手術が可能となる．さらに，（3）遠隔地での診断や手術も可能となる． 本ゼミナールでは，当該研究室で開発されている世界最先端の深部脳神経外科超微細手術支援システム，眼科手術支援システム，最小侵襲人工膝関節置換術支援システム，遠隔低侵襲手術支援システム，集束超音波を用いた非侵襲結石破壊システムなどを実際に操作する．次に，ものづくり技術・知識，コンピュータ・ネットワークなどの情報学の知識，医学的知識を駆使して実現する手術ロボットはどのようにして構築されるのか，その入門を学ぶ. 第 1 回（Zoom にて）：ガイダンスと概略説明 第 2 回（本郷：土曜，あるいは，日曜）：手術ロボットの実体験（その 1） 第 3 回（本郷：土曜，あるいは，日曜）：手術ロボットの実体験（その 2），手術ロボットをどのようにして構築するかの基礎の解説 ※受講人数：20 名に制限する。 9 月 25 日（金）6 限の工学部合同ガイダンスでも説明予定 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知予定						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51394	A	ウェアラブル体感型 VR システムを作ってみよう	中川 桂一	工学部	集中	1	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要	布などウェアラブルな基板のうえに電子回路を精密に配線、実装する精密組み立て技術の基礎を学ぶ。さらに、この精密組み立て技術で作ったウェアラブルセンサ、アクチュエータを用いて、振動等をフィードバックする体感型 VR システムの構築を試みる。講義と実習を交えた体験型講義形式で学ぶ. ※このゼミは 9 月 25 日(金)6 限（18：45〜）に Zoom にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。 ※コロナウイルス感染症の情勢により、予定を変更する可能性があります。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51395	A	製品を分解してわかる環境問題	中川 桂一	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

製品を開発する際に、環境への影響を配慮して製品を設計することは今や当たり前のことになりつつある。この講義では、製品使用後にリサイクルを容易にするための「リサイクル性設計」に焦点を当て、実際の製品（液晶テレビを予定）を分解しながら、どのような設計上の工夫がされているのかを観察するとともに、「リサイクル」の仕組みについて学ぶ。
※このゼミは 9 月 25 日(金)6 限（18：45～）に Zoom にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。
※コロナウイルス感染症の情勢により、予定を変更する可能性があります。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51398	A	刺激に応答する機能性材料をつくってみよう	伊藤 喜光	工学部	集中	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

本ゼミナールは工学部の化学・生命系三学科(化学生命工学、応用化学、化学システム工学)の研究室の協力により実施する全学自由研究ゼミナールです。各研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。本ゼミを含む下記の 7 種のゼミは、合同でガイダンス、最終プレゼンテーションを行います。
51398 刺激に応答する機能性材料をつくってみよう
51399 光る分子で抗がん剤候補を見つける
51400 がん細胞と正常細胞の違いを探る
51401 ナノ粒子触媒を使って有機合成化学を体験しよう
51402 コンピューターで蛋白質分子のしくみを調べよう
51403 化学システム工学の研究を体験しよう！
51404 生体を化学システムとして捉えてみよう！
原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4 日間）。1 月に、成果発表会を共同で開催し、他のグループの成果についても聞き、討論を行う予定です。研究現場、プレゼンテーション資料の作成、討論などを体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは 1 年 理科です。本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。
※開講日・具体的内容は、授業計画欄参照。
※このゼミは 9 月 25 日(金)6 限（18：45～）にオンラインで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。
※ 上記工学部合同ガイダンスとは別に、化学生命系の合同ガイダンスを 9 月 30 日（水）6 限（18:45~）にオンラインで行います。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51399	A	光る分子で 抗がん剤候補を見つける	伊藤 喜光	工学部	集中	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

本ゼミナールは工学部の化学・生命系三学科(化学生命工学、応用化学、化学システム工学)の研究室の協力により実施する全学自由研究ゼミナールです。各研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。本ゼミを含む下記の 7 種のゼミは、合同でガイダンス、最終プレゼンテーションを行います。
51398 刺激に応答する機能性材料をつくってみよう
51399 光る分子で抗がん剤候補を見つける
51400 がん細胞と正常細胞の違いを探る
51401 ナノ粒子触媒を使って有機合成化学を体験しよう
51402 コンピューターで蛋白質分子のしくみを調べよう
51403 化学システム工学の研究を体験しよう！
51404 生体を化学システムとして捉えてみよう！
原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4 日間)。1 月に、成果発表会を共同で開催し、他のグループの成果についても聞き、討論を行う予定です。研究現場、プレゼンテーション資料の作成、討論などを体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは 1 年 理科です。本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。
※開講日・具体的内容は、授業計画欄参照。
※このゼミは 9 月 25 日(金)6 限（18：45～）にオンラインで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。
※ 上記工学部合同ガイダンスとは別に、化学生命系の合同ガイダンスを 9 月 30 日（水）6 限（18:45~）にオンラインで行います。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51400	A	がん細胞と正常細胞の 違いを探る	伊藤 喜光	工学部	集中	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

本ゼミナールは工学部の化学・生命系三学科(化学生命工学、応用化学、化学システム工学)の研究室の協力により実施する全学自由研究ゼミナールです。各研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。本ゼミを含む下記の 7 種のゼミは、合同でガイダンス、最終プレゼンテーションを行います。
51398 刺激に応答する機能性材料をつくってみよう
51399 光る分子で抗がん剤候補を見つける
51400 がん細胞と正常細胞の違いを探る
51401 ナノ粒子触媒を使って有機合成化学を体験しよう
51402 コンピューターで蛋白質分子のしくみを調べよう
51403 化学システム工学の研究を体験しよう！
51404 生体を化学システムとして捉えてみよう！
原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4 日間)。1 月に、成果発表会を共同で開催し、他のグループの成果についても聞き、討論を行う予定です。研究現場、プレゼンテーション資料の作成、討論などを体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは 1 年 理科です。本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。
※開講日・具体的内容は、授業計画欄参照。
※このゼミは 9 月 25 日(金)6 限（18：45～）にオンラインで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。
※ 上記工学部合同ガイダンスとは別に、化学生命系の合同ガイダンスを 9 月 30 日（水）6 限（18:45~）にオンラインで行います。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51401	A	ナノ粒子触媒を使って有機合成化学を体験しよう	伊藤 喜光	工学部	集中	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

本ゼミナールは工学部の化学・生命系三学科(化学生命工学、応用化学、化学システム工学)の研究室の協力により実施する全学自由研究ゼミナールです。各研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。本ゼミを含む下記の 7 種のゼミは、合同でガイダンス、最終プレゼンテーションを行います。
51398 刺激に応答する機能性材料をつくってみよう
51399 光る分子で抗がん剤候補を見つける
51400 がん細胞と正常細胞の違いを探る
51401 ナノ粒子触媒を使って有機合成化学を体験しよう
51402 コンピューターで蛋白質分子のしくみを調べよう
51403 化学システム工学の研究を体験しよう！
51404 生体を化学システムとして捉えてみよう！
原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4 日間)。1 月に、成果発表会を共同で開催し、他のグループの成果についても聞き、討論を行う予定です。研究現場、プレゼンテーション資料の作成、討論などを体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは 1 年 理科です。本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。
※開講日・具体的内容は、授業計画欄参照。
※このゼミは 9 月 25 日(金)6 限（18：45～）にオンラインで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。
※ 上記工学部合同ガイダンスとは別に、化学生命系の合同ガイダンスを 9 月 30 日（水）6 限（18:45~）にオンラインで行います。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51402	A	コンピューターで蛋白質分子のしくみを調べよう	伊藤 喜光	工学部	集中	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

本ゼミナールは工学部の化学・生命系三学科(化学生命工学、応用化学、化学システム工学)の研究室の協力により実施する全学自由研究ゼミナールです。各研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。本ゼミを含む下記の 7 種のゼミは、合同でガイダンス、最終プレゼンテーションを行います。
51398 刺激に応答する機能性材料をつくってみよう
51399 光る分子で抗がん剤候補を見つける
51400 がん細胞と正常細胞の違いを探る
51401 ナノ粒子触媒を使って有機合成化学を体験しよう
51402 コンピューターで蛋白質分子のしくみを調べよう
51403 化学システム工学の研究を体験しよう！
51404 生体を化学システムとして捉えてみよう！
原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4 日間)。1 月に、成果発表会を共同で開催し、他のグループの成果についても聞き、討論を行う予定です。研究現場、プレゼンテーション資料の作成、討論などを体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは 1 年 理科です。本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。
※開講日・具体的内容は、授業計画欄参照。
※このゼミは 9 月 25 日(金)6 限（18：45～）にオンラインで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。
※ 上記工学部合同ガイダンスとは別に、化学生命系の合同ガイダンスを 9 月 30 日（水）6 限（18:45~）にオンラインで行います。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51403	A	化学システム工学の研究を体験しよう！	伊藤 喜光	工学部	集中	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

本ゼミナールは工学部の化学・生命系三学科(化学生命工学、応用化学、化学システム工学)の研究室の協力により実施する全学自由研究ゼミナールです。各研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。本ゼミを含む下記の 7 種のゼミは、合同でガイダンス、最終プレゼンテーションを行います。

51398 刺激に応答する機能性材料をつくってみよう
51399 光る分子で抗がん剤候補を見つける
51400 がん細胞と正常細胞の違いを探る
51401 ナノ粒子触媒を使って有機合成化学を体験しよう
51402 コンピューターで蛋白質分子のしくみを調べよう
51403 化学システム工学の研究を体験しよう！
51404 生体を化学システムとして捉えてみよう！

原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4 日間)。1 月に、成果発表会を共同で開催し、他のグループの成果についても聞き、討論を行う予定です。研究現場、プレゼンテーション資料の作成、討論などを体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは 1 年 理科です。本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。

※開講日・具体的内容は、授業計画欄参照。

※このゼミは 9 月 25 日(金)6 限（18：45～）にオンラインで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。

※ 上記工学部合同ガイダンスとは別に、化学生命系の合同ガイダンスを 9 月 30 日（水）6 限（18:45~）にオンラインで行います。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51404	A	生体を化学システムとして捉えてみよう！	伊藤 喜光	工学部	集中	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

本ゼミナールは工学部の化学・生命系三学科(化学生命工学、応用化学、化学システム工学)の研究室の協力により実施する全学自由研究ゼミナールです。各研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。本ゼミを含む下記の 7 種のゼミは、合同でガイダンス、最終プレゼンテーションを行います。

51398 刺激に応答する機能性材料をつくってみよう
51399 光る分子で抗がん剤候補を見つける
51400 がん細胞と正常細胞の違いを探る
51401 ナノ粒子触媒を使って有機合成化学を体験しよう
51402 コンピューターで蛋白質分子のしくみを調べよう
51403 化学システム工学の研究を体験しよう！
51404 生体を化学システムとして捉えてみよう！

原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4 日間)。1 月に、成果発表会を共同で開催し、他のグループの成果についても聞き、討論を行う予定です。研究現場、プレゼンテーション資料の作成、討論などを体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは 1 年 理科です。本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。

※開講日・具体的内容は、授業計画欄参照。

※このゼミは 9 月 25 日(金)6 限（18：45～）にオンラインで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。

※ 上記工学部合同ガイダンスとは別に、化学生命系の合同ガイダンスを 9 月 30 日（水）6 限（18:45~）にオンラインで行います。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51414	A	古典落語から知る 江戸の自然・文化	石橋 整司、 露木 聡	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	古典落語は江戸時代に発展した庶民の娯楽であり、その中で描かれる情景は江戸庶民の生活ぶりや江戸時代の風俗を反映している。いいかえれば、現代の東京の姿からはわからない当時の自然や文化、生活を知ることができる。本ゼミでは、古典落語の中に出てくる江戸の自然や文化に関する描写をきっかけとして当時の江戸庶民が生活していた自然環境や生活の中に息づいていた文化を知ることを目的としている。 10 月 1 日開講 今年度は COVID-19 対策としてすべて回の講義をオンラインで実施する。毎週の講義では、実際の古典落語の内容にまつわるテーマについて担当者が事前に調査を行い発表する形式で講義を進める。霊園行っている学外での集中講義は実施しない。 詳しい講義の進め方、内容等については第 1 回の講義の際に説明する。 ※履修人数制限 18 名						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51416	A	ビーントゥバーチョコレート作り体験から学ぶべきことA1	鴨田 重裕	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

本自由研究ゼミは、従前のゼミと異なる「新型コロナ時代版」にリニューアルしてお届けします。
ビーントゥバーチョコレート作り体験から学ぶべきことA1・ビーントゥバーチョコレート作り体験から学ぶべきことA2をセットで履修するようにしてください。
【注意】チョコレートを作りから学ぶべきことがあると言っても、ぼんやりとチョコレートを作ってみたところで何も学んだことにならないのかもしれません。おそらく、大学生として何を学ぶことができるのかとゼミを通して探ってゆく姿勢が必要になるだと思います。ただチョコレート作り体験をしてそれで終わりというつもりの方には、このゼミは不向きでしょう。
【本ゼミの背景】
南伊豆の樹芸研究所では温泉熱を利用した温室で熱帯産有用植物を育てており、その温室で収穫したカカオを使ってチョコレートを作り市販したのが 2015 年のことです。日本国産カカオによるチョコレートを市販した第一号案件となります。その製造には伊豆に学ぶ熱帯植物編の受講生から有志5名が関わりました。
その取り組みの中で考えたことは、日本初とか関係なく、チョコレート作りのプロセスに参加すること自体に学びを見出すことができるということでした。
これまで、本自由研究ゼミは「伊豆に学ぶ」を下敷きとして、ゼミで考えたことや気付いたことなどを、言語化して他者（例えば伊豆に学ぶ未履修の東大生）に伝えることを軸と活動してきました。
しかし、今年は新型コロナウイルスの影響により、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」を従前通りに実施できません。ですので、今年度は本自由研究ゼミのあり方を大きく変えることにします。
【目標】
今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響から、以前のようなスタイルでの体験ゼミの実施はあきらめざるを得ず、体験ゼミの学びの実現は困難さを増している。
そこで本自由研究ゼミでは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」のチョコレート作りアクティビティを教材としてどのように活用することができるかに焦点を当てて受講生の皆さんと議論を重ねたいと考えています。
本ゼミの目指す目標として、いくつかの項目を挙げておきます。
前提として、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」をオンラインと自宅で実施する体験を組み合わせて実施するとした場合の、体験型教材のアレンジを本自由研究ゼミで行うものとします。
①オンライン型の体験ゼミ教材として、自宅で実施できるようにビーントゥーバーチョコレート作りのアクティビティをアレンジする。
②チョコレート作り体験から何かを引っ張り出してみる。
③引っ張り出したことを何とか言語にして、第三者に伝える体裁を整える
④②の成果を、学園祭企画として発表し、伊豆ゼミ OB/OG を招き討論会を催す。
⑤②③の成果を元に、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」に参加し、自主研修（討論）をリードする。
受講後に達することを期待する変容をいくつか列挙してみましょう。
⑥自主・自律に動けるようになること。
⑦様々な問題を他人ごとにしない気分を身に付けること。
⑧議論することの楽しさを知ること。
⑨学ぶということの本質を見据えて、ゼミ生とともに学ぶ楽しさを知ること。
※受講者数：上限を１０人とする。
※開講場所：弥生キャンパス（日曜日）とオンライン
※弥生キャンパスでの講義：ビーントゥーバーチョコレート作り体験のアクティビティをアレンジする
※オンライン講義：各自パワポを用いてオンラインでプレゼンを行う。学びのポイントについて討論・考察する。
※ガイダンスはオンライン（zoom）で行います。
・参加希望者は izu.seminar（アットマーク@）gmail.com まで、氏名・学籍番号を知らせてください。
・件名を「自由自主のチョコゼミ」としてください。
・それぞれの回に申し込み締め切りを設定しています。遵守願います。
・Zoom の URL はメールでお知らせします。
①９／２９（火） ２０：００～２１：００（締め切り９／２８ １３時）
②１０／３（土） １０：００～１１：００（締め切り１０／２ １８時）
③１０／５（月） ２０：００～２１：００（締め切り１０／４ １８時）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51417	A	ジビエを通して獣害問題と向き合うA1	鴨田 重裕	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

本自由研究ゼミは、従前のゼミと異なる「新型コロナ時代版」にリニューアルしてお届けします。
講義タイトルにはあえて「獣害問題」と書きました。
なぜ、野生動物と人との軋轢が増しているのでしょうか。
「オオカミを絶滅させてしまったからシカやイノシシが増えている。他所から捕食者オオカミを再導入すればこの問題は解決する」
という話を耳にすることがあります。
問題はそれほど単純ではないと思われます。
少なくとも、なぜ日本人はニホンオオカミを絶滅させてしまったのかということにはしっかりと向き合わなくてはならないでしょう。
ニホンオオカミと日本人との間に軋轢があり、その結果としてニホンオオカミを絶滅させることになったのであれば、他所から再導入するオオカミと私たちとの間に軋轢は生じないのかという素朴な疑問が付きまとうでしょう。
「伊豆に学ぶ」シリーズでは、現代人を取り巻く様々な関係が希薄であること、それがために諸処に自分と様々な対象物や対象事象との繋がりに実感が伴わないこと、皆が当事者意識を持てないことが問題をさらに深刻化させていることなど、重要な気付きを得られたと思います。
ゼミ中に得たその「感覚」も、そのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。
本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、「伊豆に学ぶ」とは違った視点得て、発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。
この自由研究ゼミの目標は「獣害問題」の解決策を提案することではありません。
複雑な問題に対して簡単に「解」を出そうとするのではなく、複雑な問題とじっくりと向き合うことを目標とします。
答えが出ないことと向き合うことは、東大生がもっとも不得手とすることかもしれません。
大学入学試験では、正しい解を素早く出すことが求められるので、多くの東大生はその手のことは得意でしょう。
皆さんが社会に出てから向き合うことは、一筋縄では行かないことが多く、最短距離で正解に直行する思考方法はあまり役に立たないかも知れません。
答えが出せない複雑な問題は、うまく避けて通ればよいのでしょうか。
このゼミでは五月祭・駒場祭に「ジビエを通して獣害問題と向き合う」企画を打ち出します。
問題の本質が何であるのかを一緒に考えるきっかけを提供するのがこの企画の狙いです。
※受講人数：１０人
※講義の目標：自主・自律に動けるようになること。様々な問題を他人ごとにしない気分を身に付けること。学園祭企画を立ち上げること。
※講義：オンライン(Zoom)で隔週で１時間程度
※学園祭に展示するポスター制作を一つの目標とする
※ガイダンスはオンライン（zoom）で行います。
・参加希望者は izu.seminar（アットマーク@）gmail.com まで、氏名・学籍番号を知らせてください。
・件名を「自由自主のジビエゼミ」としてください。
・それぞれの回に申し込み締め切りを設定しています。遵守願います。
・Zoom の URL はメールでお知らせします。
①９／３０（水）　２０：００～２１：００（締め切り９／２９　１３時）
②１０／３（土）　１５：００～１６：００（締め切り１０／２　１３時）
③１０／４（日）　１５：００～１６：００（締め切り１０／３　１３時）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51418	Ａ１	伊豆に学ぶプラス２０A1「感じる・考える・行動する」サイクルの発動	鴨田 重裕	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

新型コロナウイルスの影響により、通常の「伊豆に学ぶプラス」講義を展開できずにおります。やむを得ず、S セメスタより講義スタイルを大幅に変形しての実施を試みました。対面講義の方がよいに決まっている、という固定概念を一度捨ててみることに徹してみたところ、見えてきたことがありました。それはこの自由研究ゼミのバックボーンともいえる「伊豆に学ぶ」のコミュニティの活用です。通常の伊豆に学ぶプラスの講義は駒場キャンパスという場所と１～６限という時間を同時に満たさなければ参加できないという制約がありました。(もっとも、この制約が、しっかりと一人一人と向き合いながら議論ができる土壌を生んでいたと捉えることもできます)

オンラインで実施することを検討してみると、その制約から解き放たれるということに気づきました。真っ先に思ったのは、既に社会人となって活躍されている伊豆ゼミ OB/OG を再び招じ入れて、現役の大学生と交流してもらうというものです。試してみると、２００７年２月の初回ゼミの OB から今年社会人になったばかりの OG など、多くのゼミ卒業生がこの取り組みに興味をもって参集くださり、「伊豆に学ぶ」ゼミでの体験について議論してもらうことができました。

本自由研究ゼミの受講対象は全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」シリーズの既修者とし、既習のゼミを十二分に振り返ることを目的とします。よい振り返りを行うために、いろいろな価値観・視点からの他の参加者の振り返りに触れることが肝要です。OB/OG の参加は、現役ゼミ生の視点とは異なる、社会人ならではの視点から、伊豆に学ぶシリーズの振り返りに接する機会を与えてくれるものと期待されます。OB/OG は一方的に教育的効果を与えるばかりかというと、決してそうではなく、忘れかけていることを思い出したり、誤解したままになっていたことを訂正したりする機会にもなります。交流が双方に刺激を与えうるという、このオンラインスタイルの可能性も感じられました。

この講義の最大の目標は、伊豆ゼミ運営に関わる学生スタッフの育成と組織化である。学生スタッフとは一ゼミ生でありながら、伊豆ゼミをよく理解するファシリテーターとしてゼミにおいて自律的に活躍してゼミの目指すべき方向性を示す、伊豆ゼミの中核となる存在である。大役と思われるかもしれませんが、大きく成長する機会となりましょう。大役と聞いてちょっと尻込みする皆さんを「育てるのがプラスの講義」ですから、「案ずるより産むが易し」と励ますのも私の役割です。

さて、近年「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」が制定されるなど環境教育の重要性は社会的認知度を増した。実際、「持続可能な社会の実現」というキーワードを意識せずには将来を考えられない状況にある。しかし、環境教育は初等・中等教育において既に「完了」したことになっており、大学生ともなればその手の「環境教育」は卒業済みなのでもう考えることはないといった風になってはいないだろうか。法が謳うように、環境保全活動及び環境教育を自ら進んで行うような流れになっているだろうか。

環境教育が重要だとされるが、その真意はなかなか学生の皆さんには伝わりにくいのではないか。もしかすると伊豆ゼミは、その伝わり難い部分を少しだけでも補えるのではなかろうか。これまでに受けて来た環境教育は、おそらく大学受験ではほとんど役に立たなかったと思われる。受験で役に立たなかったことを、社会に出てからも役に立たないことだと思い込んでいる節はなかろうか。「環境保全の意欲」が低いのは、身につまされる経験がなければ致し方ないことかも知れない。真に社会の役に立つ人材となるために、そんな誤解は早々に解くべきでしょう。

「伊豆に学ぶ」シリーズでは、環境の問題、景観の問題、獣害の問題など身近な森林が抱える様々な問題を意識化するために、現地に足を運び、伊豆半島に特徴的な事象観察を行い、また、実体験を交えて自分の五感で体験学習した。受講者は色々なことを気付ける自分に気付くという思いがけない体験をしたと思う。そもそも学びとは一体何なのだろうかと、少し自問する気分も生じたのではあるまいか。また、同じ体験をしながらも、自分とは違った見方、感じ方で捉える同世代の大きな存在も強く意識したに違いない。 伊豆ゼミは、高い志と低い垣根の両立を目指して丁寧に組み上げ、第一に「感じる」ことを大事にしている。正味 4 日程の短い間に、様々な「つながり」を感じられる仕掛けに仕上げたつもりである。

本講義「伊豆に学ぶプラス」は、伊豆ゼミの果実を確かなものにすることを大きな目標とし、真剣に考え・顧みて、議論することを大切にする。最近の若者を支配する「空気を読む」ことを半ば強要するような雰囲気には、異を唱えたい。同じるばかりに気が行っては、自由にとことん議論して真に和するということがないのではないかと心配になる。和して同ぜず。色々な背景を背負った受講生同士が異なる意見を吐露し合い、むしろ意見が違っても大切に思っている根っこの部分が同じであったり共通性があったりすることに気付くこと、そういう仲間の存在のありがたさを知ることを実現する「場」を本ゼミに具現したい。受講生同士のつながりから、己と社会のつながりをいかに構築していくかを模索し、社会の一員として環境保全に取り組むべきと強く意識できることを期待したい。学生が主体となり、自由に学ぶ「場」を実現すること、それが全ての伊豆に学ぶシリーズに共通する理念であり、伊豆に学ぶプラス生が果たす役割である。総合大学ならではの面白さを追求したいと考えている。

※ガイダンスはオンライン（zoom）で行います。
・参加希望者は izu.seminar（アットマーク@）gmail.com まで、氏名・学籍番号を知らせてください。
・件名を「自由自主のチョコゼミ」としてください。
・それぞれの回に申し込み締め切りを設定しています。遵守願います。
・Zoom の URL はメールでお知らせします。
①９／２６（土） ２０：００～２１：００（締め切り９／２５ １３時）
②１０／３（土） ２０：００～２１：００（締め切り１０／２ １３時）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51429	A	模擬国連で学ぶ国際関係と合意形成Ⅱ	星埜 守之、中村 長史	教養教育高度化機構	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

国際社会で生じる問題は、自然現象ではなく社会現象である以上、一人一人の力によっ てわずかながらでも良くすることもできるし、さらに悪くしてしまうこともあります。履修者の皆さんには、この点を意識し、自分の頭で国際問題の解決策を考えられるようになってほしいと考えています。

そこで、この授業では、「模擬国連会議（Model United Nations）」というアクティブラーニングの手法を用いて、国際問題の解決法を考えます。多様な利害・価値観に配慮することの重要性を理解するには体感してみることが早道ですが、模擬国連会議では、一人一人が米国政府代表や中国政府代表などの担当国になりきって国際問題について話し合います。立場を固定されている点ではディベートと同様です。しかし、 相手を論破することで勝利を目指すディベートと異なり、模擬国連会議では合意形成が目的であるため相手の利害・価値観を尊重したうえでの妥協が重要になります。この点を重視し、授業内では対立の激しい議題・担当国を設定して、 ロールプレイとシミュレーションに取り組みます。

具体的な到達目標は、以下の通りです。

①国際問題をめぐる多様な立場（利害・価値観）を説明できる【レポート 1, 2 で評価】
②国際問題の原因について、国際関係論の概念や事例を用いて説明できる【レポート 1, 2 で評価】
③国際問題の解決における妥協の重要性を説明できる【レポート 1, 2 で評価】
④国際国際問題の解決策について、選択肢を複数挙げて比較衡量したうえで、妥当と考えられるものを説得的に示すことができる【レポート 1, 2 で評価】
⑤国連の資料を自ら調べて国際問題の分析に用いることができる【レポート 1, 2 で評価】
⑥模擬国連会議の教育手法としての特徴を説明できる【レポート 3 で評価】

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51430	A	国際紛争ケースブックをつくろう	星埜 守之、中村 長史	教養教育高度化機構	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

国際社会で生じる問題は、自然現象ではなく社会現象である以上、一人一人の力によっ てわずかながらでも良くすることもできるし、さらに悪くしてしまうこともあります。履修者の皆さんには、この点を意識し、自分の頭で国際問題の解決策を考えられるようになってほしいと考えています。例えば、国際紛争の発生や激化を防ぐには、どうすればよいのでしょうか。

そこで、この授業では、複数の国際紛争（例：旧ユーゴスラビア、ソマリア、ルワンダ、コンゴ、東ティモール、アフガニスタン、イラク、ダルフール、リビア、シリア、コートディボワール）の経緯や構図、原因等について調査し、最終的にケースブックを作成することを目指します。その過程で、ある国際紛争に対する見方は決して一様ではないことに気づき、できる限り客観的に各紛争を捉えるための方法を習得します。

具体的な到達目標は、以下の通りです。

①国際紛争に関する資料・文献を適切に収集できる【成果物で評価】
②国際紛争の経緯を説明できる【成果物で評価】
③国際紛争の構図を説明できる【成果物で評価】
④国際紛争が発生・激化の原因を説明できる【成果物で評価】
⑤国際紛争の発生・激化を防ぐ策について、選択肢を複数挙げて比較衡量したうえで、妥当と考えられるものを説得的に示すことができる【成果物で評価】

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51431	A	働きがいや ジェンダーを考える	星埜 守之、 伊勢坊 綾	教養教育 高度化機構	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

2015 年の国連総会で採択された持続可能な開発目標（SDGs）では 17 の目標が定められていますが、日本は、「5. ジェンダー平等を実現する」の中でも、政治経済活動への女性の参画に課題が多いことが指摘されており、社会としてその達成が求められています。また、「8. 働きがいも経済成長も」は、一億総活躍や働き方改革など「働きがいのある人間らしい仕事」とは何かを働く個人がそれぞれ考えるための大切な目標となっています。これから社会に出ていく学生の皆さんがこれらを自分自身の問題だと認識し、向き合っていくこととなるでしょう。

この授業は、2020 年 S セメスターで開講された「SDGs を学べる授業をつくろう」で扱った「働きがい」や「ジェンダー」の課題についての文献を読み、ディスカッションを行うことを通じて、自分自身の学びを深めることを目指します。

この授業を受講することで、以下の力を身につけることを目標とします

・SDGs で設定されている 17 のゴールのうち「5.ジェンダー平等を実現する」「8.働きがいも経済成長も」について、説明できる

・発表を担当する課題文献の内容を理解し、他者に説明でき、課題文献の論点を明示できる

・異なる意見や考えを持つ他者から学び、自分の意見や考えを発展させることができる

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51435	A	ブランドデザインスタジオ２２「『ヘルシー』をブランドデザインする」	真船 文隆	教養教育 高度化機構	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】この授業に参加するには、履修登録とは別に「説明会への出席」と「エントリーシートの提出」が必要です。授業登録だけでは参加できません。

●プログラムについて

『正解のない問いに、共に挑む』特別教育プログラムです。参加者の皆さんが今後、広く社会一般で活用し得る「共創」の手法を「21 KOMCEE （理想の教育棟）」を舞台に、東京大学×博報堂ブランドデザインのコラボレーションにより学んでもらいます。全回、ワークショップ形式で行われ、現役の広告会社社員、ブランド･コンサルタントがプログラム･デザインおよびファシリテーションを担当します。

本プログラムでは参加者の多様性を重視する目的により、参加学生と一定数の社会人参加者が一緒になってプロジェクトチームを結成し、チームでのアイデア創出を行ってもらうことを予定しています。

【URL】http://www.bdstudio.komex.c.u-tokyo.ac.jp/

今期は、新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み、原則として全回オンライン・ワークショップでの実施を予定しています。

●この授業について

たとえば、ヘルシーなファッション、ヘルシーなサービス、ヘルシーな状況、ヘルシーな未来、…。近年のソーシャル・ネットワーク・サービスでの投稿を見てみると、（おそらく 10 代～20 代の若い世代の方々を中心に）「ヘルシー」という言葉が身体的な健康のことにとどまらず、心理的な状態や人間関係、社会的な状況など、さまざまな文脈で使用されている様子が見てとれます。検索キーワードとしての人気度も、この 15 年の間に 2 倍程度に増加しているようです。(Google Trends において、検索キーワード「ヘルシー」を確認。)

また、いま、新型コロナウイルス感染症の拡大とそれに対して生じた「自粛」や「リモート化」といった行動によって、身体的にも、精神的、社会的にも、「ヘルシー」とはどのようなことなのか、「ヘルシー」であるためには何ができるのかが問われているような気がします。「ニューノーマル」の時代によりいっそう考えられるべきテーマとして、これからますます着目されていくのではないでしょうか。

今回のブランドデザインスタジオは、これからの生活や世界のキーワードとなるかもしれない、「ヘルシー」という言葉をテーマとして取り上げ、「ヘルシー」に関する新しいブランドを創り出すことをゴールに置きます。 参加いただく皆さんには、テクノロジーの進化や社会の変化などの未来を見据え、多様なリサーチや議論を通じて、「ヘルシー」という言葉を多面的に捉え直してもらいます。その後、集めた情報を分析・統合し、未来に向けて生活者が抱える課題や期待する価値を探求し、そこに立脚して新しいアイデアを創出していただきます。「ヘルシー」に関する新たな商品やサービス、空間やイベントなど、アイデアは自由に発想してください。チームで協力し、「ヘルシー」とはどのような概念なのか、それを起点にしてどのような新しいブランドが創りうるのかを世に問うていただきたいと思います。

本授業における最終成果物として、授業終了後に一般公開する形でプレゼンテーションをしていただく予定です。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51437	A	都市生活誌フィールドワーク実習（南京大生とのオンライン・コラボレーション）	白 佐立	教養教育 高度化機構	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】
①本講義は 2021 年 3 月に 1 週間程度、中国・南京大学の学生と共にオンラインで意見交換をしながら、各自が自身の居住地でフィールドワークを実施し、都市生活誌を作成するものである。新型コロナウイルスの感染拡大状況により、学生が外出困難な場合、研修を中止する可能性がある。開講するかどうかは 12 月初頭に決定する予定。開講する場合、12 月初頭に選考課題をアナウンスし、12 月下旬に履修者を確定する。なお、上記の日程では履修確認訂正期間までに履修者選考が完了しないため、履修者が決定次第、教務課で履修登録をする。履修登録期間にあらかじめ履修登録をすることはしないよう注意すること。そして、履修が正式に決まったら、実際に UTAS に履修が登録されているか確認すること。
＊上記の単位履修方法は、履修者確定が履修登録期間よりも後になることによる例外的な措置である。その他の科目の登録は、所定の手続きを遺漏なく行ってください。
②開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

【授業の目標、概要】従来、本講義では、中国・南京大学の学生と共に南京の市街地を歩き、街の人々の生活を観察・考察するためのフィールドワークを実施するものであった。しかし、2020 年の春から、新型コロナウイルスの感染拡大により、海外への渡航・滞在が困難になり、海外でのフィールドワークが実質的に実施不可能となった。さらに、日本国内での移動、人と人との接触も制限されている。こうした環境下において、人々の生活に触れ、人々の考え方や生活に対するリアルな理解、想像力を培うためには、どのような試みが有効であろうか。本講では海外の学生とオンラインで共働するフィールドワークを試みたい。
フィールドワークおよびオンライン・コラボレーションの概要はガイダンスで説明する。履修希望者は 12 月初頭に開催するガイダンスと 1 回の事前オンライン講義に必ず参加すること。
なお、南京大生とは主に日本語と英語でコミュニケーションをとるので、中国語未習得者の参加も歓迎する。積極的にコミュニケーションを取る意欲こそが望まれる。
例年のフィールドワーク内容は LAP ホームページと LAP の公式 FACEBOOK を参照のこと。

＊受講人数： 20 名以内
＊開講場所：オンライン講義
＊開講期間：2021 年 3 月 7 日～21 日（予定）。前半、後半に分け、それぞれ 10 名以内とする予定。事前講義（日時未定）への参加は必須。
＊ガイダンス
日時：2020 年 12 月 2 日（水）12：20～12：50
場所：オンライン授業（URL は LAP の HP で 11 月上旬に公開する）
＊選抜方法：履修希望者は必ずガイダンスに参加し、選考レポートを提出すること。

講義に関する最新情報は LAP ホームページを参照すること。
http://www.lap.c.u-tokyo.ac.jp/ja/

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51440	A	ピアチューター・トレーニング ー学びを支援するしくみとやり方ー	椿本 弥生	教養教育高度化機構	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

この授業は、オンラインで行います。オンデマンド形式（約 12 週間のうちの都合がよい時間帯に個別学習）とリアルタイム形式（12 月 19 日(土)※予定／ 1 日間）の、ブレンド型集中講義です。
この講義のガイダンスは、 9 月 25 日（金）5 限に Zoom で実施します。Zoom URL は「オンライン授業内容」に掲載しています。

■概要

2020 年の S セメスターから、東京大学でもオンライン授業が始まりました。オンライン環境下で、TA（ティーチング・アシスタント）の重要性や、教員・学生からの需要は、対面授業のとき以上に高まっています。TA が受講生の学習を支援することは、高等教育の質を保証し高めるためにとても重要です。学生が学生を教えることには、教える側にも教わる側にもさまざまな学習効果があることが多くの研究で指摘されています。授業で TA として活躍したり、TA に助けられたりした経験から、効果を実感したことがある人も多いことでしょう。
しかしながら、せっかく TA になってもうまく活躍する方法がわからなかったり、授業でどのように TA を活用すればよいかわからなかったりする人もまた多いのではないでしょうか。
この授業は、２つのパートに分かれています。最初の「ナレッジセッション」では、学習者を効果的に支援するための理論や具体的な方法を学びます。次の「スキルセッション」では、ナレッジセッションで学んだことを、実際の教室やオンライン環境で具体的に活用する方法を学びます。
２つのパートを学習することで、うまく教えるだけではなく、うまく教わることもできるようになることでしょう。
教えるための知識と技術や学びの支援に興味がある人の参加をお待ちしています。

■授業の目的

学習支援に関する重要な理論や教育実践方法を、受講生同士で学び合いながら獲得します。これをとおして、学習支援の知識とスキルを高めつづける態度を育成することを目指します。

■到達目標

上記の目的を達成するために、以下の目標を設定します。
・学習支援者に求められる行動を 5 つ以上説明できる
・学習支援に必要な理論や教育実践方法を知ることができる
・事例に理論を応用し、効果的な学習支援の方法を考えることができる
・グループワークに積極的に参加し、仲間の意見を聴き思考を深める重要性や効果を知ることができる
・よりよい学習支援を行うために学び続けることができる

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60227	A 2	実践的サイバーセキュリティ	宮本 大輔	情報基盤センター	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	サイバーセキュリティの基礎を実践的に学ぶ。私たちの社会活動はコンピュータネットワークが形成するサイバー空間に大きく依存している。そのため、サイバー攻撃が社会活動に与える影響は甚大であり、サイバー攻撃に対処する技術、すなわちサイバーセキュリティの確保は重要である。 本ゼミでは、まずサイバー空間の要素であるコンピュータシステム、ネットワークの構成について講義及び演習を通じて学ぶ。その後、コンピュータシステムに起こるインシデントの対応や報告を演習を通じて学ぶ。 本ゼミは、情報セキュリティ教育研究センター(https;//si.u-tokyo.ac.jp)の教育活動として実施するものであり、演習では情報基盤センターの用意する環境も利用する。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60229	A 2	ワンパクなタンパク質を科学する：実習編	高橋 伸一郎	農学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	【注意】この授業は、COVID-19 禍により、対面実習が難しい場合には、開講できな可能性があることを注意してください。 私たちの初年次ゼミナール理科「私たちの身近にあるワンパクなタンパク質を科学する」では、身近にある興味あるタンパク質を選び、性質を調べると同時に、その重要性を体験し、この経験をもとに、一般の人達にそのタンパク質の重要性を納得してもらうツールを作ってきました。本講義は、その続編として、タンパク質やこれをコードする遺伝子を実際に扱ってみて、タンパク質とは何かを実体験することを目標としています。もちろん、私たちの担当した初年次ゼミナール理科の講義を履修していない学生さんの参加も歓迎します。 ※このゼミは 9 月 24 日（木曜日）5 限（16:50～）に行う「農学入門」のガイダンスでの説明を予定しています。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60235	Ａ２	ビーントゥバーチョコレート作り体験から学ぶべきことＡ２	鴨田 重裕	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

本自由研究ゼミは、従前のゼミと異なる「新型コロナ時代版」にリニューアルしてお届けします。
ビーントゥバーチョコレート作り体験から学ぶべきことＡ１・ビーントゥバーチョコレート作り体験から学ぶべきことＡ２をセットで履修するようにしてください。
【注意】チョコレートを作りから学ぶべきことがあると言っても、ぼんやりとチョコレートを作ってみたところで何も学んだことにならないのかもしれません。おそらく、大学生として何を学ぶことができるのかとゼミを通して探ってゆく姿勢が必要になるだと思います。ただチョコレート作り体験をしてそれで終わりというつもりの方には、このゼミは不向きでしょう。
【本ゼミの背景】
南伊豆の樹芸研究所では温泉熱を利用した温室で熱帯産有用植物を育てており、その温室で収穫したカカオを使ってチョコレートを作り市販したのが 2015 年のことです。日本国産カカオによるチョコレートを市販した第一号案件となります。その製造には伊豆に学ぶ熱帯植物編の受講生から有志５名が関わりました。
その取り組みの中で考えたことは、日本初とか関係なく、チョコレート作りのプロセスに参加すること自体に学びを見出すことができるということでした。
これまで、本自由研究ゼミは「伊豆に学ぶ」を下敷きとして、ゼミで考えたことや気付いたことなどを、言語化して他者（例えば伊豆に学ぶ未履修の東大生）に伝えることを軸と活動してきました。
しかし、今年は新型コロナウイルスの影響により、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」を従前通りに実施できません。ですので、今年度は本自由研究ゼミのあり方を大きく変えることにします。
【目標】
今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響から、以前のようなスタイルでの体験ゼミの実施はあきらめざるを得ず、体験ゼミの学びの実現は困難さを増している。
そこで本自由研究ゼミでは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」のチョコレート作りアクティビティを教材としてどのように活用することができるかに焦点を当てて受講生の皆さんと議論を重ねたいと考えています。
本ゼミの目指す目標として、いくつかの項目を挙げておきます。
前提として、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」をオンラインと自宅で実施する体験を組み合わせて実施するとした場合の、体験型教材のアレンジを本自由研究ゼミで行うものとします。
①オンライン型の体験ゼミ教材として、自宅で実施できるようにビーントゥーバーチョコレート作りのアクティビティをアレンジする。
②チョコレート作り体験から何かを引っ張り出してみる。
③引っ張り出したことを何とか言語にして、第三者に伝える体裁を整える
④②の成果を、学園祭企画として発表し、伊豆ゼミ OB/OG を招き討論会を催す。
⑤②③の成果を元に、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」に参加し、自主研修（討論）をリードする。
受講後に達することを期待する変容をいくつか列挙してみましょう。
⑥自主・自律に動けるようになること。
⑦様々な問題を他人ごとにしない気分を身に付けること。
⑧議論することの楽しさを知ること。
⑨学ぶということの本質を見据えて、ゼミ生とともに学ぶ楽しさを知ること。
※受講者数：上限を１０人とする。
※開講場所：弥生キャンパス（日曜日）とオンライン
※弥生キャンパスでの講義：ビーントゥーバーチョコレート作り体験のアクティビティをアレンジする
※オンライン講義：各自パワポを用いてオンラインでプレゼンを行う。学びのポイントについて討論・考察する。
※ガイダンスはオンライン（zoom）で行います。
・参加希望者は izu.seminar（アットマーク@）gmail.com まで、氏名・学籍番号を知らせてください。
・件名を「自由自主のチョコゼミ」としてください。
・それぞれの回に申し込み締め切りを設定しています。遵守願います。
・Zoom の URL はメールでお知らせします。
①９／２９（火） ２０：００～２１：００（締め切り９／２８ １３時）
②１０／３（土） １０：００～１１：００（締め切り１０／２ １８時）
③１０／５（月） ２０：００～２１：００（締め切り１０／４ １８時）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60236	Ａ２	ジビエを通して獣害問題と向き合うＡ２	鴨田 重裕	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

本自由研究ゼミは、従前のゼミと異なる「新型コロナ時代版」にリニューアルしてお届けします。
講義タイトルにはあえて「獣害問題」と書きました。
なぜ、野生動物と人との軋轢が増しているのでしょうか。
「オオカミを絶滅させてしまったからシカやイノシシが増えている。他所から捕食者オオカミを再導入すればこの問題は解決する」
という話を耳にすることがあります。
問題はそれほど単純ではないと思われます。
少なくとも、なぜ日本人はニホンオオカミを絶滅させてしまったのかということにはしっかりと向き合わなくてはならないでしょう。
ニホンオオカミと日本人との間に軋轢があり、その結果としてニホンオオカミを絶滅させることになったのであれば、他所から再導入するオオカミと私たちとの間に軋轢は生じないのかという素朴な疑問が付きまとうでしょう。
「伊豆に学ぶ」シリーズでは、現代人を取り巻く様々な関係が希薄であること、それがために諸処に自分と様々な対象物や対象事象との繋がりに実感が伴わないこと、皆が当事者意識を持てないことが問題をさらに深刻化させていることなど、重要な気付きを得られたと思います。
ゼミ中に得たその「感覚」も、そのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。
本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、「伊豆に学ぶ」とは違った視点得て、発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。
この自由研究ゼミの目標は「獣害問題」の解決策を提案することではありません。
複雑な問題に対して簡単に「解」を出そうとするのではなく、複雑な問題とじっくりと向き合うことを目標とします。
答えが出ないことと向き合うことは、東大生がもっとも不得手とすることかもしれません。
大学入学試験では、正しい解を素早く出すことが求められるので、多くの東大生はその手のことは得意でしょう。
皆さんが社会に出てから向き合うことは、一筋縄では行かないことが多く、最短距離で正解に直行する思考方法はあまり役に立たないかも知れません。
答えが出せない複雑な問題は、うまく避けて通ればよいのでしょうか。
このゼミでは五月祭・駒場祭に「ジビエを通して獣害問題と向き合う」企画を打ち出します。
問題の本質が何であるのかを一緒に考えるきっかけを提供するのがこの企画の狙いです。
※受講人数：１０人
※講義の目標：自主・自律に動けるようになること。様々な問題を他人ごとにしない気分を身に付けること。学園祭企画を立ち上げること。
※講義：オンライン(Zoom)で隔週で１時間程度
※学園祭に展示するポスター制作を一つの目標とする
※ガイダンスはオンライン（zoom）で行います。
・参加希望者は izu.seminar（アットマーク@）gmail.com まで、氏名・学籍番号を知らせてください。
・件名を「自由自主のジビエゼミ」としてください。
・それぞれの回に申し込み締め切りを設定しています。遵守願います。
・Zoom の URL はメールでお知らせします。
①９／３０（水）　２０：００～２１：００（締め切り９／２９　１３時）
②１０／３（土）　１５：００～１６：００（締め切り１０／２　１３時）
③１０／４（日）　１５：００～１６：００（締め切り１０／３　１３時）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60237	Ａ２	伊豆に学ぶプラス２０Ａ２「感じる・考える・行動する」サイクルの発動	鴨田 重裕	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

新型コロナウイルスの影響により、通常の「伊豆に学ぶプラス」講義を展開できずにおります。やむを得ず、S セメスタより講義スタイルを大幅に変形しての実施を試みました。対面講義の方がよいに決まっている、という固定概念を一度捨ててみることに徹してみたところ、見えてきたことがありました。それはこの自由研究ゼミのバックボーンともいえる「伊豆に学ぶ」のコミュニティの活用です。通常の伊豆に学ぶプラスの講義は駒場キャンパスという場所と１～６限という時間を同時に満たさなければ参加できないという制約がありました。（もっとも、この制約が、しっかりと一人一人と向き合いながら議論ができる土壌を生んでいたと捉えることもできます）

オンラインで実施することを検討してみると、その制約から解き放たれるということに気づきました。真っ先に思ったのは、既に社会人となって活躍されている伊豆ゼミ OB/OG を再び招じ入れて、現役の大学生と交流してもらうというものです。試してみると、２００７年２月の初回ゼミの OB から今年社会人になったばかりの OG など、多くのゼミ卒業生がこの取り組みに興味をもって参集くださり、「伊豆に学ぶ」ゼミでの体験について議論してもらうことができました。

本自由研究ゼミの受講対象は全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」シリーズの既修者とし、既習のゼミを十二分に振り返ることを目的とします。よい振り返りを行うために、いろいろな価値観・視点からの他の参加者の振り返りに触れることが肝要です。OB/OG の参加は、現役ゼミ生の視点とは異なる、社会人ならではの視点から、伊豆に学ぶシリーズの振り返りに接する機会を与えてくれるものと期待されます。OB/OG は一方的に教育的効果を与えるばかりかというと、決してそうではなく、忘れかけていることを思い出したり、誤解したままになっていたことを訂正したりする機会にもなります。交流が双方に刺激を与えうるという、このオンラインスタイルの可能性も感じられました。

この講義の最大の目標は、伊豆ゼミ運営に関わる学生スタッフの育成と組織化である。学生スタッフとは一ゼミ生でありながら、伊豆ゼミをよく理解するファシリテーターとしてゼミにおいて自律的に活躍してゼミの目指すべき方向性を示す、伊豆ゼミの中核となる存在である。大役と思われるかもしれませんが、大きく成長する機会となりましょう。大役と聞いてちょっと尻込みする皆さんを「育てるのがプラスの講義」ですから、「案ずるより産むが易し」と励ますのも私の役割です。

さて、近年「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」が制定されるなど環境教育の重要性は社会的認知度を増した。実際、「持続可能な社会の実現」というキーワードを意識せずには将来を考えられない状況にある。しかし、環境教育は初等・中等教育において既に「完了」したことになっており、大学生ともなればその手の「環境教育」は卒業済みなのでもう考えることはないといった風になってはいないだろうか。法が謳うように、環境保全活動及び環境教育を自ら進んで行うような流れになっているだろうか。

環境教育が重要だとされるが、その真意はなかなか学生の皆さんには伝わりにくいのではないか。もしかすると伊豆ゼミは、その伝わり難い部分を少しだけでも補えるのではなかろうか。これまでに受けて来た環境教育は、おそらく大学受験ではほとんど役に立たなかったと思われる。受験で役に立たなかったことを、社会に出てからも役に立たないことだと思い込んでいる節はなかろうか。「環境保全の意欲」が低いのは、身につまされる経験がなければ致し方ないことかも知れない。真に社会の役に立つ人材となるために、そんな誤解は早々に解くべきでしょう。

「伊豆に学ぶ」シリーズでは、環境の問題、景観の問題、獣害の問題など身近な森林が抱える様々な問題を意識化するために、現地に足を運び、伊豆半島に特徴的な事象観察を行い、また、実体験を交えて自分の五感で体験学習した。受講者は色々なことを気付ける自分に気付くという思いがけない体験をしたと思う。そもそも学びとは一体何なのだろうかと、少し自問する気分も生じたのではあるまいか。また、同じ体験をしながらも、自分とは違った見方、感じ方で捉える同世代の大きな存在も強く意識したに違いない。 伊豆ゼミは、高い志と低い垣根の両立を目指して丁寧に組み上げ、第一に「感じる」ことを大事にしている。正味 4 日程の短い間に、様々な「つながり」を感じられる仕掛けに仕上げたつもりである。

本講義「伊豆に学ぶプラス」は、伊豆ゼミの果実を確かなものにすることを大きな目標とし、真剣に考え・顧みて、議論することを大切にする。最近の若者を支配する「空気を読む」ことを半ば強要するような雰囲気には、異を唱えたい。同じるばかりに気が行っては、自由にとことん議論して真に和するということがないのではないかと心配になる。和して同ぜず。色々な背景を背負った受講生同士が異なる意見を吐露し合い、むしろ意見が違っても大切に思っている根っこの部分が同じであったり共通性があったりすることに気付くこと、そういう仲間の存在のありがたさを知ることを実現する「場」を本ゼミに具現したい。受講生同士のつながりから、己と社会のつながりをいかに構築していくかを模索し、社会の一員として環境保全に取り組むべきと強く意識できることを期待したい。学生が主体となり、自由に学ぶ「場」を実現すること、それが全ての伊豆に学ぶシリーズに共通する理念であり、伊豆に学ぶプラス生が果たす役割である。総合大学ならではの面白さを追求したいと考えている。

※ガイダンスはオンライン（zoom）で行います。
・参加希望者は izu.seminar（アットマーク@）gmail.com まで、氏名・学籍番号を知らせてください。
・件名を「自由自主のチョコゼミ」としてください。
・それぞれの回に申し込み締め切りを設定しています。遵守願います。
・Zoom の URL はメールでお知らせします。
①９／２６（土） ２０：００～２１：００（締め切り９／２５ １３時）
②１０／３（土） ２０：００～２１：００（締め切り１０／２ １３時）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60243	A 2	エネルギー基礎論	堤 敦司	教養教育 高度化機構	金 4, 金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

化石エネルギーの大量消費により地球温暖化が進行しており、CO2 排出量を削減し地球温暖化を防止することは最重要課題となっており、CO2 排出量を 1/10 まで低減する必要があると言われている。これには従来の温暖化対策では不十分で、エネルギー消費量そのものを 1/10 にすることが必要と考えられる。

エネルギーは熱力学第一法則で保存されていることはよく理解されている。すなわち、エネルギーは「消費」できないもの、使っても使っても決して減らないもののはずである。しかし、実際は、人類は膨大な化石エネルギーを「消費」しており、地球環境問題などを引き起こしている。この矛盾は、どう理解すれば良いのか？この講義では、まずこの疑問に答えるべく、エクセルギー、アネルギー、エクセルギー破壊、エクセルギー再生、といったエネルギー科学技術の基本理論を学び、現代のエネルギー生産・利用における科学技術を体系的に学習し、その問題点を明らかにしていく。そして、エネルギー消費量を 1/10 にする技術体系の可能性について考察し、持続可能な社会を構築する具体的なエネルギー技術戦略について議論する。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51506	A	国際環境エネルギー経済学概論「エネルギーのベストミックスとは～政策とビジネスの現場から」	瀬川　浩司 松井　英生	教養教育 高度化機構	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

電気・石油・ガスの三大エネルギーは、現代の私たちの生活や産業活動に欠かせないものです。これらは、空気のように当たり前のものとして、我々の身近に存在しています。
しかし、日本は国内でエネルギーをまかなうことは難しく、そのことが強く再認識されたのは、東日本大震災でした。原子力発電に対する厳しい見方と共に、電力不足に対する不安の高まりも見られました。
他方、国際社会に目を向けると、地球温暖化は喫緊の課題であり、「パリ協定」によって日本を含む各国の CO2 排出量抑制に向けた取組が進められようとしています。
こうした中、日本がどのようにエネルギーを選択し確保するか、いわゆる「ベストミックス」をいかに実現するか、国を挙げて議論が行われています。エネルギー問題に適切に対応していくことが、日本の経済社会の発展における最大の鍵と言っても過言ではありません。
そこで、本講義では、経済社会の帰趨を左右する環境・エネルギー問題の実情を説明し、近い将来に経済界、官界、政界、学会、報道機関、などで我が国を支えることになる聴講生の皆さんが、自分なりにエネルギーのベストミックスを考えられるようになることを目的とします。このため、細かい事象やデータを覚えるのではなく、環境・エネルギー問題を巡る大きな流れを理解できるよう解説すると共に、最近のトピックスについて質疑応答や議論を行います。
エネルギー政策の有識者、最前線で取り組んでいる経済産業省若手官僚、国会議員、環境・エネルギービジネスの現場で活躍しているビジネスパーソンなどをゲスト講師として迎え、臨場感のある現場の話と共に、裏話なども披露していただきます。このため、教養学部のみならず、法学部、経済学部、文学部、工学部の学生にとっても有意義であると考えます。
後半では、それまでの講義を踏まえて、聴講生の考える日本のエネルギーのあるべきベストミックスを含め、今後のビジョンについてグループディスカッションを行います。
また、今後のわが国経済社会の発展のために必要とされる人材に求められる課題解決能力の向上を目指して、環境・エネルギー問題のみならず聴講生が直面する様々な課題に関して質疑応答を行います。
特にＡＩの進展が人間の能力を超えるのではないかとの懸念が広がっている状況において、ＡＩに負けないためにはどのような人間になって行くことが求められるかに解説を致します。
最終授業では提出して頂くレポートに関してプレゼンテーションを行います。

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51409	A	Arduino を使って 応用システムを作ろう B	廣瀬 明	工学部	火 6	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

IT の普及と発展により、我々の身の回りには新しい製品やサービスが登場し、時として生活スタイルを大きく変えたり、ビジネスの枠組み自体に大きな影響を与えたりすることがある。購買者や利用者として製品やサービスが提供するメリットを享受することはたやすいが、逆に購買者や利用者を興奮させたり、目を見開かせたりする製品やサービスを創造することは容易ではない。では、購買者や利用者を「これはすごい！」、「これは便利だ」、「これは心地よい」、「これは楽しい」と言わせるモノを創ってみようではないかというのがこのゼミの狙いである。
まずは、「作ってみた」というレベルから開始して、最終的には製品やサービスが果たす「社会的なゴール」を意識したレベルのモノづくりに取り組んで欲しいと考えている。従って、ゼミに参加するにあたっては何にチャレンジしたいのか、具体的な目標を持って臨んでもらいたい。個々のゼミ生の目標に基づき、専門家による指導を受けたり、製造現場を見学に出向いたりしたいと考えている。また、構築した応用システムは、完成後、想定される利用者に試用してもらい、利用者の評価を受ける予定である。さらに、本ゼミでは起業を支援した実績があり、起業にチャレンジしたい学生諸君の参加を大いに歓迎する。
※受講人数： 10 名に制限する。
受講を希望する学生は、廣瀬（ahirose@ee.t.u-tokyo.ac.jp） まで必ず事前にメールで申し込みこむこと。（希望者多数の場合には抽選とする）
※このゼミは 9 月 25 日（金）6 限（18：45～）Zoom にて
行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51391	A	飛行ロボットを 作って飛ばす	土屋 武司	工学部	水 5	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

飛行ロボットとは無人航空機（ドローン）である．室内で飛行する大きさ数 10cm～1m 程度，重量数 100g の飛行ロボットを自ら設計，製作し飛行させることを目標とする．小さくても飛行ロボットには航空工学の要素が詰まっており，講義，実習を通じてこれを理解する．
※このゼミは 9 月 25 日(金)に予定されている工学部合同説明会への参加を予定しています．
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です．

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51383	A	ロボット競技を 体験しよう B	國吉 康夫、 西川 鋭	工学部	水 6	2	1 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

ロボット競技とは，決められたルールに従ってオリジナルのロボットを製作して競わせるものである．ルールを徹底的に分析し，討論して最適戦略と最適マシン仕様を策定し，機械工学，電子工学，情報工学，人工知能を学び，身につけ，協力して最強のマシンを設計・製作・改良・検証する．勝つためには，訴求力あるプレゼン資料の作成や，力を発揮する組織運営，あらゆる事象を想定した危機管理など，文系的能力も不可欠である．
本ゼミでは，これらの総合的取り組みの様々な段階を実体験することで，一つの具体的目標に向けて，全員が徹底的に頭脳を振り絞り，創造力を発揮することで，総合的に人間力を高めることを狙う．
専門的な知識は前提としない．文理問わず興味を持った人に来てもらいたい．
本ゼミは 1 年 S セメスターの A から 2 年 A セメスターの D までで構成される．A に参加した学生には，基礎からの講義および実習を行い，基礎的な知識・技能の習得をまず達成する．その後，次学期以後の当ゼミに参加して発展的内容に取り組むことで学習効果が十分に得られるが，どうするかは本人の自由である．
発展的な内容を体験したい学生や，本格的なロボットの企画設計，製作等の活動を通した「ものづくり」を体験したい場合は，「NHK 学生ロボコン」に参加するチーム「東京大学 RoboTech」の活動への参加も歓迎する．
2020 年度の講義はオンライン実施予定である．現地での実施が可能な場合，実習は集中講義形式をとり，本郷で行う（土曜，日曜，長期休暇中に行う場合がある）．
※関連 HP：https://tuk.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/

※このゼミは 9 月 25 日（金）6 限（18：45～）Zoom にて
行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51384	A	ロボット競技を体験しよう D	國吉 康夫、西川 鋭	工学部	水 6	2	2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

ロボット競技とは，決められたルールに従ってオリジナルのロボットを製作して競わせるものである．ルールを徹底的に分析し，討論して最適戦略と最適マシン仕様を策定し，機械工学，電子工学，情報工学，人工知能を学び，身につけ，協力して最強のマシンを設計・製作・改良・検証する．勝つためには，訴求力あるプレゼン資料の作成や，力を発揮する組織運営，あらゆる事象を想定した危機管理など，文系的能力も不可欠である．
本ゼミでは，これらの総合的取り組みの様々な段階を実体験することで，一つの具体的目標に向けて，全員が徹底的に頭脳を振り絞り，創造力を発揮することで，総合的に人間力を高めることを狙う．
専門的な知識は前提としない．文理問わず興味を持った人に来てもらいたい．
本ゼミは 1 年 S セメスターの A から 2 年 A セメスターの D までで構成される．A に参加した学生には，基礎からの講義および実習を行い，基礎的な知識・技能の習得をまず達成する．その後，次学期以後の当ゼミに参加して発展的内容に取り組むことで学習効果が十分に得られるが，どうするかは本人の自由である．
発展的な内容を体験したい学生や，本格的なロボットの企画設計，製作等の活動を通した「ものづくり」を体験したい場合は，「NHK 学生ロボコン」に参加するチーム「東京大学 RoboTech」の活動への参加も歓迎する．
2020 年度の講義はオンライン実施予定である．現地での実施が可能な場合，実習は集中講義形式をとり，本郷で行う（土曜，日曜，長期休暇中に行う場合がある）．
※関連 HP：https://tuk.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/

※このゼミは 9 月 25 日（金）6 限（18：45～）Zoom にて
行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51443	A	将棋で磨く知性と感性	金子 知適	教養教育高度化機構	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

将棋は千年に亘る歴史を持つ日本の伝統文化である。このセミナーでは日本将棋連盟の全面的協力を得て、講義と対局の両面から将棋文化を学ぶ。
教養学部の方針で今学期の開講はオンライン授業となる可能性が高い。一方、この授業をオンラインで行うことは初めての試みであり、予定通りには進められない可能性も予想される。したがって、このシラバスの記載内容も含めてやむを得ず予定を変更する場合もあり、変更の内容は ITC-LMS の該当コース内に記載する。ガイダンスに出席する前にその記載内容をよく確認し、さらに履修許可を得た場合は毎週 ITC-LMS を確認すること。
第 1 回にガイダンスを行う。履修希望者が多い場合は、第 1 回目のガイダンスの際に書いて提出してもらう作文によって、未経験者を優先して履修者を決定する。
※受講人数：オンライン開講の場合、20 名程度に制限する。 (最大 40 名)
※ガイダンス：初回授業日に行う。
4 名の担当教員のうち，代表教員は金子

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51374	A	電磁気学で使う数学	齋藤 秀司、清野 和彦	数理科学研究科	金 2	2	1 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

理系の 1 年生が A セメスターで学ぶ電磁気学では、物理的な量の関係がベクトル場や微分形式と呼ばれるものの微積分によって表されます。ところが、ベクトル場や微分形式の微積分を数学の授業で学ぶのは 2 年生の S セメスターであり、さらに、その前提となる多変数関数の積分を学ぶのは 1 年生 A セメスターの微分積分学の中盤になるのが普通です。そこで、このゼミナールでは多変数関数の積分とベクトル場や微分形式の微積分について学びます。内容がかなり多いので、数学として何を言っているのかを説明するのが主で、証明はほとんどしない予定です。必要なことは電磁気学の講義でも説明されますし、少し待てば数学の講義でも学ぶ内容ですので、数学が気になって電磁気学の本当の内容に集中できない人や、数学が苦手で見たこともない数学の記号がでてきただけでめまいがして電磁気学どころではなくなってしまう、というような人を念頭において話を進める予定です。
なお、電磁気学の物理学としての内容には一切触れません。電磁気学そのものの理解を深めようというものでないことにくれぐれも注意してください。また、このゼミで扱う数学はすべて電磁気学で使われますが、電磁気学の講義で使われるかどうかはそれぞれの電磁気学の授業の担当教員の考え如何です。その点も心に留めておいて下さい。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51444	A	実験を通して学ぶ科学の考え方	松本 悠	教養教育高度化機構	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

理系の学生は A セメスターから基礎実験が始まります。とても重要な授業ですが、現段階ではとにかく指定された実験をこなすだけで精一杯なのではないでしょうか？
この授業では、いくつかの基礎物理学実験のテーマを改めて取り上げ、とのような観点で実験を進めていくべきであるのか、科学的思考を鍛えるという本質と照らし合わせて検討します。そして、同じ実験機器を独自の実験目的で利用し、基礎実験がどのように研究活動に応用されていくのかを、体験してもらいたいと思っています。
オンライン化も見据え、どのような機材を使えば自宅でも実験ができるか、試行錯誤しながら新たな実験課題を作っていくことも考えています。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51446	A	自由に読み、書き、表現する 3 ―コラムランド 2020A―	椿本 弥生	教養教育高度化機構	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

■概要
文章を読んだり書いたりするのは好きですか？
自分の専門分野以外の文章も、もっと読んだり書いたりしたい。自分が書いたものを誰かに読んでもらいたい。誰かが書いたものを読んでみたい。でも、なかなかそんな機会がない…。このゼミは、その機会を提供します。
このゼミは、全員参加型のゼミです。毎週変わるお題に対して各自が自由に発想をひろげ、作品（コラム）としてまとめて投稿します。ゼミ内では、それらを作者名をふせた状態で読み、グループで話し合って「作者に突撃してみたいコラム」や「他のグループにもオススメしたいコラム」を決定します。最後の最後に、コラムの作者名を公開します。
ゼミタイトルは「コラム」ですが、ここで対象とする文章は何でもありです。詩、散文、論説など、自由に書いてください。
毎週の作品の分量は、A4 用紙 1 枚以内。余白もフォントの種類も指定しません。用紙いっぱいに書く必要もありません（いっぱいに書けばよいものができるわけではないですよね）。グループでの話し合いやコラムの読解では、一般的に文章評価の研究で重視される「文章の内容・構成・表現」という基本的観点は大事にされつつも、それ以外の部分もさまざまに注目されることでしょう。お題について豊かに発想を膨らませて執筆してください。
楽しんで文章を書く、人が書いたものを興味深く読む、多様な視点をもって積極的にディスカッションに参加する。これらが好きな人をお待ちしています。得意か不得意かは問いません。
このゼミが、みなさんの自己表現の練習の舞台になったり、文章を通じて人と繋がる場になったりすることを期待しています。
なお担当教員は、文章評価を自身の専門のひとつとしています。
■目的・目標
上記の概要をふまえて、本授業の目的と目標を以下のように設定します。
＜目的＞
自分と周囲のコラムがよりよいものになるように、建設的な批判的思考をもってコラムの読解・執筆・議論を行うことができる
＜目標＞
・内容、構成、表現のいずれにも気を配って執筆する
・自分以外のコラムや関連文献にも積極的に目をとおす
・作者のためになるコメントを意識して積極的に議論する

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51372	A	じっくり学ぶ数学 II	齋藤 秀司、 牛腸 徹	数理科学 研究科	金 5	2	1 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

数学を学ぶ上で微積分学と線型代数学は最も基本的なものです。そこで、論理的な順番には余りこだわらずに、微積分学や線型代数学における基本的な考え方を順番に取り上げて、何をどう考えているのかとか、何がアイディアなのかということをなるべくはっきりした形で説明してみようと思います。それにより、正規の数学の講義と合わせて、皆さんにより良く微分積分学や線型代数学を身につけていただく助けになればと考えています。
一応、ゼミは講義形式で行おうと考えていますが、時間の余裕のある方には演習問題を解いて頂く時間を取りたいと思っています。また、文系の方でも十分理解していただけるのではないかと思いますので、文系、理系を問わず、興味のある方でしたらどなたでも歓迎します。
※授業登録はできませんが、もう一度、数学をじっくり学び直したいと思われている 2 年生の参加も歓迎します。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51442	A	囲碁で養う考える力	森畑 明昌	教養教育 高度化機構	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

囲碁は，古い歴史を持つ日本の伝統文化であるばかりでなく，国際的にも広く普及し親しまれている頭脳のスポーツである。本ゼミナールでは，囲碁のルールを学び，お互いの実戦を通じて，判断力，分析力，洞察力，集中力などを養う。指導に際しては日本棋院の全面的な協力を得る。 囲碁は初めての人を対象として，基本のルールから教える。
第 1 回にガイダンスを行い，希望者が多い場合は，第 1 回目のガイダンスの際に書いてもらう作文によって，履修者を（未経験者の中から）決定する。
※受講人数：40 名に制限する。
※オンライン講義となった場合、講義に使用する対局ソフトウェアの都合上、Windows PC で受講できるものに限る

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51363	A	映像デザイン実習	松本 文夫	総合研究 博物館	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

映像制作の実習を通して「世界を表現する」体験をすることがこの授業の目標である。20 世紀は映像の世紀であったといわれる。19 世紀以降、写真、映画、テレビ、インターネットが次々と生み出され、視覚情報の生産と流通は劇的に増大した。社会の出来事や物語がおびただしい映像断片に記録され、世界は映像を介して理解される対象になっている。一方、自らカメラを持って「世界をみる」という行為は、現実を観察して写し取ることに始まり、そこに内在する人・モノ・意味などの諸関係を再編成する試みに結びつく。すなわち、映像は記録と保存だけでなく、創出と再生を担うメディアである。映像によって記憶を蓄積し、物語を構築し、時空を横断し、新しい世界の姿を示すことができるだろう。この授業を通して、映像による表現の可能性を実験的に追求してほしい。映像制作の経験は必要としないが、映画・写真・物語・構造・空間・造形などに関心があることが望ましい。
9 月 30 日(水)の 5 時限にオンラインの授業ガイダンスを開催する。履修希望者は 10 月 1 日(木)までに ITC-LMS に小課題を提出すること。履修希望者が予定人数（20 名）を上回るときは、この小課題により履修許可者を選抜する。授業ガイダンスおよび小課題の詳細については、UTAS および ITC-LMS で別途告知する。
※履修人数を 20 名に制限する

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51382	A	全国高校生社会イノベーション選手権 II	小松崎 俊作	工学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

世界的に漂う閉塞感を打ち破るのは，新しい価値を生み出すイノベーションしかありません．世界の人々が賞賛する，日本らしい優れたモノやサービスを次々に生み出してゆくことが日本の生き残る道ではないでしょうか．そのためにはイノベーションを産み出すことのできる人材を育てることが重要です．

中等教育においても，創造性を育てることが新たな教育指導要領に盛り込まれ，イノベーション教育が爆発的に広まろうとしています．そこで私たち（工学部社会基盤学科）は，イノベーション創造に取り組む全国の高校生にとって目標とする大会を創出すべく，2018 年度から全国高校生社会イノベーション選手権（イノチャン）を開始しました．（2019 年の第 2 回大会には全国から 99 チームのエントリーがあり，観音寺第一高校（香川県）が優勝，柏崎翔洋中等教育学校（新潟県）が準優勝となりました．2020 年度の第 3 回大会にも全国から 90 を超えるチームのエントリーがありました．）

この全学体験ゼミナールは，駒場生の皆さんにもイノチャン企画・運営に参加していただき，イノベーションを生み出す作法や楽しさを知っていただくこと，自ら新規事業（イノチャン）を興す体験を一度でも得ていただくことを目的としています．

A セメスターは，第 3 回大会が参加高校生に及ぼした教育的効果の検証，翌年の大会に向けた企画・設計などに注力する予定です．

※9 月 25 日(金)6 限 (18：45～) にオンラインにて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。

※全国高校生社会イノベーション選手権（イノチャン）は，東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻（工学部社会基盤学科）主催事業です．

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51385	A	全日本学生フォーミュラ大会に向けたフォーミュラレーシングカーを作るプロジェクト B	草加 浩平	工学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

本ゼミでは 9 月に開催が予定されている「全日本学生フォーミュラ大会」出場車両の企画から設計、製作、試験、改良の一連のプロジェクトを体験する。フォーミュラレーシングカーを題材とした「ものづくり」の一連の流れを体験し、「ものづくり」の楽しさ、面白さ、難しさを感じ取ると共に、その中で自分のやりたいこと、進むべき道を発見することを目標とする。

車産業が総合産業であると同様、本プロジェクトに要求される内容も単に工学的知識だけでなく、企業との交渉、広報活動、ドライビングなど多岐にわたる。本ゼミ参加メンバー各自がそれぞれに自分の得意とするあるいは興味を持てる好きな分野の仕事を見つけ、進めることで、本プロジェクトはうまく進む。よって本ゼミでは工学部進学希望者に限らず、文科系、理科系すべての学生を対象とする。

※この講義は 9 月 25 日(金)6 限 (18：45～) に ZOOM にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51386	A	全日本学生フォーミュラ大会に向けたフォーミュラレーシングカーを作るプロジェクト D	草加 浩平	工学部	集中	2	2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。
本ゼミでは 9 月に開催が予定されている「全日本学生フォーミュラ大会」出場車両の企画から設計、製作、試験、改良の一連のプロジェクトを体験する。フォーミュラレーシングカーを題材とした「ものづくり」の一連の流れを体験し、「ものづくり」の楽しさ、面白さ、難しさを感じ取ると共に、その中で自分のやりたいこと、進むべき道を発見することを目標とする。
車産業が総合産業であると同様、本プロジェクトに要求される内容も単に工学的知識だけでなく、企業との交渉、広報活動、ドライビングなど多岐にわたる。本ゼミ参加メンバー各自がそれぞれに自分の得意とするあるいは興味を持てる好きな分野の仕事を見つけ、進めることで、本プロジェクトはうまく進む。よって本ゼミでは工学部進学希望者に限らず、文科系、理科系すべての学生を対象とする。
※この講義は 9 月 25 日(金)6 限 (18：45～) に ZOOM にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51397	A	ナノ・バイオテクノロジー：最先端ラボへようこそ	宮田 完二郎	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

最先端の科学技術では，ナノスケールでの物質の構造や特性の制御が欠かせません。これをどうやって実現しているのか，学んでみませんか？
・ナノスケールのとても小さな世界で起こる出来事をどうやって知ることができるのでしょう？
・ナノスケールの材料を操作して組み立てるにはどうすればいいのでしょう？
まさに今，最先端の微細加工や分子レベルでの物質の操作を用いながら，バイオテクノロジーが目覚ましく発展しています。それだけでありません。巨大な構造物の強度を高めたいとき，物質が放つ光を制御して利用したいとき，その決め手となっているのは，ナノテクノロジーなのです。
本体験ゼミナールでは，ナノとバイオに関する 2 つの最先端技術に関するテーマを体験し，そのエッセンスを学びます。
※このゼミは 9 月 25 日(金)6 限（18：45～）にオンライン（Zoom）にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51423	A	秋の奥秩父を巡る	山田 利博、 坂上 大翼、 平尾 聡秀、 浅野 友子	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

森林は多様な生物の生息場所であるとともに、人にとっても水や食物などさまざまな恩恵をもたらす存在です。日本の国土の約 7 割は森林に覆われていますので、森林を知ることは、自然の成り立ちや、人と自然のかかわりを知ることそのものであるといえます。しかし、現代の日常生活では、森林の生命の営みや森林の恵みを経験的に知る機会は決して多くありません。秩父演習林の位置する奥秩父山系は、関東甲信越地方の水源地であり、深い森林と切り立った渓谷が原生的な自然を形作っています。気軽に行ける場所ではありませんが、関東地方で人間の影響の少ない自然に触れることができる数少ない地域です。

本ゼミでは、秩父地方の自然誌や生業に関する事前講義を踏まえ、奥秩父山系の森林生態系の見学を行います。具体的には、標高に伴う森林の推移、森林に対する自然撹乱、樹木の更新、動植物の分布、シカによる植生の衰退、山地森林のもつ水源涵養機能など、森林生態系の動きについて経験を通じて学びます。また、薪炭林としての二次林や放棄された人工林など、過去から現在までの森林利用について学ぶとともに、山村の代表的な食品である蕎麦の収穫から蕎麦打ちまでの工程を体験します。最終的に、手つかずの原生林と、資源利用されてきた二次林・人工林を比較し、森林の成り立ち・山村における人と森林のかかわりについて、自らの体験をもとに考えていただくことを目標とします。本ゼミを通じて、奥秩父の壮麗な自然を味わうとともに、経験的に自然を知るという自然科学の基本的なアプローチを学んでいただくことを期待しています。

※状況によっては不開講となる可能性があります。
※受講人数を 5 名以下に制限します。
※受講希望者は 10 月 1 日のガイダンスに参加して下さい。
※担当教員：山田利博・平尾聡秀・浅野友子・坂上大翼
※このゼミは〇月〇日（木）18 時 40 分～19 時 45 分に〇〇にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51424	A	森のエネルギーを 使いこなす	安村 直樹、 齋藤 暖生、 當山 啓介	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

本講義は森のエネルギーを体感すること、森林管理の観点からその流通・利用（森からエネルギーを取り出して家庭等で使うまで）における問題点について学ぶことの二点を目的とする。

わが国の森には莫大な利用可能エネルギーが眠っている。しかもそのエネルギーは森林の成長に伴って毎年増え続けている。我々は森のエネルギーを薪（まき）や炭、ペレットの形で取り出して採暖や炊事などに利用することができる。

木材の用途は大きく分けて住宅用材などの用材と炭や薪などの燃材に二分できる。一般に先進国では木材消費量に占める燃材の割合は低いが、わが国の燃材割合はここ数年急速に上昇し、欧米先進国の水準（10～16%）と同程度となっている。ただし、わが国の燃材利用は発電用途が中心で欧米先進国とは内容が異なる。森林資源の豊富なわが国には身の回りにおける燃材、すなわち森のエネルギー利用の増大する余地がある。

森のエネルギー利用の増大によって、現在手入れが不足しているとされる里山や人工林の回復も期待される。現時点での、富士および千葉地域での森のエネルギー利用がどのように森林管理に関わっているのか、自身の目で確認してもらいたい。

講義の目的を達するため本講義では伐倒および薪割り、薪や炭を用いた調理・ストーブ・暖炉・風呂を体験する。普段の電気や石油・ガスそしてエアコンを用いた食事・ストーブ・空調・風呂との違いを、五感を働かせて体感する。自らの体を動かして何かを体感したい学生の参加を歓迎する。体験に際して、薪割りの運動量や調理の薪炭消費量、風呂釜燃焼効率などの定量的なデータを出来る限り取得する。これらに加え実際に森のエネルギーを日常的に利用する世帯への聞き取り調査などを通じて、森林管理の観点から森のエネルギーの流通・利用における問題点について学び、考察する。

講義はオンライン講義 3 回と日帰り現地講義 2 回（対面での実施）からなる。講義の定員は作業の安全上ならびに感染防止対策のため 20 名とする。オンライン講義は 20 名が一度に受講する。日帰り現地講義は 10 名ずつグループ A と B に分け、それぞれ別日程で行う（現地講義を 10 月に実施できなかった場合に備え 1 月を予備日とする）。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51445	A	遺伝子工学を通して 生命科学の楽しさを学ぶ	齋藤 晴雄、 田上 遼	教養教育 高度化機構	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 遺伝子工学を通して生命科学の楽しさを学ぶことを目標とします。この授業では、遺伝子工学の技術を用いて、組み換え遺伝子を大腸菌の中でタンパク質として発現させ、そのタンパク質の挙動を調べることになります。生物の中で行われている、遺伝子から mRNA を介してタンパク質が作られている過程（分子生物学のセントラルドグマ）を実際に見ることで、生命の素晴らしさを体験し、生命科学研究の楽しさを体験してください。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60221	A 2	柏キャンパス サイエンスキャンプ I 生研コース （生産技術研究所）	橋本 顕一郎	新領域創成 科学研究科	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 注意：この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。 本科目は、本学柏キャンパスの先端研究部局における「知の冒険の現場」を、ウィンタープログラムとして 4 日間にわたり集中的に体験する「柏キャンパスサイエンスキャンプ（以下、KSC）」(ホームページ：https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp)のひとつであり、将来の研究者としての基礎トレーニングを積むことを目的としています。今年度は COVID-19 の影響もあり、可能な限りオンラインを有効活用しつつ、感染症対策を徹底した上で、KSC 開催時期に東大活動自粛レベルが 0.5 以下である場合には、4 日間のプログラムのうち、1 日ないし 2 日間程度の対面実習を日帰りにて実施する予定です(東大活動自粛レベルが 1 以上であれば完全オンラインに移行します。またプログラムによっては全てオンラインで行われるものもあります)。情報が随時アップデートされますので、上記 URL を参照してください。 KSC では、4 名程度の小グループで行われる研究室体験活動を通じて、柏キャンパスの研究室で実際に最先端の研究を体験します。最終日には研究室体験活動の成果発表会(オンライン形式)を行います。研究テーマは多岐にわたり、世界トップレベルの教員のもと、普段の授業では体験できない「研究者」としての自分を発見する新しい世界へ誘います。また、本科目をサポートする研究室の大学院生や若手研究員、海外研究者との交流を通じて、今後の「研究者という人生」を考える絶好の機会が提供されます。 KSC は開催期間別に I～V まであり、２つまで履修可能です(だたし、日程が重なる I と II を履修することは不可)。各回で１～２コース、各コース内に２～５テーマがあります（下記参照)。きっと皆さんの興味をひくものがあると思います。 ただし履修人数には上限があります。履修希望者は KSC のホームページ https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp にある応募フォームで必ずエントリーして下さい。 エントリー期限 ２０２０年9月３０日（水）１７時 ※9月２５日(金) ６限（１８：４５～) に行われる工学部合同説明会(Zoom オンライン)への参加を予定しています。また、9月２８日(月) ６限(１８：４５～)に KSC2021 のガイダンス(Zoom オンライン)を開催します。 【生研コース（４テーマ)】 エッグレスキュー ～生卵を自由落下衝撃から守る機体設計～ 臼杵 年 教授 全球陸域水循環シミュレータで世界中の洪水を予測してみよう（文系可） 芳村 圭 教授 湖沼・沿岸海域環境の将来予測シミュレーション 北澤 大輔 准教授 身の回りの金属の中をミクロな視点から覗いてみよう（文系可） 井上 純哉 准教授						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60222	A 2	柏キャンパス サイエンスキャンプⅡ 生命コース （新領域創成科学研究科・ 生命科学研究系）	橋本 顕一郎	新領域創成 科学研究科	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

注意：この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

本科目は、本学柏キャンパスの先端研究部局における「知の冒険の現場」を、ウィンタープログラムとして 4 日間にわたり集中的に体験する「柏キャンパスサイエンスキャンプ（以下、KSC）」(ホームページ：https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp)のひとつであり、将来の研究者としての基礎トレーニングを積むことを目的としています。今年度は COVID-19 の影響もあり、可能な限りオンラインを有効活用しつつ、感染症対策を徹底した上で、KSC 開催時期に東大活動自粛レベルが 0.5 以下である場合には、4 日間のプログラムのうち、1 日ないし 2 日間程度の対面実習を日帰りにて実施する予定です(東大活動自粛レベルが 1 以上であれば完全オンラインに移行します。またプログラムによっては全てオンラインで行われるものもあります)。情報が随時アップデートされますので、上記 URL を参照してください。

KSC では、4 名程度の小グループで行われる研究室体験活動を通じて、柏キャンパスの研究室で実際に最先端の研究を体験します。最終日には研究室体験活動の成果発表会(オンライン形式)を行います。研究テーマは多岐にわたり、世界トップレベルの教員のもと、普段の授業では体験できない「研究者」としての自分を発見する新しい世界へ誘います。また、本科目をサポートする研究室の大学院生や若手研究員、海外研究者との交流を通じて、今後の「研究者という人生」を考える絶好の機会が提供されます。

KSC は開催期間別に I～V まであり、２つまで履修可能です(だたし、日程が重なる I と II を履修することは不可)。各回で１～２コース、各コース内に２～５テーマがあります（下記参照)。きっと皆さんの興味をひくものがあると思います。ただし履修人数には上限があります。履修希望者は KSC のホームページ

https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp

にある応募フォームで必ずエントリーして下さい。

エントリー期限 ２０２０年９月３０日（水）１７時

※９月２５日(金) ６限（１８：４５～) に行われる工学部合同説明会(Zoom オンライン)への参加を予定しています。また、９月２８日(月) ６限(１８：４５～)に KSC2021 のガイダンス(Zoom オンライン)を開催します。

【生命コース（４テーマ)】

遺伝子の発現をコントロールするスイッチをつくろう 伊藤 耕一 教授、遠藤 慧 助教

植物ウイルスの増える過程を調べる 鈴木 匡 准教授

スパコンで生命データを解析しよう（文系可） 木立 尚孝 准教授

超音波で野菜がおいしくなるのはなぜ？（文系可） 尾田 正二 准教授

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60223	A 2	柏キャンパス サイエンスキャンプⅢ 物性コース （物性研究所） エネルギーとマテリアル コース （新領域創成科学研究 科・基盤科学研究系）	橋本 顕一郎	新領域創成 科学研究科	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

注意：この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

本科目は、本学柏キャンパスの先端研究部局における「知の冒険の現場」を、ウィンタープログラムとして 4 日間にわたり集中的に体験する「柏キャンパスサイエンスキャンプ（以下、KSC）」(ホームページ：https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp)のひとつであり、将来の研究者としての基礎トレーニングを積むことを目的としています。今年度は COVID-19 の影響もあり、可能な限りオンラインを有効活用しつつ、感染症対策を徹底した上で、KSC 開催時期に東大活動自粛レベルが 0.5 以下である場合には、4 日間のプログラムのうち、1 日ないし 2 日間程度の対面実習を日帰りにて実施する予定です(東大活動自粛レベルが 1 以上であれば完全オンラインに移行します。またプログラムによっては全てオンラインで行われるものもあります)。情報が随時アップデートされますので、上記 URL を参照してください。

KSC では、4 名程度の小グループで行われる研究室体験活動を通じて、柏キャンパスの研究室で実際に最先端の研究を体験します。最終日には研究室体験活動の成果発表会(オンライン形式)を行います。研究テーマは多岐にわたり、世界トップレベルの教員のもと、普段の授業では体験できない「研究者」としての自分を発見する新しい世界へ誘います。また、本科目をサポートする研究室の大学院生や若手研究員、海外研究者との交流を通じて、今後の「研究者という人生」を考える絶好の機会が提供されます。

KSC は開催期間別に I～V まであり、２つまで履修可能です(だたし、日程が重なる I と II を履修することは不可)。各回で１～２コース、各コース内に２～５テーマがあります（下記参照)。きっと皆さんの興味をひくものがあると思います。

ただし履修人数には上限があります。履修希望者は KSC のホームページ
https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp
にある応募フォームで必ずエントリーして下さい。
エントリー期限 ２０２０年９月３０日（水）１７時
※９月２５日(金) ６限（１８：４５～) に行われる工学部合同説明会(Zoom オンライン)への参加を予定しています。また、９月２８日(月) ６限(１８：４５～)に KSC2021 のガイダンス(Zoom オンライン)を開催します。

【物性コース（４テーマ)】
物質の表面：機能と反応の最前線（文系可） 吉信 淳 教授
電気抵抗ゼロ！超電導状態の電子を見よう（文系可） 岡崎 浩三 准教授
スピントロニクス素子をつくろう（文系可） 三輪 真嗣 准教授、坂本 祥哉 助教
シミュレーションによって未来の物質をデザインする（文系可、ただし要相談） 尾崎 泰助 教授

【エネルギーとマテリアルコース（５テーマ)】
”電気を流すポリマー”を光で調べてみよう 岡本博 教授
凍結した線虫を生き返らせる！ 佐々木 裕次 教授、倉持 昌弘 助教
超電導体のマクロな電磁的特性を調べてみよう 大崎 博之 教授
核融合プラズマでの電子加速機構を探る 井 通暁 准教授
惑星大気・プラズマ環境の量子力学観測法入門 吉川 一朗 教授、吉岡 和夫 講師

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60224	Ａ２	柏キャンパスサイエンスキャンプⅣ 宇宙コース（宇宙線研究所）	橋本 顕一郎	新領域創成科学研究科	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

注意：この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

本科目は、本学柏キャンパスの先端研究部局における「知の冒険の現場」を、ウィンタープログラムとして 4 日間にわたり集中的に体験する「柏キャンパスサイエンスキャンプ（以下、KSC）」(ホームページ：https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp)のひとつであり、将来の研究者としての基礎トレーニングを積むことを目的としています。今年度は COVID-19 の影響もあり、可能な限りオンラインを有効活用しつつ、感染症対策を徹底した上で、KSC 開催時期に東大活動自粛レベルが 0.5 以下である場合には、4 日間のプログラムのうち、1 日ないし 2 日間程度の対面実習を日帰りにて実施する予定です(東大活動自粛レベルが 1 以上であれば完全オンラインに移行します。またプログラムによっては全てオンラインで行われるものもあります)。情報が随時アップデートされますので、上記 URL を参照してください。

KSC では、4 名程度の小グループで行われる研究室体験活動を通じて、柏キャンパスの研究室で実際に最先端の研究を体験します。最終日には研究室体験活動の成果発表会(オンライン形式)を行います。研究テーマは多岐にわたり、世界トップレベルの教員のもと、普段の授業では体験できない「研究者」としての自分を発見する新しい世界へ誘います。また、本科目をサポートする研究室の大学院生や若手研究員、海外研究者との交流を通じて、今後の「研究者という人生」を考える絶好の機会が提供されます。

KSC は開催期間別に I～V まであり、２つまで履修可能です(だたし、日程が重なる I と II を履修することは不可)。各回で１～２コース、各コース内に２～５テーマがあります（下記参照）。きっと皆さんの興味をひくものがあると思います。

ただし履修人数には上限があります。履修希望者は KSC のホームページ
https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp
にある応募フォームで必ずエントリーして下さい。

エントリー期限 ２０２０年９月３０日（水）１７時

※９月２５日(金) ６限（１８：４５～）に行われる工学部合同説明会(Zoom オンライン)への参加を予定しています。また、９月２８日(月) ６限(１８：４５～)に KSC2021 のガイダンス(Zoom オンライン)を開催します。

【宇宙コース（２テーマ)】

素粒子論的宇宙論の最前線（柏） 川崎 雅裕 教授

最高エネルギー宇宙線の起源を探る（柏） 塔 隆志 准教授

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60225	Ａ２	柏キャンパス サイエンスキャンプＶ 環境コース （新領域創成科学研究科・環境学研究系） 大気と海洋コース （大気海洋研究所）	橋本 顕一郎	新領域創成科学研究科	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

注意：この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

本科目は、本学柏キャンパスの先端研究部局における「知の冒険の現場」を、ウィンタープログラムとして4日間にわたり集中的に体験する「柏キャンパスサイエンスキャンプ（以下、KSC）」(ホームページ：https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp)のひとつであり、将来の研究者としての基礎トレーニングを積むことを目的としています。今年度はCOVID-19の影響もあり、可能な限りオンラインを有効活用しつつ、感染症対策を徹底した上で、KSC 開催時期に東大活動自粛レベルが0.5 以下である場合には、4日間のプログラムのうち、1日ないし2日間程度の対面実習を日帰りにて実施する予定です(東大活動自粛レベルが 1 以上であれば完全オンラインに移行します。またプログラムによっては全てオンラインで行われるものもあります)。情報が随時アップデートされますので、上記URLを参照してください。

KSC では、4名程度の小グループで行われる研究室体験活動を通じて、柏キャンパスの研究室で実際に最先端の研究を体験します。最終日には研究室体験活動の成果発表会(オンライン形式)を行います。研究テーマは多岐にわたり、世界トップレベルの教員のもと、普段の授業では体験できない「研究者」としての自分を発見する新しい世界へ誘います。また、本科目をサポートする研究室の大学院生や若手研究員、海外研究者との交流を通じて、今後の「研究者という人生」を考える絶好の機会が提供されます。

KSC は開催期間別にI〜Vまであり、２つまで履修可能です(だたし、日程が重なるIとIIを履修することは不可)。各回で１～２コース、各コース内に２～５テーマがあります（下記参照）。きっと皆さんの興味をひくものがあると思います。

ただし履修人数には上限があります。履修希望者はKSCのホームページ
https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp
にある応募フォームで必ずエントリーして下さい。

エントリー期限 ２０２０年9月３０日（水）１７時

※9月２５日(金) ６限（１８：４５～）に行われる工学部合同説明会(Zoomオンライン)への参加を予定しています。また、9月２８日(月) ６限(１８：４５～)にKSC2021のガイダンス(Zoomオンライン)を開催します。

【環境コース（４テーマ)】
作って体感 触覚錯覚 - VR先端技術を実装してみよう!! -（文系可） 割澤 伸一 教授、伴 祐樹 助教
農業に起因した水環境問題について学ぼう（文系可） 吉田 貢士 准教授
北極海の氷縁域を再現しよう ～氷海造波水槽での氷点下実験体験～（文系可） 早稲田 卓爾 教授
未来の水環境インフラを考える（文系可） 佐藤 弘泰 教授

【大気と海洋コース（５テーマ)】
日本周辺海山ハンティング（文系可） 沖野 郷子 教授
観測データから海の変化を探る（文系可） 岡 英太郎 准教授
遺伝子組み換え技術で魚の繁殖メカニズムを理解する 神田 真司 准教授
変わりゆく海洋環境―化学の視点から（文系可） 白井 厚太朗 准教授
数値シミュレーションで台風を再現して調べよう 宮川 知己 准教授

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60230	Ａ２	伊豆に学ぶ__オンラインによる不完全版 伊豆で実施した「竹炭焼き、山、桜、菜の花、温泉など自然と人の繋がりをまなぶ」のエッセンスをひとかけらでもお伝えしたいという思いで作る体験ゼミ	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】オンラインで実施する件。
２０２０年度Ａセメスタは宿泊を伴う主題科目を実施できません。中止にする他ないかと悩みましたが、思いとどまることにしました。
伊豆で行う完全版には遠く及ばないと思いますが、不完全でもいいじゃないか、今できることに前向きに取り組んでみたいと思い、新しいスタイルで本ゼミを企画することにしました。
「伊豆に学ぶ」シリーズは体験ゼミのカテゴリーにありますが、様々な体験をできるアクティビティに参加していただき、次に体験したことについてじっくりと「考える」という構造のゼミとなっています。このように「考える」ことを中心に据えたスタイルであることを大きい特徴としています。
対面して、一緒に体験する・考える時間を過ごしたいところでありますが、この肝心な部分を在宅での体験に置き換えて実施しようという、伊豆ゼミを始めて以来考えたこともなかった新しい形態を模索することになります。伊豆に行かないけれども「伊豆に学ぶ」という講義名を変更しなかったのは、「伊豆に学ぶ」ゼミのコンセプトを変えずに提供したいとの思いを込めてのことです。新型コロナ禍が収まらない中、「対面」(伊豆ゼミではとても重視しています）なしで実施可能なスタイルを探ることにしました。
はじめに
体験ゼミ「伊豆に学ぶ」シリーズは、山のことや自然のことにあまり詳しくない初心者向けの講義です。垣根を低く設定してありますし、分かり易いことと伝わり易いことを心がけて、工夫して組み立てた体験型のゼミですから、知りたいという思いさえあれば、色々なことを学べます。例えば初日に菜の花畑と早咲きの河津桜を見学します。もちろんぼんやり眺めても楽しめる装置であることは間違いありません。あなたが観光客ならば「わー。きれい！ 超ヤバー」とか言っていればいいのかも知れません。でも、ゼミの視点で眺めてみると、そこからも数々の学びや気付きを引き出すことができることに気付きます。そして、ゼミでその様な取り組みをする方が、ずっとおもしろいことに気付くはずです。このように伊豆ゼミでは、受講学生それぞれが感じることと考えることを特に大切にしています。
また、伊豆ゼミでは東大生のまじめな一面を引き出して、一人一人が魅力ある人格として、相互に作用しあったり高めあったりするそういった「場」を提供したいと考えています。東京大学が総合大学であることを満喫していただけるようなゼミを目指します。自分とは背景の異なる人が、何をどの様に捉え、感じ、考えるのかを知ることは、お互いにとても刺激的な体験となります。思いがけないインスピレーションを得ることもあるでしょう。
全ての伊豆に学ぶシリーズに通底する背景
「伊豆に学ぶ」シリーズは、人と自然のつながりや、人と人のつながり、そして現代社会において見えにくい「プロセス」が見えてくる仕掛けであることを基本としています。そのコンセプトは熱帯編でも同じです。チョコレートやプリンが大好きという人は少なくないでしょう。それらの原料が、カカオやバニラという植物由来であることを知っている人も少なくないでしょう。しかし、それらがどういう植物なのか、実物を見たり触ったりしたことがある人はいるでしょうか。実際にカカオを焙煎して、細かく挽いてカカオバターと混ぜて練ったことがある人はいるでしょうか。その製造の過程で、きめ細かい温度制御が求められることを知っている人は果たしているでしょうか。このゼミ中に完成させるカカオを出発材料とする手作りチョコレート（ビーントゥーバー）は、それはそれは価値あるものであることは間違いありません。是非、店で売っている普通に手に入るチョコレートと食べ比べていただきたい。その体験こそが、このゼミでしかお伝えできない事だと言っても過言ではありません。手作りした甲斐あって美味しいのか？をここで言及することは無意味で、それを伊豆に来て実際に確認して欲しいと思っているのです。

本ゼミは農学生命科学研究科附属演習林の樹芸研究所で展開される。樹芸研究所と聞いて「樹芸」ってなんだ？？と思うだろうか。「樹芸」とは樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含する言葉と私たちは定義している。樹芸研究所が開講する一連の体験ゼミは「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶということの原点を見直すことに重きを置いています。「伊豆に学ぶ―熱帯植物編―」は森林・樹木の物質生産機能に重点を置いた体験ゼミで、熱帯植物を使う樹芸体験を用意しています。チョコレートやプリンやバニラアイスなど、私たちの日常生活において在り来たりになっているモノたちに焦点を当て、日頃の生活において見ようともしない・気付こうともしない、見えにくい「プロセス」を探る旅に出ましょう。熱帯まで足を運んでもできないことを、東大生はなんと伊豆で体験デキルのです。
樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島南部は、シイ・カシの常緑広葉樹が優占する森林が多いのですが、かつて人の暮らしに役立てるために植えられた竹林が人の暮らしぶりの変容に従って放置され大きな問題となっています。この問題は、人間の勝手で自然を乱開発して破壊するという種類の問題ではなく、長い年月行ってきた自然への干渉の手を引いて放ったらかすという点に大きな特徴があります。
意識してみるとそういう現象は他にもたくさんあることに気付くでしょう。このゼミナールではその問題の竹林の有効利用の一つとして竹炭生産をとりあげ、竹の伐採、窯詰め、炭焼きの作業を行いながら、これらの問題の本質が何なのかを一緒に考えてみましょう。簡単に「考えてみよう」と書きましたが、考える前にまず感じられる「感性」を研く必要があるかも知れません。本ゼミでは「そこ」の部分が大切です。ただ「炭焼きを体験したことがある東大生」を育てたいわけではないのです。
伊豆ゼミの流れ
竹炭焼きの待ち時間には、樹芸研究所の森林を見てもらいます。近年大きな問題となっている獣害の現場をよく見てもらうこともゼミの重要なポイントです。山をぼんやりと歩いても何が獣害の痕跡なのか分からないかも知れません。まずは、その「分からない状態」を正しく認識することもとても重要だと考えています。モノを見る訓練をしていくとやが

て心の底から「獣害ヤバイ！」と思えるようになるはずです。本ゼミでは、その様に自分が変化していくプロセスを意識的に体験できるような仕掛けがいくつも仕込んであります。
獣害問題を少し自分の問題と捉えることができるようになったところで、原因獣の対処法の一例として、原因獣を野菜などと一緒に竹炭で炙る処分法（BBQ）の実施を計画しています。BBQ の燃料にする竹炭はもちろん自分で焼いた炭です。（本ゼミとは別の体験活動プログラムでは、罠を掛けてイノシシを捕獲することから始め、イノシシの命を奪い、解体・精肉し、最終的にソーセージに加工するまでの全工程を体験することができます。少しばかりディープですが、本ゼミの先にはそのような体験も用意してあります。来年度はそちらもどうぞ。）
竹林の問題と獣害の問題は異なる問題ですが、実は本質的に同根の問題と考えることもできるそんな思いを、竹炭による原因獣の BBQ という妙味を楽しみながら巡らしてみるというのが、体験ゼミならではの思索と言えるでしょう。
しかめっ面をしなくたって、重大な問題を捉えたり考えたりすることができる、そんな体験を楽しんでいただきたい。ゼミ後は、ゼミをじっくり振り返りつつ次のゼミの運営に参画する「伊豆に学ぶプラス」、より創造的に取り組む「企画系さらに伊豆に学ぶ」につなげてもらいたい。
※農学部合同説明会が実施される場合には、参加します。
※ガイダンスはオンライン（zoom）で行います。いずれかに出席してください。
・参加希望者は izu.seminar（アットマーク@）gmail.com まで、氏名・学籍番号を知らせてください。
・件名を「伊豆ゼミ」としてください。
・それぞれの回に申し込み締め切りを設定しているので、遵守願います。
・Zoom の URL はメールでお知らせします。
①１０／１（木）　２０：００～２１：００（締め切り９／３０　１３時）
②１０／２（金）　２０：００～２１：００（締め切り１０／１　１３時）
③１０／４（日）　１０：００～１１：００（締め切り１０／３　１３時）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60232	Ａ２	伊豆に学ぶ__オンラインによる不完全版 伊豆で実施した「竹炭焼き、山、桜、菜の花、温泉など自然と人の繋がりをまなぶ」のエッセンスをひとかけらでもお伝えしたいという思いで作る体験ゼミ	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】オンラインで実施する件。
２０２０年度Aセメスタは宿泊を伴う主題科目を実施できません。中止にする他ないかと悩みましたが、思いとどまることにしました。
伊豆で行う完全版には遠く及ばないと思いますが、不完全でもいいじゃないか、今できることに前向きに取り組んでみたいと思い、新しいスタイルで本ゼミを企画することにしました。
「伊豆に学ぶ」シリーズは体験ゼミのカテゴリーにありますが、様々な体験をできるアクティビティに参加していただき、次に体験したことについてじっくりと「考える」という構造のゼミとなっています。このように「考える」ことを中心に据えたスタイルであることを大きい特徴としています。
対面して、一緒に体験する・考える時間を過ごしたいところでありますが、この肝心な部分を在宅での体験に置き換えて実施しようという、伊豆ゼミを始めて以来考えたこともなかった新しい形態を模索することになります。伊豆に行かないけれども「伊豆に学ぶ」という講義名を変更しなかったのは、「伊豆に学ぶ」ゼミのコンセプトを変えずに提供したいとの思いを込めてのことです。新型コロナ禍が収まらない中、「対面」（伊豆ゼミではとても重視しています）なしで実施可能なスタイルを探ることにしました。
はじめに
体験ゼミ「伊豆に学ぶ」シリーズは、山のことや自然のことにあまり詳しくない初心者向けの講義です。垣根を低く設定してありますし、分かり易いことと伝わり易いことを心がけて、工夫して組み立てた体験型のゼミですから、知りたいという思いさえあれば、色々なことを学べます。例えば初日に菜の花畑と早咲きの河津桜を見学します。もちろんぼんやり眺めても楽しめる装置であることは間違いありません。あなたが観光客ならば「わー。きれい！ 超ヤバー」とか言っていればいいのかも知れません。でも、ゼミの視点で眺めてみると、そこからも数々の学びや気付きを引き出すことができることに気付きます。そして、ゼミでその様な取り組みをする方が、ずっとおもしろいことに気付くはずです。このように伊豆ゼミでは、受講学生それぞれが感じることと考えることを特に大切にしています。
また、伊豆ゼミでは東大生のまじめな一面を引き出して、一人一人が魅力ある人格として、相互に作用しあったり高めあったりするそういった「場」を提供したいと考えています。東京大学が総合大学であることを満喫していただけるようなゼミを目指します。自分とは背景の異なる人が、何をどの様に捉え、感じ、考えるのかを知ることは、お互いにとても刺激的な体験となります。思いがけないインスピレーションを得ることもあるでしょう。
全ての伊豆に学ぶシリーズに通底する背景
「伊豆に学ぶ」シリーズは、人と自然のつながりや、人と人のつながり、そして現代社会において見えにくい「プロセス」が見えてくる仕掛けであることを基本としています。そのコンセプトは熱帯編でも同じです。チョコレートやプリンが大好きという人は少なくないでしょう。それらの原料が、カカオやバニラという植物由来であることを知っている人も少なくないでしょう。しかし、それらがどういう植物なのか、実物を見たり触ったりしたことがある人はいるでしょうか。実際にカカオを焙煎して、細かく挽いてカカオバターと混ぜて練ったことがある人はいるでしょうか。その製造の過程で、きめ細かい温度制御が求められることを知っている人は果たしているでしょうか。このゼミ中に完成させるカカオを出発材料とする手作りチョコレート（ビーントゥーバー）は、それはそれは価値あるものであることは間違いありません。是非、店で売っている普通に手に入るチョコレートと食べ比べていただきたい。その体験こそが、このゼミでしかお伝えできない事だと言っても過言ではありません。手作りした甲斐あって美味しいのか？をここで言及することは無意味で、それを伊豆に来て実際に確認して欲しいと思っているのです。

本ゼミは農学生命科学研究科附属演習林の樹芸研究所で展開される。樹芸研究所と聞いて「樹芸」ってなんだ？？と思うだろうか。「樹芸」とは樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含する言葉と私たちは定義している。樹芸研究所が開講する一連の体験ゼミは「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶということの原点を見直すことに重きを置いています。「伊豆に学ぶ―熱帯植物編―」は森林・樹木の物質生産機能に重点を置いた体験ゼミで、熱帯植物を使う樹芸体験を用意しています。チョコレートやプリンやバニラアイスなど、私たちの日常生活において在り来たりになっているモノたちに焦点を当て、日頃の生活において見ようともしない・気付こうともしない、見えにくい「プロセス」を探る旅に出ましょう。熱帯まで足を運んでもできないことを、東大生はなんと伊豆で体験デキルのです。
樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島南部は、シイ・カシの常緑広葉樹が優占する森林が多いのですが、かつて人の暮らしに役立てるために植えられた竹林が人の暮らしぶりの変容に従って放置され大きな問題となっています。この問題は、人間の勝手で自然を乱開発して破壊するという種類の問題ではなく、長い年月行ってきた自然への干渉の手を引いて放ったらかすという点に大きな特徴があります。
意識してみるとそういう現象は他にもたくさんあることに気付くでしょう。このゼミナールではその問題の竹林の有効利用の一つとして竹炭生産をとりあげ、竹の伐採、窯詰め、炭焼きの作業を行いながら、これらの問題の本質が何なのかを一緒に考えてみましょう。簡単に「考えてみよう」と書きましたが、考える前にまず感じられる「感性」を研く必要があるかも知れません。本ゼミでは「そこ」の部分が大切です。ただ「炭焼きを体験したことがある東大生」を育てたいわけではないのです。
伊豆ゼミの流れ
竹炭焼きの待ち時間には、樹芸研究所の森林を見てもらいます。近年大きな問題となっている獣害の現場をよく見て

もらうこともゼミの重要なポイントです。山をぼんやりと歩いても何が獣害の痕跡なのか分からないかも知れません。まずは、その「分からない状態」を正しく認識することもとても重要だと考えています。モノを見る訓練をしていくとやがて心の底から「獣害ヤバイ！」と思えるようになるはずです。本ゼミでは、その様に自分が変化していくプロセスを意識的に体験できるような仕掛けがいくつも仕込んであります。

獣害問題を少し自分の問題と捉えることができるようになったところで、原因獣の対処法の一例として、原因獣を野菜などと一緒に竹炭で炙る処分法（BBQ）の実施を計画しています。BBQ の燃料にする竹炭はもちろん自分で焼いた炭です。（本ゼミとは別の体験活動プログラムでは、罠を掛けてイノシシを捕獲することから始め、イノシシの命を奪い、解体・精肉し、最終的にソーセージに加工するまでの全工程を体験することができます。少しばかりディープですが、本ゼミの先にはそのような体験も用意してあります。来年度はそちらもどうぞ。）

竹林の問題と獣害の問題は異なる問題ですが、実は本質的に同根の問題と考えることもできるそんな思いを、竹炭による原因獣の BBQ という妙味を楽しみながら巡らしてみるというのが、体験ゼミならではの思索と言えるでしょう。

しかめっ面をしなくたって、重大な問題を捉えたり考えたりすることができる、そんな体験を楽しんでいただきたい。ゼミ後は、ゼミをじっくり振り返りつつ次のゼミの運営に参画する「伊豆に学ぶプラス」、より創造的に取り組む「企画系さらに伊豆に学ぶ」につなげてもらいたい。

※農学部合同説明会が実施される場合には、参加します。
※ガイダンスはオンライン（zoom）で行います。いずれかに出席してください。
・参加希望者は izu.seminar（アットマーク@）gmail.com まで、氏名・学籍番号を知らせてください。
・件名を「伊豆ゼミ」としてください。
・それぞれの回に申し込み締め切りを設定しているので、遵守願います。
・Zoom の URL はメールでお知らせします。
①１０／１（木）　２０：００～２１：００（締め切り９／３０　１３時）
②１０／２（金）　２０：００～２１：００（締め切り１０／１　１３時）
③１０／４（日）　１０：００～１１：００（締め切り１０／３　１３時）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60233	Ａ２	伊豆に学ぶ__オンラインによる不完全版 伊豆で実施した「竹炭焼き、山、桜、菜の花、温泉など自然と人の繋がりをまなぶ」のエッセンスをひとかけらでもお伝えしたいという思いで作る体験ゼミ	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】オンラインで実施する件。
２０２０年度Ａセメスタは宿泊を伴う主題科目を実施できません。中止にする他ないかと悩みましたが、思いとどまることにしました。
伊豆で行う完全版には遠く及ばないと思いますが、不完全でもいいじゃないか、今できることに前向きに取り組んでみたいと思い、新しいスタイルで本ゼミを企画することにしました。
「伊豆に学ぶ」シリーズは体験ゼミのカテゴリーにありますが、様々な体験をできるアクティビティに参加していただき、次に体験したことについてじっくりと「考える」という構造のゼミとなっています。このように「考える」ことを中心に据えたスタイルであることを大きい特徴としています。
対面して、一緒に体験する・考える時間を過ごしたいところでありますが、この肝心な部分を在宅での体験に置き換えて実施しようという、伊豆ゼミを始めて以来考えたこともなかった新しい形態を模索することになります。伊豆に行かないけれども「伊豆に学ぶ」という講義名を変更しなかったのは、「伊豆に学ぶ」ゼミのコンセプトを変えずに提供したいとの思いを込めてのことです。新型コロナ禍が収まらない中、「対面」（伊豆ゼミではとても重視しています）なしで実施可能なスタイルを探ることにしました。
はじめに
体験ゼミ「伊豆に学ぶ」シリーズは、山のことや自然のことにあまり詳しくない初心者向けの講義です。垣根を低く設定してありますし、分かり易いことと伝わり易いことを心がけて、工夫して組み立てた体験型のゼミですから、知りたいという思いさえあれば、色々なことを学べます。例えば初日に菜の花畑と早咲きの河津桜を見学します。もちろんぼんやり眺めても楽しめる装置であることは間違いありません。あなたが観光客ならば「わー。きれい！ 超ヤバー」とか言っていればいいのかも知れません。でも、ゼミの視点で眺めてみると、そこからも数々の学びや気付きを引き出すことができることに気付きます。そして、ゼミでその様な取り組みをする方が、ずっとおもしろいことに気付くはずです。このように伊豆ゼミでは、受講学生それぞれが感じることと考えることを特に大切にしています。
また、伊豆ゼミでは東大生のまじめな一面を引き出して、一人一人が魅力ある人格として、相互に作用しあったり高めあったりするそういった「場」を提供したいと考えています。東京大学が総合大学であることを満喫していただけるようなゼミを目指します。自分とは背景の異なる人が、何をどの様に捉え、感じ、考えるのかを知ることは、お互いにとても刺激的な体験となります。思いがけないインスピレーションを得ることもあるでしょう。
全ての伊豆に学ぶシリーズに通底する背景
「伊豆に学ぶ」シリーズは、人と自然のつながりや、人と人のつながり、そして現代社会において見えにくい「プロセス」が見えてくる仕掛けであることを基本としています。そのコンセプトは熱帯編でも同じです。チョコレートやプリンが大好きという人は少なくないでしょう。それらの原料が、カカオやバニラという植物由来であることを知っている人も少なくないでしょう。しかし、それらがどういう植物なのか、実物を見たり触ったりしたことがある人はいるでしょうか。実際にカカオを焙煎して、細かく挽いてカカオバターと混ぜて練ったことがある人はいるでしょうか。その製造の過程で、きめ細かい温度制御が求められることを知っている人は果たしているでしょうか。このゼミ中に完成させるカカオを出発材料とする手作りチョコレート（ビーントゥーバー）は、それはそれは価値あるものであることは間違いありません。是非、店で売っている普通に手に入るチョコレートと食べ比べていただきたい。その体験こそが、このゼミでしかお伝えできない事だと言っても過言ではありません。手作りした甲斐あって美味しいのか？をここで言及することは無意味で、それを伊豆に来て実際に確認して欲しいと思っているのです。

本ゼミは農学生命科学研究科附属演習林の樹芸研究所で展開される。樹芸研究所と聞いて「樹芸」ってなんだ？？と思うだろうか。「樹芸」とは樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含する言葉と私たちは定義している。樹芸研究所が開講する一連の体験ゼミは「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶということの原点を見直すことに重きを置いています。「伊豆に学ぶ―熱帯植物編―」は森林・樹木の物質生産機能に重点を置いた体験ゼミで、熱帯植物を使う樹芸体験を用意しています。チョコレートやプリンやバニラアイスなど、私たちの日常生活において在り来たりになっているモノたちに焦点を当て、日頃の生活において見ようともしない・気付こうともしない、見えにくい「プロセス」を探る旅に出ましょう。熱帯まで足を運んでもできないことを、東大生はなんと伊豆で体験デキルのです。
樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島南部は、シイ・カシの常緑広葉樹が優占する森林が多いのですが、かつて人の暮らしに役立てるために植えられた竹林が人の暮らしぶりの変容に従って放置され大きな問題となっています。この問題は、人間の勝手で自然を乱開発して破壊するという種類の問題ではなく、長い年月行ってきた自然への干渉の手を引いて放ったらかすという点に大きな特徴があります。
意識してみるとそういう現象は他にもたくさんあることに気付くでしょう。このゼミナールではその問題の竹林の有効利用の一つとして竹炭生産をとりあげ、竹の伐採、窯詰め、炭焼きの作業を行いながら、これらの問題の本質が何なのかを一緒に考えてみましょう。簡単に「考えてみよう」と書きましたが、考える前にまず感じられる「感性」を研く必要があるかも知れません。本ゼミでは「そこ」の部分が大切です。ただ「炭焼きを体験したことがある東大生」を育てたいわけではないのです。
伊豆ゼミの流れ
竹炭焼きの待ち時間には、樹芸研究所の森林を見てもらいます。近年大きな問題となっている獣害の現場をよく見て

もらうこともゼミの重要なポイントです。山をぼんやりと歩いても何が獣害の痕跡なのか分からないかも知れません。まずは、その「分からない状態」を正しく認識することもとても重要だと考えています。モノを見る訓練をしていくとやがて心の底から「獣害ヤバイ！」と思えるようになるはずです。本ゼミでは、その様に自分が変化していくプロセスを意識的に体験できるような仕掛けがいくつも仕込んであります。

獣害問題を少し自分の問題と捉えることができるようになったところで、原因獣の対処法の一例として、原因獣を野菜などと一緒に竹炭で炙る処分法（BBQ）の実施を計画しています。BBQ の燃料にする竹炭はもちろん自分で焼いた炭です。（本ゼミとは別の体験活動プログラムでは、罠を掛けてイノシシを捕獲することから始め、イノシシの命を奪い、解体・精肉し、最終的にソーセージに加工するまでの全工程を体験することができます。少しばかりディープですが、本ゼミの先にはそのような体験も用意してあります。来年度はそちらもどうぞ。）

竹林の問題と獣害の問題は異なる問題ですが、実は本質的に同根の問題と考えることもできるそんな思いを、竹炭による原因獣の BBQ という妙味を楽しみながら巡らしてみるというのが、体験ゼミならではの思索と言えるでしょう。

しかめっ面をしなくたって、重大な問題を捉えたり考えたりすることができる、そんな体験を楽しんでいただきたい。ゼミ後は、ゼミをじっくり振り返りつつ次のゼミの運営に参画する「伊豆に学ぶプラス」、より創造的に取り組む「企画系さらに伊豆に学ぶ」につなげてもらいたい。

※農学部合同説明会が実施される場合には、参加します。
※ガイダンスはオンライン（zoom）で行います。いずれかに出席してください。
・参加希望者は izu.seminar（アットマーク@）gmail.com まで、氏名・学籍番号を知らせてください。
・件名を「伊豆ゼミ」としてください。
・それぞれの回に申し込み締め切りを設定しているので、遵守願います。
・Zoom の URL はメールでお知らせします。
①１０／１（木）　２０：００～２１：００（締め切り９／３０　１３時）
②１０／２（金）　２０：００～２１：００（締め切り１０／１　１３時）
③１０／４（日）　１０：００～１１：００（締め切り１０／３　１３時）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60231	Ａ２	伊豆に学ぶ―熱帯植物編（オンラインによる不完全版）無意識に食べてきたチョコレートを教材に据えてみて初めて見えるコト	鴨田 重裕、井上 広喜	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】オンラインで実施する件。
２０２０年度Ａセメスタは宿泊を伴う主題科目を実施できません。中止にする他ないかと悩みましたが、思いとどまることにしました。
伊豆で行う完全版には遠く及ばないと思いますが、不完全でもいいじゃないか、今できることに前向きに取り組んでみたいと思い、新しいスタイルで本ゼミを企画することにしました。
「伊豆に学ぶ」シリーズは体験ゼミのカテゴリーにありますが、様々な体験をできるアクティビティに参加していただき、次に体験したことについてじっくりと「考える」という構造のゼミとなっています。このように「考える」ことを中心に据えたスタイルであることを大きい特徴としています。
対面して、一緒に体験する・考える時間を過ごしたいところでありますが、この肝心な部分を在宅での体験に置き換えて実施しようという、伊豆ゼミを始めて以来考えたこともなかった新しい形態を模索することになります。伊豆に行かないけれども「伊豆に学ぶ」という講義名を変更しなかったのは、「伊豆に学ぶ」ゼミのコンセプトを変えずに提供したいとの思いを込めてのことです。新型コロナ禍が収まらない中、「対面」（伊豆ゼミではとても重視しています）なしで実施可能なスタイルを探ることにしました。
はじめに
体験ゼミ「伊豆に学ぶ」シリーズは、山のことや自然のことにあまり詳しくない初心者向けの講義です。垣根を低く設定してありますし、分かり易いことと伝わり易いことを心がけて、工夫して組み立てた体験型のゼミですから、知りたいという思いさえあれば、色々なことを学べます。例えば初日に菜の花畑と早咲きの河津桜を見学します。もちろんぼんやり眺めても楽しめる装置であることは間違いありません。あなたが観光客ならば「わー。きれい！ 超ヤバー」とか言っていればいいのかも知れません。でも、ゼミの視点で眺めてみると、そこからも数々の学びや気付きを引き出すことができることに気付きます。そして、ゼミでその様な取り組みをする方が、ずっとおもしろいことに気付くはずです。このように伊豆ゼミでは、受講学生それぞれが感じることと考えることを特に大切にしています。
また、伊豆ゼミでは東大生のまじめな一面を引き出して、一人一人が魅力ある人格として、相互に作用しあったり高めあったりするそういった「場」を提供したいと考えています。東京大学が総合大学であることを満喫していただけるようなゼミを目指します。自分とは背景の異なる人が、何をどの様に捉え、感じ、考えるのかを知ることは、お互いにとても刺激的な体験となります。思いがけないインスピレーションを得ることもあるでしょう。
全ての伊豆に学ぶシリーズに通底する背景
「伊豆に学ぶ」シリーズは、人と自然のつながりや、人と人のつながり、そして現代社会において見えにくい「プロセス」が見えてくる仕掛けであることを基本としています。そのコンセプトは熱帯編でも同じです。チョコレートやプリンが大好きという人は少なくないでしょう。それらの原料が、カカオやバニラという植物由来であることを知っている人も少なくないでしょう。しかし、それらがどういう植物なのか、実物を見たり触ったりしたことがある人はいるでしょうか。実際にカカオを焙煎して、細かく挽いてカカオバターと混ぜて練ったことがある人はいるでしょうか。その製造の過程で、きめ細かい温度制御が求められることを知っている人は果たしているでしょうか。このゼミ中に完成させるカカオを出発材料とする手作りチョコレート（ビーントゥーバー）は、それはそれは価値あるものであることは間違いありません。是非、店で売っている普通に手に入るチョコレートと食べ比べていただきたい。その体験こそが、このゼミでしかお伝えできない事だと言っても過言ではありません。手作りした甲斐あって美味しいのか？をここで言及することは無意味で、それを伊豆に来て実際に確認して欲しいと思っているのです。

本ゼミは農学生命科学研究科附属演習林の樹芸研究所で展開される。樹芸研究所と聞いて「樹芸」ってなんだ？？と思うだろうか。「樹芸」とは樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含する言葉と私たちは定義している。樹芸研究所が開講する一連の体験ゼミは「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶということの原点を見直すことに重きを置いています。「伊豆に学ぶ―熱帯植物編―」は森林・樹木の物質生産機能に重点を置いた体験ゼミで、熱帯植物を使う樹芸体験を用意しています。チョコレートやプリンやバニラアイスなど、私たちの日常生活において在り来たりになっているモノたちに焦点を当て、日頃の生活において見ようともしない・気付こうともしない、見えにくい「プロセス」を探る旅に出ましょう。熱帯まで足を運んでもできないことを、東大生はなんと伊豆で体験デキルのです。
樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島南部は、シイ・カシの常緑広葉樹が優占する森林が多いのですが、かつて人の暮らしに役立てるために植えられた竹林が人の暮らしぶりの変容に従って放置され大きな問題となっています。この問題は、人間の勝手で自然を乱開発して破壊するという種類の問題ではなく、長い年月行ってきた自然への干渉の手を引いて放ったらかすという点に大きな特徴があります。
意識してみるとそういう現象は他にもたくさんあることに気付くでしょう。このゼミナールではその問題の竹林の有効利用の一つとして竹炭生産をとりあげ、竹の伐採、窯詰め、炭焼きの作業を行いながら、これらの問題の本質が何なのかを一緒に考えてみましょう。簡単に「考えてみよう」と書きましたが、考える前にまず感じられる「感性」を研く必要があるかも知れません。本ゼミでは「そこ」の部分が大切です。ただ「炭焼きを体験したことがある東大生」を育てたいわけではないのです。
伊豆ゼミの流れ
竹炭焼きの待ち時間には、樹芸研究所の森林を見てもらいます。近年大きな問題となっている獣害の現場をよく見てもらうこともゼミの重要なポイントです。山をぼんやりと歩いても何が獣害の痕跡なのか分からないかも知れません。まずは、その「分からない状態」を正しく認識することもとても重要だと考えています。モノを見る訓練をしていくとやがて心の底から「獣害ヤバイ！」と思えるようになるはずです。本ゼミでは、その様に自分が変化していくプロセスを意識的に体験できるような仕掛けがいくつも仕込んであります。
獣害問題を少し自分の問題と捉えることができるようになったところで、原因獣の対処法の一例として、原因獣を野

菜などと一緒に竹炭で炙る処分法（BBQ）の実施を計画しています。BBQ の燃料にする竹炭はもちろん自分で焼いた炭です。（本ゼミとは別の体験活動プログラムでは、罠を掛けてイノシシを捕獲することから始め、イノシシの命を奪い、解体・精肉し、最終的にソーセージに加工するまでの全工程を体験することができます。少しばかりディープですが、本ゼミの先にはそのような体験も用意してあります。来年度はそちらもどうぞ。）
竹林の問題と獣害の問題は異なる問題ですが、実は本質的に同根の問題と考えることもできるそんな思いを、竹炭による原因獣の BBQ という妙味を楽しみながら巡らしてみるというのが、体験ゼミならではの思索と言えるでしょう。
しかめっ面をしなくたって、重大な問題を捉えたり考えたりすることができる、そんな体験を楽しんでいただきたい。ゼミ後は、ゼミをじっくり振り返りつつ次のゼミの運営に参画する「伊豆に学ぶプラス」、より創造的に取り組む「企画系さらに伊豆に学ぶ」につなげてもらいたい。
※農学部合同説明会が実施される場合には、参加します。
※ガイダンスはオンライン（zoom）で行います。いずれかに出席してください。
・参加希望者は izu.seminar（アットマーク@）gmail.com まで、氏名・学籍番号を知らせてください。
・件名を「伊豆ゼミ」としてください。
・それぞれの回に申し込み締め切りを設定しているので、遵守願います。
・Zoom の URL はメールでお知らせします。
①１０／１（木）　２０：００～２１：００（締め切り９／３０　１３時）
②１０／２（金）　２０：００～２１：００（締め切り１０／１　１３時）
③１０／４（日）　１０：００～１１：００（締め切り１０／３　１３時）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60244	Ａ２	身近な環境化学実習 －身近な水を水質調査から科学する－	佐藤 守俊、 堀 まゆみ、 中村 優希	教養教育 高度化機構	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

「水」と聞いてどのようなイメージを持ちますか？水道水は採取場所や日時によって違いがあるのか、水道水とペットボトルの水はどう違うのか、ミネラルウォーターといっても色々な種類があるがいったいどのような違いがあるのか、といった水に関する様々な疑問を、実習を通して多角的な視点で解決していくことが本実習の目標である。
本実習では、身近な水、例えばキャンパスや自宅の水道水や市販のペットボトルウォーターについて、化学分析（試料サンプリング、前処理操作、測定）を実際に体験し、試料を構成している成分が何であるか、それらの成分濃度はどれくらいであるか、といった情報を取得し、得られた結果から普段私たちが身近に接している水の状態を環境化学的に解釈し考察する。また、実習最終日にはショートプレゼンテーションを実施し、履修者同士でのピアレビューを行うことで、得られた結果や考察に対する理解を深めていく。
本実習の履修には、専門知識や事前学習を必要としない。化学分析を体験し、環境分析化学の面白さに触れてもらうことを重要視しているため、文科・理科を問わず興味がある学生を歓迎する。
授業の詳細については、ガイダンス時に説明する。
【実施日】
A2 ターム、週 1 回程度開催。開講日時は、履修者が決定したのちに決定する。
【ガイダンス】
2020 年 10 月 2 日（金）12:20 から Zoom
【問い合わせ先】
practical-a@adves.c.u-tokyo.ac.jp

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60245	A 2	「それ何マグロ？」 身近な生命科学実習－マグロ属魚類の魚種類判別－	鹿島 勲	教養教育高度化機構	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

マグロの切り身の味や形状からその種別を判別・評価することは、魚の専門家でない限り極めて難しい。では、どうすれば誰でも正確に再現的にマグロの種別を判別できるであろうか？
本実習では、分子生物学的手法を用いたマグロ属に属する魚の種別判別実験の体験を通じて、1. 基礎的な実験スキル・考察方法習得、2. ニュースなどでもよく出てくる DNA、PCR といった生命科学用語・技術の理解を学習することを目的とする。
【実習の内容】
① 本実習内容の説明
② マグロから DNA 抽出
③ 遺伝子増幅法（PCR 法）による DNA の増幅
④ DNA 配列特異的切断酵素による切断
⑤ DNA 断片を電気泳動により分離して検出
⑥ 得られた DNA のパターンからマグロの種別判別
⑦ 結果に関する発表および、ディスカッション
上記に加え、参加している学生各自の学習到達度・実験の進行度合いに個別に対応し、初心者でも理解可能なシンプルな課題を個人／グループに随時与える。Web 検索や過去のプリント集を閲覧しても、答えは簡単には見つからない。各自／グループは、実験を自らデザインして各種の検討を行う必要もある。規定の実習の作業内容に追加するこの“考えるトレーニング”、答えが確定していない課題に挑戦する体験、楽しみながら実習に取り組んで欲しい。
【ガイダンス】
2020 年 10 月 2 日（金）お昼休み
オンライン（Zoom）にて実施する。
Zoom URL：未定
ミーティング ID：未定
パスワード：未定
詳細は、下記授業ホームページを確認すること。
＊希望があればガイダンスは、随時開催
【実習実施日】
集中講義として、下記の日時に行う。
（実験の進行状況により下記の時刻に終了できない場合がある。）
2021 年 2 月 2 日（火）13:00～17:00
2021 年 2 月 3 日（水）13:00～17:00
2021 年 2 月 4 日（木）13:00～17:00
2021 年 2 月 8 日（月）13:00～17:00
2021 年 2 月 9 日（火）13:00～17:00
2021 年 2 月 10 日（水）13:00～17:00
【教室】
KOMCEE EAST 3 階 教育開発用実験室
【授業ホームページ／最新情報の確認】
URL：https://bit.ly/3a1Gs8g
【問い合わせ先】
e-mail：practical2020bio@adves.c.u-tokyo.ac.jp

「国際研修」の履修について

国際研修の各授業では、以下の共通目標が定められている。

> 異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現場を体験し、グローバルな視野を養う機会を得る。

授業内容としては、（1）海外の学生との合同学習などを含む短期の海外研修、（2）海外教育機関との海外での共同教育プログラム、（3）海外の学生との日本国内での研修、（4）海外の教育機関が提供するプログラムを利用した研修、といったさまざまな活動がある。そのような機会によって得られる成果が、主題科目の単位として認定される。

国際研修の受講にあたっては、海外渡航経験の有無は問わない。国際研修はむしろ、学生にとってのはじめての海外経験を、後押しする科目である。進んで自分の視野を開こうとする、学生の積極的な参加姿勢がのぞまれる。

授業によっては、参加者の選抜を行ったり、ある水準以上の語学力を求めたりする場合がある。研修のため海外に渡航する前に事前講義が実施される授業や、他の科目の履修が条件とされる授業もある。履修科目登録期間後に選抜の結果が発表される授業もある。その場合は履修を希望する授業にまず登録し、選抜にもれた場合は履修科目確認・訂正期間に登録を削除すること。また、履修が許可された後から出発までの期間の履修の辞退は、担当教員に膨大な負担をかけることになるので、あらかじめ十分に授業内容、渡航に際する留意事項、費用を確認して履修登録すること（履修を取りやめることで学生個人に対して生じるキャンセル料は原則学生負担になる）。学生が負担する費用については、授業によって異なる。それぞれの授業のシラバスを参照し、ガイダンスに出席して説明を受けること。

※ 新型コロナウィルス COVID-19 感染拡大の影響により、例年と開講形態や研修内容等が大幅に異なる可能性があるため、履修にあたっては必ず最新のシラバスを UTAS で確認すること。

国際研修

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
51143	A	国際人道法ロールプレイ International Humanitarian Law Role Play	キハラハント 愛	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

この授業は、履修学生が国際人道法に興味を持ち、柔軟なコミュニケーション能力を要するロールプレイという形式を使って国際人道法をテーマにアジア各国からプログラムに参加する学生達とコミュニケーションし、ネットワークを構築することを目的とする。
英語の弁論、パブリックスピーキング、ロールプレイの技術についての講義、実践練習を行い、赤十字国際委員会主催の国際人道法ロールプレイ大会（アジア大会）に出場・オブザーバー参加する。ここで選抜されたメンバーとオブザーバーが本国際研修を履修できる。マレーシア・クアラルンプールで行われるアジア大会に出場する。
現時点で国際人道法ロールプレイ大会（アジア大会）が開催されるかどうかは、コロナウィルスの感染状況と関連の旅行制限によるため、明らかでない。アジア大会がオンライン開催になった場合はオンラインで出場する。万が一アジア大会が中止になった場合は、国内研修（主にオンライン）の後、来春の世界大会を目指すものとする。
This course aims to get registered students to gain interest and useful knowledge of International Humanitarian Law, build the capacity of registered students to display their knowledge through role play, and assist them build an international network through joining the International Committee of the Red Cross International Humanitarian Law Role Play competition (Asia round).
At the moment, it is not clear whether or not IHL Role Play competition will be cancelled due to Corona virus and related travel restrictions. If the Competition is held on-line, the team will register to participate in the on-line competition. If the IHL Role Play (Asia round) is cancelled, registered students will train in International Humanitarian Law and aim at participating in the IHL world competition in Spring 2021.

2020 年 9 月 28 日 5 限／5th PeriodZoom

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60247	A 2	TLP フランス語夏季研修	寺田 寅彦	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】本国際研修（TLP フランス語夏季研修）は A セメスターに開講を延期する。2021 年 2 月～3 月に 2 週間程度のアンジェでの研修実施を予定するものの、感染拡大状況次第でオンライン交流あるいは国内研修に切り替える（あるいは研修自体を中止する）ものとし、最終決定は遅くとも１１月下旬を予定する。選抜試験を１１月下旬～１２月上旬に実施予定。A2 タームの履修確認訂正期間までに選抜が終わらないため、選抜者決定次第、教務課で履修登録をする。履修登録期間にあらかじめ履修登録をすることはしないように注意すること。成績報告についてはプログラム終了次第、可能な限り速やかに行われるが、所定の成績確認日より後に登録・公開される見込みが高い。新型コロナウイルス感染症拡大のため不開講となる可能性が十分にある。
【授業の目標、概要】アンジェ市（Angers）フランスでフランス語研修を行いフランス語の運用能力を高め、学生交流を行うことで高い国際感覚を養う。各国の学生と授業だけではなくエクスカーションや各種催しを通じて交流の現場を体験し、またホームステイ（予定）を通じて異なる言語・文化の環境に触れてグローバルな視野を養う機会を得る取り組みを行う

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60101	Ａ２	TLP フランス語春季研修	寺田 寅彦	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】2021 年２月～３月に２週間程度のパリ市（フランス）、リヨン市（フランス）での研修実施を予定するものの、感染拡大状況次第でオンライン交流あるいは国内研修に切り替える（あるいは研修自体を中止する）ものとし、最終決定は遅くとも１１月下旬を予定する。選抜試験を１１月下旬～１２月上旬に実施予定。A2 ターム の履修確認訂正期間までに選抜が終わらないため、選抜者決定次第、教務課で履修登録をする。履修登録期間にあらかじめ履修登録をすることはしないように注意すること。成績報告についてはプログラム終了次第、可能な限り速やかに行われるが、所定の成績確認日より後に登録・公開される見込みが高い。新型コロナウイルス感染症拡大のため不開講となる可能性が十分にある。

【授業の目標、概要】予定ではパリ市（フランス）、リヨン市（フランス）でフランス語による発表を大学やフランス省庁で行いフランス語の運用能力を高め、学生交流や社会交流を行うことで高い国際感覚を養う。各国の学生と授業だけではなく各種催しを通じて交流の現場を体験し、また文化施設で異なる言語・文化の環境に触れてグローバルな視野を養う機会を得る取り組みを行う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60096	Ａ２	イタリアで考古学を体験する	村松 真理子	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意してください。ナポリ近郊、ソンマ・ヴェスヴィアーナ市にある本学の研究施設で考古学発掘を体験する。ローマ時代のヴィラ建築で、専門家とともに発掘の現場がどのようなものか見学するだけでなく、その作業を体験する。発掘現場の作業やネットワークにふれると同時に、ナポリ近辺の発掘調査や研究機関・ 考古学博物館・大学を訪ね、現地の文化遺産と記憶の継承の問題についても考える。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60094	Ａ２	インドネシア・バリの 開発、環境、生活	岩原 紘伊	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

※新型コロナウィルスの感染拡大の状況により、不開講となる可能性が十分にあります。本研修は S セメスターに国内で代替授業を実施していますので、海外渡航できない場合は不開講とします。履修にあたっては、くれぐれもお気をつけください。最終決定は、遅くとも 11 月中旬に行います。また、この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に登録・公開される見込みですので、留意してください。

急速な経済成長や近代化の流れのなかで、インドネシアではゴミ問題や水質汚染など深刻な環境問題が生じている。本研修では、インドネシアの大学、NGO、企業、地域社会を訪問し、インドネシアにおける環境問題の実情とそれに対する様々な取り組みを、フィールドワークを通じて学ぶ。バリ島では村落において参与観察を行うことで、人々の日常生活に直に触れながら環境問題について考える機会を設定している。研修を通した学びの一つの成果として、現地研修の最後に環境教育ワークショップを行う予定である。本研修の目的は、グローバルな課題である環境問題について自らの経験から多角的に理解を深めてもらうところにある。なお、バリでのフィールドワークやワークショップはウダヤナ大学文学部日本語学科の学生たちの協力を受け実施する予定であり、現地の学生と意見交換し、協働する機会を設けている。

グローバル駒場のホームページに掲載しますので、9 月末になったら確認してください。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60099	A 2	ケルン大学 TLP ドイツ語春季研修	斉藤 渉	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】新型コロナウィルスの感染拡大の状況により、不開講となる可能性が十分にあります。
この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。
「国際研修」科目では、異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現状を体験し、グローバルな視野を養う機会を得ることを目標とします。
ケルン大学で約 2 週間ドイツ語集中講座を受講し、実践的なドイツ語能力習得を目指します。午前中は話す、聞く、書くを中心としたドイツ語集中コース、午後や週末はドイツ・ヨーロッパ事情の講義やワークショップ、ドイツの社会や文化に触れる研修等を行います。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60248	A 2	素粒子物理実験の最前線と、 それが社会にもたらすものを CERN で見つけよう （Let’s find out the latest development of particle physics research and its contribution to our society）	松田 恭幸	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意してください。
「国際研修」科目では、異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現場を体験し、グローバルな視野を養う機会を得ることを目標とする。
この科目では世界最大級の素粒子物理学研究所である CERN を訪問する。素粒子物理学研究の最前線を現地で学ぶとともに、国内外の様々な大学・研究所に所属する研究者との対話を通して、国境や宗教・文化の違いを超えて大型プロジェクトを動かすことの意義について考える。
In this course, we'll visit CERN, one of the largest research institute for particle physics in the world, and learn the latest development of the research field of particle physics, and together with researchers working there, we discuss the implications of international collaborations funded and participated by multiple countries/areas.

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60098	A 2	台湾研修	阿古 智子	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件（2014 年度以前入学者）・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。
台湾の大学、社会団体、文化団体、企業などを訪問し、日本統治の時代から国民党、民進党統治の時代、台湾人意識が高まる若者たちが民主化運動を展開する今日の台湾に至るまで、台湾の歴史と変化を現場で学ぶ。視察と交流は主に中国語で行い、これまで学んできた中国語の更なるブラッシュアップを図る。テーマ別に 2-3 人のチームを組み、日本語か英語のできる台湾の学生の支援を借りてフィールドワークを行い、インフォーマントから情報を得る。プログラムの最後には発表会を行う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60095	A 2	短期集中英語: オーストラリアで上級を目指す！／Intensive English: Forging an advanced level of English in Australia	岩原 紘伊	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】新型コロナウィルスの感染拡大の状況により、渡航不可能な場合は国内におけるオンライン研修となる可能性があります。先方との都合により、不開講となる可能性も十分にあります。遅くとも 11 月中旬までには判断します。履修希望者が多数となった場合は 11 月下旬に選抜を行います。担当教員と連絡を取れるように、履修を前向きに検討している場合、個別ガイダンスに必ず参加してください。また、選抜する場合、2019 年度 A セメスターに新型コロナウィルス感染対策を理由として本研修が不開講となった影響を受けた学生を優先しますので、ご理解ください。
※この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に登録・公開される見込みが高いので、留意してください。
教室での体系的な英語学習と学外での活動を組み合わせ、実践的な英語運用力を目指します。対象履修生は英語運用力の上級レベルを目指す学生とし、日本では体験できない様々な英語学習場面を経験し、新しい言語学習方法に触れ、今後の英語学習の可能性を広げる機会を設定しています。オーストラリアにいる間は日本人同士でも英語でコミュニケーションをとることをお願いします。なお、本研修はオーストラリア国立大学の英語研修コースで実施するため、英語母語話者よりも非母語話者と話す機会が圧倒的に多いことを十分に理解しておいてください。

オンラインで実施します。詳細は、9 月末までにグローバル駒場のウェブサイトで詳細を発表します。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60100	A 2	平和のために東大生ができること：カザフスタン研修	岡田 晃枝	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意 1】この授業は、開講日程の都合上、成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。
【注意 2】新型コロナウィルスの感染拡大の状況により、不開講または駒場キャンパス内での代替授業となる可能性が十分ある。
【注意 3】この授業の履修を希望する者は必ず 19/1（木）5 限に行われる主題科目 全学自由研究ゼミナール「平和のために東大生ができること」のガイダンスに参加し、A セメスター開講の全学自由研究ゼミナール「平和のために東大生ができること」を履修すること。

ソ連時代に数百回の核実験が行われたというセミパラチンスク核実験場（1989 年閉鎖）を国内に擁するカザフスタンは、包括的核実験禁止条約（CTBT）発効に向けてイニシアティブを発揮している。2017-18 年の国連安全保障理事会非常任理事国として、主に核軍縮の分野で一定の役割を果たした。
この国際研修では、カザフスタンを訪問して、持続可能な開発目標（SDGS）の目標 16「平和と公正をすべての人に」をテーマに、現地学生とともに学び合い、議論してその成果をまとめ、現地滞在中に現地学生と合同で公開の発表会を行う。
事前研修として、A セメスター全学ゼミ（下記参照）のほか、渡航前に外務省、経済産業省、駐日カザフスタン大使館等での事前研修を予定している。
渡航時期は 3 月上旬から中旬の約 2 週間である。
この授業を履修するには、A セメスターに開講される全学自由研究ゼミナール「平和のために東大生ができること 」を履修して合格し、なおかつその全学ゼミの授業で課される課題および面接を通じて選抜されることが必須要件である。授業のガイダンスは、全学ゼミ「平和のために東大生ができること 」のガイダンスと同時に行う。希望者は必ず出席すること。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60097	A 2	変容するメキシコを理解する	受田 宏之	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

メキシコの新型コロナウイルス感染が深刻なため、本研修プログラムはオンラインで実施することにしました。
現地訪問はかなわないものの、参加学生はスペイン語力の向上と日本では得られない知見を得ることが期待されます。
「ラテンアメリカに興味があるけれども留学するのは難しい」という学生にとくに勧めたいプログラムです。
スペイン語圏で最大の人口を誇るメキシコは、複雑な魅力に満ちた国です。ときに過酷でもある多様な自然は、各地域独自の農法や食文化を発展させてきました。日本には貧困や犯罪のニュースが入りがちですが、それらに対抗する市民社会の発達もみられます。600 万人ないしそれ以上ともされる先住民も、グローバリゼーションにしたたかに対応しています。
オンラインでの交流先は現在検討中ですが、メキシコ大学院大学（COLMEX）、メキシコ国立自治大学（UNAM）というラテンアメリカを代表する 2 つの大学、ストリートチルドレンを支援する NPO、先住民移住者のコミュニティ、南部ユカタン州にある農民学校などを考えています。
メキシコ研修は 3 度目となりますが、今回は自国の政権交代、コロナ禍の影響など変化の最中にあるメキシコの現状を理解することに力点をおきます。

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50658	A	社会科学ゼミナール (PEAK)	ジロドウ イザベル	PEAK 前期	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Introduction to Critical Environmental Legal Studies This seminar explores the main components of critical environmental legal studies as an emerging field of inquiry. It examines the scholarly attempt to integrate ecological thinking within new environmental regulatory frameworks dealing with complex issues such as climate change, bio-diversity loss, natural resource depletion, transboundary pollution and waste, and so forth. Through interactive lectures, classroom discussions based upon a wide range of pre-assigned readings, and case studies focusing on mining issues, ecocide and climate change litigation, students explore the progressive development of Earth Jurisprudence and Wild Law understood as a network of legal principles, ideas, norms and practices entwined within the physical context of the larger ecological systems.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50246	A	自然科学ゼミナール (PEAK)	前田 章、ウッドワード・ジョナサン・ロジャー、甘蔗 寂樹	PEAK 前期	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Applications of Mathematics in the Sciences This course is designed to demonstrate how mathematical concepts that U. Tokyo students have learned in their pure mathematics classes are used and applied in advanced studies in the natural and social sciences. Understanding applications of mathematics in the sciences allows students to understand what they have learned more deeply, and helps them to realize the importance of mathematics for their advanced studies in the Senior Division programs. The course is delivered by three instructors from different fields of expertise, presenting three stories of the use of mathematics. Each part focuses on particular mathematical ideas and methods and gives examples of where they can be applied. The fields of academic discipline and topics are the following: Part I (chemical and environmental engineering). Process modeling and control: Mathematical modelling and control systems related to industrial and environmental processes. Part II (physics / chemistry). The mathematical description of quantum mechanics: Complex linear vector spaces and bra-ket notation and their application in describing the fundamental property of spin. Part III (mathematical economics). Dynamic optimization and economic decision: Finding optimal lifelong consumption-savings plan.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50166	A	コンピューティングの基礎(PEAK)	甘蔗 寂樹	PEAK 前期	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
		■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 F 系列の科目として扱われます。				
講義題目 授業の目標概要		Introduction to computing In recent academic and scientific researches, computer aided researches such as analysis and design have become more highlighted than before. In this class, beginners will touch the academic computing and learn how to create the numerical computing algorithms using MATLAB, a computer programming software.				

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50980	A	意思決定の数理 (PEAK)	前田 章	PEAK 前期	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 F 系列の科目として扱われます。

講義題目
授業の目標概要

Decision Analysis
Policy makers in governments and management in businesses are experiencing ever more complex situations these days in light of their economic surroundings, stakeholders, organizations, etc. To make rational and sound decisions in policy making or management strategy, they seek for transparent methodologies and tools that have a basis on objective information and quantitative analyses.
In this lecture, students will learn the theory and practice of Decision Analysis (DA). DA is a school among theories of decision making that is on the basis of probability, optimization, and expected utility theories, and that is intended to offer a framework of "normative" decision making. Related disciplines include management science/operations research and microeconomics. This lecture thus also works as a good introduction to these subjects.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50699	A	科学技術基礎論(PEAK)	岡本 拓司	PEAK 前期	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 D 系列の科目として扱われます。

講義題目
授業の目標概要

The birth of modern science and its introduction to Japan (with related topics)
This course will discuss the birth of modern science in Europe and the role of western science and technology in the modernization of non-western countries by mainly focusing on the history of Japan from the late 19th century to the 1950s. The following will become the main issues: diversity of the concepts of science and learning; the birth of science in the 17th century and its dissemination in the non-western world; the relation between science and technology; science and technology at crises. Participants will have chances to examine their ways of understanding what science means for their culture, society, and lives.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50455	A	経済・統計(PEAK)	Griffen Andrew Shields	PEAK 前期	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 C 系列の科目として扱われます。

講義題目
授業の目標概要

Microeconomics
This is an introductory course in microeconomics in which the primary goal will be to introduce students to formal economic models. Economics is a tremendously interesting discipline and touches on many fascinating aspects of life: What determines prices? Why do we have markets? Why do we think the market allocation is "good" in some sense? Should governments intervene in markets? Why do countries have different standards of living? Why do people within countries have different levels of income? What determines decisions about whether to work and invest in education? How do people behave in strategic situations? Although an introductory course cannot possibly hope to cover all aspects of economics, the idea is to introduce a broad range of the models used in economics and to get students to understand economists' way of thinking. The course will be technical and cover the topics using formal models, which will be good in ways in which I will explain when we discuss educational investments. However, we will also play several games and have discussions based on readings to illustrate the principles involved.

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50895	A	国際・地域 I (PEAK)	バクスター, ジョシュア	PEAK 前期	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 B 系列の科目として扱われます。

講義題目
授業の目標概要

Introduction to East Asia
This course is designed to investigate the geographical area known as East Asia from roughly 1600 to the 1950s. It will focus on how we think about the past through looking at key problems that are shared by China, Japan, and Korea. Each week themes such as modernization, gender, eurocentrism, the nation, and colonialism, will be used to examine specific historical moments. How historical knowledge changes over time, bottom-up approaches to history, social constructions such as gender, and new forms of power, are a few of the problems that will be addressed through the course themes. The aim is that students will learn to read, think, and write with a critical and analytical self-awareness about history.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50696	A	国際・地域Ⅲ(PEAK)	HOLCA Irina	PEAK 前期	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 B 系列の科目として扱われます。

講義題目
授業の目標概要

Japanese myths and legends in state ideology and propaganda, literature and popular culture
This class discusses the concepts of mythology, folklore, and religion, and introduces some basic tools used in their analysis. It focuses on the way Japanese myths, legends, and folktales were rediscovered and altered in the modern and contemporary world in order to support state ideologies and changing lifestyles. A wide variety of media (literary texts, school textbooks, political discourse, illustrations/ manga, movies/ anime, video games) will be used.
At the end of the course, students will 1) be able to recognize unique and universal elements in Japanese myths and legends; 2) become aware of the way myths and legends are constructed/ reinvented throughout history; 3) have advanced knowledge about the role of myths and legends in nation formation, imperialistic endeavours, as well as in the everyday lives of individuals; 4) be able to critically reflect, orally and in writing, on topics related to the course.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50126	A	国際関係(PEAK)	鈴木 早苗	PEAK 前期	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 B 系列の科目として扱われます。

講義題目
授業の目標概要

Introduction to International Relations
This is an introductory course on international relations and aims to obtain theoretical perspectives to understand international phenomena. We plan to cover a wide range of issues related to international relations. This course consists of three parts. The first concerns history and structure of international system to learn basic concepts in international relations. The second part deals with how to order and manage international system and the role of nation-states. Finally, we will learn how to analyze transnational and global issues beyond nation-state in international relations.

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50962	A	思想・芸術 I (PEAK)	山辺 恵理子	PEAK 前期	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
		■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 A 系列の科目として扱われます。				
講義題目 授業の目標概要		Philosophical Issues in Education COURSE OBJECTIVES The aim of this course is to deepen students' understandings on education through philosophical dialogues on ethical and controversial issues in education. Abilities 1) to pose philosophical questions, 2) to think logically and critically, 3) to listen to counterarguments and to take them into serious account, 4) to reflect on one's own conceptions, perceptions, and assumptions and at times reshape or even abandon them, and 5) to read and write philosophical papers, are essential to philosophical dialogues, and thus will be developed and assessed in this course.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51039	A	思想・芸術Ⅲ(PEAK)	HOLCA Irina	PEAK 前期	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
		■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 A 系列の科目として扱われます。				
講義題目 授業の目標概要		Animals in modern and contemporary Japanese literature This course introduces recent critical approaches to analysing the relationship between human and non-human beings, as well as theoretical reflections on how animals and nature are represented in art. It then explores the various ways animals are described in modern and contemporary Japanese literature, from the real cattle slaughtered in Tōson's "The Broken Commandment," to the fantastic talking bear in Kawakami's "God Bless You." At the end of the course, students will be able to reflect on the role of animal representations in literature, engaging with the concepts of otherness, humanity, and death from a new perspective.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51102	A	社会・社会思想 (PEAK)	滝田 祥子	PEAK 前期	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
		■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 C 系列の科目として扱われます。				
講義題目 授業の目標概要		Introduction to Japanese Social Theory Using the textbook specifically aiming at bridging a longstanding gap between Eastern and Western social theory, this course will offer an opportunity for students to explore the rich diversity of social-theoretical critique in contemporary Japanese social theory.				

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50194	A	社会・制度 I (PEAK)	NOBLE GREGORY WILLIAM	PEAK 前期	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 C 系列の科目として扱われます。

講義題目
Japan and the Governance of Democratic Market Economies

授業の目標概要
Citizens in advanced societies constantly appeal to the ideals of democracy, but how is representative democracy actually organized? How do different countries handle the inevitable tradeoffs among competing democratic ideals? And how do they seek to make public policies that reflect the desires of their (often competing and contending) citizenries while also crafting effective responses to the vagaries of market capitalism?
Running through this course are two broad themes. First, democracy can be conceptualized as a chain of delegation from voters to politicians and parties and then to governments. This chain, though sometimes loose or knotted, makes governments sensitive to the demands of the people who elect them. Second, democracies generally fall into two broad camps, majoritarian and consensus. The first type places highest priority on majority rule, decisiveness, and accountability, while the second seeks to encourage participation by the widest possible range of social groups. Majoritarian systems, as exemplified by the United Kingdom tend to have two-party systems; consensus countries, such as Sweden or Denmark almost always have multi-party systems and coalition cabinets.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50782	A	情報科学(PEAK)	Schuster Alfons Josef	PEAK 前期	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 F 系列の科目として扱われます。

講義題目
Understanding Information and Information Environments

授業の目標概要
Information science is an interdisciplinary science with a wide range of interests and goals. A major element in the field is concerned with fundamental information processes such as the acquisition and collection of information, the classification and storage of information, the manipulation and retrieval of information, as well as the analysis, dissemination, usage, and maintenance of information. Another focus in the course relates to the concept of information itself. Although the importance of information has been recognized in many fields, as a concept, information is difficult to define. The course, therefore, not only tries to familiarize students with the history and evolution of the field of information science, the course also investigates the fundamental question: What is information? Students completing the course will recognize the aims and goals of fundamental information processes. They will learn to analyze, evaluate, and appreciate the value that information science provides. In addition, students may develop an understanding of information on a deeper (philosophical) level. This understanding may help them to understand today's information society and modern technology from a more comprehensive information perspective.
By the end of the semester, students should:
(i) be familiar with the history and evolution of the field of information science,
(ii) understand fundamental information processes,
(iii) have acquired an understanding about the notion of information from various points of view, and
(iv) be able to reason about modern society and modern technology from an information perspective.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50231	A	地球環境(PEAK)	成田 大樹	PEAK 前期	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 D 系列の科目として扱われます。

講義題目
授業の目標概要

Global environmental problems and sustainable development
This course will introduce the students to the current debates surrounding the global environmental problems, such as climate change, transboundary air pollution, biodiversity loss, and the issues of natural resources and their use (water, etc.). In the course, we will not discuss environmental problems in isolation but view them as an element among other great social challenges of our time. Specifically, the course's perspective is summarized by the following basic questions:
- People in the world are living under vastly different conditions in terms of income levels, etc. Given these differences, what kind of global environment should we aim for?
- How can we form a global consensus on collective actions against environmental problems? On a more practical level, what are the existing global agreements and institutions on environmental management?
- On a global scale, what kinds of environmental or resource limits are we bound by?
Given the instructor's field of expertise, a particular attention will be paid to economic dilemmas of the global environmental problems, e.g., the needs for balancing environmental quality and poverty reduction. However, the lectures and class discussions also touch on various other aspects -- such as natural-scientific, policy (political and legal) and technological aspects -- of global environmental issues.
From a methodological standpoint, the focus of lectures will be placed on: (i) how we can formulate consistent and comparable metrics regarding global sustainable development, which often needs to deal with vague concepts (e.g., "sustainability"); (ii) how we can distinguish reliable and unreliable data, and where we can find the latter in practice; (iii) what aspects of global sustainable development are potentially quantifiable, and what are not

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50553	A	哲学・倫理(PEAK)	ダルグリーシュ ブレガム	PEAK 前期	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 A 系列の科目として扱われます。

講義題目
授業の目標概要

Intellectuals and Critique
Since the siècle des Lumières, (Western) philosophy has devoted itself to the production of knowledge which, amongst other things, establishes facts, anchors values, mediates justice and promises critique. This in turn has encouraged philosophers to side with society and speak the truth to power, especially in those moments when it tends to domination. Perhaps the most famous figure to deploy philosophy in this fashion has been the intellectual, yet in recent years the latter seems to have become a rare species, if not one that is near extinction. With the decline of the role of the intellectual the concomitant task of philosophy as the watchdog of power is brought into question, too. In this light, the course examines the role of the modern philosopher from the late 18th century up until the present. It surveys some paradigmatic cases, from the role of the legislator (Kant), clerc (Benda), freischwebende Intelligenz (Mannheim), organic intellectual (Gramsci), mandarin (Heidegger), critical theorist (Habermas) and engaged scholar (Chomsky), to the témoin engagé (Sartre), bi-dimensional critic (Bourdieu), interpreter (Walzer), specific intellectual (Foucault) or feminist activist (Haraway). In studying these roles, we inquire into what role the academic might assume and the accompanying form of criticism that philosophy could be assigned today.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50666	A 1	電磁気学の基礎(PEAK)	堀田 知佐	PEAK 前期	水 4, 水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 E 系列の科目として扱われます。

講義題目
授業の目標概要

Electromagnetism (PEAK)
The main topic of this course is the derivation of time independent Maxwell's equations
from the empirical rules that we could recognize within our circumstances.
These equations are a set of first-order partial differential equations which constitute a complete description
of electric and magnetic phenomena.
The concept of classical "electric and magnetic fields" are introduced, which
are indispensable in order to fully describe electric and magnetic forces and corresponding phenomena
we observe in the real world.

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50556	A	分析化学(PEAK)	ウッドワード・ジョナサン・ロジャー	PEAK 前期	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
		■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 E 系列の科目として扱われます。				
講義題目 授業の目標概要		Analytical Chemistry To scientists, being able to measure and analyse our environment is one of the most important capabilities. This course is concerned with the methods and technologies available to accurately and precisely measure the properties of real world samples, for example from determining the concentration of heavy metal ions in river water, measuring the concentration of a drug molecule in a blood sample to determining the concentration of pollutant gases in the atmosphere. The course builds on existing knowledge of fundamental chemical principles and has a practical focus which will be of particular use to students with an interest in Environmental Science.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50425	A	法・政治(PEAK)	杉之原 真子、FOOTE DANIEL HARRING	PEAK 前期	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
		■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 C 系列の科目として扱われます。				
講義題目 授業の目標概要		Law and Political Science The objective of the course is to familiarize the students with the basics of law and political science. The course will be taught by specialists in these fields.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50629	A	学術フロンティア講義(PEAK)(Introduction to Japan in East Asia)	前島 志保、野澤 俊太郎	PEAK 前期	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Introduction to Japan in East Asia This course is a lecture series offered by faculty members of the University, and designed to showcase the wide range of research in Japan and/or East Asia. The purpose is to illustrate how fundamental concepts as well as knowledge learned in the junior division can lead to interesting intellectual explorations in the senior division of the PEAK Japan in East Asia Program. The scheduled twelve lectures are on cultures, societies and histories of Japan and/or East Asia. The lecturers of these classes are involved in three disciplines in the College of Arts and Sciences: Interdisciplinary Cultural Studies, Area Studies, and Interdisciplinary Social Sciences. The first class includes some guidance with a short lecture. 教養学部教養学科の三分科（超域文化科学分科、地域文化研究分科、総合社会科学分科）の教員が交代で英語による講義を行う、レクチャー・シリーズです。教養学部英語コース(Programs in English at Komaba/PEAK)の文系後期課程コースである国際日本研究コース（International Program on Japan in East Asia）の紹介も兼ねた授業ですが、PEAK 前期課程以外の学生も受講可能です。初回にガイダンスと詳細なスケジュールの説明を行います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50724	A	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(Everyday Nationalism in Asia)	ディーエル グレゴリー ロジャース	PEAK 前期	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Everyday Nationalism in Asia This course introduces students to the study of nationalism and identity through a multidisciplinary lens that examines the ways that people's everyday practices and habits reproduce and legitimize national forms of belonging. Through the course, students will be exposed to readings in sociology, social psychology, and anthropology. Short research projects based on region-specific case studies using textual and visual analyses will ensure that students will actively use the concepts, frameworks, and theories they learn throughout the semester.				

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50837	A	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(Global Governance in International Society)	鈴木 早苗	PEAK 前期	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Global governance in International Society The concept of global governance has increasingly been important for last decades. We have observed emergence of an international society where states, international organizations and non-state actors attempted to address global problems and issues. This course provides an overview of concepts, processes and outcomes of global governance. The course is divided into three parts. The first introduces the current global governance structure, core concepts and theoretical perspectives on global governance. The second part focuses on actors in global governance: international and regional organizations and non-state actors, and examines how they play roles for global governance. The third part deals with issues in global governance ranging from security, economic to social aspects. The course addresses diverse empirical cases, and analyzes how and why processes differ across different issue areas. As a wrap-up session, we will discuss effectiveness of global governance incorporating concepts such as power, authority and legitimacy.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50557	A	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(Introduction to Biology)	小見 美央、リチャード シェファーソン	PEAK 前期	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Introduction to Biology This course is designed to provide students with the essentials of biology. Biology = Science of Life. What are we? What is Life? What do living things have in common? What makes us, us?				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51454	A	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(Introduction to Earth Science)	東塚 知己、後藤 和久、角野 浩史、市原 美恵、鈴木 健太郎	PEAK 前期	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Introduction to earth science This is an introductory course for earth science covering planetary science, ocean science, atmospheric science, solid earth science, and life in the past.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50633	A	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(Introductory course in linear algebra)	松尾 厚	PEAK 前期	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Introductory course in linear algebra Phenomena in natural and social sciences are usually complicated, and seldom described by linear equations. However, Linear Algebra is still powerful and effective in describing essential parts of the phenomena by linear approximation. Thus Linear Algebra has vast applications. Linear Algebra will further provide basics for considering infinite-dimensional linear spaces that appear in quantum mechanics or Fourier analysis. The ideas in Linear Algebra are broadly utilized in sciences and engineering, including agriculture, medicine, and economy, as well as in mathematics and physics. Although Linear Algebra is simple and clear in theory, one needs to be familiar with abstract concepts in mathematics to properly deal with it in practice. It is important for students to keep on deepening their understanding by working with exercise and related problems.				

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50836	A	全学自由研究ゼミナール (PEAK)(Single-variable calculus)	鮑 園園	PEAK 前期	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Single-variable calculus In this course, we study the differentiation and integration of a function of one-variable (which is also called one-variable function or single-variable function). Intuitively, differential is the slope of the tangent line of a function at a given point, and differential is the area bounded by the graph of the function and x-axis over a given interval. Both concepts need the concept “limit”, so the first part of this course will contain the definition of a function, limit of a sequence, continuous function and related topics. In the second part of this course, we study the differential of a function, the definition, calculation techniques, properties and applications. In the third part, we define the definite and indefinite integral of a function, study the fundamental theorem of calculus: the connection between differentiation and integration, and introduce the calculation techniques. In the end, we study how to solve some simple differential equations.				